

次 期

大津市子ども・子育て支援事業計画
第2次大津市次世代育成支援行動計画
大津市子ども・若者プラン

策定のためのアンケート調査結果報告書

平成31年3月

大 津 市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査概要	2
3. 配布・回収結果	3
4. 回答者と母集団の年齢	3
5. 報告書の見方	4
II 子ども・子育てに関する調査結果（未就学児童用調査・小学生用調査）	5
1. お子さんご家族の状況について	6
2. お子さんの育ちをめぐる環境について	18
3. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	32
4. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用希望について	47
5. お子さんの土曜や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	59
6. お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	63
7. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	68
8. お子さんの地域子育て支援拠点事業等の利用状況について	72
9. お子さんの放課後や休日等の過ごし方や就学後について	77
10. 育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度について	90
11. 地域の子育て支援や大津市の子育て支援サービスについて	103
12. 自由記述について	113
13. 調査結果のまとめ	122
III 子ども・若者に関する調査結果（若者用調査）	131
1. あなた自身のことについて	132
2. 普段の生活について	136
3. これまでの経験や考え方について	152
4. 就労について	180
5. 家族や周囲との関わりについて	191
6. 自由記述について	205
7. 調査結果のまとめ	208
資 料	213
未就学児童用調査 調査票	214
小学生用調査 調査票	234
若者用調査 調査票	246

I 調査の概要

1. 調査の目的

本市における子育て支援の充実を図るための具体的な計画である「大津市子ども・子育て支援事業計画」「第2次大津市次世代育成支援行動計画」および、子ども・若者の健全育成や社会的自立を支援するための具体的な計画である「大津市子ども・若者プラン」の見直しにあたって、子育て世帯や子ども、若者の生活実態や事業に関するニーズ等を把握することを目的に実施しました。

なお、未就学児童用調査、小学生用調査の結果は、「子ども・子育て支援事業計画」で確保する教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するなど、新たな目標事業量の設定を行うための基礎資料としても活用します。

2. 調査概要

	次期大津市子ども・子育て支援事業計画等 策定のためのアンケート調査		次期大津市子ども・ 若者プラン策定の ためのアンケート調査
	未就学児童用調査	小学生用調査	若者用調査
調査地域	大津市全域		
調査対象	市内在住の未就学児童 (0～5歳)の保護者	市内在住の小学校低学年 (6～8歳)の保護者	市内在住の15～39歳 の市民
抽出数	6,000人	2,000人	2,000人
抽出方法	住民基本台帳(平成30年4月1日時点)より 上記10,000人を無作為抽出		
調査方法	郵送配布・郵送回収による郵送調査法		
調査期間	2018年11月5日～11月22日		2018年11月9日～ 11月26日

3. 配布・回収結果

	配付数 (件)	不達数 (件)	有効配付数 (件)	有効回収数 (件)	有効回収率
未就学児童用調査	6,000	14	5,986	2,688	44.9%
小学生用調査	2,000	2	1,998	938	46.9%
若者用調査	2,000	13	1,987	497	25.0%

※集計については、「有効回収数」分を反映。調査期間以降に返信いただいた調査票については、自由回答設問のみに反映。

4. 回答者と母集団の年齢

	年齢	母集団 住民基本台帳 平成 30 年 4 月 1 日時点の年齢		本調査 平成 30 年 4 月 1 日時点の年齢	
		人口	年齢構成比	回答者数	年齢構成比
未就学児童用調査	0 歳児	2,919	15.5%	436	16.2%
	1 歳児	3,037	16.1%	441	16.4%
	2 歳児	3,210	17.0%	431	16.0%
	3 歳児	3,211	17.0%	455	16.9%
	4 歳児	3,156	16.7%	428	15.9%
	5 歳児	3,348	17.7%	463	17.2%
	不明・無回答			34	1.3%
	合計	18,881		2,688	
小学生用調査	1 年生	3,310	33.9%	293	31.2%
	2 年生	3,160	32.4%	274	29.2%
	3 年生	3,294	33.7%	299	31.9%
	不明・無回答			72	7.7%
	合計	9,764		938	

	年齢	母集団 住民基本台帳 平成 30 年 4 月 1 日時点の年齢		本調査 平成 30 年 4 月 1 日時点の年齢	
		人口	年齢構成比	回答者数	年齢構成比
若者用調査	15～19 歳	17,628	19.7%	85	17.1%
	20～24 歳	16,496	18.4%	62	12.5%
	25～29 歳	16,083	17.9%	73	14.7%
	30～34 歳	18,349	20.5%	121	24.3%
	35～39 歳	21,101	23.5%	126	25.4%
	不明・無回答			30	6.0%
	合計	89,657		497	

5. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効回収数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しているため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「不明・無回答」とは、回答が示されていない、または、回答の判別が困難なものです。
- グラフおよび表のN数（number of case）、「対象者数」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 割合「%」を比較する場合、それぞれの母数が異なる場合があるため、「ポイント」で差を示しています。【例：A=50%、B=40%の場合、AがBより10ポイント高い】
- 「子ども・子育てに関する調査結果」における「前回調査」は「大津市子ども・子育て支援事業計画二ーズ調査報告書」（平成26年3月）を資料としています。前回調査と今回調査の選択肢の違いについて、同様もしくは表現は異なるものの同趣旨の選択肢を並べています。また、設定していない選択肢がある場合はグラフ内に値を表示していません。

II 子ども・子育てに関する調査結果

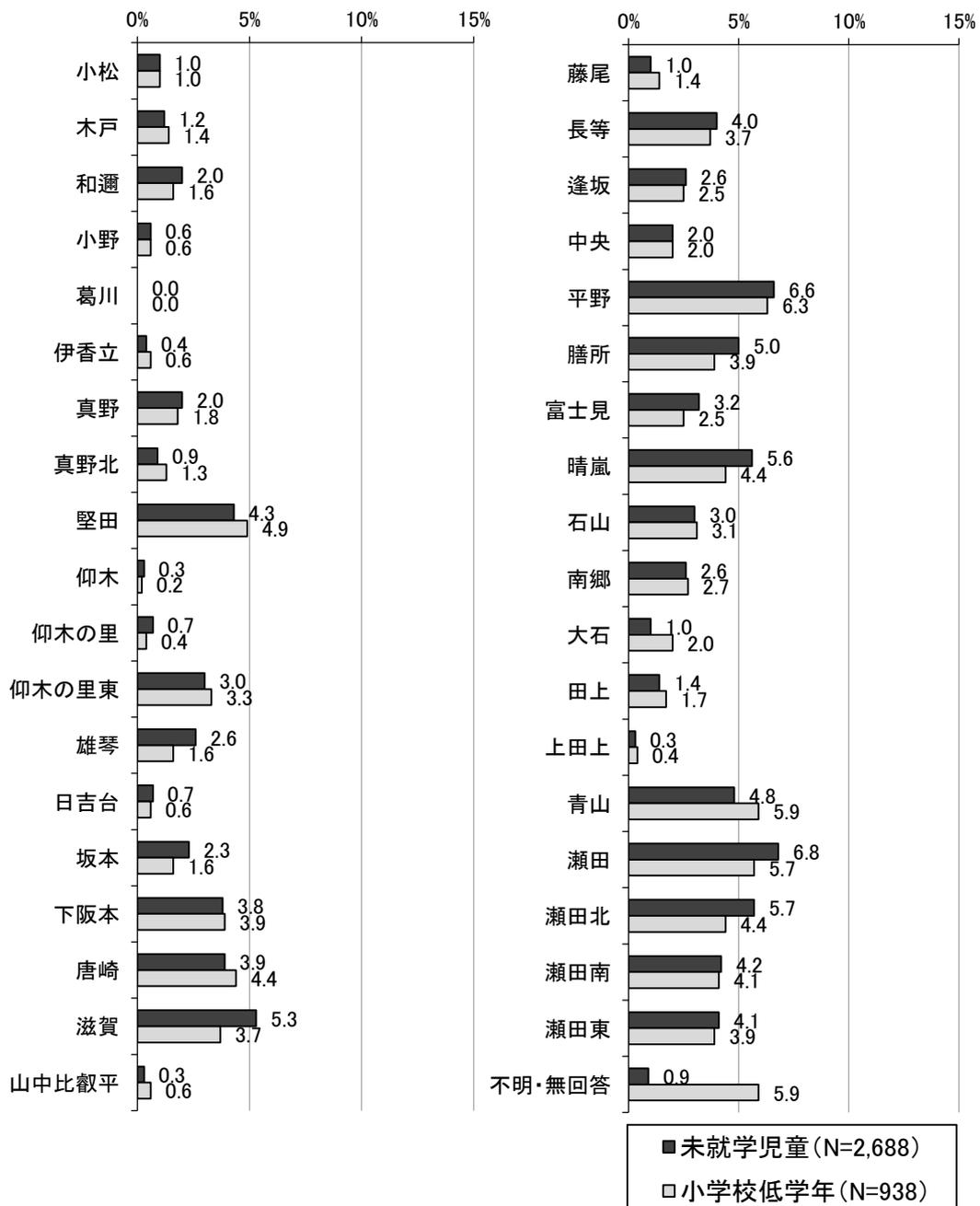
(未就学児童用調査・小学生用調査)

1. お子さんご家族の状況について

[未就学児童用調査・小学生用調査／問1 単数回答]

(1) 居住学区

居住学区についてみると、「瀬田」が未就学児童で6.8%、「平野」が小学校低学年で6.3%と最も高くなっています。

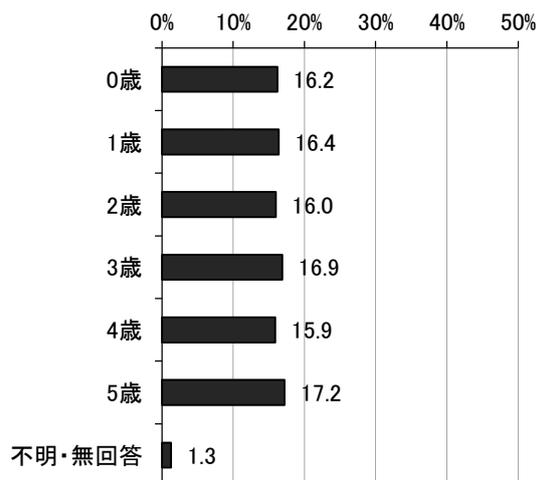


(2) 対象の子どもの年齢と学年(平成30年4月1日現在)

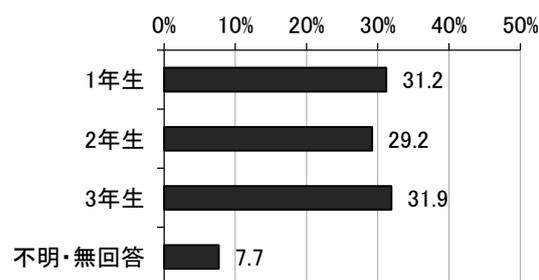
年齢についてみると、「5歳」が17.2%、「3歳」が16.9%、「1歳」が16.4%となっています。

学年についてみると、「3年生」が31.9%、「1年生」が31.2%、「2年生」が29.2%となっています。

未就学児童(N=2,688)

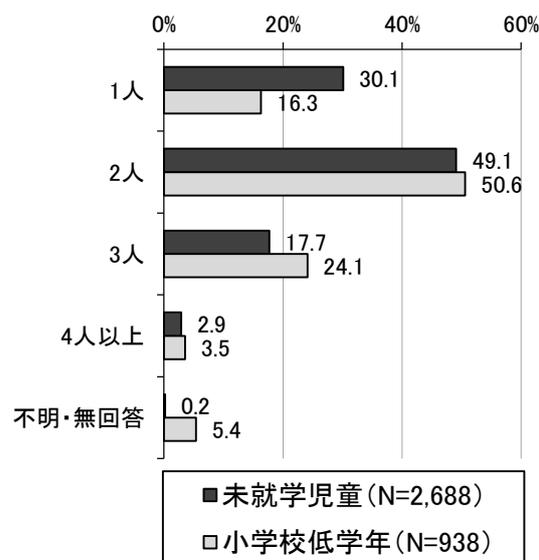


小学校低学年(N=938)

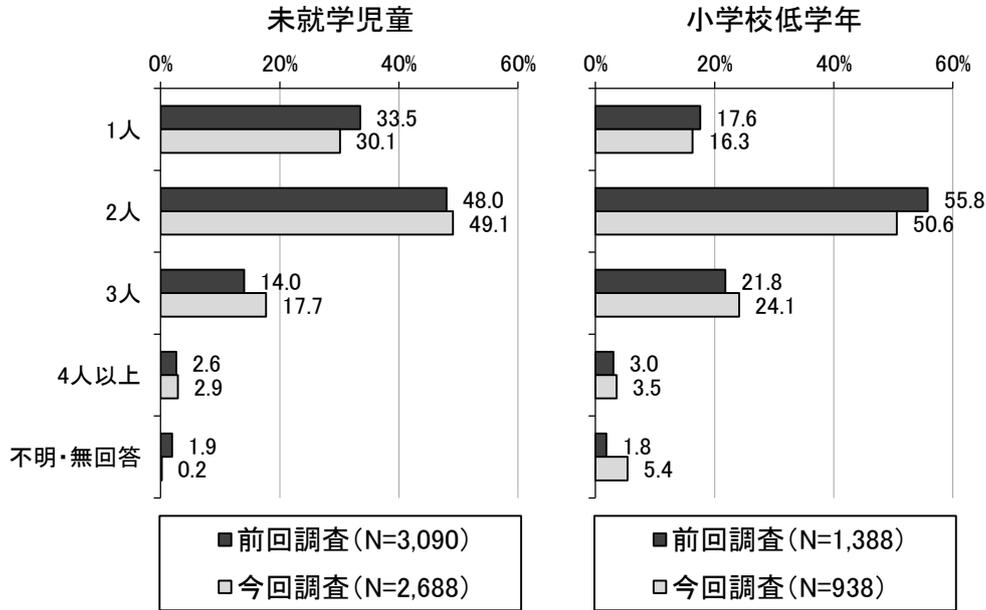


(3) きょうだいの人数

きょうだいの人数についてみると、「2人」が未就学児童で49.1%、小学校低学年で50.6%と最も高く、次いで、未就学児童で「1人」が30.1%、小学校低学年で「3人」が24.1%となっています。



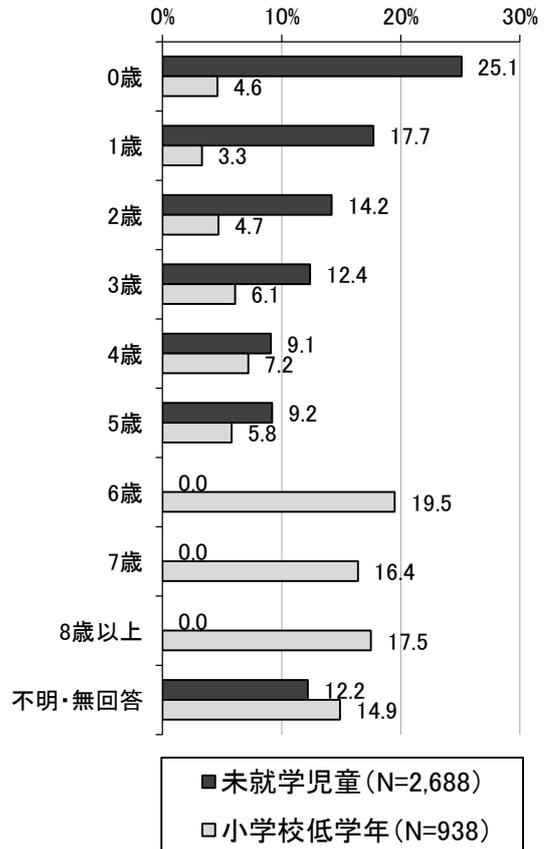
経年比較についてみると、未就学児童、小学校低学年で前回調査、今回調査ともに「2人」が最も高くなっています。未就学児童、小学校低学年ともに前回調査に比べて『3人以上』が高くなっています。



〔未就学児童用調査・小学生用調査／問2 数量回答〕

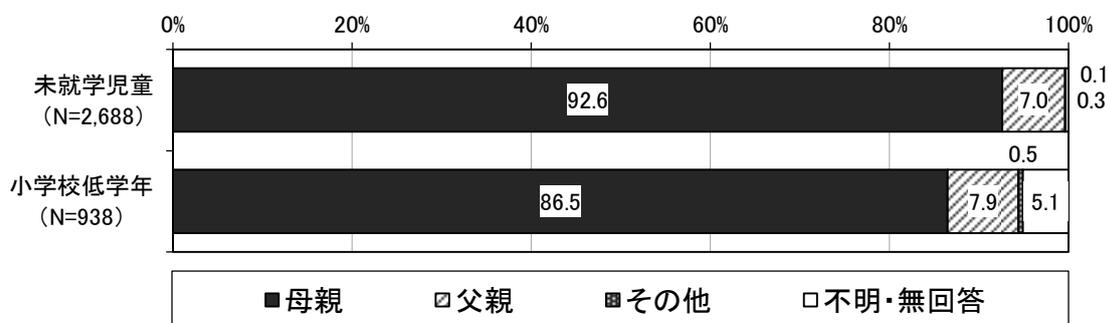
(4) 末子の年齢（平成30年4月1日現在）

末子の年齢についてみると、未就学児童では「0歳」が2割、「1歳」から「3歳」までがそれぞれ1割となっています。小学校低学年では「6歳」から「8歳以上」がそれぞれ1割となっています。



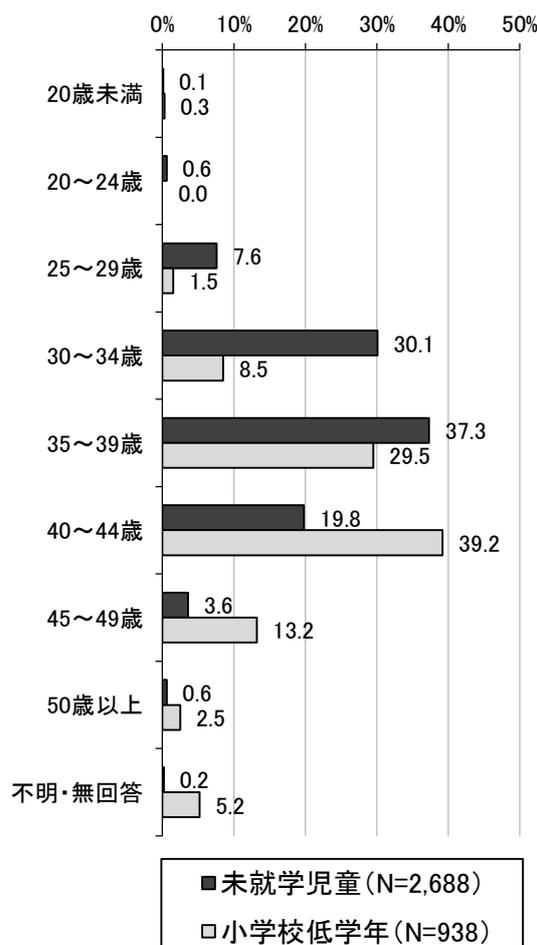
(5) 調査票の回答者

回答者についてみると、「母親」が未就学児童で92.6%、小学校低学年で86.5%と最も高くなっています。



(6) 回答者の年齢

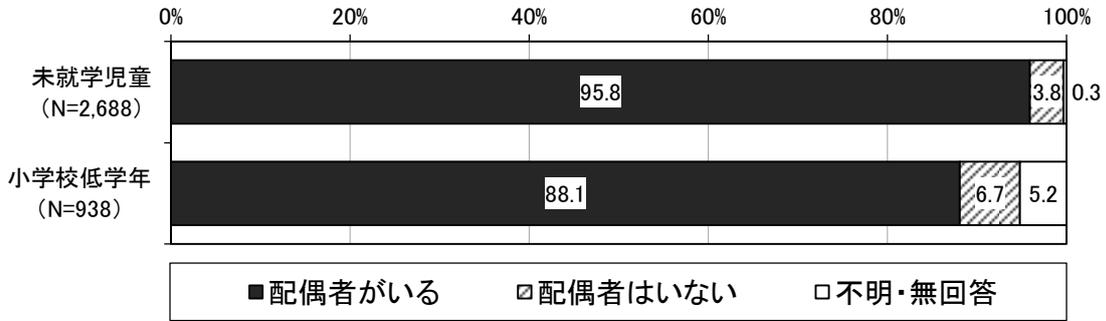
回答者の年齢についてみると、未就学児童で「35～39歳」が37.3%、「30～34歳」が30.1%、小学校低学年で「40～44歳」が39.2%、「35～39歳」が29.5%と高くなっています。



[未就学児童用調査・小学生用調査／問5 単数回答]

(7) 回答者の配偶関係の有無

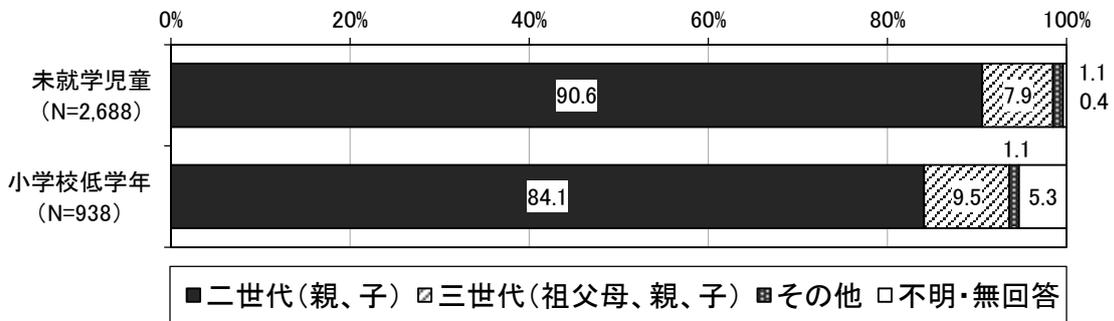
回答者の配偶関係の有無についてみると、「配偶者がいる」が未就学児童で95.8%、小学校低学年で88.1%となっています。



[未就学児童用調査・小学生用調査／問6 単数回答]

(8) 世帯構成

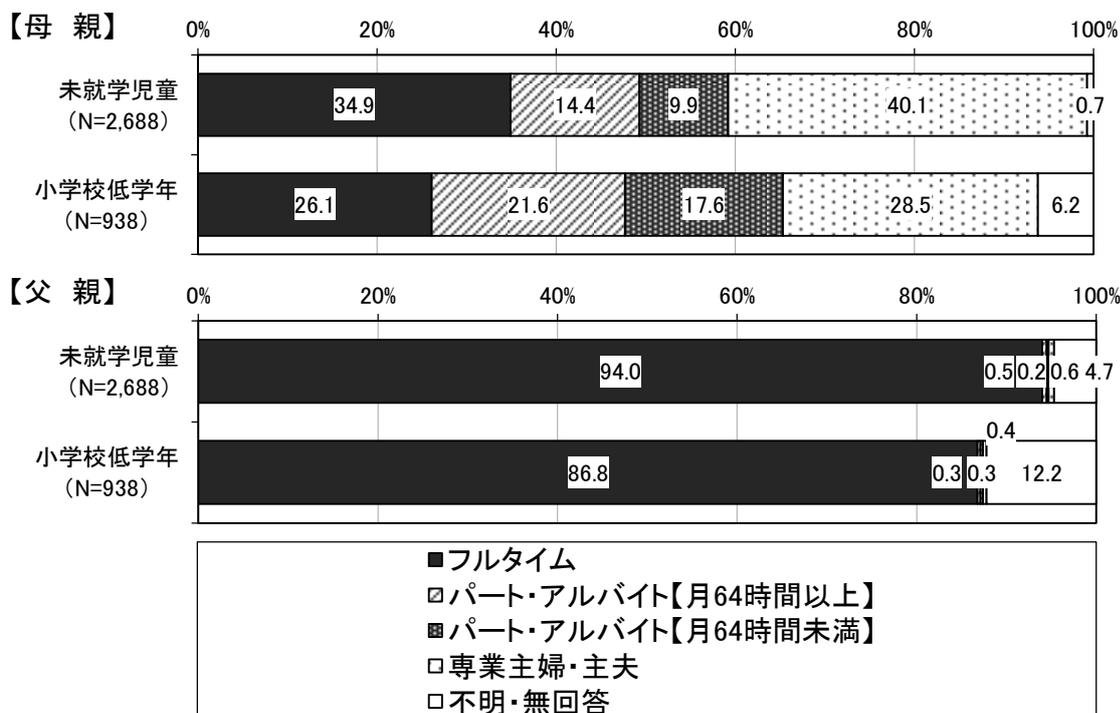
回答者の世帯構成についてみると、「二世帯（親、子）」が未就学児童で90.6%、小学校低学年で84.1%となっています。



(9) 保護者の就労状況

保護者の就労状況についてみると、現在の状況は、母親では、「専業主婦・主夫」が未就学児童で40.1%、小学校低学年で28.5%と最も高くなっています。父親では「フルタイム」が未就学児童で94.0%、小学校低学年で86.8%と最も高くなっています。

〈①現在の状況〉



*「フルタイム」:1週5日程度・1日8時間程度の就労
 *「パート・アルバイト」:フルタイム以外の就労

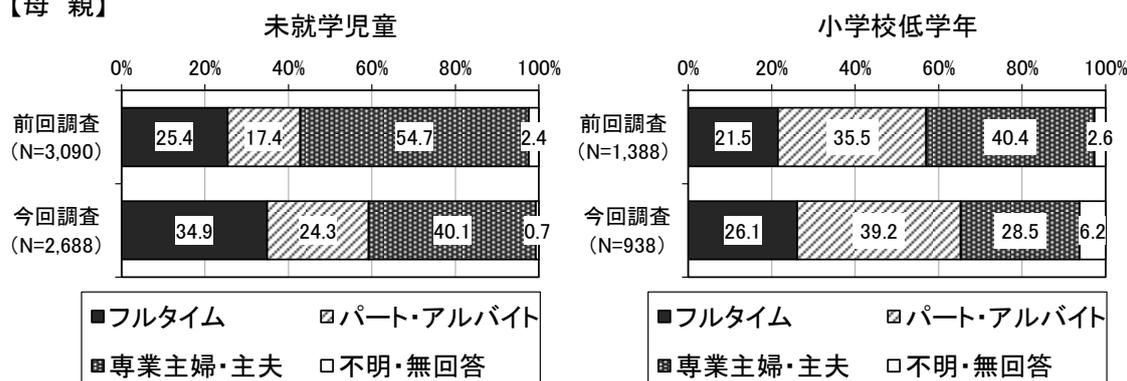
経年比較

[前回調査 未就学児童用調査・小学生用調査／問11(1)(2)]

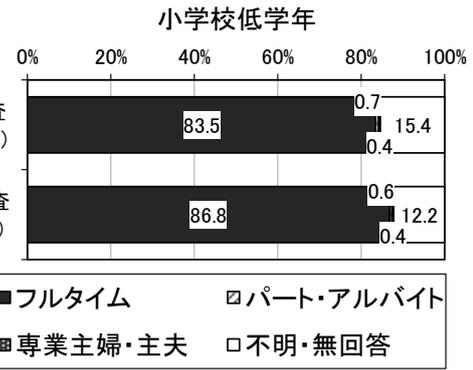
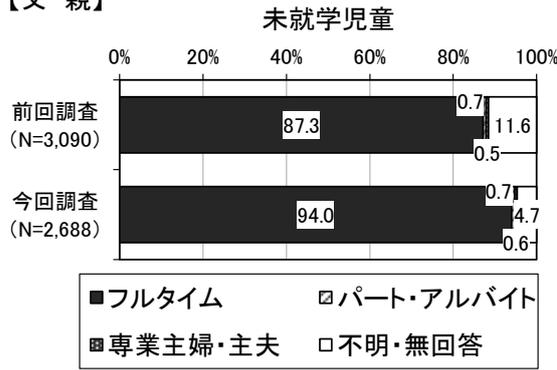
経年比較についてみると、母親では、未就学児童は前回調査、今回調査ともに「専業主婦・主夫」が最も高くなっています。小学校低学年では前回調査から今回調査で最上位の順位が「専業主婦・主夫」から「パート・アルバイト」に変動しています。未就学児童では前回調査と比べて「フルタイム」「パート・アルバイト」の合計が10ポイント以上高くなっています。

父親では、未就学児童、小学校低学年で前回調査、今回調査ともに「フルタイム」が最も高くなっています。

【母親】



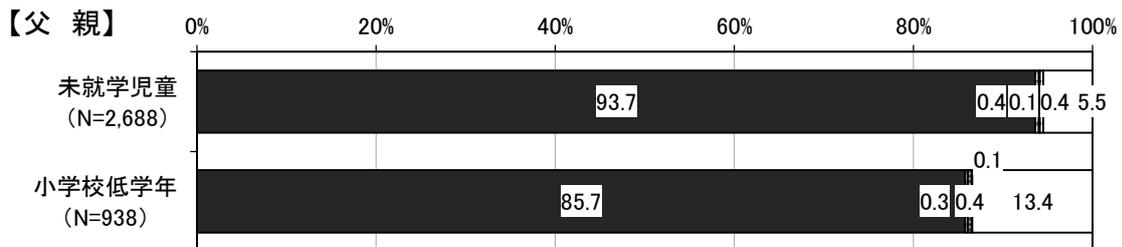
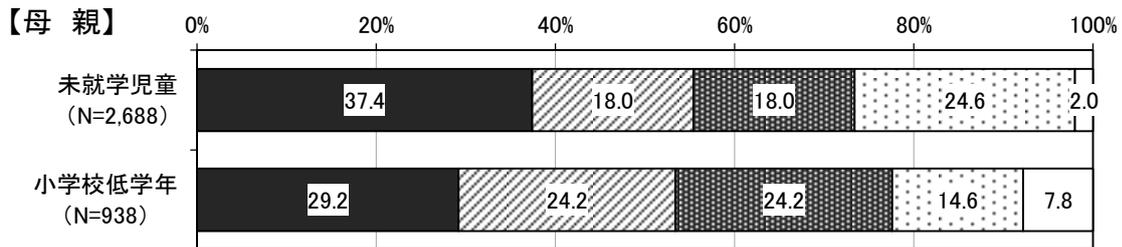
【父親】



*「パート・アルバイト」等の選択肢を合算して再集計

1年後の希望は、母親では、「フルタイム」が未就学児童で37.4%、小学校低学年で29.2%と最も高くなっています。父親では「フルタイム」が未就学児童で93.7%、小学校低学年で85.7%と最も高くなっています。

〈②1年後の希望〉



■フルタイム
 □パート・アルバイト【月64時間以上】
 ▨パート・アルバイト【月64時間未満】
 □専業主婦・主夫
 □不明・無回答

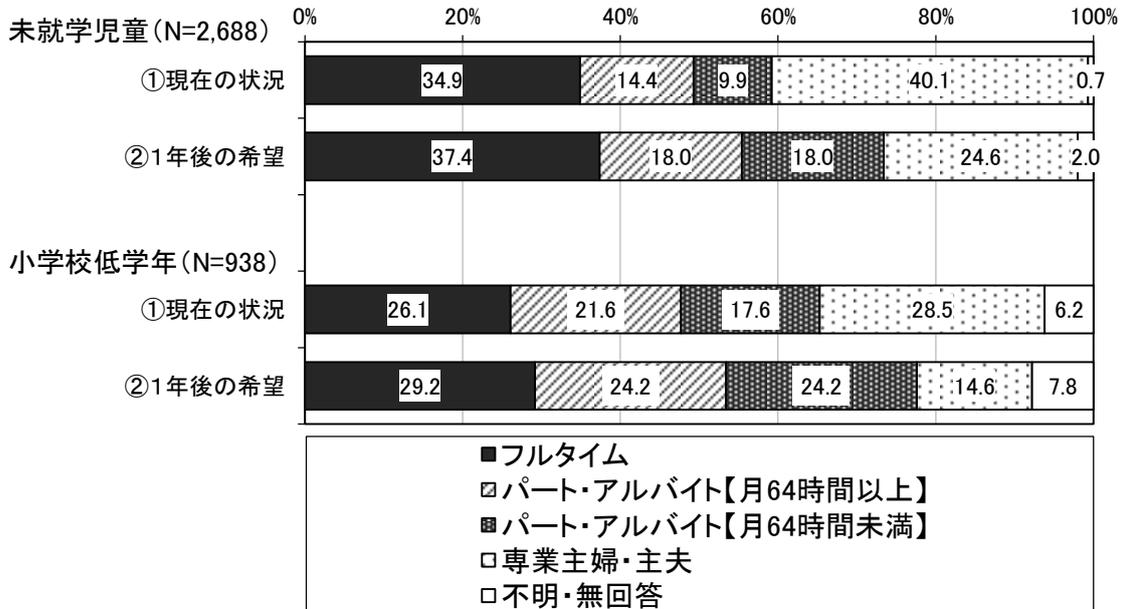
*「フルタイム」: 1週5日程度・1日8時間程度の就労

*「パート・アルバイト」: フルタイム以外の就労

母親の現在の状況と1年後の希望を比較すると、未就学児童、小学校低学年ともに、現在より希望で「専業主婦・主夫」が10ポイント以上低くなっており、「フルタイム」「パート・アルバイト【月64時間以上】」「パート・アルバイト【月64時間未満】」が高くなっています。

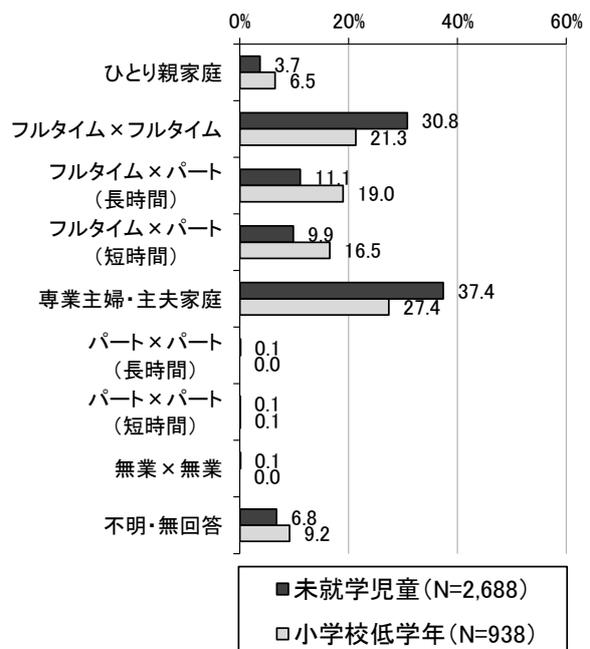
〈母親の①現在の状況と②1年後の希望の比較〉

【母親】



家庭類型別

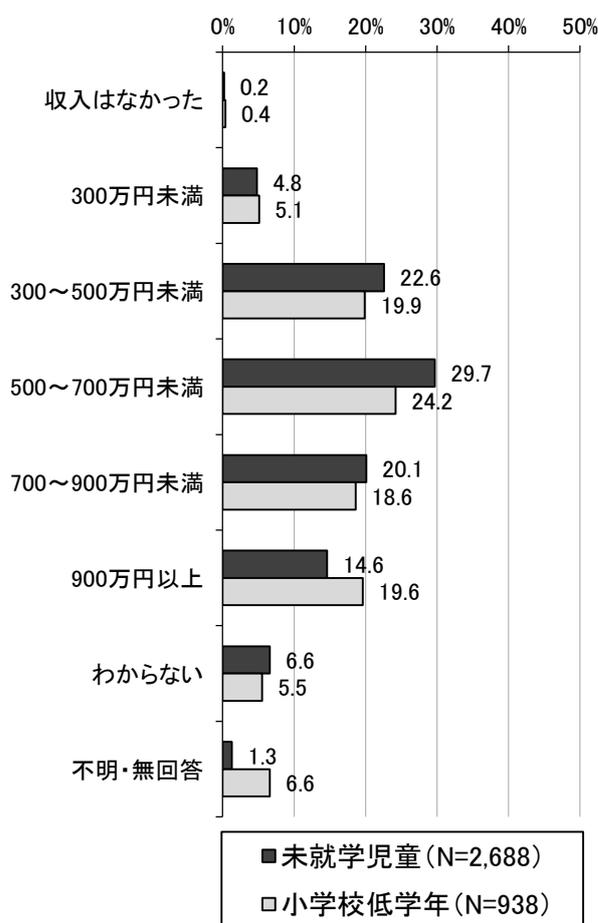
現在の保護者の就労状況を家庭類型別についてみると、未就学児童、小学校低学年ともに「専業主婦・主夫家庭」が最も高く、次いで「フルタイム×フルタイム」、「フルタイム×パート（長時間）」と順位は同じですが、未就学児童に比べて小学校低学年では長時間と短時間を合わせた『フルタイム×パート』が10ポイント以上高くなっています。



* 家庭類型の分類は「市町村における子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等のための手引き」（平成26年1月）に基づいて算出

(10) 世帯の年間総収入（税金等を天引きされる前の金額）

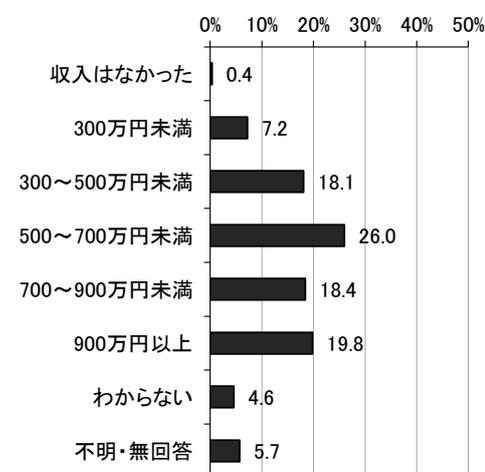
世帯の年間総収入についてみると、「500～700万円未満」が未就学児童で29.7%、小学校低学年で24.2%と最も高く、次いで、「300～500万円未満」が未就学児童で22.6%、小学校低学年で19.9%となっています。



<参考>

「大津市子どもの健康・生活実態調査（結果報告書）」平成30年3月

保護者対象調査 (N=2,297)



家庭類型別

家庭類型別についてみると、[ひとり親家庭]では「300万円未満」が未就学児童、小学校低学年ともに最も高くなっています。また、未就学児童、小学校低学年ともに[フルタイム×フルタイム][フルタイム×パート(長時間)][フルタイム×パート(短時間)]の順に最も高い世帯の年間総収入の区分が減少する傾向にあります。

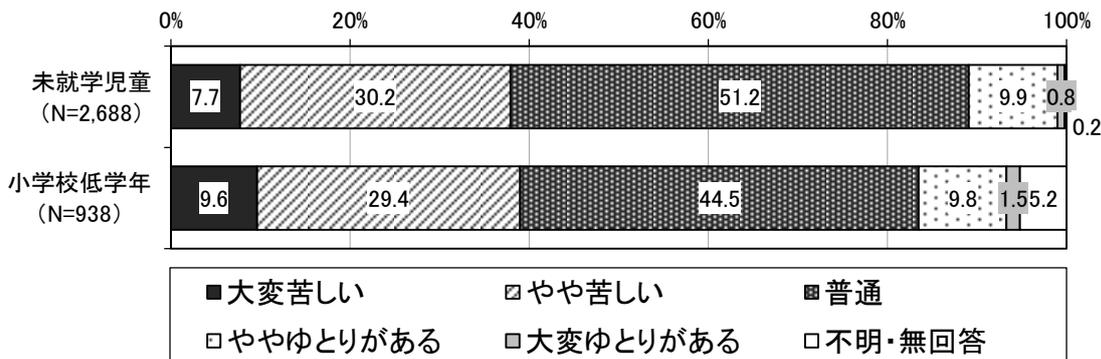
【未就学児童】	ひとり親家庭 (N=100)		フルタイム×フルタイム (N=827)		フルタイム×パート (長時間) (N=299)		フルタイム×パート (短時間) (N=265)		専業主婦・主夫家庭 (N=1,005)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
収入はなかった	4	4.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
300万円未満	40	40.0	6	0.7	13	4.3	11	4.2	46	4.6
300～500万円未満	23	23.0	93	11.2	75	25.1	89	33.6	279	27.8
500～700万円未満	11	11.0	219	26.5	110	36.8	85	32.1	332	33.0
700～900万円未満	4	4.0	244	29.5	56	18.7	36	13.6	169	16.8
900万円以上	4	4.0	225	27.2	23	7.7	18	6.8	98	9.8
わからない	14	14.0	36	4.4	18	6.0	20	7.5	68	6.8
不明・無回答	0	0.0	4	0.5	4	1.3	6	2.3	13	1.3

【小学校低学年】	ひとり親家庭 (N=61)		フルタイム×フルタイム (N=200)		フルタイム×パート (長時間) (N=178)		フルタイム×パート (短時間) (N=155)		専業主婦・主夫家庭 (N=257)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
収入はなかった	3	4.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
300万円未満	26	42.6	4	2.0	4	2.2	2	1.3	8	3.1
300～500万円未満	18	29.5	22	11.0	53	29.8	27	17.4	61	23.7
500～700万円未満	7	11.5	30	15.0	62	34.8	43	27.7	75	29.2
700～900万円未満	0	0.0	56	28.0	30	16.9	40	25.8	39	15.2
900万円以上	0	0.0	78	39.0	18	10.1	26	16.8	57	22.2
わからない	7	11.5	6	3.0	9	5.1	15	9.7	13	5.1
不明・無回答	0	0.0	4	2.0	2	1.1	2	1.3	4	1.6

[未就学児童用調査・小学生用調査/問9 単数回答]

(11) 世帯の経済的な暮らし向き

世帯の経済的な暮らし向きについてみると、「普通」が未就学児童で51.2%、小学校低学年で44.5%と最も高く、次いで、「やや苦しい」が未就学児童で30.2%、小学校低学年で29.4%となっています。



きょうだいの人数別

きょうだいの人数別についてみると、未就学児童では、すべてのきょうだいの人数で「普通」が最も高くなっていますが、[4人以上]では「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合が5割を超えて高くなっています。小学校低学年では、[3人][4人以上]で「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合が5割を超えて高くなっています。

【未就学児童】	1人 (N=809)		2人 (N=1,319)		3人 (N=477)		4人以上 (N=77)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
大変苦しい	52	6.4	83	6.3	58	12.2	15	19.5
やや苦しい	237	29.3	384	29.1	165	34.6	27	35.1
普通	417	51.5	720	54.6	205	43.0	31	40.3
ややゆとりがある	92	11.4	124	9.4	45	9.4	3	3.9
大変ゆとりがある	11	1.4	7	0.5	2	0.4	1	1.3
不明・無回答	0	0.0	1	0.1	2	0.4	0	0.0

【小学校低学年】	1人 (N=153)		2人 (N=475)		3人 (N=226)		4人以上 (N=33)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
大変苦しい	25	16.3	30	6.3	25	11.1	9	27.3
やや苦しい	39	25.5	134	28.2	92	40.7	10	30.3
普通	66	43.1	250	52.6	89	39.4	11	33.3
ややゆとりがある	18	11.8	55	11.6	16	7.1	3	9.1
大変ゆとりがある	5	3.3	6	1.3	3	1.3	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0

世帯の年間総収入別

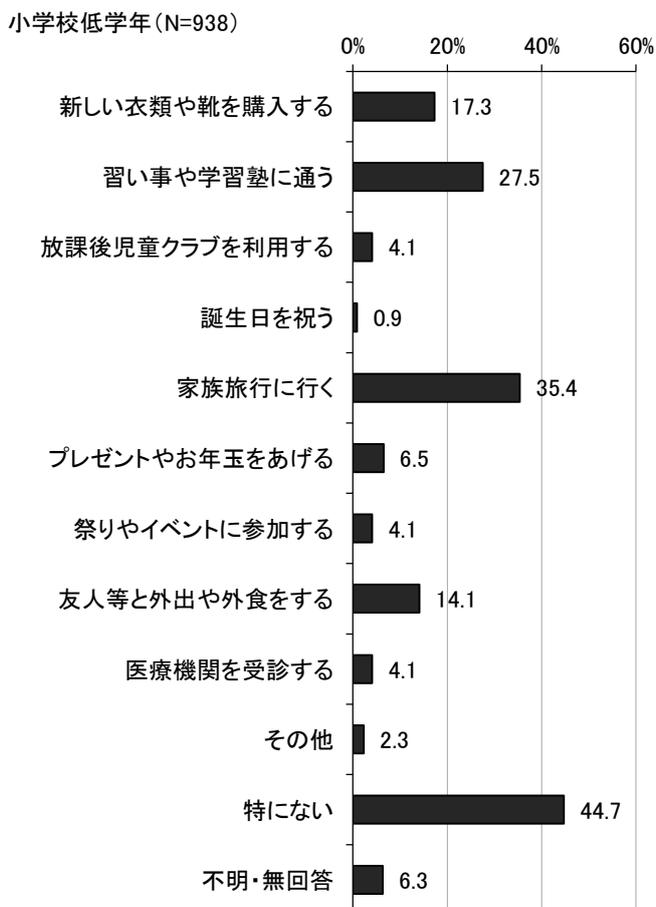
世帯の年間総収入別についてみると、未就学児童、小学校低学年ともに[500～700万円未満]以上で、経済的な暮らし向きが「普通」、[300～500万円未満]以下は、経済的な暮らし向きが「やや苦しい」となっています。

【未就学児童】	収入は なかった (N=6)		300万円未満 (N=130)		300～500万円 未満 (N=608)		500～700万円 未満 (N=798)		700～900万円 未満 (N=540)		900万円以上 (N=393)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
大変苦しい	3	50.0	42	32.3	79	13.0	53	6.6	7	1.3	6	1.5
やや苦しい	2	33.3	70	53.8	296	48.7	244	30.6	104	19.3	36	9.2
普通	1	16.7	18	13.8	222	36.5	466	58.4	358	66.3	195	49.6
ややゆとりがある	0	0.0	0	0.0	11	1.8	33	4.1	71	13.1	138	35.1
大変ゆとりがある	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1	0	0.0	18	4.6
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1	0	0.0	0	0.0

【小学校低学年】	収入は なかった (N=4)		300万円未満 (N=48)		300～500万円 未満 (N=187)		500～700万円 未満 (N=227)		700～900万円 未満 (N=174)		900万円以上 (N=184)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
大変苦しい	0	0.0	20	41.7	40	21.4	11	4.8	9	5.2	3	1.6
やや苦しい	2	50.0	21	43.8	85	45.5	91	40.1	39	22.4	20	10.9
普通	1	25.0	7	14.6	60	32.1	119	52.4	107	61.5	84	45.7
ややゆとりがある	1	25.0	0	0.0	2	1.1	6	2.6	17	9.8	65	35.3
大変ゆとりがある	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.1	12	6.5
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(12) 経済的に断念したこと

経済的に断念したことについてみると、「特にない」が 44.7%と最も高く、次いで、「家族旅行に行く」が 35.4%、「習い事や学習塾に通う」が 27.5%となっています。



経済的な暮らし向き別

経済的な暮らし向き別についてみると、[大変苦しい][やや苦しい]で、経済的に断念したことは「家族旅行に行く」で最も高く、次いで、「習い事や学習塾に通う」「新しい衣類や靴を購入する」となっています。一方、[普通][ややゆとりがある][大変ゆとりがある]では、経済的に断念したことは「特にない」となっています。

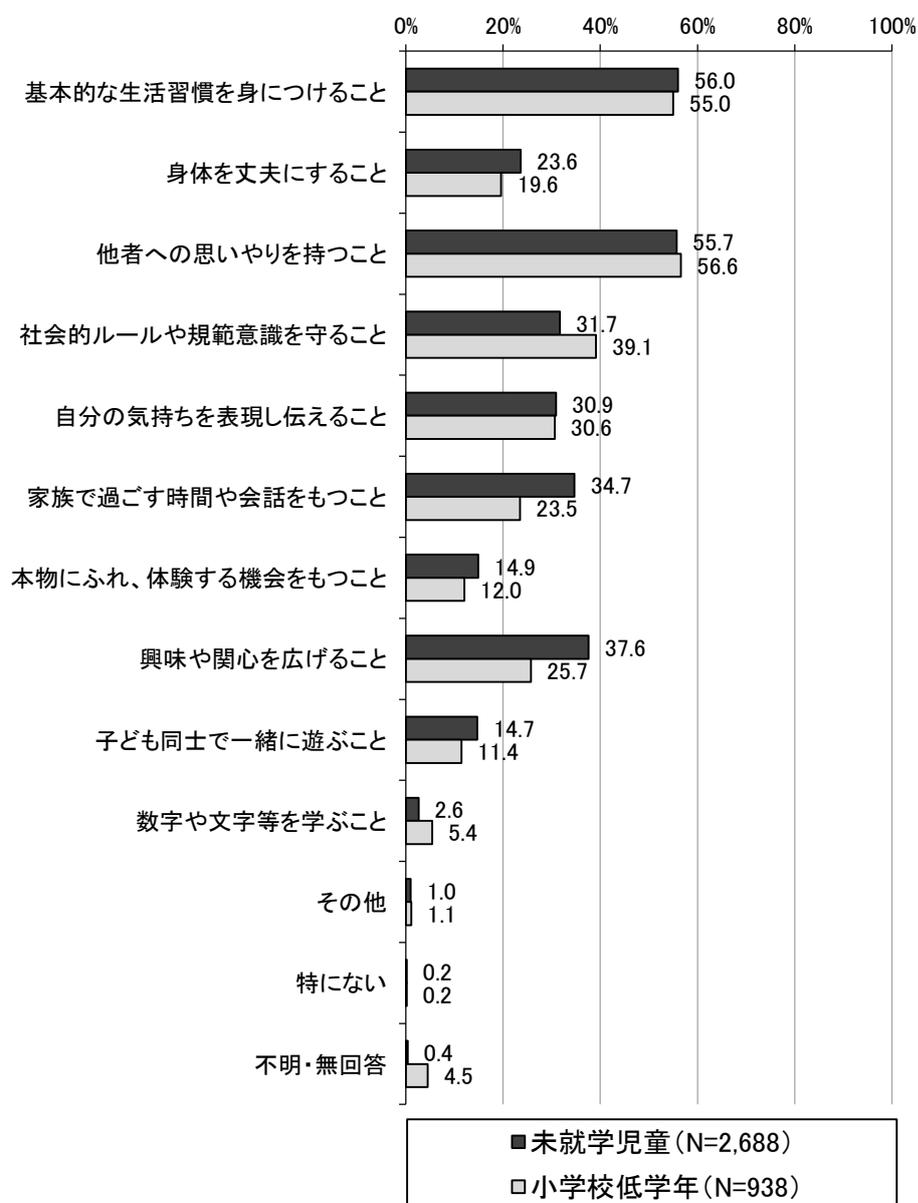
【小学校低学年】	大変苦しい (N=90)		やや苦しい (N=276)		普通 (N=417)		ややゆとりがある (N=92)		大変ゆとりがある (N=14)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
新しい衣類や靴を購入する	47	52.2	90	32.6	23	5.5	2	2.2	0	0.0
習い事や学習塾に通う	57	63.3	143	51.8	56	13.4	2	2.2	0	0.0
放課後児童クラブを利用する	14	15.6	19	6.9	4	1.0	1	1.1	0	0.0
誕生日を祝う	4	4.4	3	1.1	1	0.2	0	0.0	0	0.0
家族旅行に行く	77	85.6	172	62.3	77	18.5	6	6.5	0	0.0
プレゼントやお年玉をあげる	26	28.9	23	8.3	9	2.2	3	3.3	0	0.0
祭りやイベントに参加する	20	22.2	15	5.4	3	0.7	0	0.0	0	0.0
友人等と外出や外食をする	44	48.9	63	22.8	23	5.5	2	2.2	0	0.0
医療機関を受診する	21	23.3	12	4.3	5	1.2	0	0.0	0	0.0
その他	6	6.7	10	3.6	6	1.4	0	0.0	0	0.0
特にない	4	4.4	36	13.0	287	68.8	77	83.7	14	100.0
不明・無回答	0	0.0	1	0.4	7	1.7	3	3.3	0	0.0

2. お子さんの育ちをめぐる環境について

[未就学児童用調査／問 10、小学生用調査／問 11 3つまで回答]

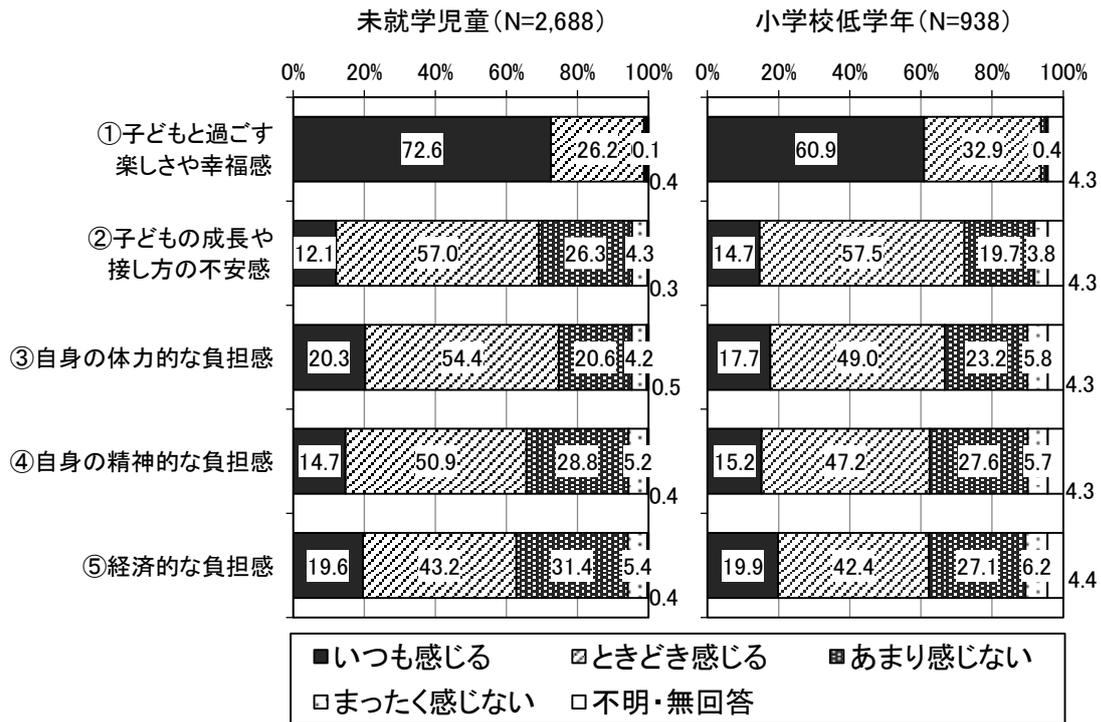
(1) 子育てで大切にしていること

子育てで大切にしていることについてみると、未就学児童で「基本的な生活習慣を身につけること」が56.0%、小学校低学年で「他者への思いやりを持つこと」が56.6%と最も高く、次いで、未就学児童で「他者への思いやりを持つこと」が55.7%、小学校低学年で「基本的な生活習慣を身につけること」が55.0%となっています。



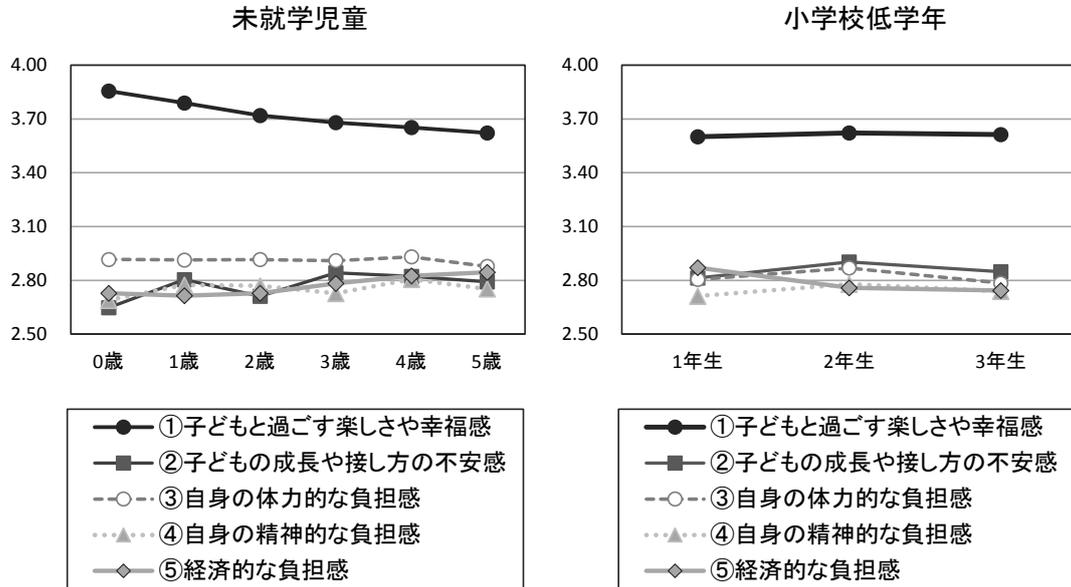
(2) 子育てで感じること

子育てで感じることについてみると、〈①子どもと過ごす楽しさや幸福感〉を「いつも感じる」が未就学児童で 72.6%、小学校低学年で 60.9%が最も高くなっています。〈②子どもの成長や接し方の不安感〉〈③自身の体力的な負担感〉〈④自身の精神的な負担感〉〈⑤経済的な負担感〉について、「いつも感じる」のは、未就学児童で〈③自身の体力的な負担感〉が 20.3%、小学校低学年で〈⑤経済的な負担感〉が 19.9%と②から⑤の他の項目に比べて高くなっています。



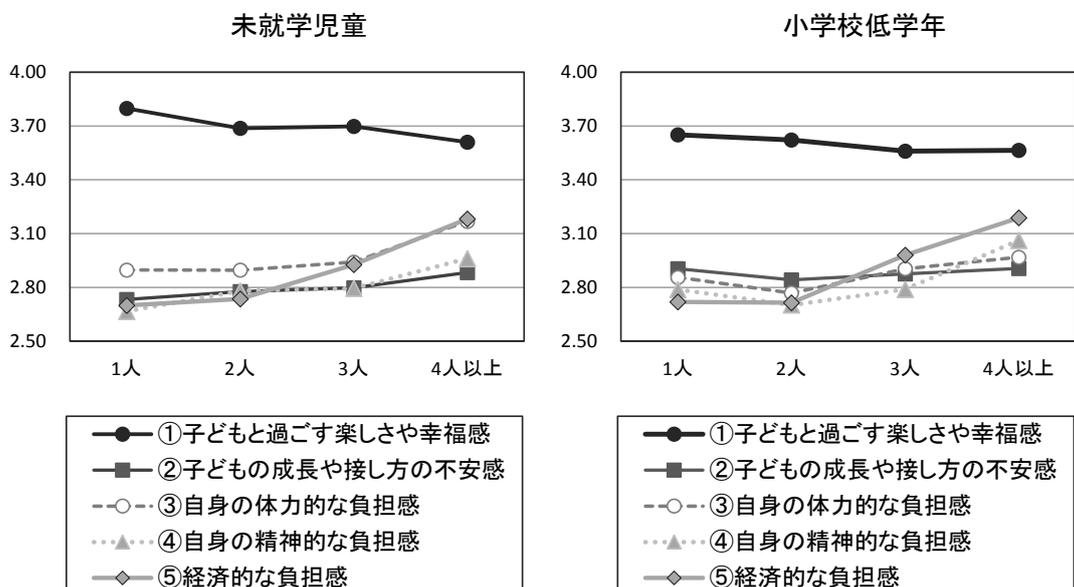
年齢別（点数化）

年齢別についてみると、未就学児童では〈①子どもと過ごす楽しさや幸福感〉は年齢が上がるにつれ点数が低く（幸福感が低く）なっていますが、それ以外の項目では年齢との相関関係は見られません。また、小学校低学年でも年齢との相関関係は見られません。



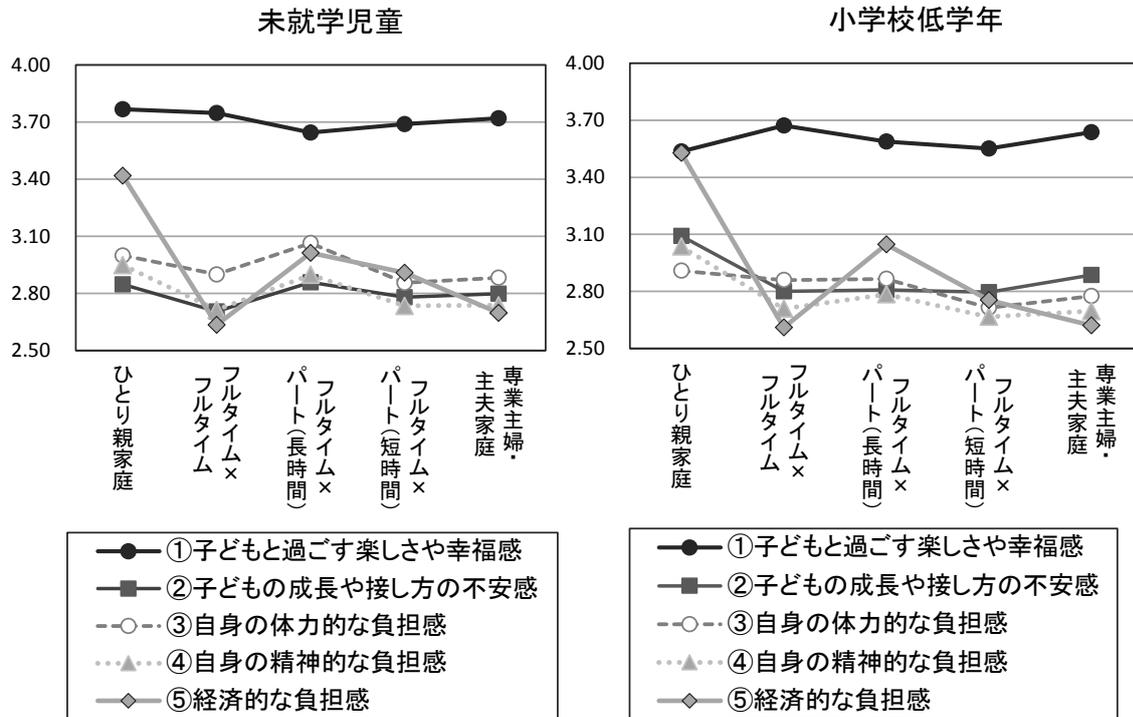
きょうだいの人数別（点数化）

きょうだいの人数別についてみると、未就学児童では〈①子どもと過ごす楽しさや幸福感〉はきょうだいの人数が多くなるにつれ点数が低く（幸福感が低く）、〈②子どもの成長や接し方の不安感〉〈③自身の体力的な負担感〉〈④自身の精神的な負担感〉〈⑤経済的な負担感〉はきょうだいの人数が多くなるにつれ点数が高く（不安感、負担感が高く）なっています。小学校低学年においても〈②子どもの成長や接し方の不安感〉〈③自身の体力的な負担感〉を除いて、同様の傾向が見られます。



家庭類型別（点数化）

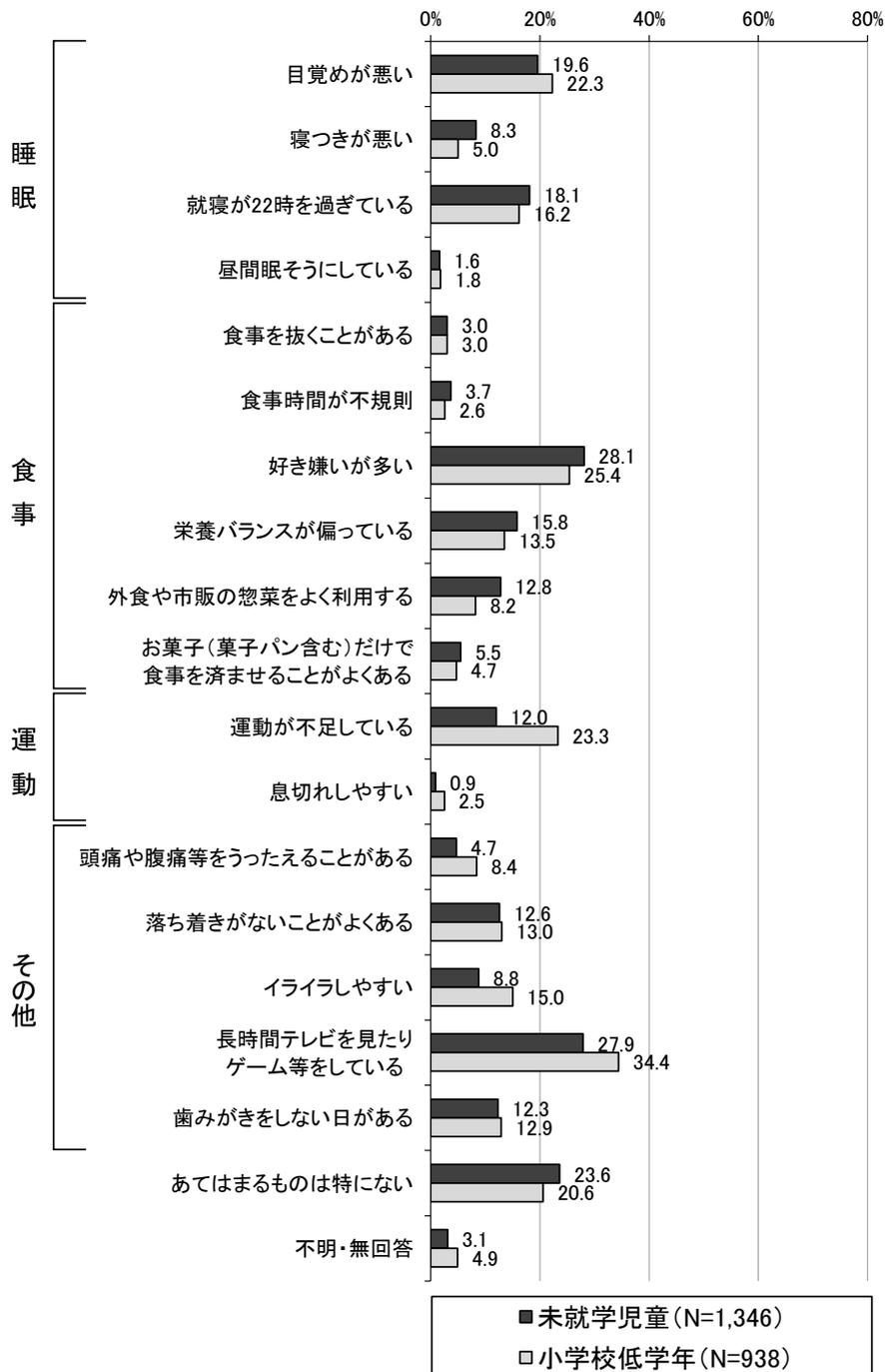
家庭類型別についてみると、未就学児童では、〈③自身の体力的な負担感〉を除くすべての項目で〔ひとり親家庭〕の点数が最も高くなっており、小学校低学年でも〈①子どもと過ごす楽しさや幸福感〉を除くすべての項目で〔ひとり親家庭〕の点数が最も高くなっています。特に、〔ひとり親家庭〕では〈⑤経済的な負担感〉の点数が高くなっています。



未就学児童用調査は、お子さんが3歳以上（平成30年4月1日時点）の方

（3）普段の食事や睡眠等の生活習慣

普段の食事や睡眠等の生活習慣についてみると、未就学児童で「好き嫌いが多い」が28.1%、小学校低学年で「長時間テレビを見たりゲーム等をしている」が34.4%と最も高く、次いで、未就学児童で「長時間テレビを見たりゲーム等をしている」が27.9%、小学校低学年で「好き嫌いが多い」が25.4%となっています。また、未就学児童に比べて小学校低学年では「運動が不足している」が10ポイント以上高くなっています。

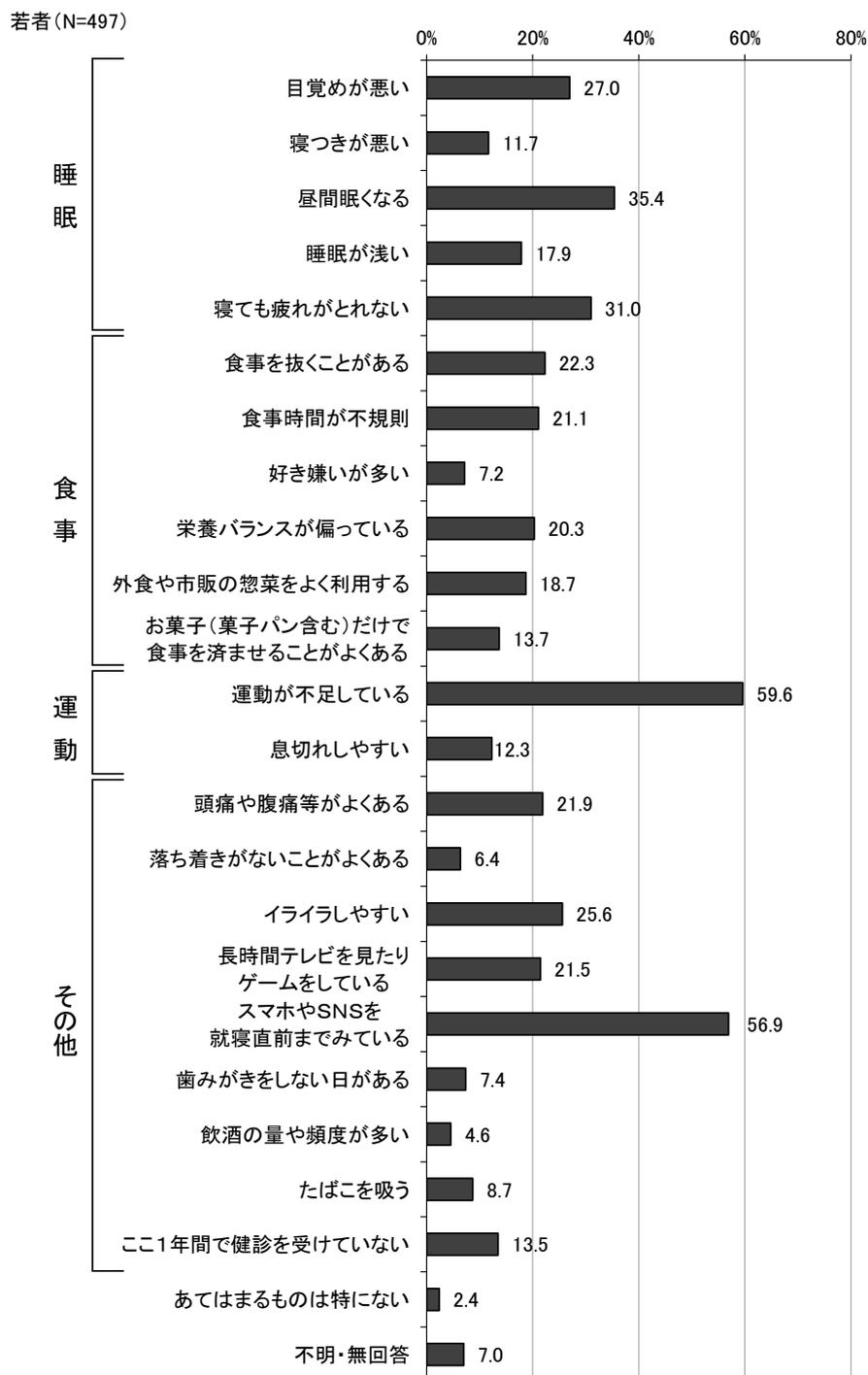


<参考>

「子ども・若者に関する調査結果(若者用調査)」(本報告書内)

問7 あなたの普段の食事や睡眠等の生活習慣について、あてはまるものはありますか。

未就学児童から小学校低学年にかけて高くなっていた「運動が不足している」が、若者用調査では最も高い項目となっています。全体的に若者の方が課題となるような生活習慣、各項目の割合が高くなっています。



年齢別

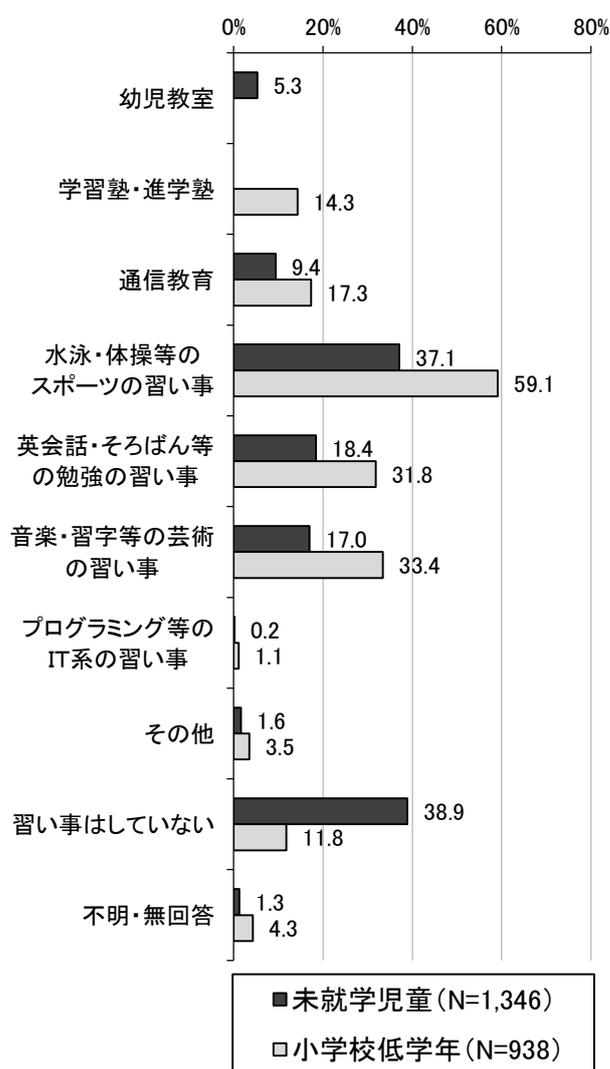
年齢別についてみると、未就学児童で〔3歳〕は、「あてはまるものは特にない」、〔4歳〕は、「好き嫌いが多い」、〔5歳〕は、「長時間テレビを見たりゲーム等をしている」が高くなっており、小学校低学年では、すべての学年で、「長時間テレビを見たりゲーム等をしている」が高くなっています。

【未就学児童】	3歳 (N=455)		4歳 (N=428)		5歳 (N=463)		【小学校低学年】	1年生 (N=293)		2年生 (N=274)		3年生 (N=299)	
	件数	%	件数	%	件数	%		件数	%	件数	%	件数	%
目覚めが悪い	82	18.0	87	20.3	95	20.5	目覚めが悪い	64	21.8	65	23.7	66	22.1
寝つきが悪い	58	12.7	31	7.2	23	5.0	寝つきが悪い	11	3.8	17	6.2	15	5.0
就寝が22時を過ぎている	91	20.0	73	17.1	80	17.3	就寝が22時を過ぎている	39	13.3	49	17.9	52	17.4
昼間眠そうにしている	4	0.9	12	2.8	5	1.1	昼間眠そうにしている	5	1.7	3	1.1	6	2.0
食事を抜くことがある	16	3.5	17	4.0	8	1.7	食事を抜くことがある	7	2.4	9	3.3	10	3.3
食事時間が不規則	20	4.4	18	4.2	12	2.6	食事時間が不規則	7	2.4	9	3.3	6	2.0
好き嫌いが多い	120	26.4	130	30.4	128	27.6	好き嫌いが多い	86	29.4	73	26.6	60	20.1
栄養バランスが偏っている	82	18.0	73	17.1	58	12.5	栄養バランスが偏っている	45	15.4	44	16.1	27	9.0
外食や市販の惣菜をよく利用する	63	13.8	49	11.4	60	13.0	外食や市販の惣菜をよく利用する	20	6.8	23	8.4	27	9.0
お菓子だけで食事を済ませることがよくある	25	5.5	24	5.6	25	5.4	お菓子だけで食事を済ませることがよくある	10	3.4	14	5.1	17	5.7
運動が不足している	46	10.1	53	12.4	62	13.4	運動が不足している	61	20.8	67	24.5	70	23.4
息切れしやすい	3	0.7	4	0.9	5	1.1	息切れしやすい	5	1.7	5	1.8	10	3.3
頭痛や腹痛等をうったえることがある	13	2.9	22	5.1	28	6.0	頭痛や腹痛等をうったえることがある	20	6.8	26	9.5	29	9.7
落ち着きがないことがよくある	63	13.8	47	11.0	59	12.7	落ち着きがないことがよくある	40	13.7	38	13.9	35	11.7
イライラしやすい	43	9.5	37	8.6	39	8.4	イライラしやすい	42	14.3	39	14.2	45	15.1
長時間テレビを見たりゲーム等をしている	113	24.8	114	26.6	149	32.2	長時間テレビを見たりゲーム等をしている	92	31.4	107	39.1	98	32.8
歯みがきをしない日がある	66	14.5	45	10.5	54	11.7	歯みがきをしない日がある	28	9.6	38	13.9	45	15.1
あてはまるものは特にない	127	27.9	90	21.0	100	21.6	あてはまるものは特にない	67	22.9	50	18.2	65	21.7
不明・無回答	13	2.9	19	4.4	10	2.2	不明・無回答	16	5.5	8	2.9	19	6.4

未就学児童用調査は、お子さんが3歳以上（平成30年4月1日時点）の方

（４）現在の習い事の利用状況

現在の習い事の利用状況についてみると、未就学児童で「習い事はしていない」が38.9%、小学校低学年で「水泳・体操等のスポーツの習い事」が59.1%と最も高く、次いで、未就学児童で「水泳・体操等のスポーツの習い事」が37.1%、「英会話・そろばん等の勉強の習い事」が18.4%、小学校低学年で「音楽・習字等の芸術の習い事」が33.4%、「英会話・そろばん等の勉強の習い事」が31.8%となっています。



* 未就学児童用調査では「学習塾・進学塾」の項目は設問なし
 * 小学生用調査では「幼児教室」の項目は設問なし

年齢別

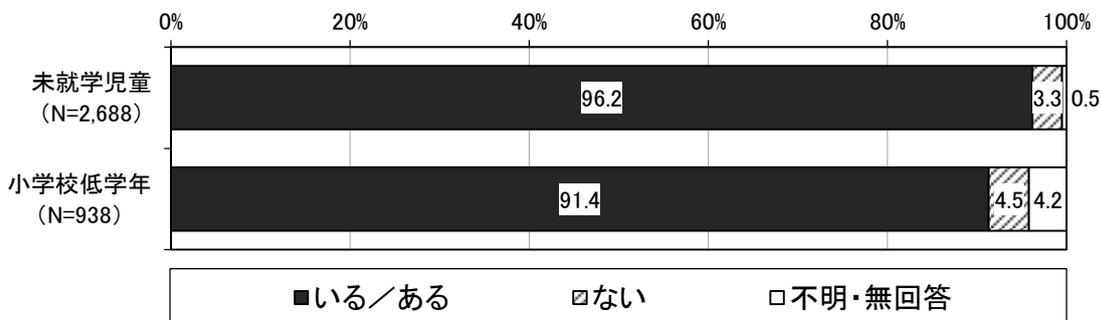
年齢別についてみると、未就学児童で〔3歳〕〔4歳〕は「習い事はしていない」が、〔5歳〕および、小学校低学年すべてで「水泳・体操等のスポーツの習い事」が最も高くなっています。

【未就学児童】	3歳 (N=455)		4歳 (N=428)		5歳 (N=463)		【小学校低学年】	1年生 (N=293)		2年生 (N=274)		3年生 (N=299)	
	件数	%	件数	%	件数	%		件数	%	件数	%	件数	%
幼児教室	18	4.0	19	4.4	35	7.6	幼児教室						
学習塾・進学塾							学習塾・進学塾	31	10.6	42	15.3	53	17.7
通信教育	39	8.6	39	9.1	49	10.6	通信教育	51	17.4	45	16.4	53	17.7
水泳・体操等の スポーツの習い事	115	25.3	159	37.1	225	48.6	水泳・体操等の スポーツの習い事	164	56.0	175	63.9	172	57.5
英会話・そろばん等 の勉強の習い事	63	13.8	70	16.4	114	24.6	英会話・そろばん等 の勉強の習い事	89	30.4	99	36.1	88	29.4
音楽・習字等の芸術 の習い事	51	11.2	72	16.8	106	22.9	音楽・習字等の芸術 の習い事	88	30.0	89	32.5	116	38.8
プログラミング等の IT系の習い事	0	0.0	1	0.2	2	0.4	プログラミング等の IT系の習い事	3	1.0	4	1.5	3	1.0
その他	2	0.4	6	1.4	14	3.0	その他	10	3.4	13	4.7	7	2.3
習い事はしていない	236	51.9	167	39.0	121	26.1	習い事はしていない	44	15.0	22	8.0	35	11.7
不明・無回答	5	1.1	11	2.6	2	0.4	不明・無回答	15	5.1	7	2.6	15	5.0

〔未就学児童用調査・小学生用調査／問 14 単数回答〕

（５）気軽に相談できる人や場所の有無

子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所の有無についてみると、「いる／ある」が未就学児童で96.2%、小学校低学年で91.4%となっています。



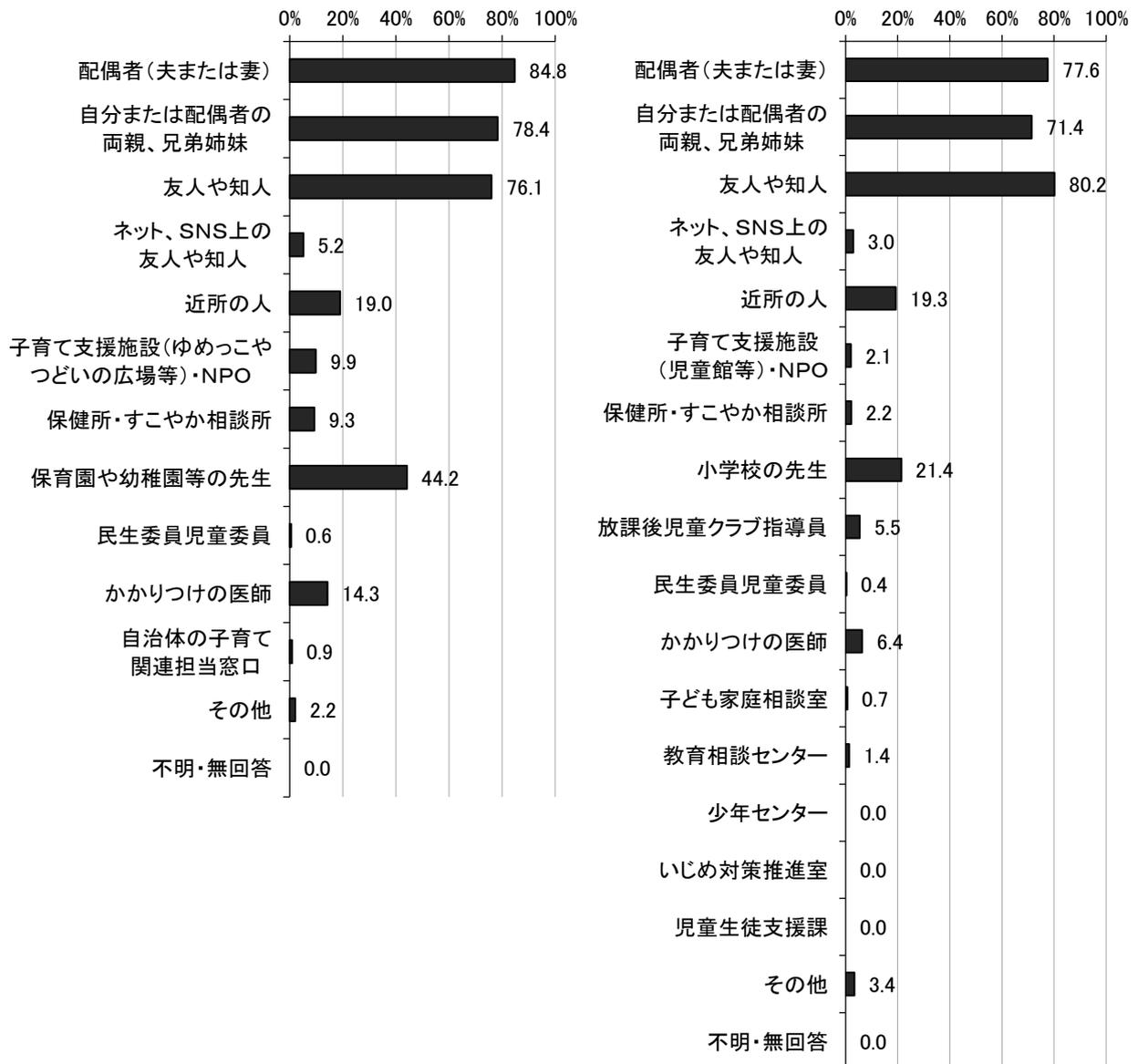
(5) で「いる／ある」を選んだ方

(6) 相談先

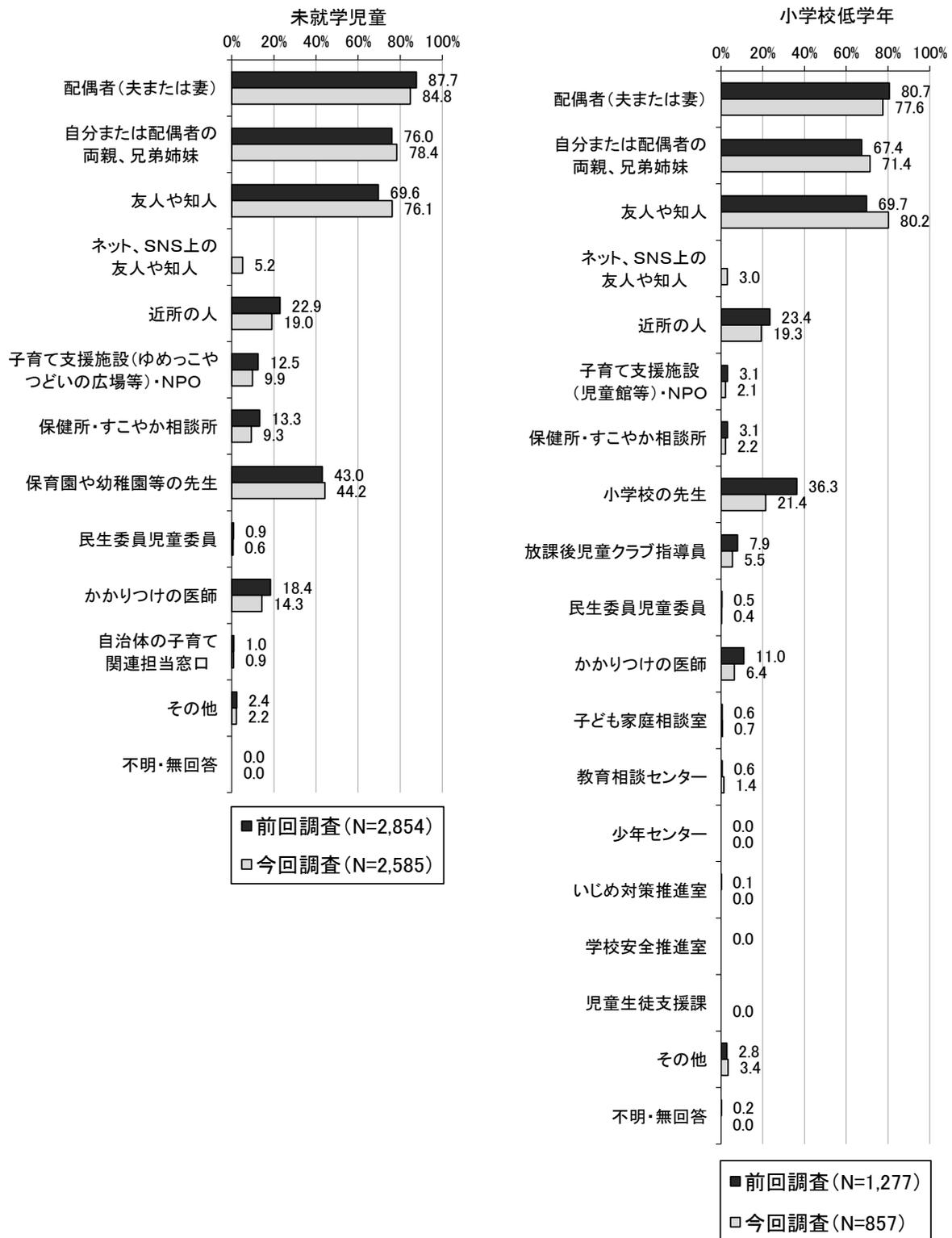
子育てをする上での相談先についてみると、未就学児童で「配偶者（夫または妻）」が 84.8%、小学校低学年で「友人や知人」が 80.2%と最も高く、次いで、未就学児童で「自分または配偶者の両親、兄弟姉妹」が 78.4%、「友人や知人」が 76.1%、小学校低学年で「配偶者（夫または妻）」が 77.6%、「自分または配偶者の両親、兄弟姉妹」が 71.4%となっています。

未就学児童 (N=2,585)

小学校低学年 (N=857)



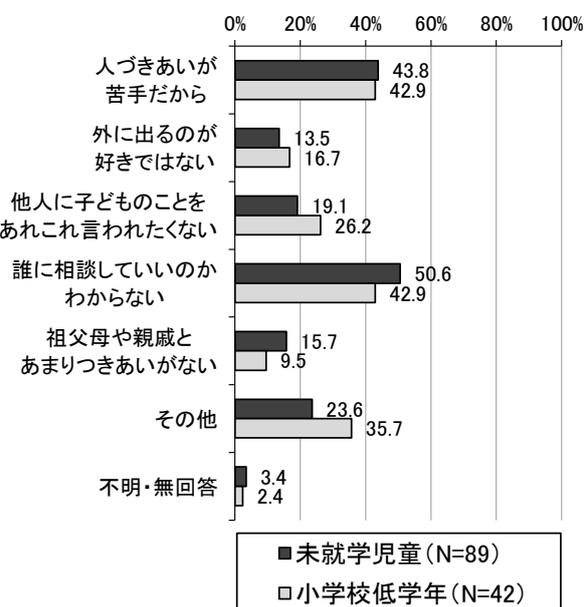
経年比較についてみると、未就学児童では前回調査、今回調査ともに「配偶者（夫または妻）」が最も高くなっています。小学校低学年では前回調査、今回調査の上位の順位が変動し、「小学校の先生」は10ポイント以上低く、「友人や知人」は10ポイント以上高くなっています。



(5) で「ない」を選んだ方

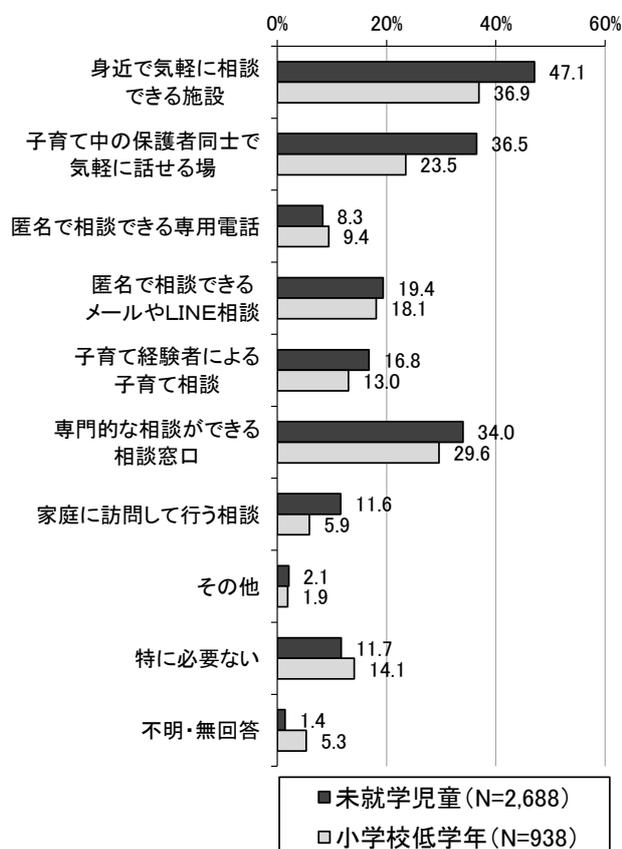
(6) - 1 相談先がない(相談しない)理由

子育てをする上での相談先がない(相談しない)理由についてみると、未就学児童で「誰に相談していいのかわからない」が50.6%と最も高く、次いで、「人づきあいが苦手だから」が43.8%となっています。小学校低学年で「人づきあいが苦手だから」「誰に相談していいのかわからない」がそれぞれ42.9%と最も高くなっています。

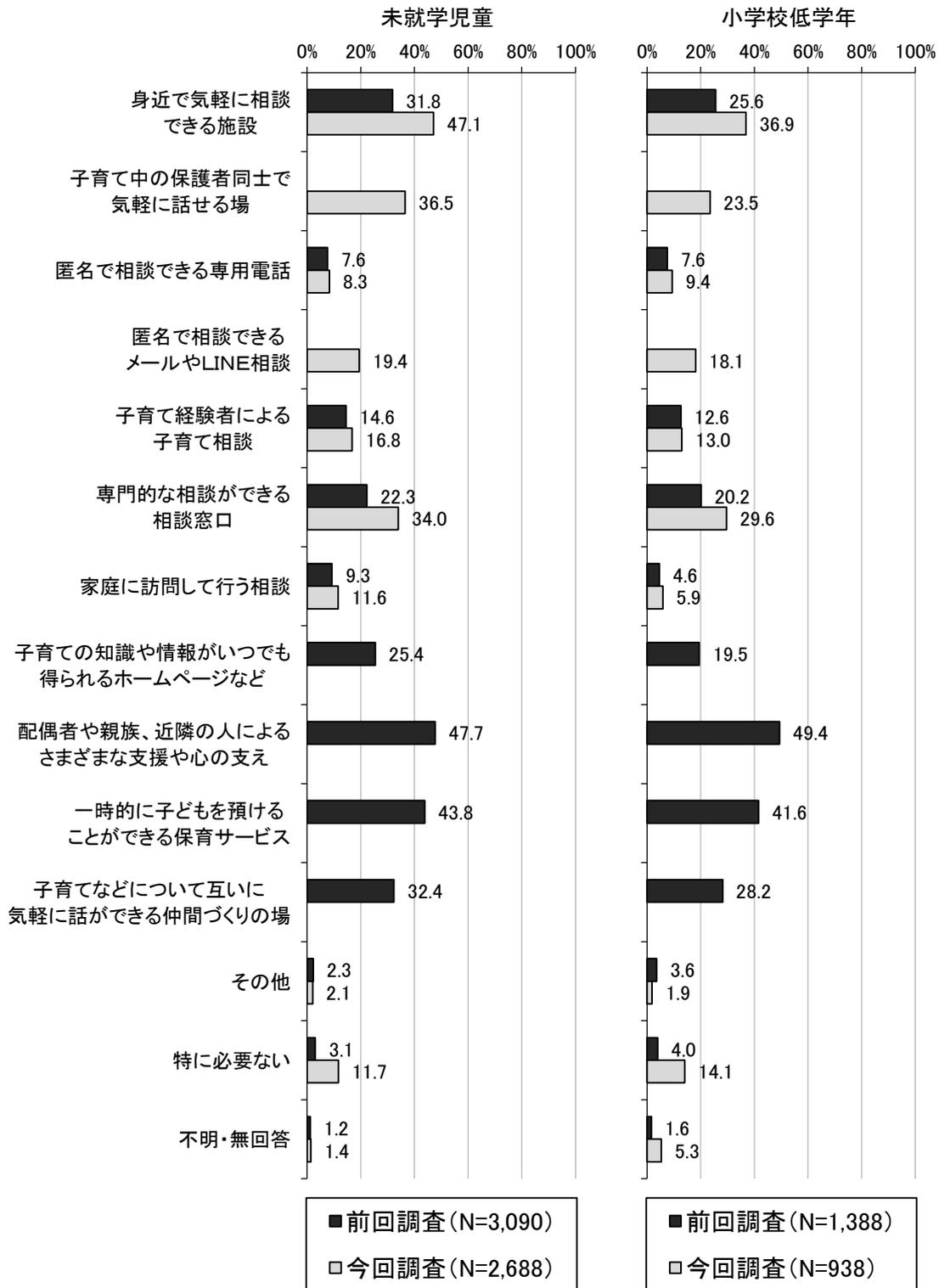


(7) 子育てで不安や悩みを感じたときに、どのような相談先があればよい、または、よかったと思うか

子育てで不安や悩みを感じたときに、どのような相談先があればよい、または、よかったと思うかについてみると、「身近で気軽に相談できる施設」が未就学児童で47.1%、小学校低学年で36.9%と最も高く、次いで、未就学児童で「子育て中の保護者同士で気軽に話せる場」が36.5%、「専門的な相談ができる相談窓口」が34.0%、小学校低学年で「専門的な相談ができる相談窓口」が29.6%、「子育て中の保護者同士で気軽に話せる場」が23.5%となっています。

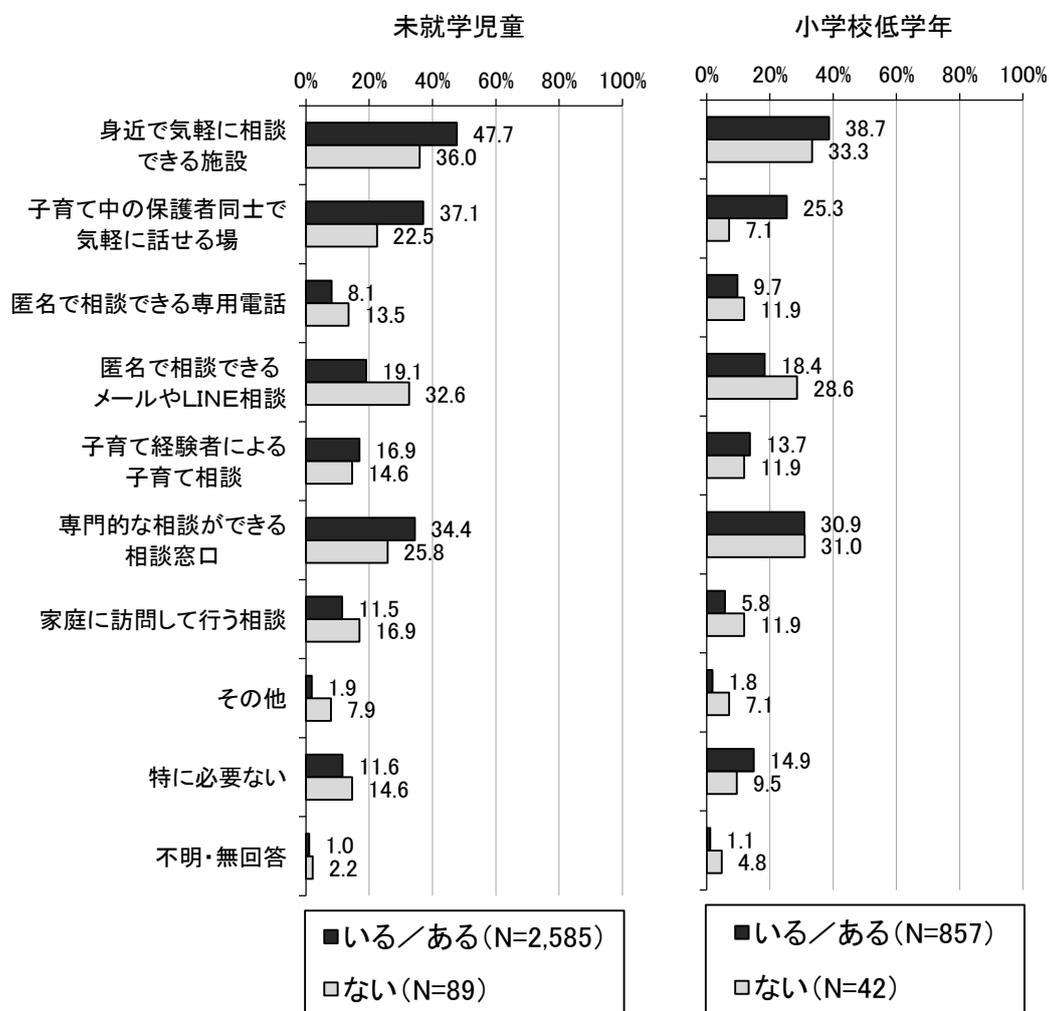


経年比較については選択肢が異なるため、単純な比較は難しくなっていますが、「身近で気軽に相談できる施設」「専門的な相談ができる相談窓口」が前回調査と比べて高くなっています。



相談できる人等の有無別

相談できる人等の有無別についてみると、未就学児童、小学校低学年ともに相談できる人等が[いる／ある]人に比べて[ない]人では、「匿名で相談できる専用電話」「匿名で相談できるメールやLINE相談」「家庭に訪問して行う相談」の割合が高くなっています。

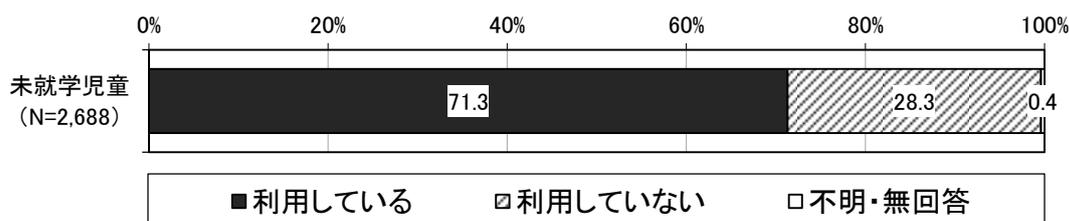


3. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

〔未就学児童用調査／問 16 単数回答〕

(1) 現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無

現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が71.3%、「利用していない」が28.3%となっています。

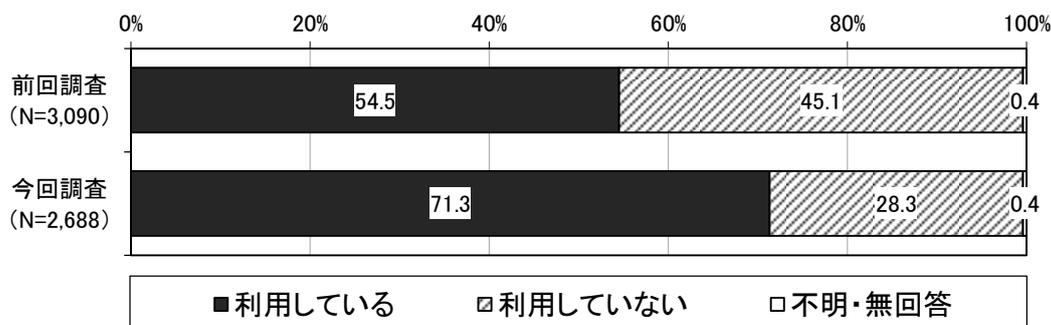


*ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、調査票「問 16-1」に示す事業が含まれます

経年比較

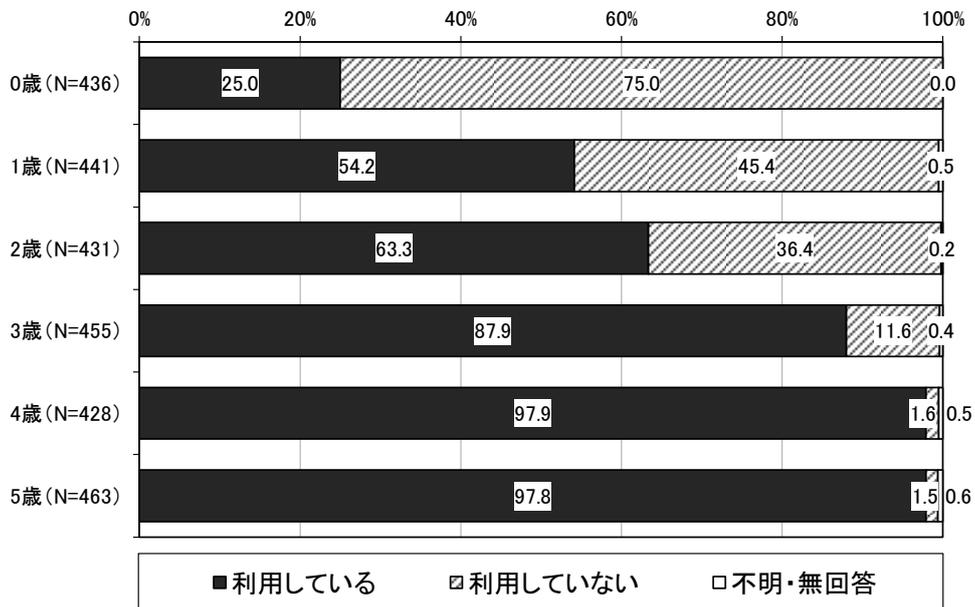
〔前回調査 未就学児童用調査／問 14〕

経年比較についてみると、前回調査、今回調査ともに「利用している」が最も高くなっていますが、前回調査に比べ10ポイント以上高くなっています。



年齢別

年齢別についてみると、年齢が上がるにつれて、「利用している」が高くなっています。



[未就学児童用調査／問 16－1 複数回答]

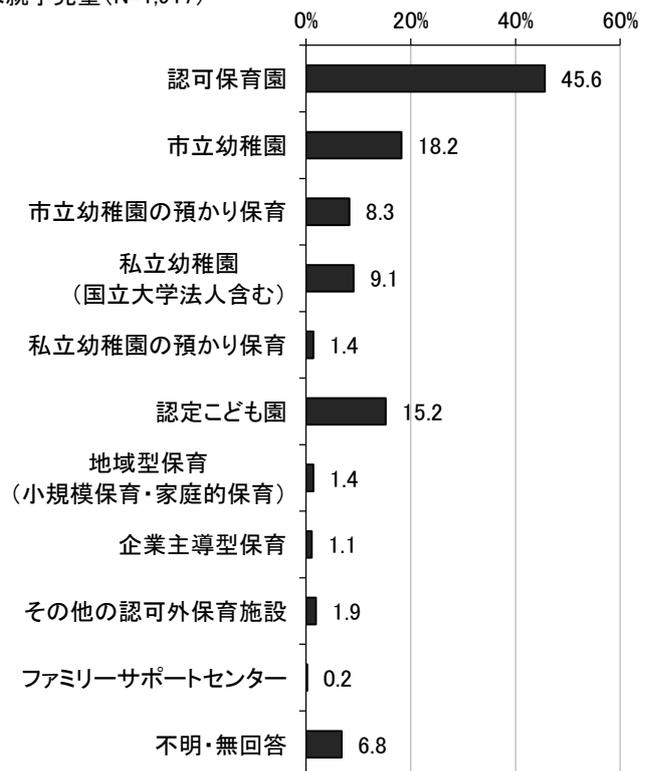
(1) で「利用している」を選んだ方

(1)－1 平日に利用している教育・保育事業

平日に利用している教育・保育事業についてみると、「認可保育園」が 45.6%と最も高く、次いで、「市立幼稚園」が 18.2%、「認定こども園」が 15.2%となっています。

〈①事業名〉

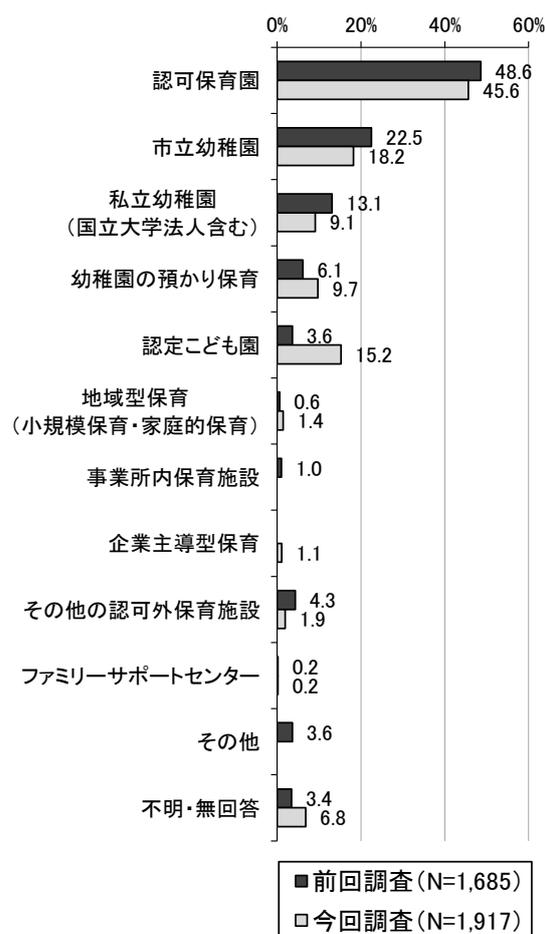
未就学児童 (N=1,917)



経年比較

〔前回調査 未就学児童用調査・小学生用調査／問 14-1〕

経年比較についてみると、前回調査、今回調査ともに「認可保育園」が最も高くなっています。前回調査と比べて「市立幼稚園」「私立幼稚園（国立大学法人含む）」は低く、「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」は高くなっています。



* 前回調査と選択肢が一部異なるものは合算等の処理を行っている

年齢別

年齢別についてみると、すべての年齢で「認可保育園」が最も高く、次いで、[0歳] から [3歳] では「認定こども園」、[4歳] [5歳] では「市立幼稚園」となっています。

【未就学児童】	0歳 (N=109)		1歳 (N=239)		2歳 (N=273)		3歳 (N=400)		4歳 (N=419)		5歳 (N=453)	
	件数	%										
認可保育園	61	56.0	148	61.9	161	59.0	164	41.0	154	36.8	181	40.0
市立幼稚園	3	2.8	9	3.8	15	5.5	64	16.0	120	28.6	132	29.1
市立幼稚園の預かり保育	1	0.9	2	0.8	1	0.4	20	5.0	50	11.9	83	18.3
私立幼稚園 (国立大学法人含む)	3	2.8	2	0.8	13	4.8	55	13.8	53	12.6	47	10.4
私立幼稚園の預かり保育	1	0.9	2	0.8	2	0.7	6	1.5	5	1.2	10	2.2
認定こども園	15	13.8	32	13.4	42	15.4	75	18.8	68	16.2	56	12.4
地域型保育 (小規模保育等)	5	4.6	11	4.6	10	3.7	1	0.3	0	0.0	0	0.0
企業主導型保育	9	8.3	6	2.5	3	1.1	1	0.3	1	0.2	1	0.2
その他の認可外保育施設	4	3.7	7	2.9	10	3.7	9	2.3	1	0.2	5	1.1
ファミリーサポートセンター	1	0.9	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0	1	0.2
不明・無回答	9	8.3	21	8.8	18	6.6	30	7.5	21	5.0	26	5.7

* 選択肢は一部省略

学区別

学区別についてみると、学区によりばらつきはありますが、全体的に「認可保育園」が高くなっています。

【未就学児童】	小松 (N=22)		木戸 (N=27)		和邇 (N=38)		小野 (N=8)		葛川 (N=0)		伊香立 (N=7)		真野 (N=39)		真野北 (N=20)		堅田 (N=68)		仰木 (N=6)		仰木の里 (N=16)		仰木の里東 (N=66)		雄琴 (N=53)			
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
認可保育園	5	22.7	13	48.1	14	36.8	4	50.0	0	0.0	2	28.6	15	38.5	5	25.0	22	32.4	1	16.7	6	37.5	37	56.1	22	41.5		
市立幼稚園	14	63.6	10	37.0	13	34.2	2	25.0	0	0.0	4	57.1	10	25.6	6	30.0	5	7.4	1	16.7	5	31.3	10	15.2	14	26.4		
市立幼稚園の預かり保育	6	27.3	7	25.9	6	15.8	2	25.0	0	0.0	1	14.3	5	12.8	2	10.0	3	4.4	1	16.7	0	0.0	8	12.1	9	17.0		
私立幼稚園(国立大学法人含む)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.3	4	6.1	5	9.4		
私立幼稚園の預かり保育	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.5	2	3.8		
認定こども園	0	0.0	0	0.0	4	10.5	1	12.5	0	0.0	1	14.3	8	20.5	6	30.0	34	50.0	0	0.0	2	12.5	7	10.6	2	3.8		
地域型保育(小規模保育等)	0	0.0	1	3.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	10.0	1	1.5	0	0.0	0	0.0	1	1.5	0	0.0		
企業主導型保育	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.5	0	0.0	1	6.3	0	0.0	1	1.9		
その他の認可外保育施設	1	4.5	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	1	1.5	1	1.9		
ファミリーサポートセンター	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	2	9.1	4	14.8	6	15.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	10.3	1	5.0	5	7.4	2	33.3	1	6.3	6	9.1	5	9.4		

【未就学児童】	日吉台 (N=15)		坂本 (N=45)		下阪本 (N=66)		唐崎 (N=86)		滋賀 (N=100)		山中比叡平 (N=6)		藤尾 (N=23)		長等 (N=71)		逢坂 (N=57)		中央 (N=40)		平野 (N=136)		膳所 (N=96)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
認可保育園	8	53.3	28	62.2	34	51.5	46	53.5	44	44.0	4	66.7	1	4.3	30	42.3	22	38.6	16	40.0	71	52.2	44	45.8	
市立幼稚園	3	20.0	7	15.6	11	16.7	15	17.4	15	15.0	1	16.7	1	4.3	12	16.9	8	14.0	8	20.0	11	8.1	7	7.3	
市立幼稚園の預かり保育	2	13.3	5	11.1	5	7.6	6	7.0	4	4.0	0	0.0	0	0.0	5	7.0	3	5.3	5	12.5	4	2.9	5	5.2	
私立幼稚園(国立大学法人含む)	1	6.7	1	2.2	13	19.7	7	8.1	14	14.0	0	0.0	5	21.7	9	12.7	4	7.0	6	15.0	24	17.6	20	20.8	
私立幼稚園の預かり保育	0	0.0	1	2.2	2	3.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0	1	4.3	1	1.4	0	0.0	1	2.5	7	5.1	6	6.3	
認定こども園	2	13.3	1	2.2	5	7.6	12	14.0	15	15.0	0	0.0	11	47.8	9	12.7	15	26.3	8	20.0	19	14.0	17	17.7	
地域型保育(小規模保育等)	0	0.0	3	6.7	1	1.5	0	0.0	2	2.0	0	0.0	0	0.0	3	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
企業主導型保育	0	0.0	1	2.2	0	0.0	0	0.0	2	2.0	0	0.0	1	4.3	1	1.4	1	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
その他の認可外保育施設	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.2	4	4.0	0	0.0	2	8.7	3	4.2	0	0.0	1	2.5	3	2.2	2	2.1	
ファミリーサポートセンター	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.5	1	0.7	0	0.0	
不明・無回答	1	6.7	3	6.7	2	3.0	5	5.8	6	6.0	1	16.7	2	8.7	4	5.6	6	10.5	1	2.5	7	5.1	3	3.1	

【未就学児童】	富士見 (N=51)		晴嵐 (N=100)		石山 (N=55)		南郷 (N=49)		大石 (N=18)		田上 (N=31)		上田上 (N=7)		青山 (N=92)		瀬田 (N=129)		瀬田北 (N=104)		瀬田南 (N=80)		瀬田東 (N=74)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
認可保育園	13	25.5	47	47.0	21	38.2	19	38.8	5	27.8	15	48.4	6	85.7	34	37.0	78	60.5	68	65.4	30	37.5	39	52.7	
市立幼稚園	8	15.7	13	13.0	8	14.5	10	20.4	7	38.9	7	22.6	1	14.3	32	34.8	20	15.5	17	16.3	20	25.0	9	12.2	
市立幼稚園の預かり保育	5	9.8	8	8.0	6	10.9	5	10.2	3	16.7	1	3.2	0	0.0	16	17.4	5	3.9	4	3.8	9	11.3	3	4.1	
私立幼稚園(国立大学法人含む)	4	7.8	15	15.0	1	1.8	5	10.2	0	0.0	1	3.2	0	0.0	8	8.7	7	5.4	7	6.7	7	8.8	4	5.4	
私立幼稚園の預かり保育	0	0.0	1	1.0	1	1.8	1	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
認定こども園	23	45.1	15	15.0	15	27.3	10	20.4	3	16.7	2	6.5	0	0.0	3	3.3	11	8.5	3	2.9	12	15.0	10	13.5	
地域型保育(小規模保育等)	0	0.0	1	1.0	0	0.0	1	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1	6	4.7	0	0.0	1	1.3	3	4.1	
企業主導型保育	1	2.0	0	0.0	1	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1	1	0.8	2	1.9	2	2.5	3	4.1	
その他の認可外保育施設	1	2.0	1	1.0	4	7.3	0	0.0	0	0.0	1	3.2	0	0.0	4	4.3	0	0.0	3	2.9	0	0.0	1	1.4	
ファミリーサポートセンター	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
不明・無回答	1	2.0	7	7.0	4	7.3	4	8.2	3	16.7	5	16.1	1	14.3	7	7.6	5	3.9	5	4.8	7	8.8	5	6.8	

* 選択肢は一部省略

1週あたりの利用日数では、[認可保育園][市立幼稚園][私立幼稚園(国立大学法人含む)][認定こども園][地域型保育(小規模保育・家庭的保育)][企業主導型保育]で「5日」が高く、[市立幼稚園の預かり保育][私立幼稚園の預かり保育][ファミリーサポートセンター]で「1日」が高くなっています。

〈② 1週あたり利用日数〉 ※数量回答

【未就学児童】 1週あたり 利用日数	認可保育園 (N=875)		市立幼稚園 (N=349)		市立 幼稚園の 預かり保育 (N=159)		私立幼稚園 (国立大学 法人含む) (N=175)		私立 幼稚園の 預かり保育 (N=27)		認定 こども園 (N=291)		地域型保育 (小規模保育等) (N=27)		企業主導型 保育 (N=21)		その他の 認可外 保育施設 (N=37)		ファミリー サポート センター (N=3)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
1日	19	2.2	33	9.5	85	53.5	8	4.6	9	33.3	3	1.0	2	7.4	4	19.0	4	10.8	2	66.7	
2日	5	0.6	13	3.7	52	32.7	2	1.1	7	25.9	2	0.7	1	3.7	0	0.0	7	18.9	0	0.0	
3日	7	0.8	2	0.6	14	8.8	2	1.1	1	3.7	0	0.0	0	0.0	1	4.8	4	10.8	0	0.0	
4日	8	0.9	0	0.0	1	0.6	2	1.1	5	18.5	2	0.7	5	18.5	1	4.8	22	59.5	1	33.3	
5日	761	87.0	297	85.1	5	3.1	157	89.7	3	11.1	266	91.4	19	70.4	15	71.4	0	0.0	0	0.0	
6日	69	7.9	2	0.6	1	0.6	2	1.1	1	3.7	17	5.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
7日	4	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
不明・無回答	2	0.2	2	0.6	1	0.6	2	1.1	1	3.7	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	

1日あたりの利用時間では、[認可保育園][認定こども園][企業主導型保育]で「10時間以上」が高く、[地域型保育(小規模保育・家庭的保育)][企業主導型保育][その他の認可外保育施設]で「8時間」が高くなっています。それ以外の事業では「5時間」以下の利用時間が最も高くなっています。

〈③ 1日あたり利用時間〉 ※数量回答

【未就学児童】 1日あたり 利用時間	認可保育園 (N=875)		市立幼稚園 (N=349)		市立 幼稚園の 預かり保育 (N=159)		私立幼稚園 (国立大学 法人含む) (N=175)		私立 幼稚園の 預かり保育 (N=27)		認定 こども園 (N=291)		地域型保育 (小規模保育等) (N=27)		企業主導型 保育 (N=21)		その他の 認可外 保育施設 (N=37)		ファミリー サポート センター (N=3)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
1時間	0	0.0	12	3.4	0	0.0	6	3.4	1	3.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
2時間	1	0.1	27	7.7	16	10.1	1	0.6	1	3.7	0	0.0	1	3.7	0	0.0	1	2.7	0	0.0	
3時間	2	0.2	5	1.4	130	81.8	4	2.3	15	55.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	10.8	2	66.7	
4時間	8	0.9	3	0.9	4	2.5	18	10.3	3	11.1	4	1.4	0	0.0	1	4.8	1	2.7	0	0.0	
5時間	8	0.9	280	80.2	4	2.5	114	65.1	0	0.0	16	5.5	2	7.4	0	0.0	5	13.5	1	33.3	
6時間	9	1.0	6	1.7	1	0.6	19	10.9	0	0.0	48	16.5	0	0.0	1	4.8	5	13.5	0	0.0	
7時間	90	10.3	1	0.3	0	0.0	8	4.6	1	3.7	22	7.6	5	18.5	1	4.8	7	18.9	0	0.0	
8時間	163	18.6	3	0.9	1	0.6	0	0.0	2	7.4	52	17.9	8	29.6	7	33.3	8	21.6	0	0.0	
9時間	197	22.5	2	0.6	0	0.0	1	0.6	2	7.4	61	21.0	5	18.5	3	14.3	4	10.8	0	0.0	
10時間以上	377	43.1	5	1.4	0	0.0	1	0.6	1	3.7	82	28.2	6	22.2	7	33.3	2	5.4	0	0.0	
不明・無回答	20	2.3	5	1.4	3	1.9	3	1.7	1	3.7	6	2.1	0	0.0	1	4.8	0	0.0	0	0.0	

利用開始時間では、[市立幼稚園の預かり保育] [私立幼稚園の預かり保育] [ファミリーサポートセンター] を除く保育園や幼稚園等で「8時台」「9時台」が高く、[市立幼稚園の預かり保育] [私立幼稚園の預かり保育] [ファミリーサポートセンター] では「13時以降」が高くなっています。

【未就学児童】 利用開始時間	認可保育園 (N=875)		市立幼稚園 (N=349)		市立 幼稚園の 預かり保育 (N=159)		私立幼稚園 (国立大学 法人含む) (N=175)		私立 幼稚園の 預かり保育 (N=27)		認定 こども園 (N=291)		地域型保育 (小規模保育等) (N=27)		企業主導型 保育 (N=21)		その他の 認可外 保育施設 (N=37)		ファミリー サポート センター (N=3)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
6時以前	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7時台	136	15.5	3	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	20	6.9	1	3.7	2	9.5	0	0.0	0	0.0
8時台	450	51.4	5	1.4	0	0.0	10	5.7	2	7.4	117	40.2	11	40.7	11	52.4	8	21.6	0	0.0
9時台	267	30.5	305	87.4	7	4.4	144	82.3	4	14.8	151	51.9	11	40.7	7	33.3	16	43.2	0	0.0
10時台	11	1.3	31	8.9	0	0.0	14	8.0	1	3.7	1	0.3	4	14.8	1	4.8	11	29.7	1	33.3
11時台	2	0.2	0	0.0	0	0.0	2	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12時台	1	0.1	0	0.0	3	1.9	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0
13時以降	1	0.1	3	0.9	148	93.1	2	1.1	19	70.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.7	2	66.7
不明・無回答	7	0.8	2	0.6	1	0.6	3	1.7	1	3.7	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

利用終了時間では、[市立幼稚園] [私立幼稚園 (国立大学法人含む)] [ファミリーサポートセンター] を除く保育園や幼稚園等で「17時台」「18時台」が高く、[市立幼稚園] [私立幼稚園 (国立大学法人含む)] では「14時以前」が高くなっています。

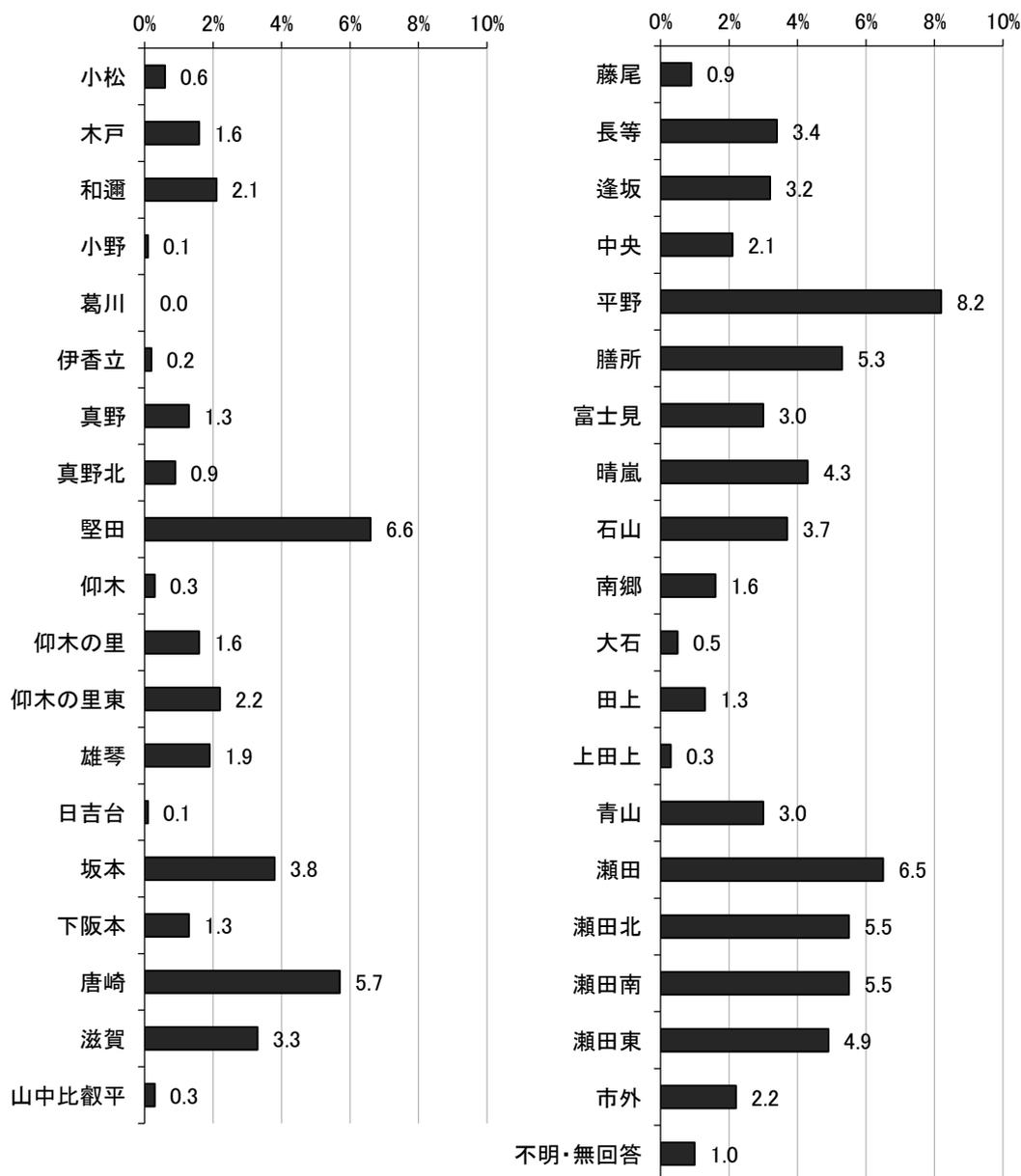
【未就学児童】 利用終了時間	認可保育園 (N=875)		市立幼稚園 (N=349)		市立 幼稚園の 預かり保育 (N=159)		私立幼稚園 (国立大学 法人含む) (N=175)		私立 幼稚園の 預かり保育 (N=27)		認定 こども園 (N=291)		地域型保育 (小規模保育等) (N=27)		企業主導型 保育 (N=21)		その他の 認可外 保育施設 (N=37)		ファミリー サポート センター (N=3)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
14時以前	15	1.7	333	95.4	4	2.5	150	85.7	1	3.7	24	8.2	1	3.7	1	4.8	6	16.2	0	0.0
15時台	13	1.5	0	0.0	0	0.0	15	8.6	1	3.7	44	15.1	2	7.4	1	4.8	9	24.3	1	33.3
16時台	145	16.6	1	0.3	18	11.3	3	1.7	3	11.1	35	12.0	8	29.6	3	14.3	5	13.5	0	0.0
17時台	280	32.0	7	2.0	135	84.9	3	1.7	17	63.0	87	29.9	10	37.0	9	42.9	15	40.5	0	0.0
18時台	343	39.2	6	1.7	1	0.6	1	0.6	4	14.8	85	29.2	5	18.5	6	28.6	1	2.7	0	0.0
19時台	72	8.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	14	4.8	1	3.7	1	4.8	1	2.7	0	0.0
20時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3
21時以降	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3
不明・無回答	7	0.8	2	0.6	1	0.6	3	1.7	1	3.7	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(1) で「利用している」を選んだ方

(1) - 2 平日に利用している施設がある学区

平日に利用している施設がある学区についてみると、「平野」が 8.2%と最も高く、次いで、「堅田」が 6.6%、「瀬田」が 6.5%となっています。

未就学児童 (N=1,917)



学区別

※上位3項目の件数、「市立幼稚園」「市立幼稚園の預かり保育」利用者を除く

学区別に上位3項目をみると、[小松][小野][真野][真野北][仰木の里東][日吉台][下阪本][大石][上田上]では利用している施設がある学区と居住学区が異なります。

【未就学児童】	小松 (N=6)		木戸 (N=14)		和邇 (N=19)		小野 (N=6)		葛川 (N=0)		伊香立 (N=3)		真野 (N=25)		真野北 (N=13)	
	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数
上位1位	木戸	3	木戸	10	和邇	13	真野	4					堅田	16	堅田	5
上位2位	小松	2	和邇	3	堅田	3							真野	4	真野北	4
上位3位													真野北	2		

【未就学児童】	堅田 (N=58)		仰木 (N=2)		仰木の里 (N=10)		仰木の里東 (N=50)		雄琴 (N=32)		日吉台 (N=11)		坂本 (N=35)		下阪本 (N=53)	
	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数
上位1位	堅田	51			仰木の里	4	堅田	17	雄琴	13	唐崎	4	坂本	21	坂本	20
上位2位	仰木の里東	3			堅田	2	仰木の里東	16	堅田	5	坂本	3	唐崎	6	下阪本	10
上位3位	雄琴	2					仰木の里	5	仰木の里東	4			下阪本	3	唐崎	10

【未就学児童】	唐崎 (N=66)		滋賀 (N=80)		山中比叡平 (N=4)		藤尾 (N=20)		長等 (N=55)		逢坂 (N=42)		中央 (N=31)		平野 (N=118)	
	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数
上位1位	唐崎	47	滋賀	33	山中比叡平	4	藤尾	11	長等	18	逢坂	27	中央	10	平野	97
上位2位	滋賀	5	唐崎	15			市外	7	中央	12	中央	3	逢坂	8	膳所	6
上位3位	平野	3	長等	10					滋賀	7	平野	3	長等	6	逢坂	5

【未就学児童】	膳所 (N=85)		富士見 (N=42)		晴嵐 (N=80)		石山 (N=43)		南郷 (N=36)		大石 (N=8)		田上 (N=19)		上田上 (N=6)	
	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数
上位1位	膳所	48	富士見	23	晴嵐	49	石山	27	南郷	14	石山	4	田上	11	瀬田東	2
上位2位	平野	20	平野	7	膳所	9	富士見	3	石山	12			石山	3		
上位3位	富士見	9	膳所	4	富士見	6	南郷	3	瀬田南	3			晴嵐	2		

【未就学児童】	青山 (N=52)		瀬田 (N=103)		瀬田北 (N=83)		瀬田南 (N=52)		瀬田東 (N=60)	
	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数
上位1位	青山	25	瀬田	59	瀬田北	57	瀬田南	35	瀬田東	41
上位2位	瀬田	8	瀬田南	15	瀬田東	9	瀬田	6	瀬田	7
上位3位	瀬田南	8	瀬田北	13	瀬田南	7	長等	2	瀬田南	3

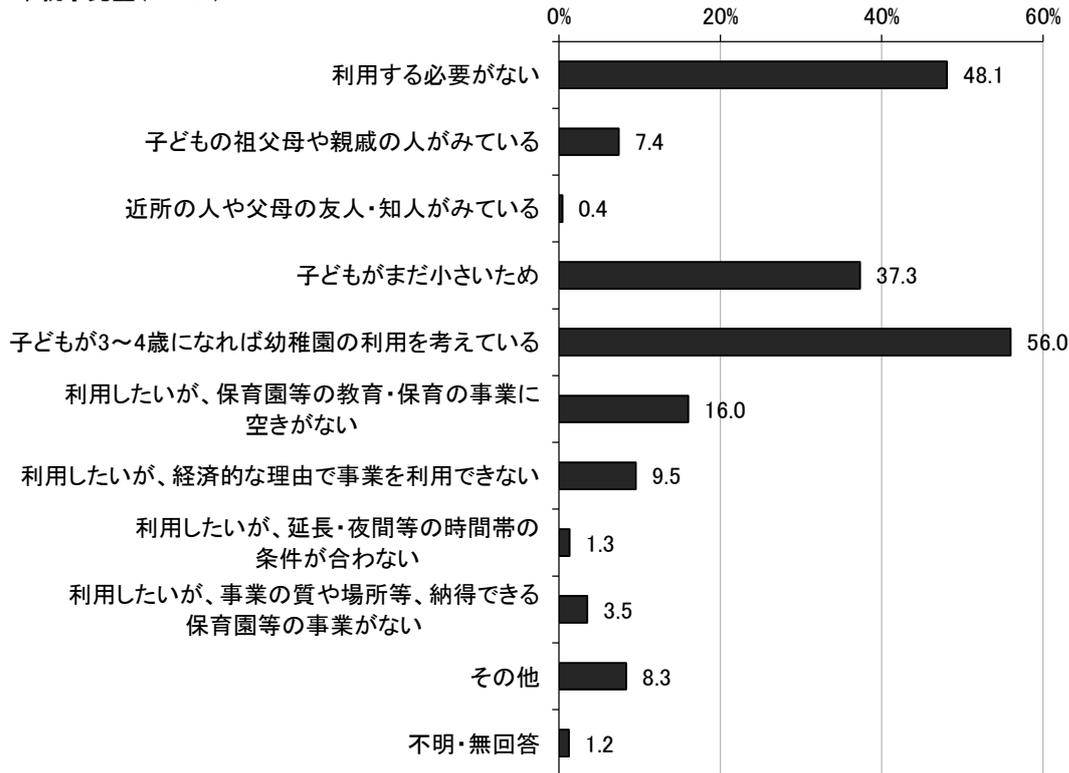
* 2件以上の項目および、上位3位では同率が3項目以上ある場合は近接学区2項目までを掲載

(1) で「利用していない」を選んだ方

(1)－3 平日に教育・保育事業を利用していない理由

利用していない理由についてみると、「子どもが3～4歳になれば幼稚園の利用を考えている」が56.0%と最も高く、次いで「利用する必要がない」が48.1%、「子どもがまだ小さいため」が37.3%となっています。

未就学児童(N=761)



年齢別

年齢別についてみると、[0歳]で、「子どもがまだ小さいため」、[1歳]から[3歳]で「子どもが3～4歳になれば幼稚園の利用を考えている」、[4歳][5歳]で「利用する必要がない」が最も高くなっています。

【未就学児童】	0歳 (N=327)		1歳 (N=200)		2歳 (N=157)		3歳 (N=53)		4歳 (N=7)		5歳 (N=7)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
利用する必要がない	155	47.4	95	47.5	80	51.0	20	37.7	3	42.9	7	100.0
子どもの祖父母や親戚の人がみている	17	5.2	20	10.0	14	8.9	4	7.5	0	0.0	0	0.0
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0	0	0.0	2	1.3	0	0.0	1	14.3	0	0.0
子どもがまだ小さいため	179	54.7	76	38.0	20	12.7	4	7.5	1	14.3	0	0.0
子どもが3～4歳になれば幼稚園の利用を考えている	129	39.4	134	67.0	116	73.9	39	73.6	2	28.6	1	14.3
利用したいが、保育園等の教育・保育の事業に空きがない	63	19.3	33	16.5	17	10.8	7	13.2	1	14.3	1	14.3
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	27	8.3	23	11.5	16	10.2	5	9.4	0	0.0	1	14.3
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	6	1.8	2	1.0	2	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
利用したいが、納得できる保育園等の事業がない	7	2.1	9	4.5	9	5.7	1	1.9	0	0.0	1	14.3
その他	30	9.2	17	8.5	10	6.4	5	9.4	1	14.3	0	0.0
不明・無回答	3	0.9	0	0.0	3	1.9	2	3.8	0	0.0	0	0.0

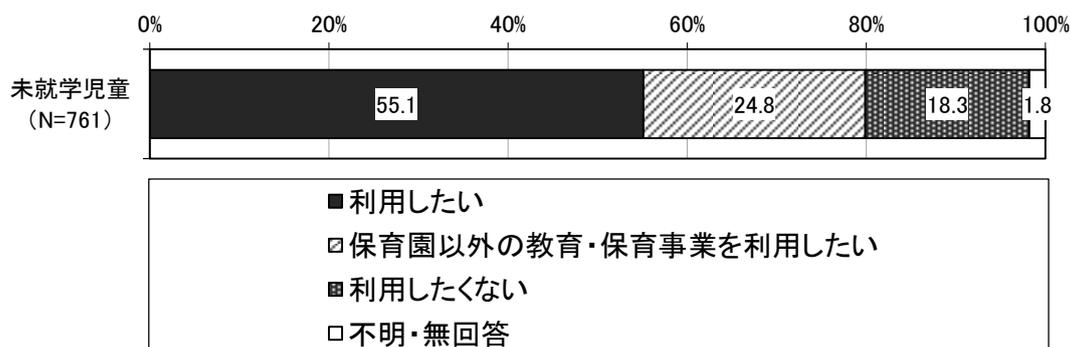
* 選択肢は一部省略

[未就学児童用調査/問16-4 単数回答]

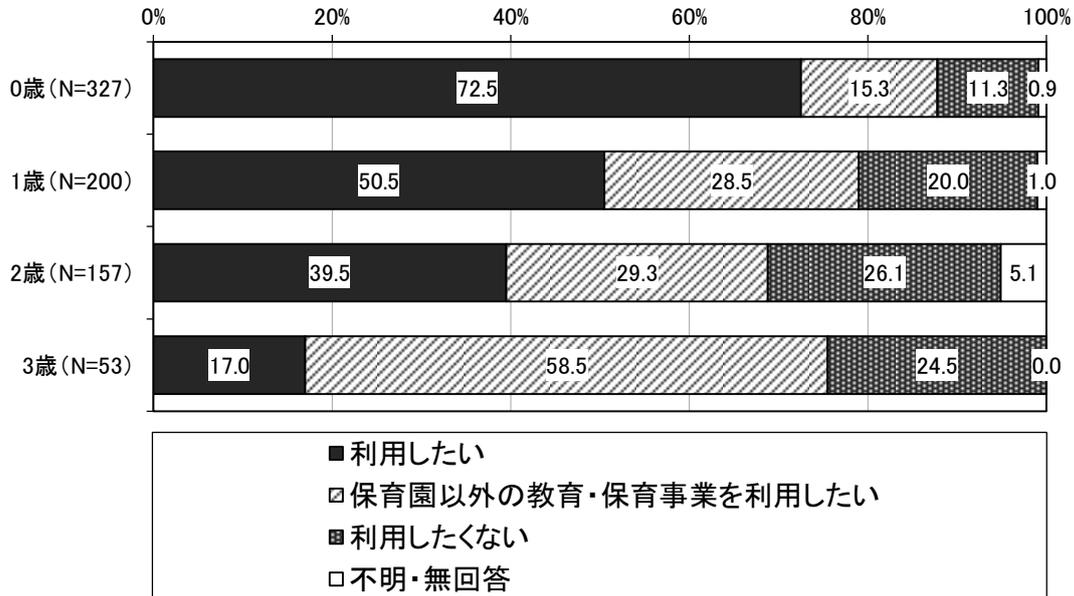
(1)で「利用していない」を選んだ方

(1) - 4 保育園の利用希望

保育園の利用希望についてみると、「利用したい」が55.1%と最も高く、次いで、「保育園以外の教育・保育事業を利用したい」が24.8%、「利用したくない」が18.3%となっています。



年齢別についてみると、「利用したい」は〔0歳〕で72.5%となっており、年齢が上がるにつれて低くなっています。

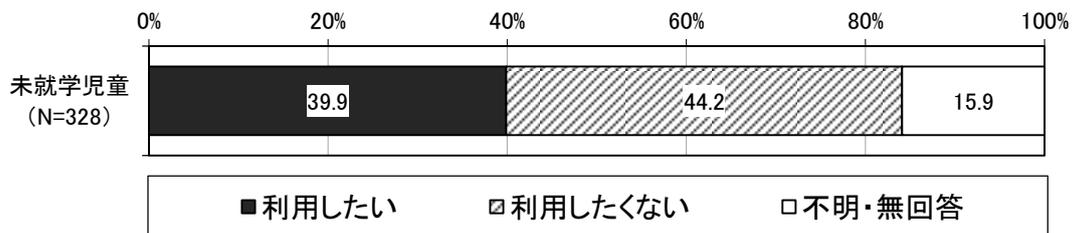


〔未就学児童用調査／問 16-5 単数回答〕

(1) - 4で「保育園以外の教育・保育事業を利用したい」または「利用したくない」を選んだ方

(1) - 5 定員や保育料、利用時間等の条件が改善されれば保育園を利用したいと思うか

定員や保育料、利用時間等の条件が改善されれば保育園を利用したいと思うかについてみると、「利用したくない」が44.2%、「利用したい」が39.9%となっています。

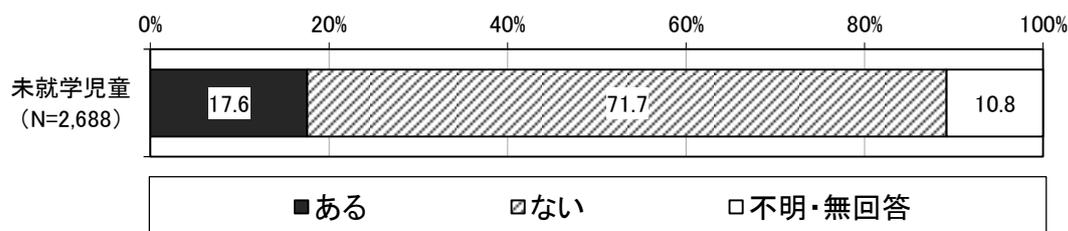


(2) 平日の教育・保育事業の利用にあたっての待機状況

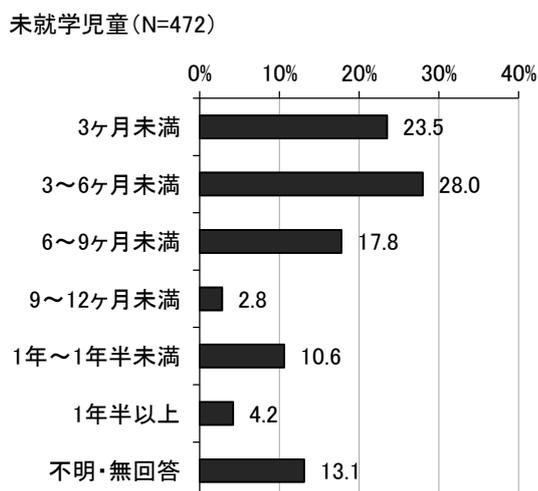
平日の教育・保育事業の利用にあたっての待機状況についてみると、「ない」が71.7%、「ある」が17.6%となっています。

また、待機期間では、「3～6ヶ月未満」が28.0%と最も高く、次いで、「3ヶ月未満」が23.5%、「6～9ヶ月未満」が17.8%となっています。

〈①待機期間の有無〉



〈②待機期間〉 ※数量回答



年齢別

年齢別についてみると、[0歳] [4歳] で「3ヶ月未満」、[1歳] から [3歳] [5歳] で「3～6ヶ月未満」が最も高くなっています。

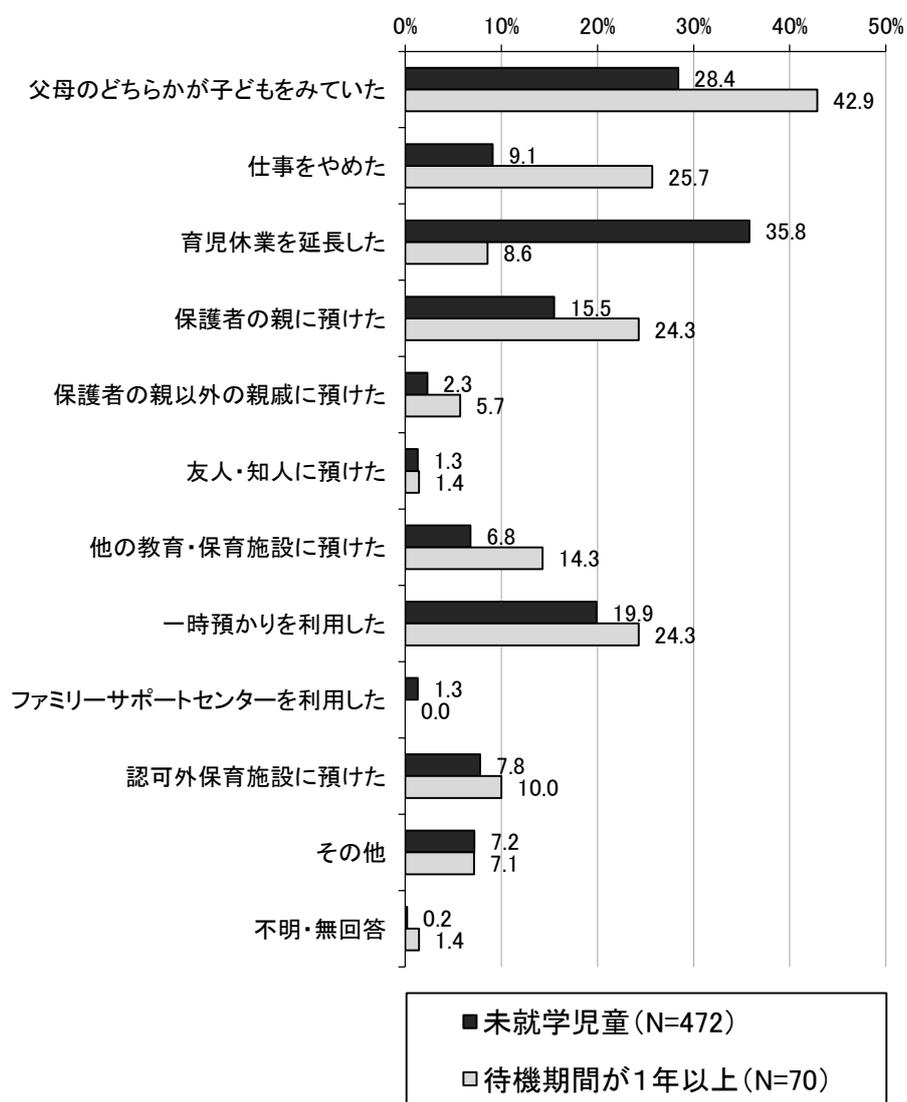
【未就学児童】	0歳 (N=72)		1歳 (N=81)		2歳 (N=86)		3歳 (N=72)		4歳 (N=81)		5歳 (N=76)	
	件数	%										
3ヶ月未満	22	30.6	17	21.0	17	19.8	16	22.2	22	27.2	17	22.4
3～6ヶ月未満	20	27.8	29	35.8	26	30.2	18	25.0	19	23.5	19	25.0
6～9ヶ月未満	12	16.7	12	14.8	13	15.1	17	23.6	15	18.5	13	17.1
9～12ヶ月未満	0	0.0	3	3.7	3	3.5	2	2.8	2	2.5	3	3.9
1年～1年半未満	3	4.2	9	11.1	13	15.1	9	12.5	8	9.9	8	10.5
1年半以上	2	2.8	2	2.5	3	3.5	0	0.0	6	7.4	7	9.2
不明・無回答	13	18.1	9	11.1	11	12.8	10	13.9	9	11.1	9	11.8

(2) で「ある」を選んだ方

(2) - 1 入園できなかった期間の対応方法

入園できなかった期間の対応方法についてみると、「育児休業を延長した」が35.8%と最も高く、次いで、「父母のどちらかが子どもをみていた」が28.4%、「一時預かりを利用した」が19.9%となっています。

また、待機期間が1年以上の場合、「父母のどちらかが子どもをみていた」が42.9%と最も高く、次いで、「仕事をやめた」が25.7%となっています。

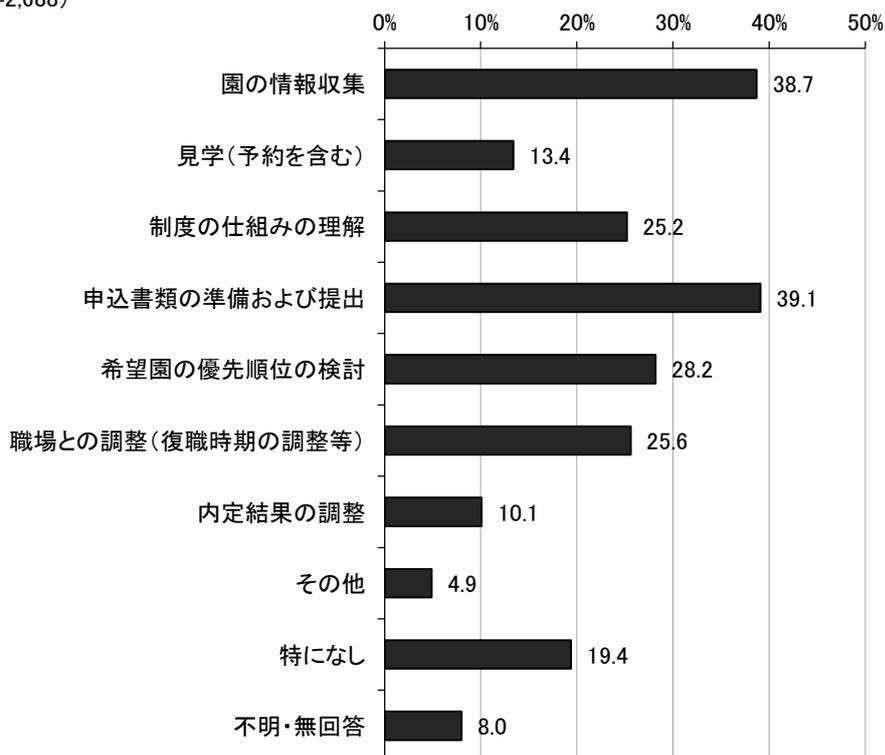


〔未就学児童用調査／問 18 複数回答〕

（３）教育・保育施設の入園・入所において、大変だと感じたこと

教育・保育施設の入園・入所において、大変だと感じたことについてみると、「申込書類の準備および提出」が39.1%と最も高く、次いで、「園の情報収集」が38.7%、「希望園の優先順位の検討」が28.2%となっています。

未就学児童(N=2,688)



利用教育・保育事業別

利用教育・保育事業別についてみると、[認可保育園][認定こども園][企業主導型保育]では「申込書類の準備および提出」が、[市立幼稚園][市立幼稚園の預かり保育]では「特になし」が、[私立幼稚園(国立大学法人含む)][私立幼稚園の預かり保育][その他の認可外保育施設]では「園の情報収集」が最も高くなっており、施設による傾向が表れています。

【未就学児童】	認可保育園 (N=875)		市立幼稚園 (N=349)		市立幼稚園の 預かり保育 (N=159)		私立幼稚園 (国立大学法人含む) (N=175)		私立幼稚園の 預かり保育 (N=27)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
園の情報収集	280	32.0	94	26.9	38	23.9	77	44.0	18	66.7
見学(予約を含む)	91	10.4	20	5.7	8	5.0	16	9.1	8	29.6
制度の仕組みの理解	184	21.0	67	19.2	36	22.6	35	20.0	11	40.7
申込書類の準備および提出	385	44.0	95	27.2	43	27.0	40	22.9	9	33.3
希望園の優先順位の検討	293	33.5	43	12.3	25	15.7	25	14.3	9	33.3
職場との調整(復職時期の調整等)	319	36.5	25	7.2	19	11.9	17	9.7	5	18.5
内定結果の調整	100	11.4	14	4.0	8	5.0	13	7.4	2	7.4
その他	55	6.3	10	2.9	6	3.8	3	1.7	0	0.0
特になし	118	13.5	136	39.0	59	37.1	52	29.7	4	14.8
不明・無回答	73	8.3	35	10.0	20	12.6	14	8.0	3	11.1

【未就学児童】	認定こども園 (N=291)		地域型保育 (小規模保育等) (N=27)		企業主導型保育 (N=21)		その他の認可外 保育施設 (N=37)		ファミリー サポートセンター (N=3)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
園の情報収集	110	37.8	13	48.1	7	33.3	14	37.8	2	66.7
見学(予約を含む)	30	10.3	6	22.2	2	9.5	8	21.6	2	66.7
制度の仕組みの理解	71	24.4	12	44.4	5	23.8	10	27.0	1	33.3
申込書類の準備および提出	120	41.2	15	55.6	10	47.6	9	24.3	2	66.7
希望園の優先順位の検討	84	28.9	17	63.0	9	42.9	7	18.9	1	33.3
職場との調整(復職時期の調整等)	81	27.8	10	37.0	9	42.9	8	21.6	2	66.7
内定結果の調整	26	8.9	6	22.2	2	9.5	1	2.7	1	33.3
その他	12	4.1	6	22.2	0	0.0	2	5.4	0	0.0
特になし	40	13.7	1	3.7	1	4.8	9	24.3	0	0.0
不明・無回答	26	8.9	2	7.4	3	14.3	4	10.8	0	0.0

*選択肢は一部省略

4. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用希望について

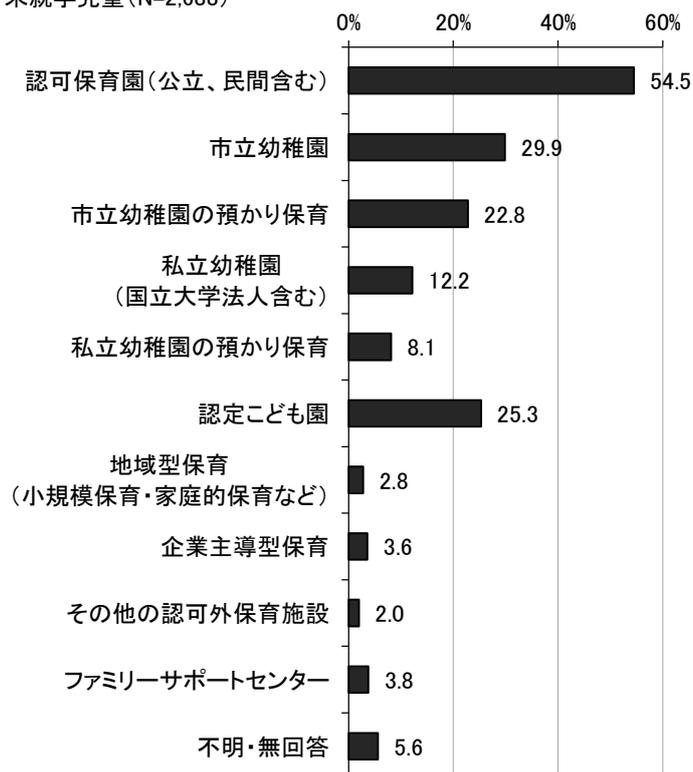
〔未就学児童用調査／問 19 複数回答〕

（1）平日に利用したい、利用を継続したい保育園や幼稚園等

平日に利用したい、利用を継続したい保育園や幼稚園等についてみると、「認可保育園（公立、民間含む）」が54.5%、「市立幼稚園」が29.9%、「認定こども園」が25.3%となっています。

〈①事業名〉

未就学児童(N=2,688)

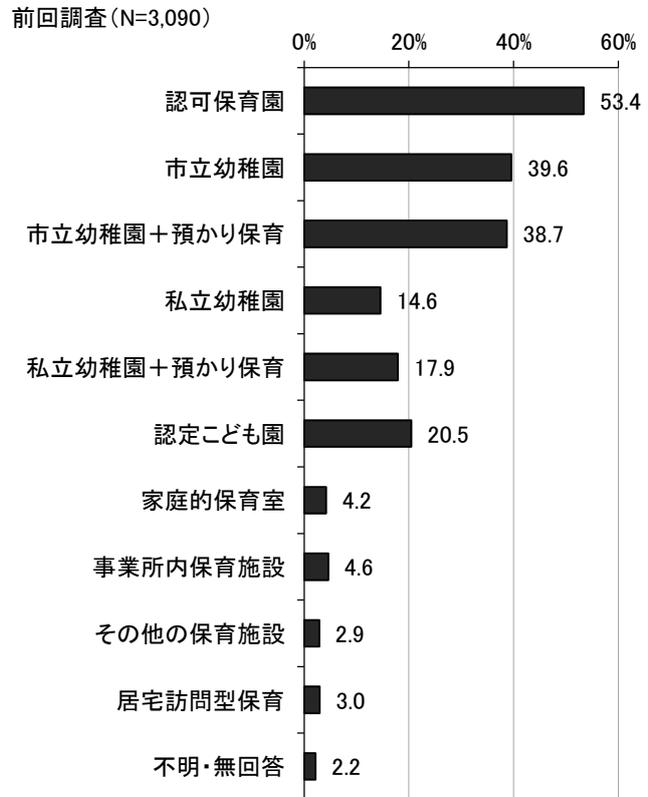


経年比較

〔前回調査 未就学児童用調査／問 15〕

※選択肢が異なるため、グラフは前回調査のみ

経年比較についてみると、前回調査、今回調査ともに「認可保育園」が最も高くなっています。前回調査に比べ「市立幼稚園」「私立幼稚園」は低く、「認定こども園」は高くなっています。



年齢別

年齢別についてみると、すべての年齢で「認可保育園」が最も高く、次いで、「市立幼稚園」となっています。

【未就学児童】	0歳 (N=436)		1歳 (N=441)		2歳 (N=431)		3歳 (N=455)		4歳 (N=428)		5歳 (N=463)	
	件数	%										
認可保育園	293	67.2	286	64.9	237	55.0	221	48.6	200	46.7	213	46.0
市立幼稚園	144	33.0	133	30.2	126	29.2	129	28.4	135	31.5	129	27.9
市立幼稚園の預かり保育	93	21.3	106	24.0	98	22.7	93	20.4	112	26.2	101	21.8
私立幼稚園 (国立大学法人含む)	56	12.8	60	13.6	57	13.2	54	11.9	55	12.9	42	9.1
私立幼稚園の預かり保育	43	9.9	41	9.3	39	9.0	31	6.8	28	6.5	28	6.0
認定こども園	141	32.3	125	28.3	112	26.0	108	23.7	88	20.6	96	20.7
地域型保育 (小規模保育等)	19	4.4	18	4.1	12	2.8	5	1.1	6	1.4	12	2.6
企業主導型保育	26	6.0	18	4.1	12	2.8	7	1.5	12	2.8	19	4.1
その他の認可外保育施設	14	3.2	9	2.0	10	2.3	8	1.8	3	0.7	10	2.2
ファミリーサポートセンター	21	4.8	20	4.5	16	3.7	10	2.2	15	3.5	16	3.5
不明・無回答	12	2.8	16	3.6	8	1.9	13	2.9	15	3.5	81	17.5

* 選択肢は一部省略

学区別

学区別についてみると、学区によりばらつきはありますが、全体的に「認可保育園」が高くなっています。

【未就学児童】	小松 (N=27)		木戸 (N=33)		和邇 (N=55)		小野 (N=15)		葛川 (N=0)		伊香立 (N=10)		真野 (N=53)		真野北 (N=25)		堅田 (N=115)		仰木 (N=7)		仰木の里 (N=20)		仰木の里東 (N=80)		雄琴 (N=70)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
認可保育園	15	55.6	23	69.7	29	52.7	5	33.3	0	0.0	8	80.0	28	52.8	11	44.0	45	39.1	3	42.9	11	55.0	50	62.5	42	60.0	
市立幼稚園	12	44.4	8	24.2	28	50.9	5	33.3	0	0.0	4	40.0	17	32.1	13	52.0	26	22.6	4	57.1	7	35.0	17	21.3	25	35.7	
市立幼稚園の預かり保育	11	40.7	10	30.3	21	38.2	3	20.0	0	0.0	3	30.0	11	20.8	13	52.0	17	14.8	5	71.4	4	20.0	17	21.3	19	27.1	
私立幼稚園(国立大学法人含む)	0	0.0	0	0.0	4	7.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	5.7	2	8.0	8	7.0	1	14.3	1	5.0	7	8.8	8	11.4	
私立幼稚園の預かり保育	0	0.0	0	0.0	4	7.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	3.8	2	8.0	6	5.2	0	0.0	1	5.0	7	8.8	7	10.0	
認定こども園	2	7.4	3	9.1	7	12.7	2	13.3	0	0.0	5	50.0	15	28.3	9	36.0	62	53.9	0	0.0	3	15.0	20	25.0	11	15.7	
地域型保育(小規模保育等)	0	0.0	1	3.0	4	7.3	0	0.0	0	0.0	1	10.0	0	0.0	1	4.0	6	5.2	1	14.3	1	5.0	4	5.0	2	2.9	
企業主導型保育	0	0.0	3	9.1	2	3.6	2	13.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	5.2	1	14.3	2	10.0	2	2.5	4	5.7	
その他の認可外保育施設	0	0.0	0	0.0	3	5.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	3.5	1	14.3	1	5.0	2	2.5	1	1.4	
ファミリーサポートセンター	0	0.0	1	3.0	2	3.6	0	0.0	0	0.0	1	10.0	1	1.9	1	4.0	4	3.5	0	0.0	1	5.0	2	2.5	6	8.6	
不明・無回答	2	7.4	2	6.1	3	5.5	4	26.7	0	0.0	0	0.0	5	9.4	0	0.0	7	6.1	1	14.3	3	15.0	5	6.3	4	5.7	

【未就学児童】	日吉台 (N=18)		坂本 (N=62)		下阪本 (N=103)		唐崎 (N=106)		滋賀 (N=142)		山中比叡平 (N=9)		藤尾 (N=28)		長等 (N=107)		逢坂 (N=71)		中央 (N=53)		平野 (N=177)		膳所 (N=135)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
認可保育園	8	44.4	46	74.2	55	53.4	69	65.1	82	57.7	7	77.8	10	35.7	48	44.9	35	49.3	28	52.8	99	55.9	70	51.9	
市立幼稚園	6	33.3	15	24.2	29	28.2	22	20.8	41	28.9	1	11.1	6	21.4	41	38.3	13	18.3	13	24.5	37	20.9	23	17.0	
市立幼稚園の預かり保育	3	16.7	13	21.0	24	23.3	14	13.2	32	22.5	1	11.1	6	21.4	29	27.1	13	18.3	12	22.6	28	15.8	17	12.6	
私立幼稚園(国立大学法人含む)	2	11.1	8	12.9	24	23.3	11	10.4	31	21.8	1	11.1	5	17.9	21	19.6	8	11.3	9	17.0	36	20.3	27	20.0	
私立幼稚園の預かり保育	2	11.1	3	4.8	16	15.5	6	5.7	16	11.3	1	11.1	5	17.9	15	14.0	5	7.0	8	15.1	24	13.6	12	8.9	
認定こども園	4	22.2	7	11.3	19	18.4	20	18.9	38	26.8	1	11.1	18	64.3	26	24.3	29	40.8	13	24.5	38	21.5	36	26.7	
地域型保育(小規模保育等)	0	0.0	2	3.2	2	1.9	1	0.9	6	4.2	0	0.0	0	0.0	6	5.6	2	2.8	1	1.9	2	1.1	3	2.2	
企業主導型保育	0	0.0	2	3.2	2	1.9	5	4.7	7	4.9	0	0.0	2	7.1	3	2.8	1	1.4	2	3.8	5	2.8	3	2.2	
その他の認可外保育施設	0	0.0	0	0.0	1	1.0	1	0.9	5	3.5	0	0.0	0	0.0	5	4.7	0	0.0	3	5.7	3	1.7	1	0.7	
ファミリーサポートセンター	2	11.1	1	1.6	1	1.0	1	0.9	4	2.8	0	0.0	3	10.7	5	4.7	3	4.2	4	7.5	11	6.2	7	5.2	
不明・無回答	1	5.6	1	1.6	7	6.8	5	4.7	8	5.6	1	11.1	2	7.1	5	4.7	5	7.0	3	5.7	14	7.9	6	4.4	

【未就学児童】	富士見 (N=85)		晴嵐 (N=150)		石山 (N=80)		南郷 (N=71)		大石 (N=28)		田上 (N=37)		上田上 (N=8)		青山 (N=129)		瀬田 (N=182)		瀬田北 (N=152)		瀬田南 (N=112)		瀬田東 (N=110)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
認可保育園	33	38.8	85	56.7	47	58.8	38	53.5	10	35.7	21	56.8	6	75.0	65	50.4	111	61.0	93	61.2	55	49.1	62	56.4	
市立幼稚園	32	37.6	45	30.0	25	31.3	23	32.4	12	42.9	13	35.1	1	12.5	52	40.3	57	31.3	53	34.9	39	34.8	33	30.0	
市立幼稚園の預かり保育	27	31.8	37	24.7	17	21.3	21	29.6	7	25.0	12	32.4	1	12.5	46	35.7	39	21.4	30	19.7	24	21.4	22	20.0	
私立幼稚園(国立大学法人含む)	9	10.6	19	12.7	6	7.5	9	12.7	0	0.0	1	2.7	0	0.0	13	10.1	16	8.8	17	11.2	9	8.0	9	8.2	
私立幼稚園の預かり保育	7	8.2	11	7.3	3	3.8	8	11.3	0	0.0	1	2.7	0	0.0	8	6.2	12	6.6	15	9.9	4	3.6	4	3.6	
認定こども園	42	49.4	46	30.7	28	35.0	17	23.9	5	17.9	10	27.0	0	0.0	24	18.6	39	21.4	18	11.8	24	21.4	27	24.5	
地域型保育(小規模保育等)	0	0.0	6	4.0	2	2.5	3	4.2	0	0.0	1	2.7	0	0.0	4	3.1	6	3.3	2	1.3	2	1.8	2	1.8	
企業主導型保育	5	5.9	5	3.3	4	5.0	2	2.8	0	0.0	2	5.4	0	0.0	5	3.9	7	3.8	7	4.6	3	2.7	1	0.9	
その他の認可外保育施設	1	1.2	1	0.7	4	5.0	1	1.4	0	0.0	1	2.7	0	0.0	4	3.1	3	1.6	4	2.6	3	2.7	2	1.8	
ファミリーサポートセンター	3	3.5	6	4.0	2	2.5	2	2.8	0	0.0	2	5.4	0	0.0	4	3.1	7	3.8	8	5.3	3	2.7	4	3.6	
不明・無回答	2	2.4	5	3.3	2	2.5	5	7.0	5	17.9	2	5.4	1	12.5	2	1.6	9	4.9	7	4.6	11	9.8	5	4.5	

* 選択肢は一部省略

希望の事業利用学区別

希望の事業利用学区別についてみると、学区によりばらつきはありますが、全体的に「認可保育園」が高くなっています。

【未就学児童】	小松 (N=20)		木戸 (N=35)		和邇 (N=59)		小野 (N=11)		葛川 (N=0)		伊香立 (N=10)		真野 (N=43)		真野北 (N=22)		堅田 (N=153)		仰木 (N=11)		仰木の里 (N=36)		仰木の里東 (N=63)		雄琴 (N=40)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
認可保育園	13	65.0	24	68.6	33	55.9	4	36.4	0	0.0	8	80.0	25	58.1	8	36.4	71	46.4	5	45.5	23	63.9	42	66.7	26	65.0	
市立幼稚園	9	45.0	11	31.4	30	50.8	4	36.4	0	0.0	5	50.0	19	44.2	13	59.1	29	19.0	6	54.5	12	33.3	16	25.4	18	45.0	
市立幼稚園の預かり保育	8	40.0	14	40.0	22	37.3	2	18.2	0	0.0	4	40.0	13	30.2	14	63.6	16	10.5	8	72.7	9	25.0	15	23.8	11	27.5	
私立幼稚園(国立大学法人含む)	0	0.0	0	0.0	5	8.5	1	9.1	0	0.0	1	10.0	4	9.3	3	13.6	11	7.2	0	0.0	4	11.1	3	4.8	3	7.5	
私立幼稚園の預かり保育	0	0.0	0	0.0	5	8.5	0	0.0	0	0.0	1	10.0	4	9.3	3	13.6	6	3.9	0	0.0	1	2.8	4	6.3	3	7.5	
認定こども園	2	10.0	3	8.6	7	11.9	3	27.3	0	0.0	4	40.0	14	32.6	9	40.9	77	50.3	0	0.0	7	19.4	14	22.2	4	10.0	
地域型保育(小規模保育等)	0	0.0	1	2.9	5	8.5	0	0.0	0	0.0	1	10.0	1	2.3	2	9.1	7	4.6	1	9.1	1	2.8	2	3.2	0	0.0	
企業主導型保育	0	0.0	3	8.6	3	5.1	2	18.2	0	0.0	0	0.0	1	2.3	1	4.5	5	3.3	2	18.2	2	5.6	2	3.2	2	5.0	
その他の認可外保育施設	0	0.0	0	0.0	4	6.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.3	0	0.0	4	2.6	1	9.1	1	2.8	2	3.2	0	0.0	
ファミリーサポートセンター	0	0.0	2	5.7	3	5.1	0	0.0	0	0.0	1	10.0	2	4.7	1	4.5	3	2.0	0	0.0	1	2.8	2	3.2	3	7.5	
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	2	3.4	2	18.2	0	0.0	0	0.0	2	4.7	0	0.0	6	3.9	1	9.1	2	5.6	3	4.8	1	2.5	

【未就学児童】	日吉台 (N=11)		坂本 (N=84)		下阪本 (N=63)		唐崎 (N=125)		滋賀 (N=106)		山中比叡平 (N=8)		藤尾 (N=28)		長等 (N=95)		逢坂 (N=72)		中央 (N=43)		平野 (N=194)		膳所 (N=138)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
認可保育園	7	63.6	50	59.5	34	54.0	83	66.4	71	67.0	7	87.5	8	28.6	48	50.5	43	59.7	25	58.1	111	57.2	68	49.3	
市立幼稚園	4	36.4	18	21.4	30	47.6	21	16.8	30	28.3	0	0.0	4	14.3	41	43.2	13	18.1	14	32.6	40	20.6	33	23.9	
市立幼稚園の預かり保育	2	18.2	19	22.6	20	31.7	13	10.4	26	24.5	0	0.0	3	10.7	29	30.5	14	19.4	13	30.2	28	14.4	26	18.8	
私立幼稚園(国立大学法人含む)	3	27.3	25	29.8	12	19.0	8	6.4	18	17.0	0	0.0	3	10.7	13	13.7	7	9.7	9	20.9	46	23.7	38	27.5	
私立幼稚園の預かり保育	2	18.2	12	14.3	11	17.5	6	4.8	15	14.2	0	0.0	3	10.7	8	8.4	6	8.3	7	16.3	30	15.5	17	12.3	
認定こども園	3	27.3	10	11.9	10	15.9	38	30.4	24	22.6	0	0.0	21	75.0	25	26.3	26	36.1	10	23.3	50	25.8	32	23.2	
地域型保育(小規模保育等)	0	0.0	3	3.6	2	3.2	1	0.8	4	3.8	0	0.0	0	0.0	6	6.3	2	2.8	1	2.3	2	1.0	4	2.9	
企業主導型保育	0	0.0	3	3.6	1	1.6	5	4.0	4	3.8	0	0.0	1	3.6	3	3.2	2	2.8	1	2.3	5	2.6	5	3.6	
その他の認可外保育施設	0	0.0	1	1.2	1	1.6	2	1.6	4	3.8	0	0.0	0	0.0	3	3.2	0	0.0	2	4.7	2	1.0	0	0.0	
ファミリーサポートセンター	0	0.0	2	2.4	1	1.6	1	0.8	4	3.8	0	0.0	1	3.6	5	5.3	3	4.2	3	7.0	13	6.7	8	5.8	
不明・無回答	0	0.0	1	1.2	3	4.8	2	1.6	3	2.8	1	12.5	1	3.6	2	2.1	2	2.8	1	2.3	6	3.1	5	3.6	

【未就学児童】	富士見 (N=82)		晴嵐 (N=137)		石山 (N=92)		南郷 (N=57)		大石 (N=20)		田上 (N=25)		上田上 (N=12)		青山 (N=105)		瀬田 (N=177)		瀬田北 (N=149)		瀬田南 (N=103)		瀬田東 (N=119)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
認可保育園	28	34.1	86	62.8	48	52.2	33	57.9	7	35.0	15	60.0	5	41.7	57	54.3	114	64.4	96	64.4	51	49.5	61	51.3	
市立幼稚園	25	30.5	45	32.8	24	26.1	24	42.1	12	60.0	11	44.0	8	66.7	44	41.9	54	30.5	55	36.9	36	35.0	33	27.7	
市立幼稚園の預かり保育	22	26.8	37	27.0	19	20.7	22	38.6	7	35.0	10	40.0	8	66.7	38	36.2	37	20.9	30	20.1	22	21.4	21	17.6	
私立幼稚園(国立大学法人含む)	5	6.1	15	10.9	7	7.6	3	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.8	15	8.5	15	10.1	14	13.6	8	6.7	
私立幼稚園の預かり保育	4	4.9	10	7.3	6	6.5	2	3.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	4.8	10	5.6	11	7.4	7	6.8	4	3.4	
認定こども園	50	61.0	34	24.8	44	47.8	12	21.1	1	5.0	4	16.0	1	8.3	21	20.0	36	20.3	17	11.4	19	18.4	37	31.1	
地域型保育(小規模保育等)	0	0.0	6	4.4	3	3.3	2	3.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	3.8	6	3.4	1	0.7	2	1.9	2	1.7	
企業主導型保育	4	4.9	6	4.4	4	4.3	2	3.5	0	0.0	0	0.0	1	8.3	6	5.7	7	4.0	5	3.4	3	2.9	1	0.8	
その他の認可外保育施設	0	0.0	2	1.5	2	2.2	1	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	3.8	5	2.8	3	2.0	3	2.9	4	3.4	
ファミリーサポートセンター	5	6.1	5	3.6	2	2.2	0	0.0	0	0.0	2	8.0	0	0.0	6	5.7	7	4.0	5	3.4	3	2.9	5	4.2	
不明・無回答	1	1.2	2	1.5	4	4.3	2	3.5	4	20.0	0	0.0	1	8.3	1	1.0	8	4.5	3	2.0	3	2.9	3	2.5	

* 選択肢は一部省略

希望する利用開始年齢では、[市立幼稚園][市立幼稚園の預かり保育][私立幼稚園(国立大学法人含む)][私立幼稚園の預かり保育][認定こども園]で「3歳」が高く、[地域型保育(小規模保育・家庭的保育)][企業主導型保育][その他の認可外保育施設][ファミリーサポートセンター]で「0歳」が高くなっています。また、[認可保育園]では「1歳」が高くなっています。

希望する利用終了年齢では、[地域型保育(小規模保育・家庭的保育)]を除く保育園や幼稚園等で「5歳」が高く、[地域型保育(小規模保育・家庭的保育)]では「2歳」が高くなっています。

〈②希望する利用年齢〉※数量回答

【未就学児童】 希望する利用 開始年齢	認可保育園 (N=1,466)		市立幼稚園 (N=803)		市立 幼稚園の 預かり保育 (N=612)		私立幼稚園 (国立大学 法人含む) (N=329)		私立 幼稚園の 預かり保育 (N=217)		認定 こども園 (N=679)		地域型保育 (小規模保育等) (N=74)		企業主導型 保育 (N=96)		その他の 認可外 保育施設 (N=55)		ファミリー サポート センター (N=102)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
0歳	324	22.1	7	0.9	18	2.9	5	1.5	9	4.1	127	18.7	44	59.5	42	43.8	16	29.1	42	41.2	
1歳	572	39.0	13	1.6	17	2.8	10	3.0	15	6.9	181	26.7	18	24.3	27	28.1	15	27.3	20	19.6	
2歳	153	10.4	33	4.1	25	4.1	32	9.7	24	11.1	62	9.1	5	6.8	5	5.2	7	12.7	10	9.8	
3歳	229	15.6	562	70.0	401	65.5	237	72.0	144	66.4	224	33.0	2	2.7	17	17.7	10	18.2	12	11.8	
4歳	91	6.2	140	17.4	112	18.3	22	6.7	10	4.6	37	5.4	0	0.0	2	2.1	4	7.3	9	8.8	
5歳	38	2.6	28	3.5	25	4.1	11	3.3	5	2.3	19	2.8	0	0.0	1	1.0	0	0.0	2	2.0	
不明・無回答	59	4.0	20	2.5	14	2.3	12	3.6	10	4.6	29	4.3	5	6.8	2	2.1	3	5.5	7	6.9	

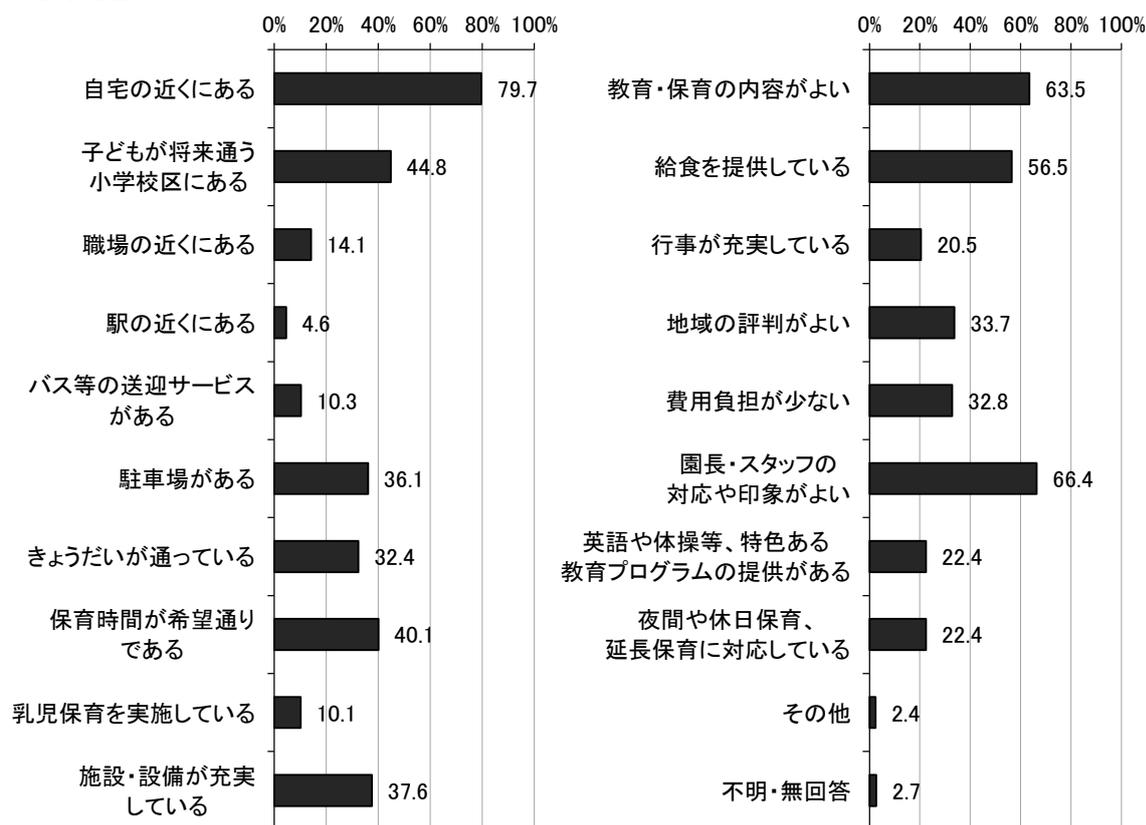
【未就学児童】 希望する利用 終了年齢	認可保育園 (N=1,466)		市立幼稚園 (N=803)		市立 幼稚園の 預かり保育 (N=612)		私立幼稚園 (国立大学 法人含む) (N=329)		私立 幼稚園の 預かり保育 (N=217)		認定 こども園 (N=679)		地域型保育 (小規模保育等) (N=74)		企業主導型 保育 (N=96)		その他の 認可外 保育施設 (N=55)		ファミリー サポート センター (N=102)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
0歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
1歳	2	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.4	1	1.0	0	0.0	1	1.0	
2歳	46	3.1	1	0.1	2	0.3	2	0.6	3	1.4	6	0.9	35	47.3	9	9.4	6	10.9	6	5.9	
3歳	36	2.5	5	0.6	4	0.7	2	0.6	7	3.2	6	0.9	9	12.2	9	9.4	3	5.5	6	5.9	
4歳	10	0.7	3	0.4	1	0.2	1	0.3	2	0.9	1	0.1	0	0.0	0	0.0	1	1.8	0	0.0	
5歳	1,344	91.7	770	95.9	588	96.1	313	95.1	196	90.3	644	94.8	26	35.1	75	78.1	42	76.4	82	80.4	
不明・無回答	28	1.9	24	3.0	17	2.8	11	3.3	9	4.1	22	3.2	3	4.1	2	2.1	3	5.5	7	6.9	

* 選択肢は一部省略

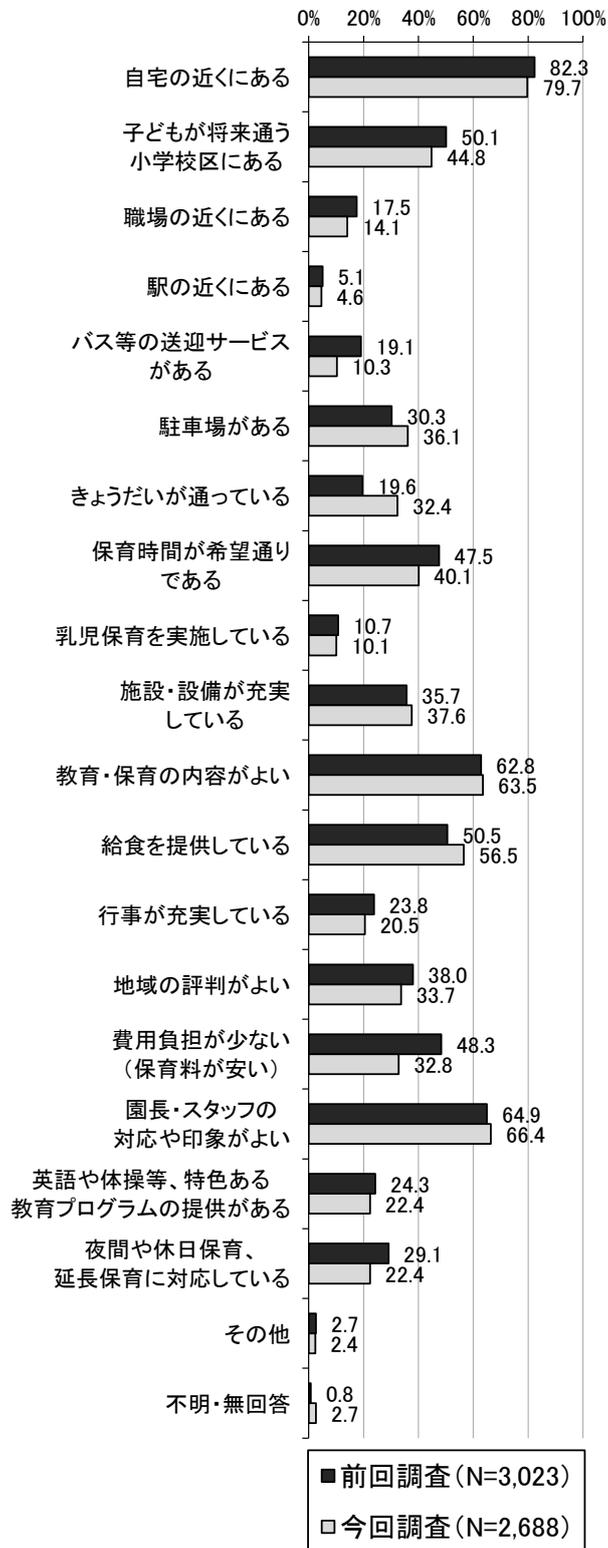
(1) - 1 「定期的に」に利用したい事業を選択する際に、重視する点

「定期的に」に利用したい事業を選択する際に、重視する点についてみると、「自宅の近くにある」が79.7%と最も高く、次いで「園長・スタッフの対応や印象がよい」が66.4%、「教育・保育の内容がよい」が63.5%となっています。

未就学児童(N=2,688)



経年比較についてみると、前回調査、今回調査ともに「自宅の近くにある」が最も高くなっています。前回調査に比べ低くなっている項目が多いものの、「きょうだいがいる」では10ポイント以上高くなっています。



希望教育・保育事業別

希望教育・保育事業別についてみると、[認可保育園] [市立幼稚園] [市立幼稚園の預かり保育] [認定こども園] [地域型保育 (小規模保育等)] [ファミリーサポートセンター] では「自宅の近くにある」、[私立幼稚園 (国立大学法人含む)] [私立幼稚園の預かり保育] では「教育・保育の内容がよい」、[企業主導型保育] [その他の認可外保育施設] では「園長・スタッフの対応や印象がよい」が最も高くなっています。

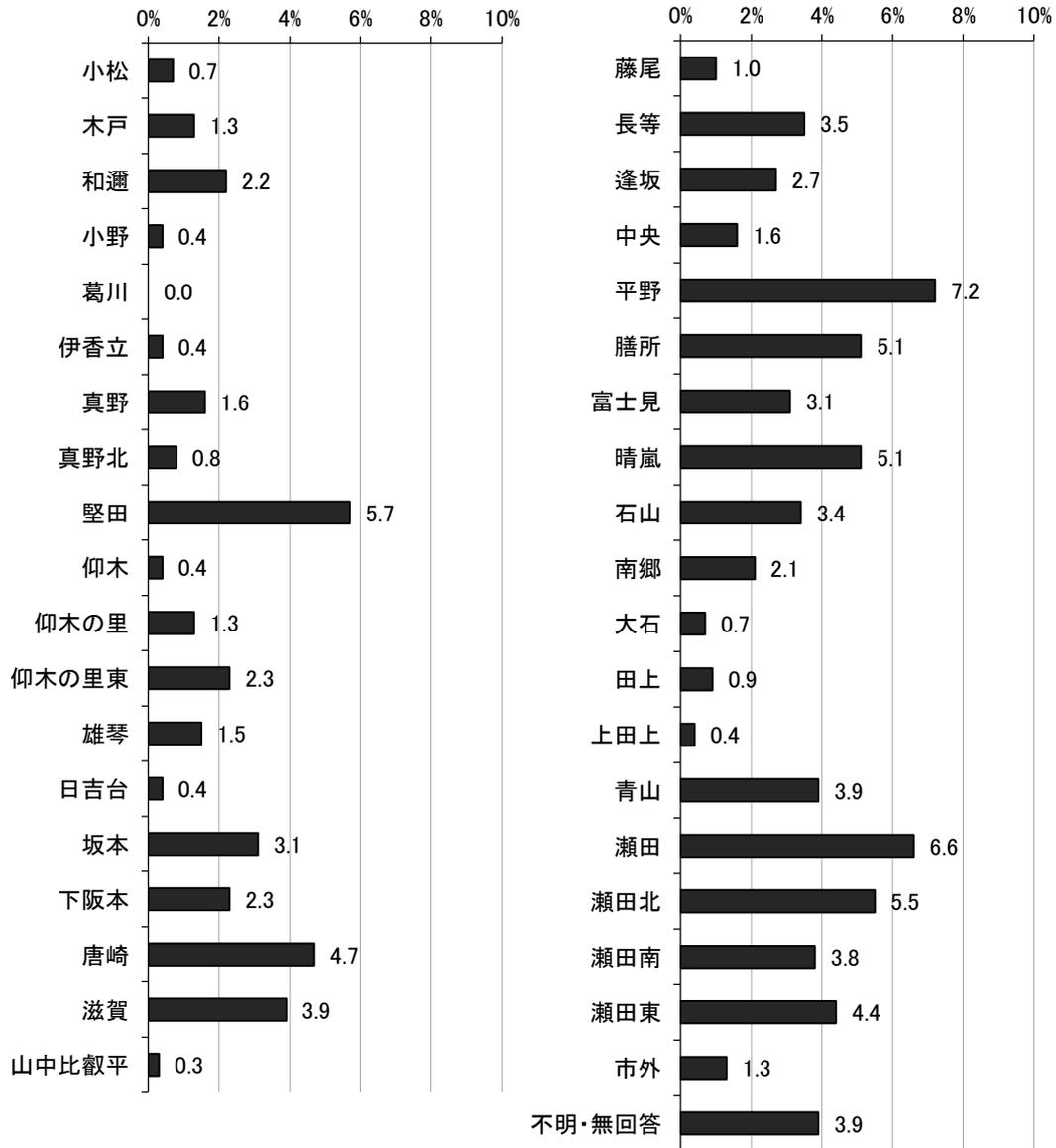
【未就学児童】	認可保育園 (N=1,466)		市立幼稚園 (N=803)		市立幼稚園の 預かり保育 (N=612)		私立幼稚園 (国立大学法人含む) (N=329)		私立幼稚園の 預かり保育 (N=217)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
自宅の近くにある	1,256	85.7	696	86.7	529	86.4	226	68.7	152	70.0
子どもが将来通う小学校区にある	635	43.3	517	64.4	398	65.0	109	33.1	72	33.2
職場の近くにある	287	19.6	81	10.1	73	11.9	26	7.9	30	13.8
駅の近くにある	91	6.2	16	2.0	16	2.6	13	4.0	10	4.6
バス等の送迎サービスがある	109	7.4	113	14.1	91	14.9	121	36.8	87	40.1
駐車場がある	647	44.1	215	26.8	187	30.6	111	33.7	92	42.4
きょうだい通っている	524	35.7	228	28.4	180	29.4	89	27.1	65	30.0
保育時間が希望通りである	792	54.0	205	25.5	194	31.7	101	30.7	90	41.5
乳児保育を実施している	237	16.2	38	4.7	39	6.4	13	4.0	16	7.4
施設・設備が充実している	637	43.5	273	34.0	224	36.6	138	41.9	104	47.9
教育・保育の内容がよい	975	66.5	467	58.2	391	63.9	271	82.4	175	80.6
給食を提供している	1,044	71.2	275	34.2	229	37.4	174	52.9	133	61.3
行事が充実している	315	21.5	149	18.6	129	21.1	83	25.2	61	28.1
地域の評判がよい	551	37.6	295	36.7	224	36.6	157	47.7	102	47.0
費用負担が少ない	514	35.1	345	43.0	280	45.8	131	39.8	93	42.9
園長・スタッフの対応や印象がよい	1,054	71.9	534	66.5	439	71.7	248	75.4	172	79.3
特色ある教育プログラムの提供がある	331	22.6	139	17.3	110	18.0	120	36.5	86	39.6
夜間や休日保育等に対応している	435	29.7	122	15.2	114	18.6	61	18.5	52	24.0
その他	42	2.9	17	2.1	14	2.3	4	1.2	4	1.8
不明・無回答	3	0.2	1	0.1	0	0.0	1	0.3	0	0.0

【未就学児童】	認定こども園 (N=679)		地域型保育 (小規模保育等) (N=74)		企業主導型保育 (N=96)		その他の認可外 保育施設 (N=55)		ファミリー サポートセンター (N=102)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
自宅の近くにある	551	81.1	67	90.5	75	78.1	35	63.6	83	81.4
子どもが将来通う小学校区にある	289	42.6	35	47.3	41	42.7	16	29.1	46	45.1
職場の近くにある	123	18.1	20	27.0	39	40.6	17	30.9	20	19.6
駅の近くにある	39	5.7	4	5.4	4	4.2	1	1.8	5	4.9
バス等の送迎サービスがある	97	14.3	15	20.3	25	26.0	12	21.8	19	18.6
駐車場がある	306	45.1	35	47.3	42	43.8	20	36.4	39	38.2
きょうだい通っている	229	33.7	20	27.0	33	34.4	9	16.4	41	40.2
保育時間が希望通りである	344	50.7	42	56.8	66	68.8	23	41.8	63	61.8
乳児保育を実施している	96	14.1	13	17.6	21	21.9	4	7.3	18	17.6
施設・設備が充実している	322	47.4	34	45.9	40	41.7	24	43.6	47	46.1
教育・保育の内容がよい	494	72.8	53	71.6	64	66.7	40	72.7	72	70.6
給食を提供している	506	74.5	57	77.0	72	75.0	32	58.2	69	67.6
行事が充実している	163	24.0	19	25.7	21	21.9	8	14.5	21	20.6
地域の評判がよい	266	39.2	36	48.6	49	51.0	21	38.2	43	42.2
費用負担が少ない	229	33.7	41	55.4	50	52.1	26	47.3	46	45.1
園長・スタッフの対応や印象がよい	488	71.9	55	74.3	78	81.3	41	74.5	78	76.5
特色ある教育プログラムの提供がある	238	35.1	18	24.3	35	36.5	25	45.5	19	18.6
夜間や休日保育等に対応している	198	29.2	19	25.7	46	47.9	13	23.6	36	35.3
その他	21	3.1	2	2.7	4	4.2	1	1.8	1	1.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(1) - 2 (1) 今後利用(継続)したい事業がある学区

今後利用(継続)したい事業がある学区についてみると、「平野」が7.2%と最も高く、次いで「瀬田」が6.6%、「堅田」が5.7%となっています。

未就学児童(N=2,688)



学区別

※上位3項目の件数、「市立幼稚園」「市立幼稚園の預かり保育」利用希望者を除く

学区別に上位3項目をみると、すべての学区で利用したい事業がある学区と居住学区が同様となっています。

【未就学児童】	小松 (N=16)		木戸 (N=26)		和邇 (N=35)		小野 (N=7)		葛川 (N=0)		伊香立 (N=9)		真野 (N=37)		真野北 (N=18)	
	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数
上位1位	小松	13	木戸	22	和邇	32	小野	5			伊香立	5	真野	22	真野北	10
上位2位	木戸	3					和邇	2			堅田	2			真野	4
上位3位													真野北	2	和邇	2

【未就学児童】	堅田 (N=94)		仰木 (N=5)		仰木の里 (N=12)		仰木の里東 (N=65)		雄琴 (N=52)		日吉台 (N=13)		坂本 (N=55)		下阪本 (N=78)	
	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数
上位1位	堅田	88	仰木	3	仰木の里	8	仰木の里東	37	雄琴	22	日吉台	6	坂本	43	下阪本	39
上位2位	真野北	2	仰木の里	2	堅田	4	堅田	12	仰木の里東	9	唐崎	4	唐崎	5	阪本	16
上位3位							仰木の里	6	堅田	6			下阪本	3	唐崎	9

【未就学児童】	唐崎 (N=90)		滋賀 (N=117)		山中比叡平 (N=8)		藤尾 (N=24)		長等 (N=81)		逢坂 (N=59)		中央 (N=45)		平野 (N=146)	
	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数
上位1位	唐崎	79	滋賀	78	山中比叡平	7	藤尾	20	長等	54	逢坂	44	中央	24	平野	130
上位2位	市外	2	唐崎	8					滋賀	7	中央	3	逢坂	9	逢坂	4
上位3位			長等	8					中央	5	市外	3	平野	5	膳所	4

【未就学児童】	膳所 (N=118)		富士見 (N=69)		晴嵐 (N=116)		石山 (N=69)		南郷 (N=51)		大石 (N=14)		田上 (N=26)		上田上 (N=6)	
	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数
上位1位	膳所	88	富士見	51	晴嵐	92	石山	50	南郷	29	大石	6	田上	14	上田上	2
上位2位	平野	16	膳所	6	膳所	8	晴嵐	5	石山	13	石山	3	南郷	4	瀬田東	2
上位3位	富士見	4	平野	3	富士見	7	南郷	4	瀬田南	3			石山	4		

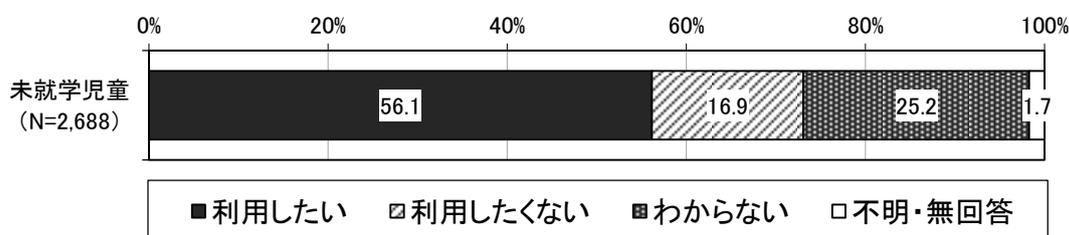
【未就学児童】	青山 (N=87)		瀬田 (N=138)		瀬田北 (N=116)		瀬田南 (N=73)		瀬田東 (N=82)	
	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数	学区	件数
上位1位	青山	66	瀬田	108	瀬田北	101	瀬田南	53	瀬田東	66
上位2位	瀬田南	5	瀬田東	8	瀬田東	5	瀬田	10	瀬田	7
上位3位	瀬田東	4	瀬田北	6	膳所	3	瀬田北	3	瀬田北	3
	市外	4	瀬田南	6						

* 2件以上の項目および、上位3位では同率が3項目以上ある場合は近接学区2項目までを掲載

[未就学児童用調査／問 20 単数回答]

(2) 勤めている企業や、近くの企業内に保育サービスがあった場合の利用の有無

勤務企業等に保育サービスがあった場合の利用の有無についてみると、「利用したい」が56.1%と最も高く、次いで「わからない」が25.2%、「利用したくない」が16.9%となっています。



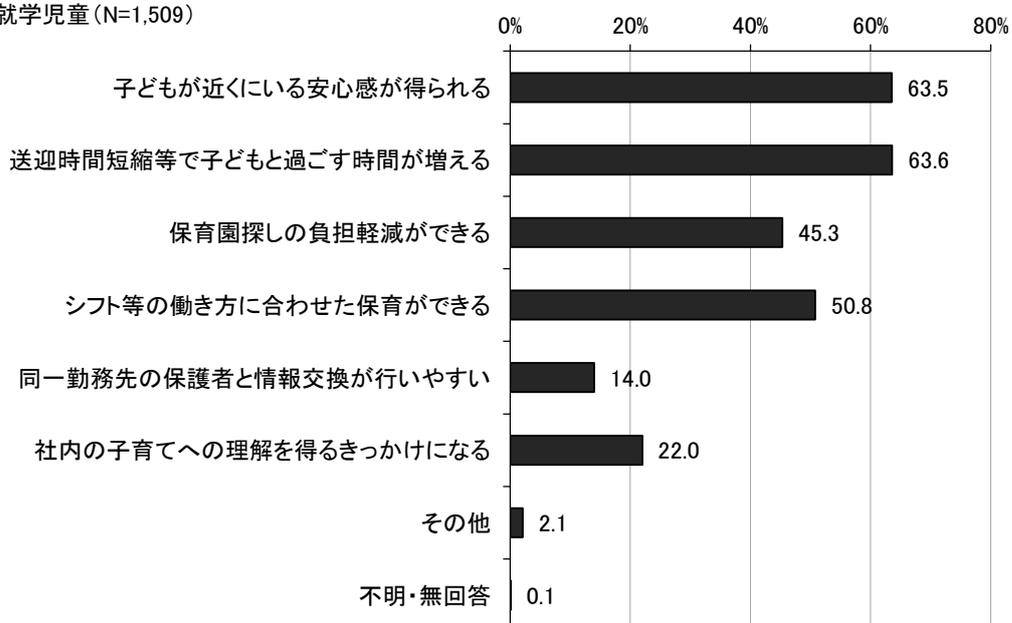
[未就学児童用調査／問 20-1 3つまでに回答]

(2) で「利用したい」を選んだ方

(2) - 1 利用したいと思う理由

利用したいと思う理由についてみると、「送迎時間短縮等で子どもと過ごす時間が増える」が63.6%と最も高く、次いで「子どもが近くにいる安心感が得られる」が63.5%、「シフト等の働き方に合わせた保育ができる」が50.8%となっています。

未就学児童 (N=1,509)

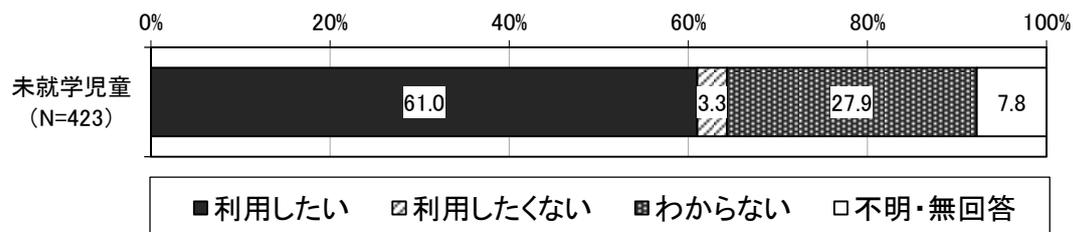


[未就学児童用調査／問 21 単数回答]

(1)で「市立幼稚園」「市立幼稚園の預かり保育」「私立幼稚園」「私立幼稚園の預かり保育」のいずれかを選択し、かつそれ以外の番号も選んだ方

(3) 幼稚園の利用希望

幼稚園の利用希望についてみると、「利用したい」が61.0%と最も高く、次いで「わからない」が27.9%、「利用したくない」が3.3%となっています。



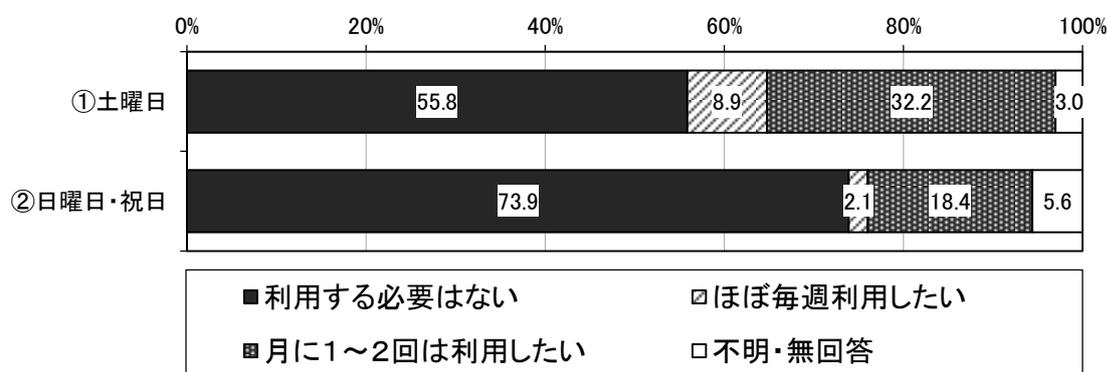
5. お子さんの土曜や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

〔未就学児童用調査／問 22 単数回答〕

(1) 土曜日と日曜日・祝日の、保育園、幼稚園、認定こども園等の利用希望

土曜日と日曜日・祝日の、保育園、幼稚園、認定こども園等の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ 55.8%、73.9%と最も高くなっています。

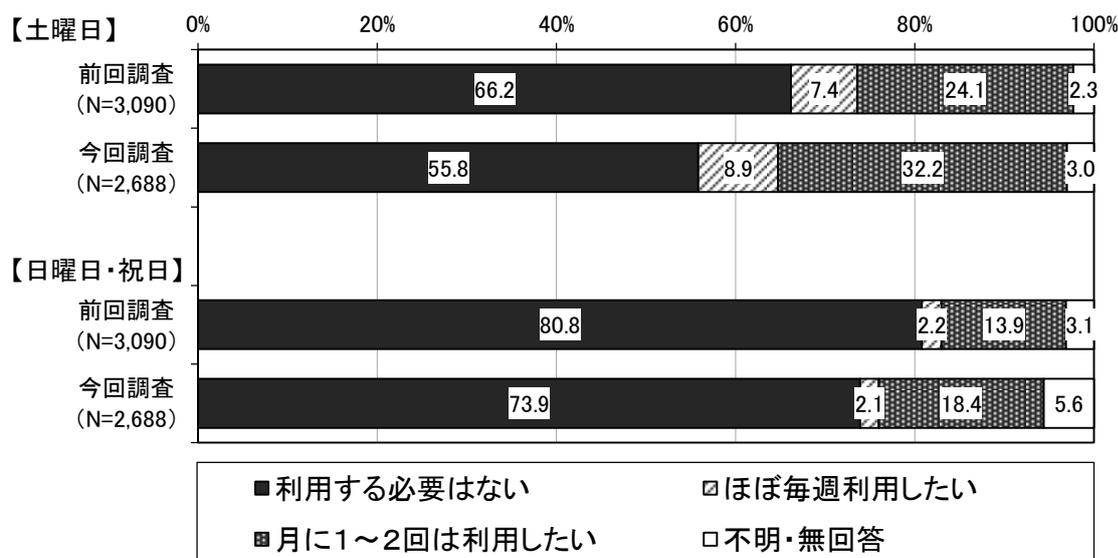
未就学児童 (N=2,688)



経年比較

〔前回調査 未就学児童用調査／問 19〕

経年比較についてみると、土曜日、日曜日・祝日で前回調査、今回調査ともに「利用する必要はない」が最も高くなっています。土曜日、日曜日・祝日ともに「月に1～2回は利用したい」は前回調査に比べて高くなっています。



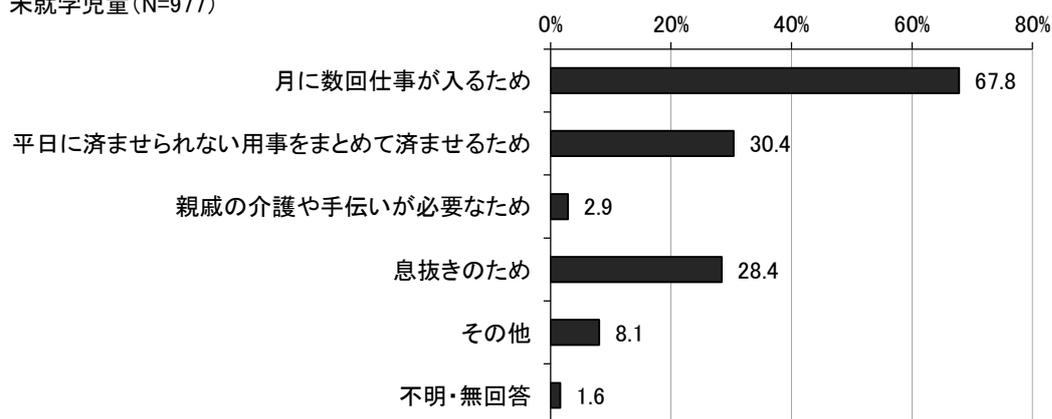
[未就学児童用調査／問 22-1 複数回答]

(1) の①もしくは②で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

(1) - 1 毎週ではなく、たまに利用したい理由

毎週ではなく、たまに利用したい方の理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が67.8%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が30.4%、「息抜きのため」が28.4%となっています。

未就学児童(N=977)



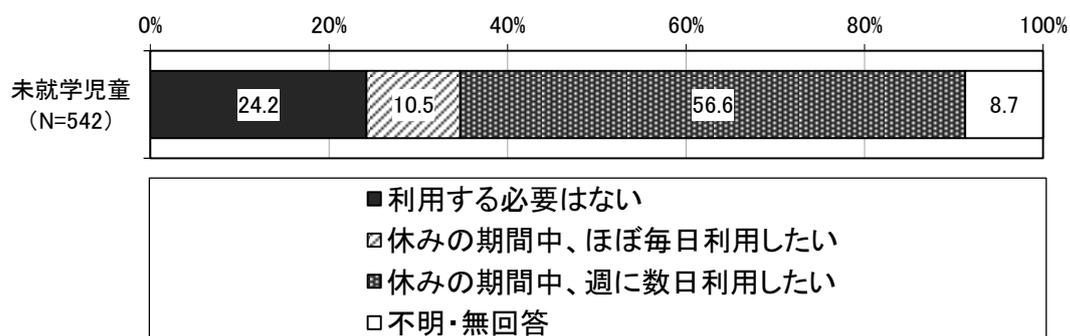
「幼稚園」を利用されている方

(2) 夏休み・冬休み等、長期の休暇期間中の施設や事業の利用希望

幼稚園を利用されている方の、長期の休暇期間中の施設や事業の利用希望についてみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が56.6%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が24.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が10.5%となっています。

また、利用したい時間帯については、開始時間では「9時台」、終了時間では「17時台」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

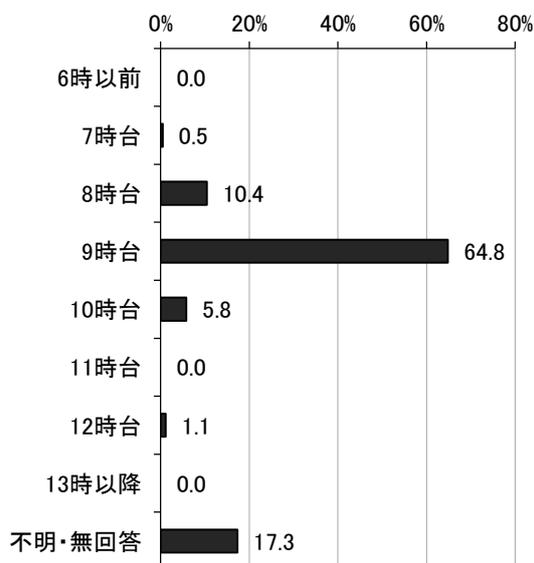
〈①利用頻度〉



〈②利用したい時間帯〉 ※数量回答

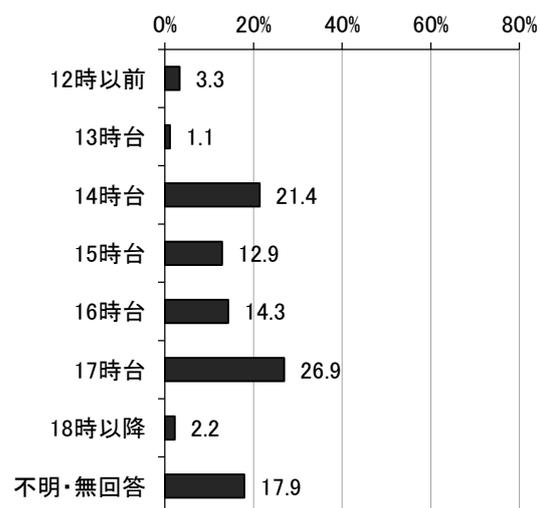
○利用開始時間

未就学児童(N=364)

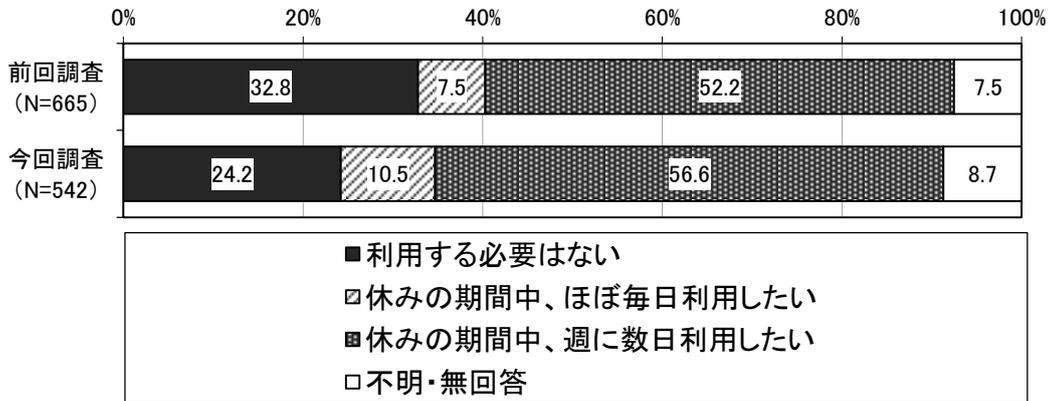


○利用終了時間

未就学児童(N=364)



経年比較についてみると、前回調査、今回調査ともに「休みの期間中、週に数日利用したい」が最も高くなっています。前回調査に比べて「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」は高くなっています。



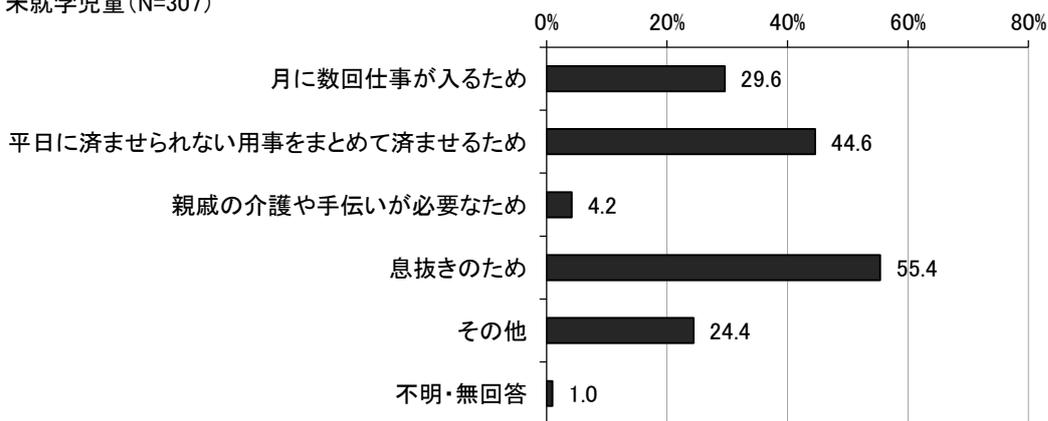
〔未就学児童用調査／問 23-1 複数回答〕

(1) で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方

(2) - 1 毎日ではなく、たまに利用したい理由

毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「息抜きのため」が 55.4%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 44.6%、「月に数回仕事が入るため」が 29.6%となっています。

未就学児童 (N=307)



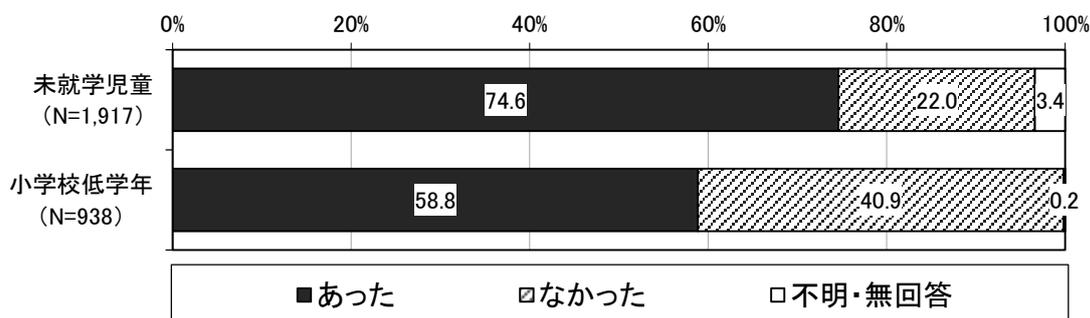
6. お子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

[未就学児童用調査／問 24、小学生用調査／問 23 単数回答]

未就学児童用調査では、平日、幼稚園や保育園等の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方(未就学児童用調査／問 16 で「利用している」を選んだ方

(1) この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の利用(または登校)ができなかったことの有無

病気やけがで通常の利用(または登校)ができなくなったことの有無についてみると、「あった」が未就学児童で74.6%、小学校低学年で58.8%となっています。



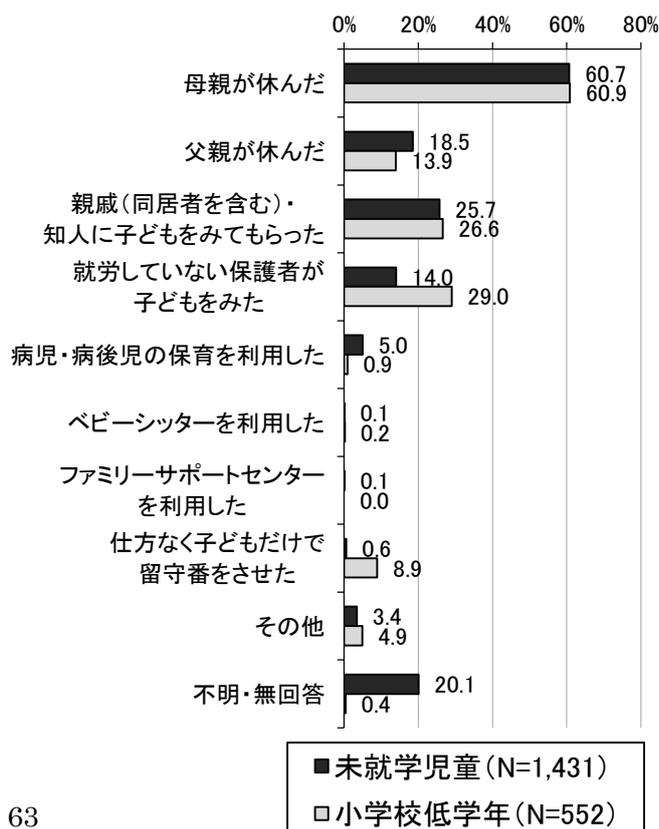
[未就学児童用調査／問 24-1、小学生用調査／問 23-1 複数回答]

(1) で「あった」を選んだ方

(1) - 1 病気やけがで普段利用している施設や事業が利用(または登校)できなかった場合に、この1年間に行った対処方法

子どもが病気やけがで普段利用している施設や事業が利用(または利用)できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてみると、未就学児童、小学校低学年ともに「母親が休んだ」がそれぞれ60.7%、60.9%と最も高く、次いで未就学児童では「親族(同居者を含む)・知人に子どもをみてもらった」が25.7%、小学校低学年では「就労していない保護者が子どもをみた」が29.0%となっています。

①対処方法



未就学児童の年間対処日数については、[母親が休んだ] [親族（同居者を含む）・知人に子どもをみてもらった] [就労していない保護者が子どもをみた] [病児・病後児の保育を利用した] [その他] では「10日以上」の割合がそれぞれ高くなっています。

〈②年間利用日数〉 ※数量回答、未就学児童のみ

【未就学児童】 年間対処日数	母親が休んだ (N=868)		父親が休んだ (N=265)		親戚(同居者を含む) ・知人に子どもを みてもらった (N=368)		就労していない 保護者が子ども をみた (N=200)		病児・病後児の 保育を利用した (N=72)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	41	4.7	47	17.7	27	7.3	15	7.5	9	12.5
2日	82	9.4	57	21.5	58	15.8	28	14.0	10	13.9
3日	114	13.1	50	18.9	49	13.3	17	8.5	9	12.5
4日	42	4.8	11	4.2	9	2.4	6	3.0	5	6.9
5日	124	14.3	39	14.7	57	15.5	32	16.0	11	15.3
6日	19	2.2	6	2.3	12	3.3	3	1.5	2	2.8
7日	43	5.0	4	1.5	18	4.9	16	8.0	5	6.9
8日	15	1.7	3	1.1	3	0.8	6	3.0	1	1.4
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0
10日以上	295	34.0	23	8.7	80	21.7	55	27.5	18	25.0
不明・無回答	93	10.7	25	9.4	55	14.9	21	10.5	2	2.8

【未就学児童】 年間対処日数	ベビーシッターを 利用した (N=1)		ファミリーサポート センターを 利用した (N=1)		仕方なく子ども だけで留守番 をさせた (N=9)		その他 (N=49)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	1	100.0	0	0.0	2	22.2	3	6.1
2日	0	0.0	1	100.0	3	33.3	6	12.2
3日	0	0.0	0	0.0	1	11.1	7	14.3
4日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	4.1
5日	0	0.0	0	0.0	1	11.1	5	10.2
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	4.1
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	6.1
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12	24.5
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	2	22.2	9	18.4

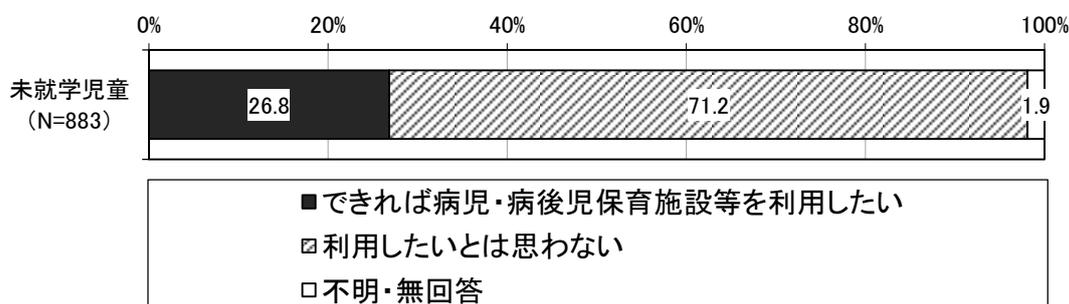
(1) - 1で「母親が休んだ」「父親が休んだ」を選んだ方

(1) - 2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と
思われたか

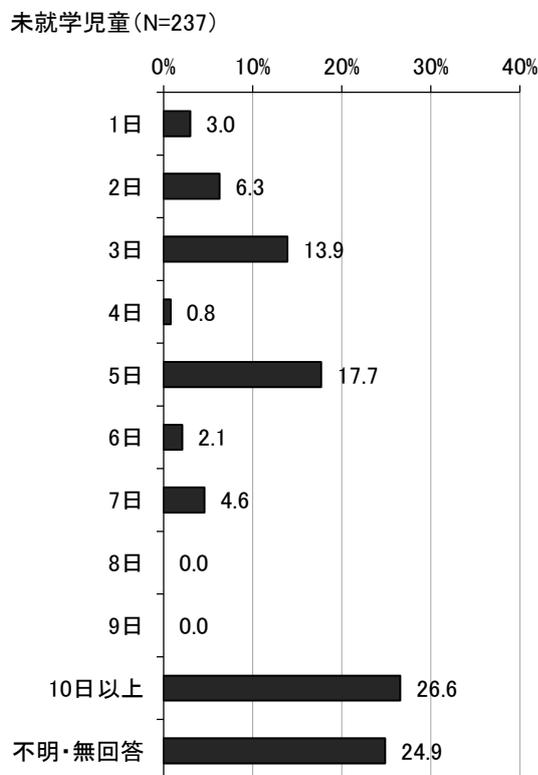
父親又は母親が休んだ方で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたかについてみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が26.8%、「利用したいとは思わない」が71.2%となっています。

また、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい年間利用日数については、「10日以上」が最も高くなっています。

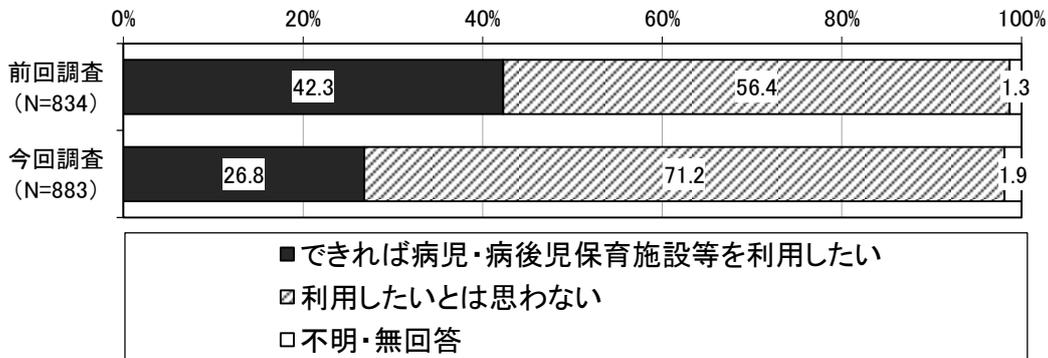
〈①対処方法〉



〈②年間利用日数〉 ※数量回答



経年比較についてみると、前回調査、今回調査ともに「利用したいとは思わない」が最も高くなっています。前回調査に比べて「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は低くなっています。



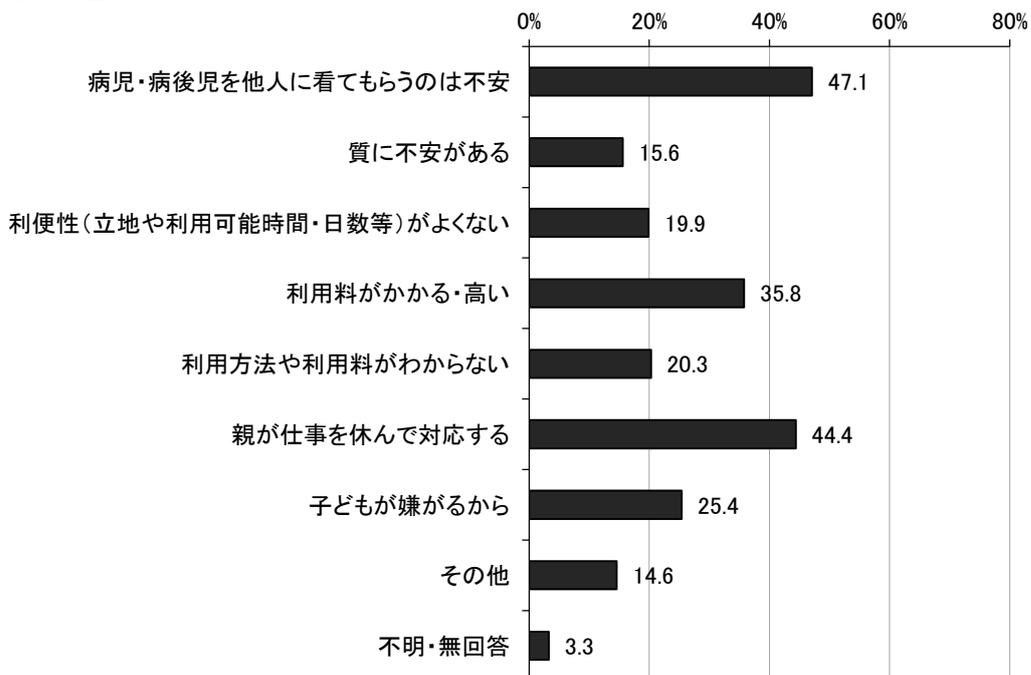
〔未就学児童用調査／問 24－3 複数回答〕

(1)－2で「利用したいとは思わない」を選んだ方

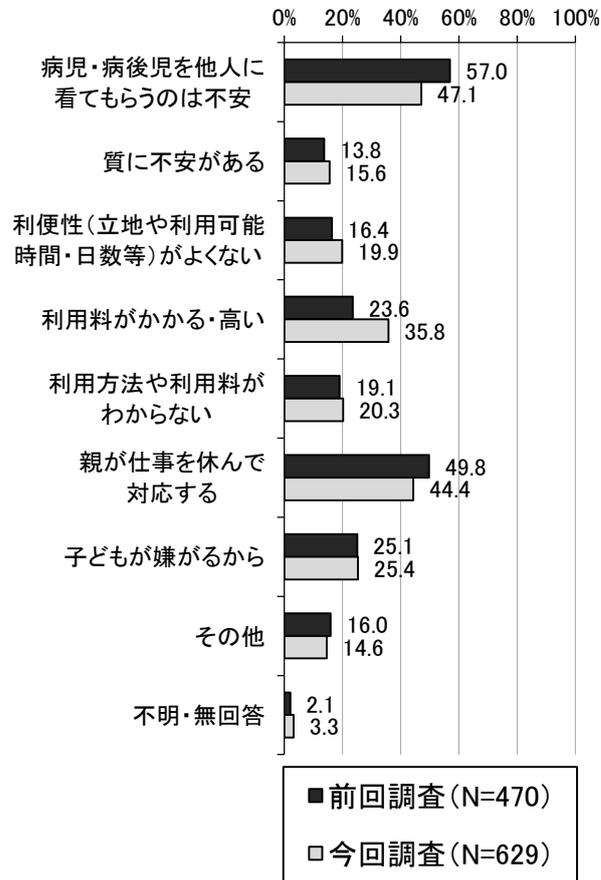
(1)－3 そう思われる理由

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由についてみると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が47.1%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が44.4%、「利用料がかかる・高い」が35.8%となっています。

未就学児童(N=629)



経年比較についてみると、前回調査、今回調査ともに「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」が最も高くなっています。前回調査に比べて「利用料がかかる・高い」は 10 ポイント以上高くなっています。



7. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

〔未就学児童用調査／問 25 複数回答〕

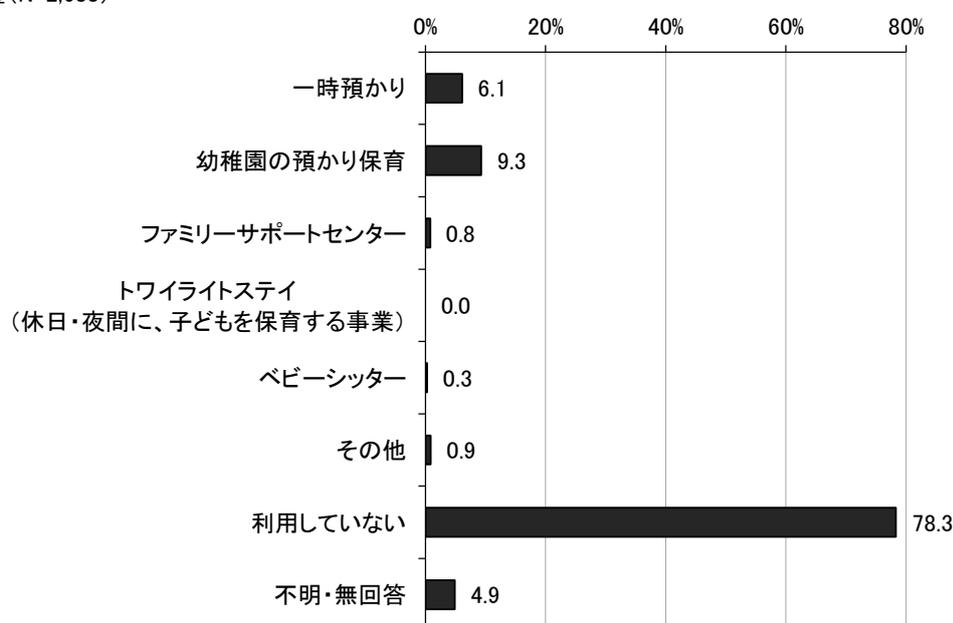
（1）日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業

不定期に利用している事業についてみると、「幼稚園の預かり保育」が9.3%、「一時預かり」が6.1%となっています。また、「利用していない」が78.3%となっています。

年間利用日数では、[ベビーシッター]を除くすべての事業で「10日以上」が最も高くなっています。

〈①不定期に利用している事業〉

未就学児童(N=2,688)



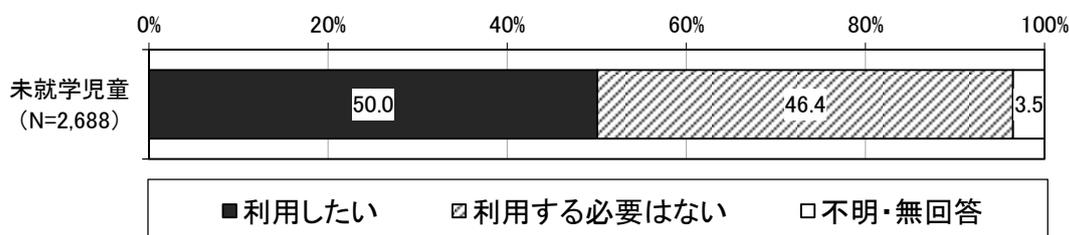
〈②年間利用日数〉 ※数量回答

【未就学児童】 年間利用日数	一時預かり (N=164)		幼稚園の 預かり保育 (N=250)		ファミリー サポート センター (N=22)		トワイライト ステイ (N=1)		ベビーシッター (N=8)		その他 (N=24)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	12	7.3	6	2.4	3	13.6	0	0.0	1	12.5	1	4.2
2日	25	15.2	8	3.2	2	9.1	0	0.0	0	0.0	1	4.2
3日	11	6.7	11	4.4	2	9.1	0	0.0	0	0.0	2	8.3
4日	4	2.4	3	1.2	1	4.5	0	0.0	0	0.0	2	8.3
5日	18	11.0	12	4.8	2	9.1	0	0.0	0	0.0	3	12.5
6日	3	1.8	3	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	1	0.6	3	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.2
8日	1	0.6	2	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	73	44.5	175	70.0	7	31.8	1	100.0	0	0.0	11	45.8
不明・無回答	16	9.8	27	10.8	5	22.7	0	0.0	7	87.5	3	12.5

[未就学児童用調査／問 26 単数回答]

(2) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、お子さんを預かる事業の利用希望

不定期の就労等の目的で利用したい事業の利用希望についてみると、「利用したい」が 50.0%、「利用する必要はない」が 46.4%となっています。



[未就学児童用調査／問 26-1 複数回答]

(2) で「利用したい」を選んだ方

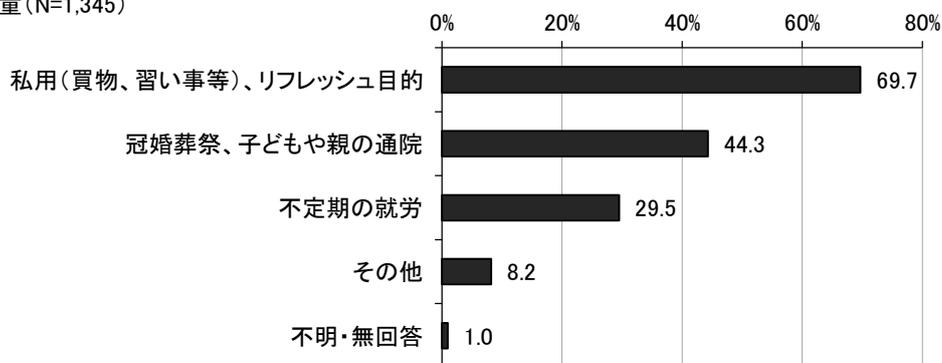
(2) - 1 利用する目的とおおむねの年間利用日数

利用したい目的についてみると、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が 69.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、子どもや親の通院」が 44.3%、「不定期の就労」で 29.5%となっています。

利用したい年間利用日数では、[冠婚葬祭、子どもや親の通院]を除くすべての目的で「10～14日」が高く、[冠婚葬祭、子どもや親の通院]では「1～4日」が高くなっています。

〈①利用目的〉

未就学児童(N=1,345)



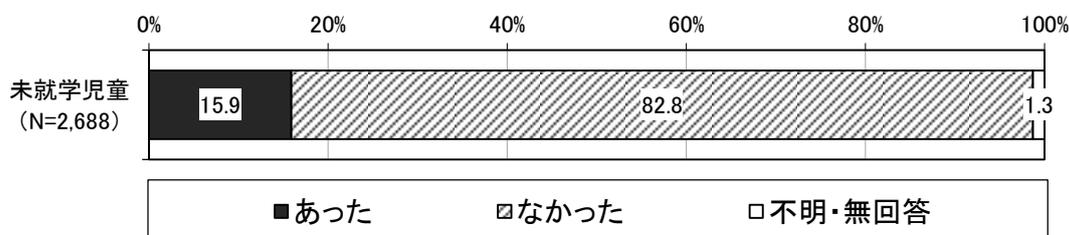
〈②年間利用日数〉 ※数量回答

【未就学児童】 年間利用日数	私用(買物、 習い事等)、 リフレッシュ目的 (N=937)		冠婚葬祭、 子どもや親 の通院 (N=596)		不定期の 就労 (N=397)		その他 (N=110)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1～4日	145	15.5	165	27.7	47	11.8	24	21.8
5～9日	173	18.5	143	24.0	47	11.8	14	12.7
10～14日	313	33.4	132	22.1	73	18.4	26	23.6
15～19日	14	1.5	3	0.5	5	1.3	6	5.5
20～29日	87	9.3	30	5.0	37	9.3	9	8.2
30～39日	37	3.9	14	2.3	29	7.3	2	1.8
40～49日	28	3.0	6	1.0	13	3.3	2	1.8
50日以上	40	4.3	7	1.2	69	17.4	7	6.4
不明・無回答	100	10.7	96	16.1	77	19.4	20	18.2

[未就学児童用調査／問 27 単数回答]

(3) この1年間に、保護者の用事等により、お子さんを泊りがけで預けなければならないことがあったか

お子さんを泊りがけで預けなければならないことはあったかについてみると、「あった」が15.9%、「なかった」が82.8%となっています。



[未就学児童用調査／問 27-1 複数回答]

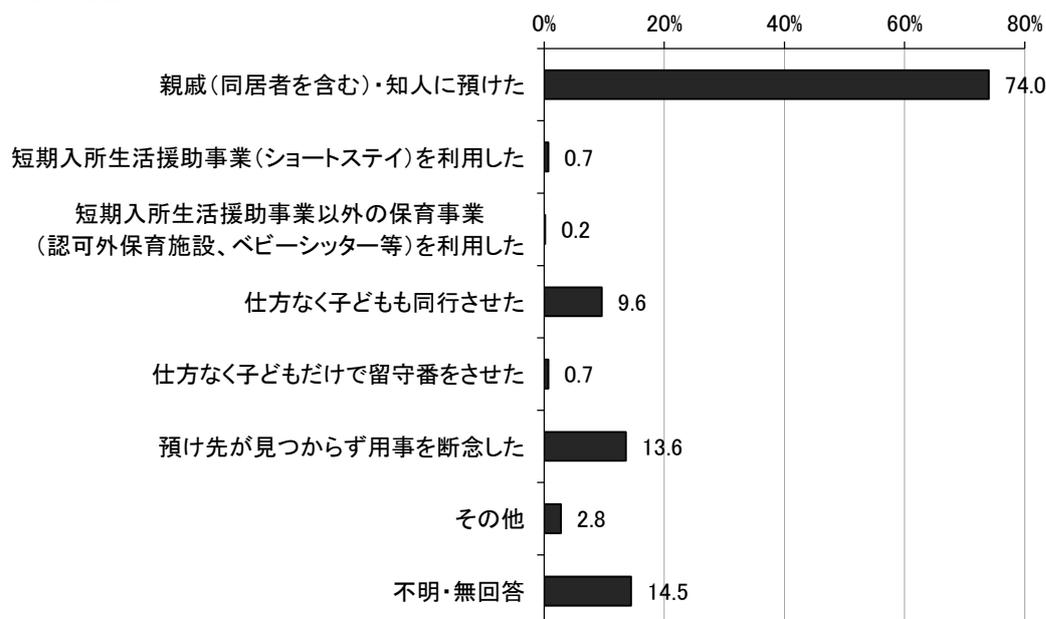
(3) で「あった」を選んだ方

(3) - 1 対処方法とおおむねの年間利用日数

対処方法についてみると、「親戚(同居者を含む)・知人に預けた」が74.0%と最も高く、次いで「預け先が見つからず用事を断念した」が13.6%、「仕方なく子どもも同行させた」が9.6%となっています。

〈①対処方法〉

未就学児童(N=427)



年間対処日数では、[親戚（同居者を含む）・知人に預けた] [短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した] [その他] で「10泊以上」が高く、それ以外の対処方法では、「3泊」以下で高くなっています。

〈②年間利用日数〉 ※数量回答

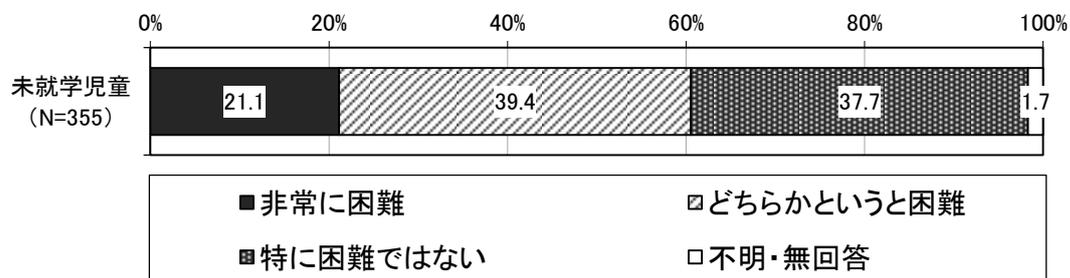
【未就学児童】 年間対処日数	親戚(同居者を含む)・ 知人に預けた (N=316)		短期入所 生活援助 事業を利用 した (N=3)		短期入所 生活援助 事業以外の 保育事業を 利用した (N=1)		仕方なく 子どもも 同行させた (N=41)		仕方なく 子どもだけで 留守番 をさせた (N=3)		預け先が 見つからず 用事を 断念した (N=58)		その他 (N=12)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	49	15.5	1	33.3	0	0.0	10	24.4	0	0.0	10	17.2	1	8.3
2泊	42	13.3	1	33.3	0	0.0	5	12.2	1	33.3	15	25.9	2	16.7
3泊	41	13.0	0	0.0	0	0.0	4	9.8	1	33.3	2	3.4	4	33.3
4泊	24	7.6	0	0.0	0	0.0	1	2.4	0	0.0	4	6.9	0	0.0
5泊	39	12.3	0	0.0	0	0.0	3	7.3	0	0.0	5	8.6	0	0.0
6泊	11	3.5	0	0.0	0	0.0	2	4.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7泊	16	5.1	0	0.0	0	0.0	2	4.9	1	33.3	1	1.7	0	0.0
8泊	3	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9泊	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10泊以上	51	16.1	0	0.0	1	100.0	2	4.9	0	0.0	5	8.6	4	33.3
不明・無回答	39	12.3	1	33.3	0	0.0	12	29.3	0	0.0	16	27.6	1	8.3

[未就学児童用調査／問 27-2 単数回答]

(3) - 1 で「その他」以外を選んだ方

(3) - 2 その場合の困難度

親族・知人に預けた場合の困難度についてみると、「どちらかという困難」が39.4%と最も高く、次いで「特に困難ではない」が37.7%、「非常に困難」が21.1%となっています。



8. お子さんの地域子育て支援拠点事業等の利用状況について

〔未就学児童用調査／問 28 複数回答〕

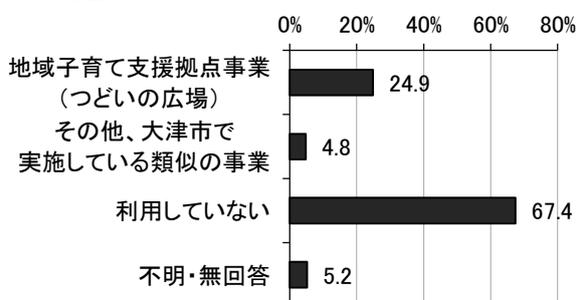
（1）大津市の地域子育て支援拠点事業等の利用状況

地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「地域子育て支援拠点事業（つどいの広場）」が 24.9%、「その他、大津市で実施している類似の事業」が 4.8%となっています。一方、「利用していない」は 67.4%となっています。

また、1ヶ月あたりの利用回数では、[地域子育て支援拠点事業][その他、大津市で実施している類似の事業]ともに「1回」の割合が高くなっています。

〈①利用状況〉

未就学児童(N=2,688)



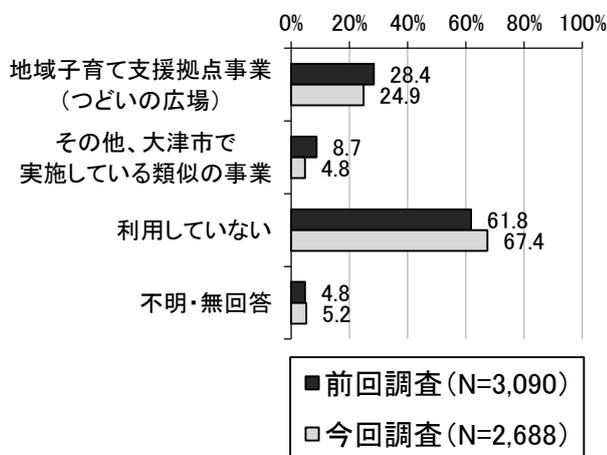
〈②月間利用回数〉 ※数量回答

【未就学児童】 1ヶ月あたり 利用回数	地域子育て支援拠点事業 (つどいの広場) (N=670)		その他、大津市 で実施している 類似の事業 (N=129)	
	件数	%	件数	%
1回	306	45.7	43	33.3
2回	125	18.7	23	17.8
3回	52	7.8	17	13.2
4回	60	9.0	20	15.5
5回	30	4.5	6	4.7
6回	9	1.3	5	3.9
7回	2	0.3	0	0.0
8回	13	1.9	6	4.7
9回	0	0.0	0	0.0
10回以上	37	5.5	0	0.0
不明・無回答	36	5.4	9	7.0

経年比較

〔前回調査 未就学児童用調査／問 16〕

経年比較についてみると、前回調査、今回調査ともに「利用していない」が最も高くなっており、前回調査に比べて「地域子育て支援拠点事業（つどいの広場）」「その他、大津市で実施している類似の事業」は低くなっています。



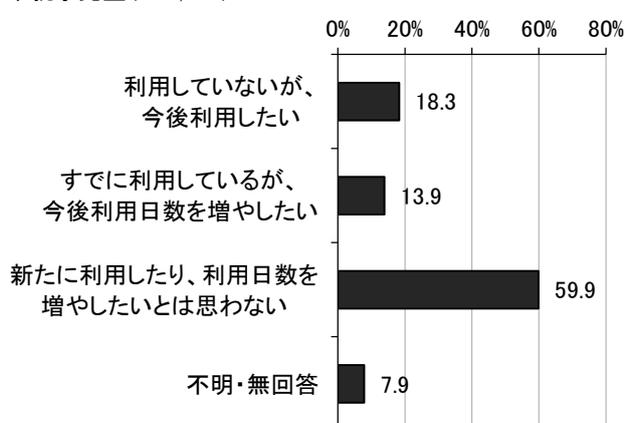
(2) 地域子育て支援拠点事業等について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思うか

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 59.9%と最も高く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」が 18.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 13.9%となっています。

また、1ヶ月あたりの利用希望回数では、[利用していないが、今後利用したい]で「1回」、[すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい]が「2回」「4回」が同率で最も高くなっています。

〈①利用希望状況〉

未就学児童(N=2,688)



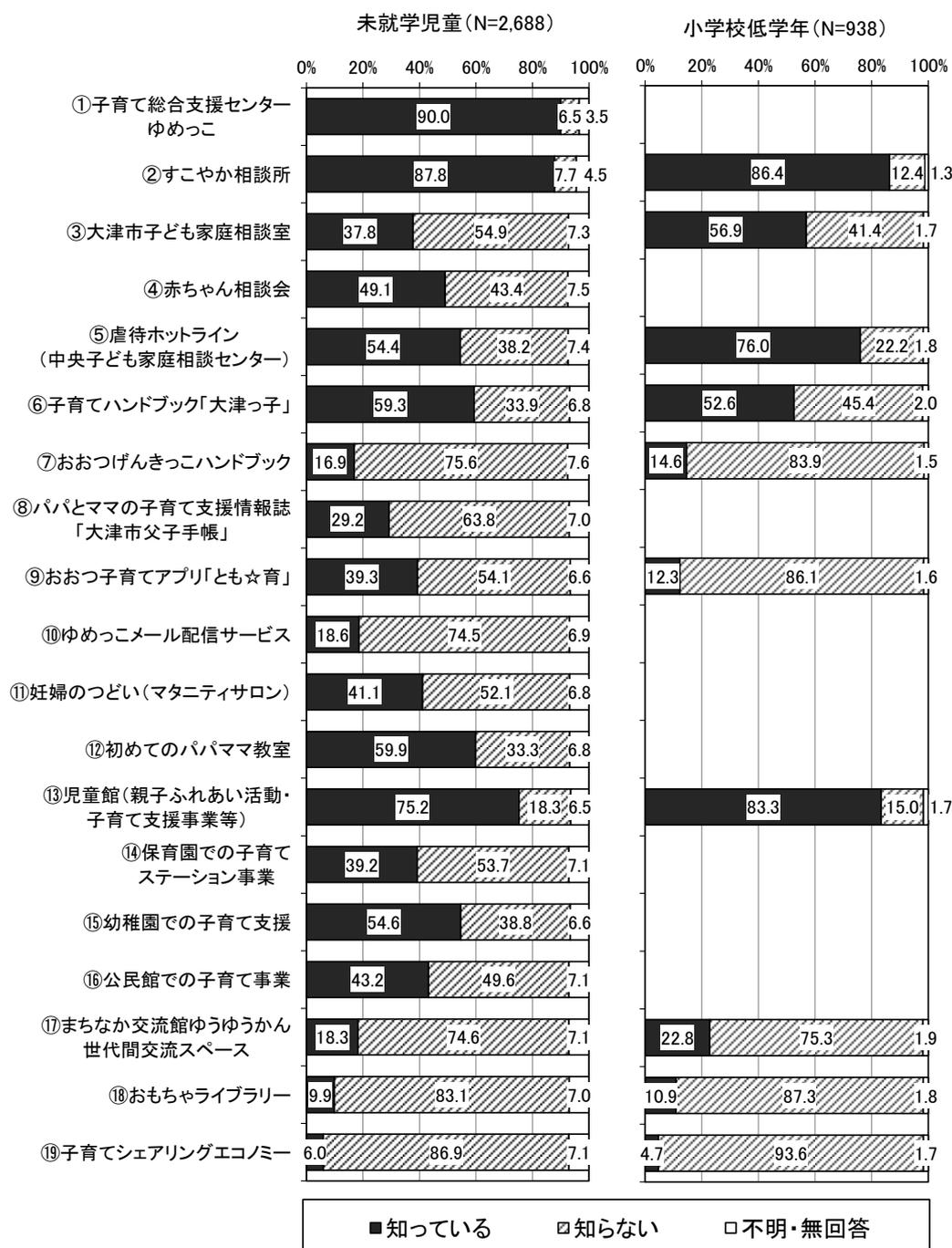
〈②月間利用回数〉 ※数量回答

【未就学児童】 1ヶ月あたり 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=493)		すでに利用して いるが、今後利用 日数を増やしたい (N=373)	
	件数	%	件数	%
1回	193	39.1	23	6.2
2回	99	20.1	56	15.0
3回	43	8.7	32	8.6
4回	41	8.3	56	15.0
5回	9	1.8	23	6.2
6回	4	0.8	13	3.5
7回	2	0.4	2	0.5
8回	5	1.0	27	7.2
9回	0	0.0	0	0.0
10回以上	12	2.4	44	11.8
不明・無回答	85	17.2	97	26.0

(3) 各事業の認知度、利用度、利用意向

各事業の認知度についてみると、「知っている」で未就学児童では〈①子育て総合支援センターゆめっこ〉〈②すこやか相談所〉が、小学校低学年では〈②すこやか相談所〉〈⑬児童館（親子ふれあい活動・子育て支援事業等）〉が8割以上となっています。「知らない」で未就学児童、小学校低学年ともに〈⑱子育てシェアリングエコノミー〉〈⑱おもちゃライブラリー〉が、加えて小学校低学年では〈⑨おおつ子育てアプリ「とも☆育」〉〈⑦おおつげんきっこハンドブック〉が8割以上と高くなっています。

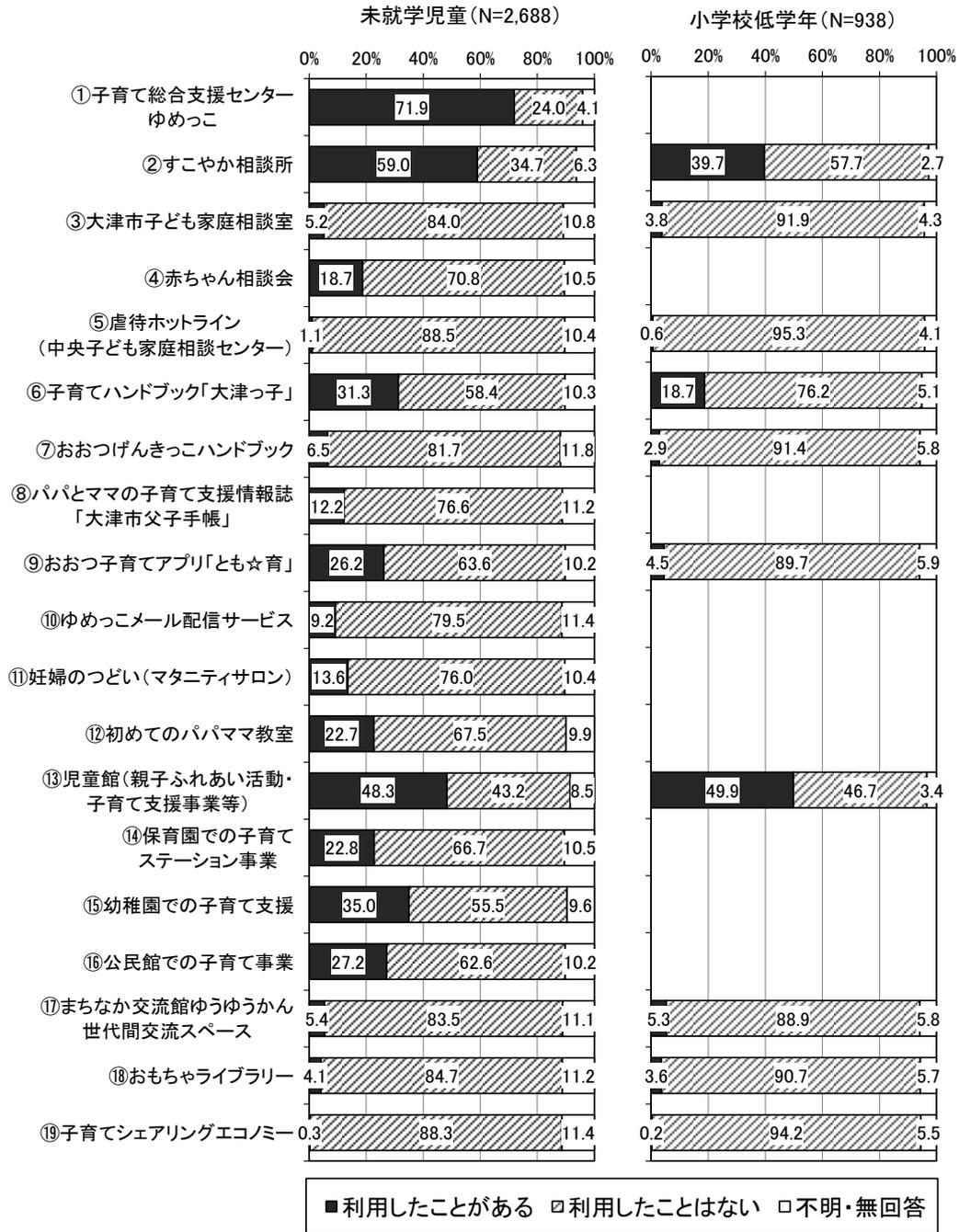
〈認知度〉



* 小学生用調査では①④⑧⑩⑪⑫⑭⑮⑯の項目は設問なし

利用度では「利用したことがある」が未就学児童では〈①子育て総合支援センター ゆめっこ〉が7割以上、小学校低学年では〈⑬児童館（親子ふれあい活動・子育て支援事業等）〉が約5割と高くなっています。

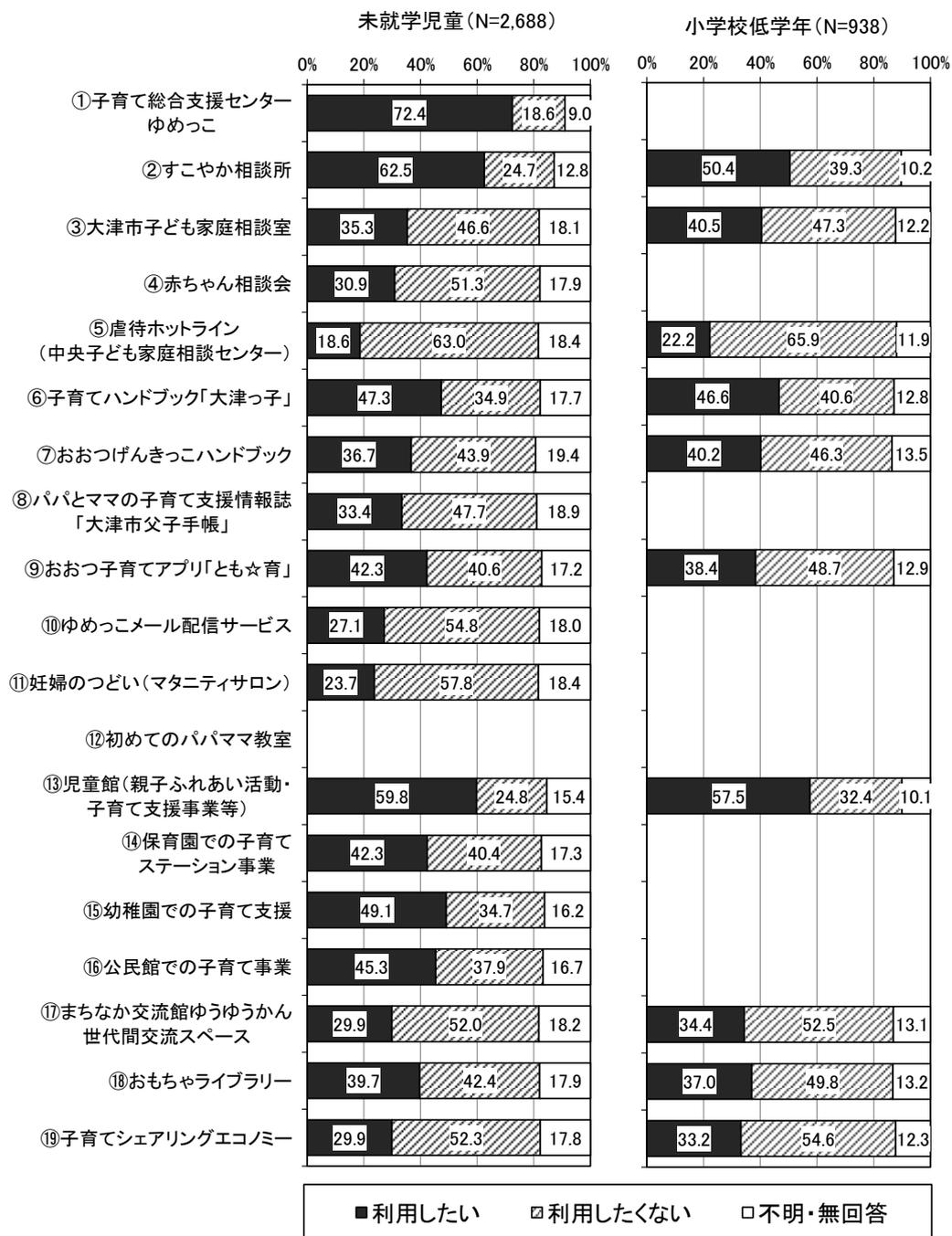
〈利用度〉



* 小学生用調査では①④⑧⑩⑪⑫⑭⑮⑯の項目は設問なし

利用意向では「利用したい」が未就学児童では〈①子育て総合支援センター ゆめっこ〉〈②すこやか相談所〉が6割以上、小学校低学年で〈⑬児童館（親子ふれあい活動・子育て支援事業等）〉〈②すこやか相談所〉が5割以上と最も高くなっています。

〈利用意向〉



* 利用意向では⑫の項目は設問なし
 * 小学生用調査では①④⑧⑩⑪⑫⑭⑮⑯の項目は設問なし

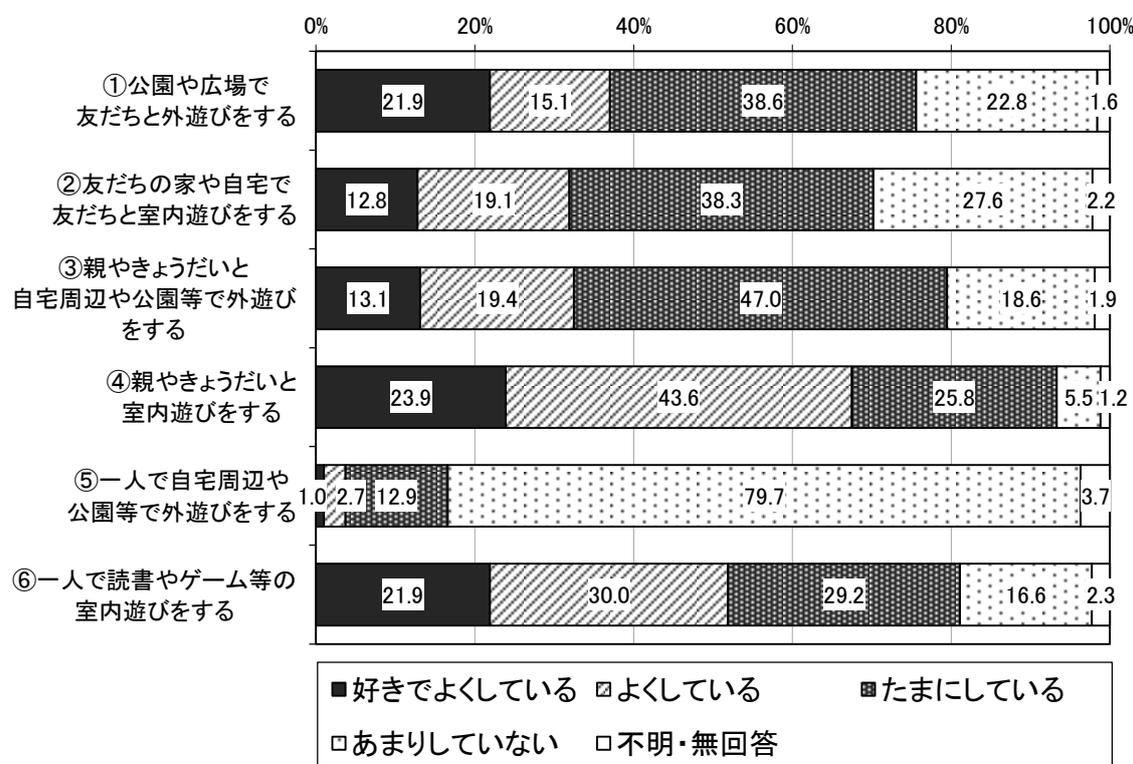
9. お子さんの放課後や休日等の過ごし方や就学後について

[小学生用調査／問 17 単数回答]

(1) 放課後や休日に好きでよくしている遊びの状況

よくしている遊びについてみると、〈④親やきょうだいと室内遊びをする〉は「好きでよくしている」(23.9%)と「よくしている」(43.6%)を合わせると67.5%、〈⑥一人で読書やゲーム等の室内遊びをする〉は「好きでよくしている」(21.9%)と「よくしている」(30.0%)を合わせると51.9%と、他の項目に比べて高くなっています。

小学校低学年(N=938)



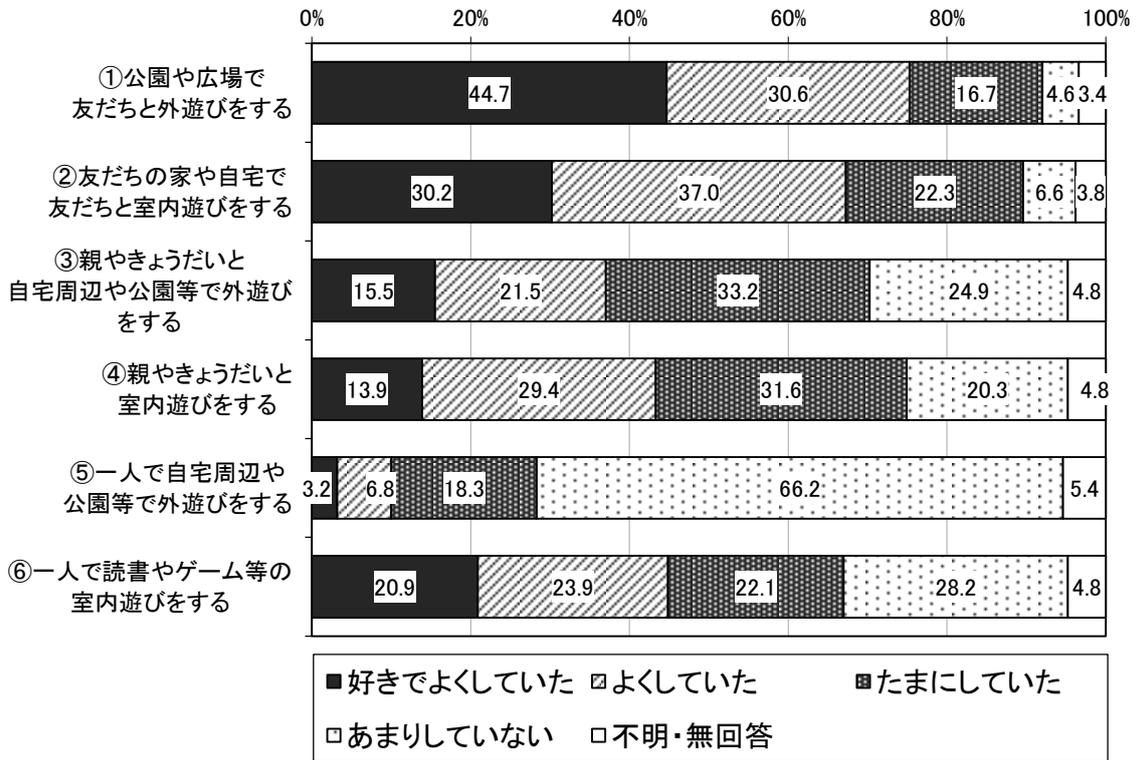
<参考>

子ども・若者に関する調査結果(若者用調査)(本報告書内)

問 15 あなたが小学生や中学生の頃に、好きでよくしていた遊びはなんですか。

「好きでよくしていた」と「よくしていた」を合わせた割合について、若者用調査では、
 〈①公園や広場で友だちと外遊びをする〉〈②友だちの家や自宅で友だちと室内遊びをする〉
 が6割以上と高い一方、小学校低学年では、〈④親やきょうだいと室内遊びをする〉〈⑥一人
 で読書やゲーム等の室内遊びをする〉が5割以上と高くなっています。

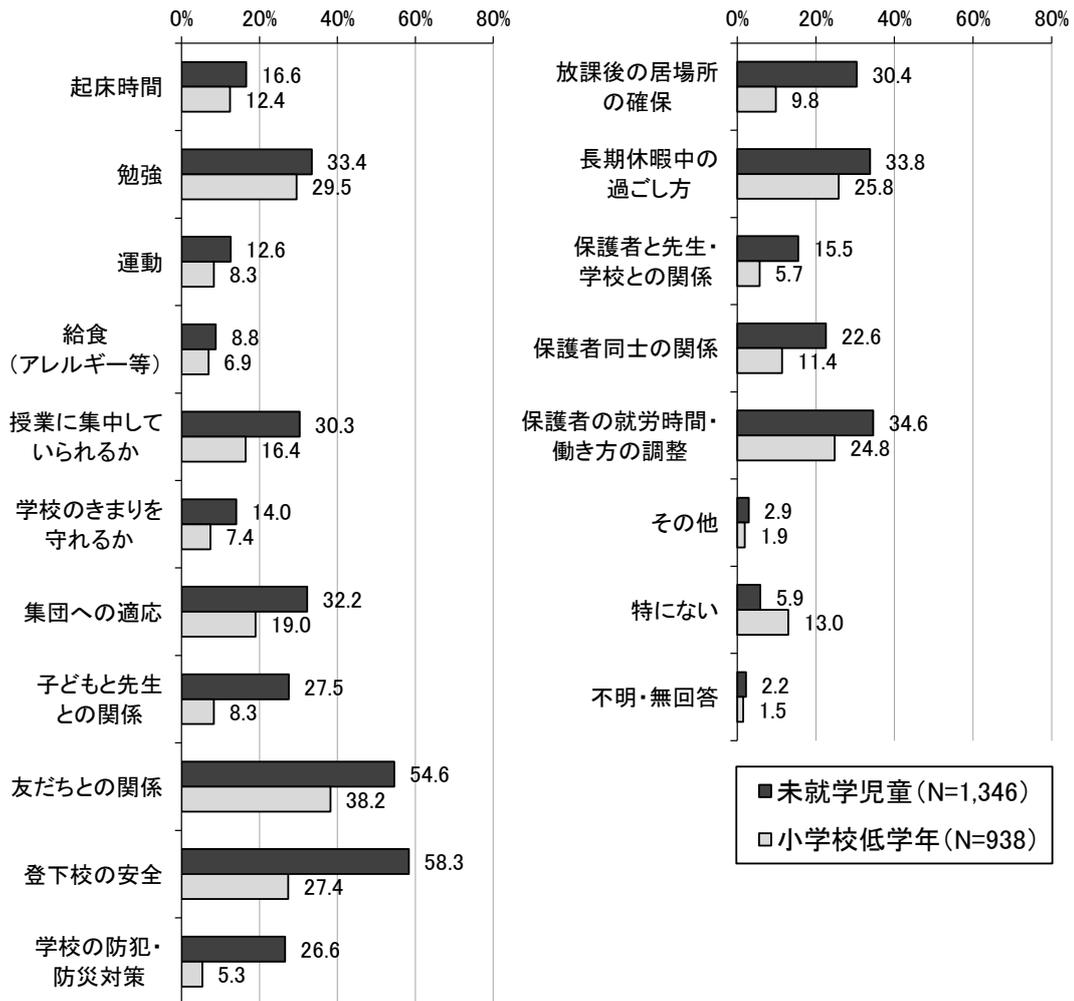
若者(N=497)



未就学児童用調査は、お子さんが3歳以上（平成30年4月1日時点）の方

(2) 就学について、不安なこと

就学について、不安なことについてみると、未就学児童で「登下校の安全」が58.3%、小学校低学年で「友だちとの関係」が38.2%と最も高く、次いで、未就学児童で「友だちとの関係」が54.6%、「保護者の就労時間・働き方の調整」が34.6%、小学校低学年で「勉強」が29.5%、「登下校の安全」が27.4%となっています。

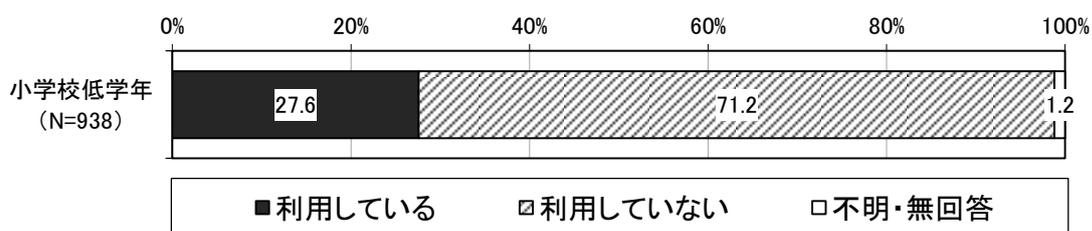


（3）放課後（平日の授業終了後）の預かりサービスの利用の有無

預かりサービスの利用の有無についてみると、「利用している」が 27.6%、「利用していない」が 71.2%となっています。

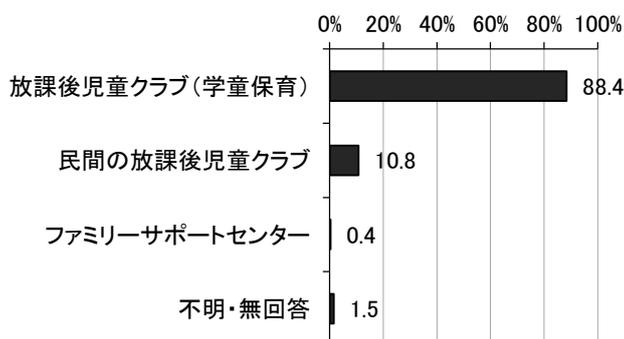
利用している預かりサービスについてみると、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 88.4%と最も高く、次いで、「民間の放課後児童クラブ」が 10.8%、「ファミリーサポートセンター」が 0.4%となっています。

〈①預かりサービスの利用の有無〉



〈②預かりサービス〉

小学校低学年 (N=259)



年齢別

年齢別についてみると、すべての学年で「放課後児童クラブ（学童保育）」が最も高くなっています。

【小学校低学年】	1年生 (N=101)		2年生 (N=75)		3年生 (N=62)	
	件数	%	件数	%	件数	%
放課後児童クラブ(学童保育)	85	84.2	67	89.3	59	95.2
民間の放課後児童クラブ	16	15.8	7	9.3	3	4.8
ファミリーサポートセンター	1	1.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	2	2.0	1	1.3	0	0.0

1週あたりの利用日数では、[放課後児童クラブ（学童保育）][民間の放課後児童クラブ]で「5日」が最も高くなっています。

〈③利用日数〉 ※数量回答

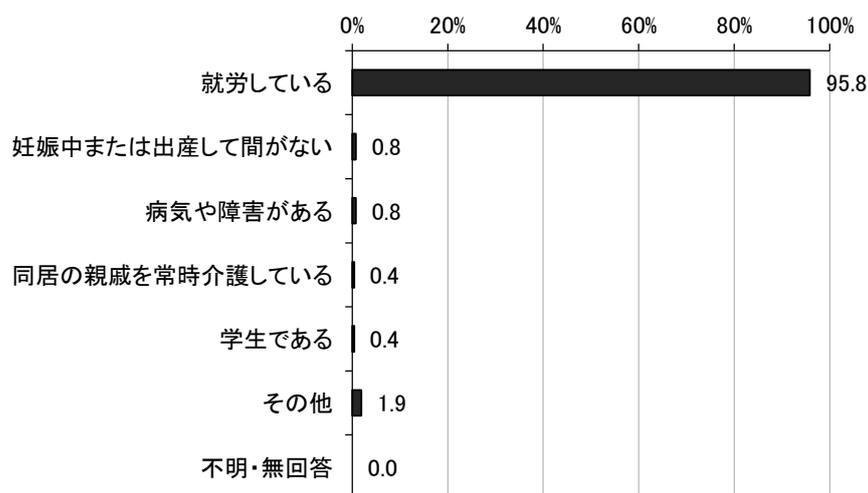
【小学校低学年】 週あたり 利用日数	①放課後児童 クラブ (学童保育) (N=229)		②民間の 放課後児童 クラブ (N=28)		③ファミリー サポート センター (N=1)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1日	2	0.9	2	7.1	0	0.0
2日	4	1.7	6	21.4	0	0.0
3日	26	11.4	2	7.1	0	0.0
4日	45	19.7	4	14.3	0	0.0
5日	135	59.0	11	39.3	0	0.0
6日	9	3.9	1	3.6	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	8	3.5	2	7.1	1	100.0

[小学生用調査/問 19-2 単数回答]

(3) - 1 放課後児童クラブやファミリーサポートセンターを利用している理由

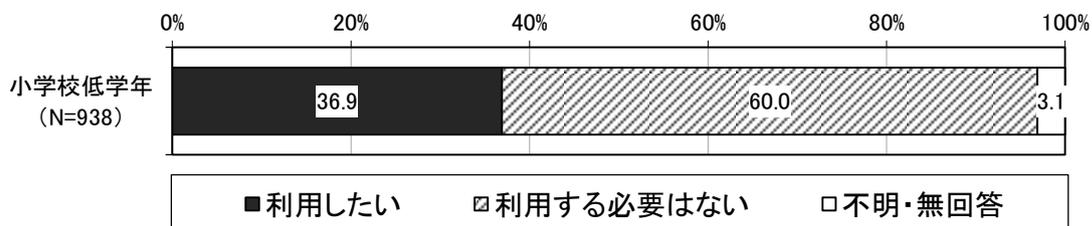
小学校低学年の放課後児童クラブを利用している理由についてみると、(お子さんの身の回りの世話を主にしている方が)「就労している」が95.8%と最も高くなっています。

小学校低学年(N=259)



(4) 放課後の預かりサービスの利用(継続)希望

放課後の預かりサービスの利用(継続)希望についてみると、「利用したい」が36.9%、「利用する必要はない」が60.0%となっています。



年齢別

年齢別についてみると、すべての学年で「利用する必要はない」が最も高くなっています。

【小学校低学年】	1年生 (N=293)		2年生 (N=274)		3年生 (N=299)	
	件数	%	件数	%	件数	%
利用したい	139	47.4	106	38.7	75	25.1
利用する必要はない	142	48.5	165	60.2	216	72.2
不明・無回答	12	4.1	3	1.1	8	2.7

学区別

学区別についてみると、学区によりばらつきはありますが、全体的に「利用する必要はない」が高くなっています。また、[木戸][仰木の里][仰木の里東][唐崎][山中比叡平][藤尾][逢坂][上田上][瀬田][瀬田南]では「利用したい」が高くなっています。

【小学校低学年】	小松 (N=9)		木戸 (N=13)		和邇 (N=15)		小野 (N=6)		葛川 (N=0)		伊香立 (N=6)		真野 (N=17)		真野北 (N=12)		堅田 (N=46)		仰木 (N=2)		仰木の里 (N=4)		仰木の里東 (N=31)		雄琴 (N=15)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
利用したい	2	22.2	6	46.2	4	26.7	2	33.3	0	0.0	1	16.7	6	35.3	3	25.0	15	32.6	0	0.0	2	50.0	15	48.4	4	26.7
利用する必要はない	7	77.8	5	38.5	10	66.7	4	66.7	0	0.0	5	83.3	11	64.7	9	75.0	31	67.4	2	100.0	2	50.0	15	48.4	11	73.3
不明・無回答	0	0.0	2	15.4	1	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.2	0	0.0

【小学校低学年】	日吉台 (N=6)		坂本 (N=15)		下阪本 (N=37)		唐崎 (N=41)		滋賀 (N=35)		山中比叡平 (N=6)		藤尾 (N=13)		長等 (N=35)		逢坂 (N=23)		中央 (N=19)		平野 (N=59)		膳所 (N=37)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
利用したい	1	16.7	5	33.3	13	35.1	20	48.8	8	22.9	4	66.7	7	53.8	10	28.6	15	65.2	8	42.1	15	25.4	11	29.7
利用する必要はない	4	66.7	10	66.7	24	64.9	19	46.3	27	77.1	2	33.3	6	46.2	23	65.7	8	34.8	10	52.6	41	69.5	26	70.3
不明・無回答	1	16.7	0	0.0	0	0.0	2	4.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	5.7	0	0.0	1	5.3	3	5.1	0	0.0

【小学校低学年】	富士見 (N=23)		晴嵐 (N=41)		石山 (N=29)		南郷 (N=25)		大石 (N=19)		田上 (N=16)		上田上 (N=4)		青山 (N=55)		瀬田 (N=53)		瀬田北 (N=41)		瀬田南 (N=38)		瀬田東 (N=37)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
利用したい	6	26.1	14	34.1	13	44.8	4	16.0	3	15.8	6	37.5	3	75.0	22	40.0	26	49.1	15	36.6	22	57.9	13	35.1
利用する必要はない	17	73.9	26	63.4	15	51.7	21	84.0	16	84.2	9	56.3	1	25.0	29	52.7	26	49.1	25	61.0	15	39.5	22	59.5
不明・無回答	0	0.0	1	2.4	1	3.4	0	0.0	0	0.0	1	6.3	0	0.0	4	7.3	1	1.9	1	2.4	1	2.6	2	5.4

〔未就学児童用調査／問 32、小学生用調査／問 20－1 複数回答〕

未就学児童用調査は、お子さんが3歳以上（平成30年4月1日時点）の方

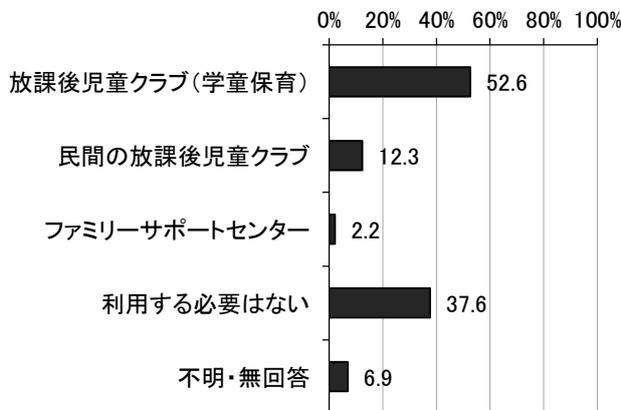
小学生用調査は、(4)で「利用したい」を選んだ方

(4)－1 どのようなサービスを利用したいか

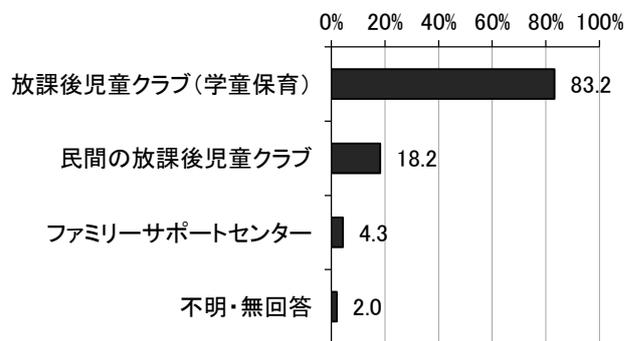
放課後（平日の授業終了後）に、利用したい預かりサービスについてみると、「放課後児童クラブ（学童保育）」が未就学児童で52.6%、小学校低学年で83.2%と最も高く、次いで、未就学児童で「利用する必要はない」が37.6%、「民間の放課後児童クラブ」が12.3%、小学校低学年で「民間の放課後児童クラブ」が18.2%、「ファミリーサポートセンター」が4.3%となっています。

〈①サービス内容〉

未就学児童(N=1,346)



小学校低学年(N=346)



年齢別

年齢別についてみると、未就学児童、小学校低学年ともに、すべての年齢で、「放課後児童クラブ（学童保育）」が最も高くなっています。

【未就学児童】	3歳 (N=455)		4歳 (N=428)		5歳 (N=463)		【小学校低学年】	1年生 (N=139)		2年生 (N=106)		3年生 (N=75)	
	件数	%	件数	%	件数	%		件数	%	件数	%	件数	%
放課後児童クラブ (学童保育)	243	53.4	237	55.4	228	49.2	放課後児童クラブ (学童保育)	114	82.0	88	83.0	65	86.7
民間の放課後児童 クラブ	50	11.0	62	14.5	53	11.4	民間の放課後児童 クラブ	26	18.7	20	18.9	12	16.0
ファミリーサポート センター	4	0.9	13	3.0	12	2.6	ファミリーサポート センター	3	2.2	5	4.7	6	8.0
利用する必要は ない	165	36.3	148	34.6	193	41.7	不明・無回答	4	2.9	2	1.9	1	1.3
不明・無回答	38	8.4	28	6.5	27	5.8							

学区別

学区別についてみると、未就学児童で〔小松〕〔和邇〕〔仰木の里〕〔雄琴〕〔日吉台〕〔下阪本〕〔藤尾〕〔南郷〕〔大石〕では「利用する必要はない」、それ以外の学区は「放課後児童クラブ（学童保育）」が高く、小学校低学年で〔富士見〕では「民間の放課後児童クラブ」、それ以外の学区は「放課後児童クラブ（学童保育）」が高くなっています。

【未就学児童】	小松 (N=18)		木戸 (N=18)		和邇 (N=24)		小野 (N=7)		葛川 (N=0)		伊香立 (N=5)		真野 (N=25)		真野北 (N=13)		堅田 (N=48)		仰木 (N=5)		仰木の里 (N=12)		仰木の里東 (N=48)		雄琴 (N=36)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
放課後児童クラブ (学童保育)	6	33.3	9	50.0	8	33.3	5	71.4	0	0.0	4	80.0	16	64.0	8	61.5	28	58.3	4	80.0	5	41.7	29	60.4	15	41.7	
民間の放課後児童クラブ	0	0.0	2	11.1	2	8.3	1	14.3	0	0.0	1	20.0	2	8.0	1	7.7	7	14.6	0	0.0	0	0.0	1	2.1	3	8.3	
ファミリーサポートセンター	1	5.6	1	5.6	1	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.0	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.1	1	2.8	
利用する必要はない	11	61.1	8	44.4	14	58.3	2	28.6	0	0.0	0	0.0	7	28.0	5	38.5	16	33.3	1	20.0	6	50.0	16	33.3	19	52.8	
不明・無回答	1	5.6	1	5.6	2	8.3	0	0.0	0	0.0	1	20.0	2	8.0	0	0.0	2	4.2	0	0.0	1	8.3	2	4.2	2	5.6	

【未就学児童】	日吉台 (N=10)		坂本 (N=26)		下阪本 (N=47)		唐崎 (N=63)		滋賀 (N=66)		山中比叡平 (N=3)		藤尾 (N=12)		長等 (N=49)		逢坂 (N=38)		中央 (N=27)		平野 (N=104)		膳所 (N=73)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
放課後児童クラブ (学童保育)	3	30.0	18	69.2	20	42.6	36	57.1	34	51.5	2	66.7	4	33.3	28	57.1	22	57.9	20	74.1	52	50.0	37	50.7	
民間の放課後児童クラブ	0	0.0	3	11.5	2	4.3	5	7.9	6	9.1	1	33.3	0	0.0	9	18.4	5	13.2	4	14.8	21	20.2	8	11.0	
ファミリーサポートセンター	0	0.0	1	3.8	1	2.1	2	3.2	0	0.0	1	33.3	0	0.0	1	2.0	0	0.0	0	0.0	6	5.8	1	1.4	
利用する必要はない	7	70.0	3	11.5	22	46.8	21	33.3	27	40.9	0	0.0	7	58.3	18	36.7	11	28.9	7	25.9	34	32.7	28	38.4	
不明・無回答	0	0.0	4	15.4	4	8.5	6	9.5	4	6.1	1	33.3	1	8.3	2	4.1	4	10.5	0	0.0	12	11.5	5	6.8	

【未就学児童】	富士見 (N=40)		晴嵐 (N=66)		石山 (N=40)		南郷 (N=32)		大石 (N=17)		田上 (N=21)		上田上 (N=4)		青山 (N=68)		瀬田 (N=93)		瀬田北 (N=72)		瀬田南 (N=60)		瀬田東 (N=52)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
放課後児童クラブ (学童保育)	18	45.0	41	62.1	20	50.0	13	40.6	3	17.6	11	52.4	3	75.0	34	50.0	57	61.3	33	45.8	31	51.7	28	53.8	
民間の放課後児童クラブ	5	12.5	14	21.2	5	12.5	3	9.4	1	5.9	6	28.6	0	0.0	8	11.8	11	11.8	9	12.5	9	15.0	10	19.2	
ファミリーサポートセンター	1	2.5	2	3.0	0	0.0	1	3.1	0	0.0	3	14.3	0	0.0	1	1.5	0	0.0	0	0.0	1	1.7	0	0.0	
利用する必要はない	17	42.5	21	31.8	16	40.0	15	46.9	10	58.8	8	38.1	1	25.0	29	42.6	30	32.3	30	41.7	22	36.7	17	32.7	
不明・無回答	3	7.5	2	3.0	4	10.0	2	6.3	3	17.6	0	0.0	0	0.0	2	2.9	4	4.3	7	9.7	5	8.3	3	5.8	

【小学校低学年】	小松 (N=2)		木戸 (N=6)		和邇 (N=4)		小野 (N=2)		葛川 (N=0)		伊香立 (N=1)		真野 (N=6)		真野北 (N=3)		堅田 (N=15)		仰木 (N=0)		仰木の里 (N=2)		仰木の里東 (N=15)		雄琴 (N=4)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
放課後児童クラブ (学童保育)	2	100.0	6	100.0	4	100.0	1	50.0	0	0.0	1	100.0	6	100.0	3	100.0	12	80.0	0	0.0	2	100.0	14	93.3	4	100.0	
民間の放課後児童クラブ	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	3	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
ファミリーサポートセンター	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0	
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	

【小学校低学年】	日吉台 (N=1)		坂本 (N=5)		下阪本 (N=13)		唐崎 (N=20)		滋賀 (N=8)		山中比叡平 (N=4)		藤尾 (N=7)		長等 (N=10)		逢坂 (N=15)		中央 (N=8)		平野 (N=15)		膳所 (N=11)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
放課後児童クラブ (学童保育)	1	100.0	5	100.0	11	84.6	14	70.0	6	75.0	4	100.0	6	85.7	10	100.0	13	86.7	7	87.5	10	66.7	9	81.8	
民間の放課後児童クラブ	0	0.0	0	0.0	4	30.8	3	15.0	4	50.0	0	0.0	1	14.3	1	10.0	3	20.0	0	0.0	6	40.0	2	18.2	
ファミリーサポートセンター	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.0	2	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	12.5	1	6.7	1	9.1	
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	

【小学校低学年】	富士見 (N=6)		晴嵐 (N=14)		石山 (N=13)		南郷 (N=4)		大石 (N=3)		田上 (N=6)		上田上 (N=3)		青山 (N=22)		瀬田 (N=26)		瀬田北 (N=15)		瀬田南 (N=22)		瀬田東 (N=13)		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
放課後児童クラブ (学童保育)	2	33.3	12	85.7	12	92.3	4	100.0	3	100.0	5	83.3	3	100.0	19	86.4	21	80.8	13	86.7	17	77.3	7	53.8	
民間の放課後児童クラブ	3	50.0	2	14.3	2	15.4	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	22.7	6	23.1	1	6.7	6	27.3	5	38.5	
ファミリーサポートセンター	0	0.0	1	7.1	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.5	2	7.7	2	13.3	0	0.0	0	0.0	
不明・無回答	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	15.4	

1週あたりの利用希望日数では、未就学児童ですべての預かりサービスが「5日」と最も高く、小学校低学年で〔放課後児童クラブ（学童保育）〕〔民間の放課後児童クラブ〕が「5日」、〔ファミリーサポートセンター〕が「2日」で最も高くなっています。

〈②利用頻度〉 ※数量回答

【未就学児童】 週あたり 利用希望日数	①放課後 児童クラブ (学童保育) (N=708)		②民間の 放課後児童 クラブ (N=165)		③ファミリー サポート センター (N=29)		【小学校低学年】 週あたり 利用希望日数	①放課後 児童クラブ (学童保育) (N=288)		②民間の 放課後児童 クラブ (N=63)		③ファミリー サポート センター (N=15)	
	件数	%	件数	%	件数	%		件数	%	件数	%	件数	%
1日	3	0.4	3	1.8	4	13.8	1日	3	1.0	3	4.8	4	26.7
2日	18	2.5	15	9.1	1	3.4	2日	13	4.5	15	23.8	5	33.3
3日	93	13.1	20	12.1	4	13.8	3日	48	16.7	14	22.2	3	20.0
4日	58	8.2	15	9.1	1	3.4	4日	48	16.7	4	6.3	0	0.0
5日	480	67.8	103	62.4	10	34.5	5日	155	53.8	24	38.1	2	13.3
6日	36	5.1	6	3.6	1	3.4	6日	8	2.8	0	0.0	0	0.0
7日	1	0.1	0	0.0	0	0.0	7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	19	2.7	3	1.8	8	27.6	不明・無回答	13	4.5	3	4.8	1	6.7

利用希望学年では、未就学児童、小学校低学年ともに、すべての預かりサービスで「6年生」が最も高くなっています。

【未就学児童】 利用希望学年	①放課後 児童クラブ (学童保育) (N=708)		②民間の 放課後児童 クラブ (N=165)		③ファミリー サポート センター (N=29)		【小学校低学年】 利用希望学年	①放課後 児童クラブ (学童保育) (N=288)		②民間の 放課後児童 クラブ (N=63)		③ファミリー サポート センター (N=15)	
	件数	%	件数	%	件数	%		件数	%	件数	%	件数	%
1年生	5	0.7	1	0.6	1	3.4	1年生	2	0.7	0	0.0	0	0.0
2年生	36	5.1	7	4.2	0	0.0	2年生	5	1.7	0	0.0	0	0.0
3年生	214	30.2	48	29.1	8	27.6	3年生	55	19.1	7	11.1	2	13.3
4年生	171	24.2	36	21.8	7	24.1	4年生	83	28.8	13	20.6	3	20.0
5年生	34	4.8	10	6.1	0	0.0	5年生	35	12.2	6	9.5	2	13.3
6年生	225	31.8	58	35.2	9	31.0	6年生	93	32.3	35	55.6	8	53.3
不明・無回答	23	3.2	5	3.0	4	13.8	不明・無回答	15	5.2	2	3.2	0	0.0

学年別（①放課後児童クラブのみ）

放課後児童クラブの利用希望学年を学年別についてみると、[1年生]では「4年生」が、[2年生][3年生]では「6年生」が最も高くなっています。

【小学校低学年】	1年生 (N=114)		2年生 (N=88)		3年生 (N=65)	
	件数	%	件数	%	件数	%
1年生	2	1.8	0	0.0	0	0.0
2年生	4	3.5	1	1.1	0	0.0
3年生	24	21.1	18	20.5	8	12.3
4年生	35	30.7	24	27.3	17	26.2
5年生	8	7.0	9	10.2	17	26.2
6年生	33	28.9	31	35.2	21	32.3
不明・無回答	8	7.0	5	5.7	2	3.1

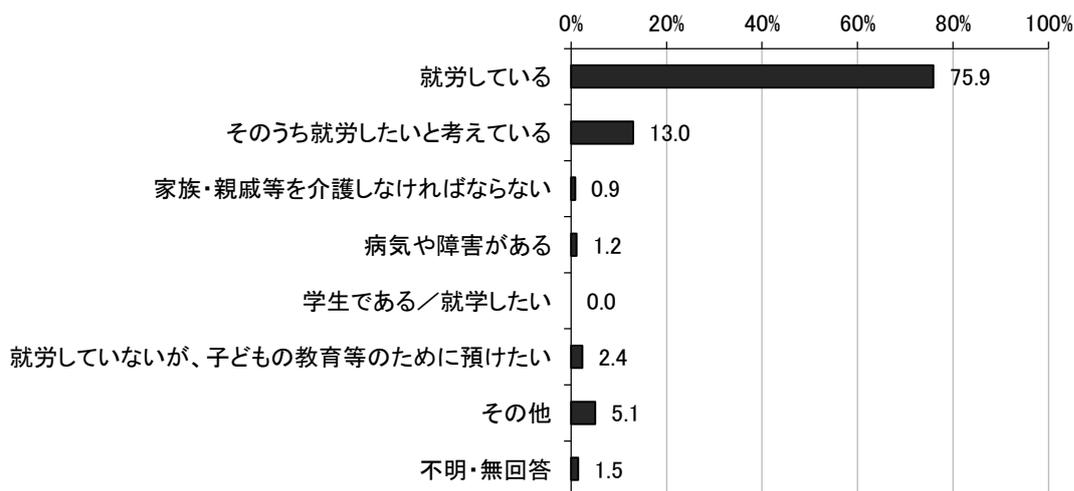
[小学生用調査／問 20-2 複数回答]

(4) - 1で「放課後児童クラブ」「民間の放課後児童クラブ」を選んだ方

(4) - 2 放課後児童クラブを利用したい理由

放課後児童クラブを利用したい理由についてみると、「就労している」が75.9%と最も高く、次いで、「そのうち就労したいと考えている」が13.0%、「その他」が5.1%となっています。

小学校低学年(N=332)



未就学児童用調査は、お子さんが3歳以上（平成30年4月1日時点）の方

（5）土曜日と日曜日・祝日、長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

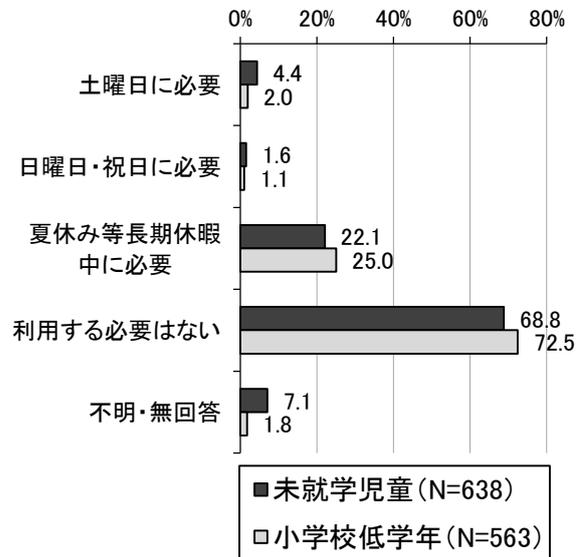
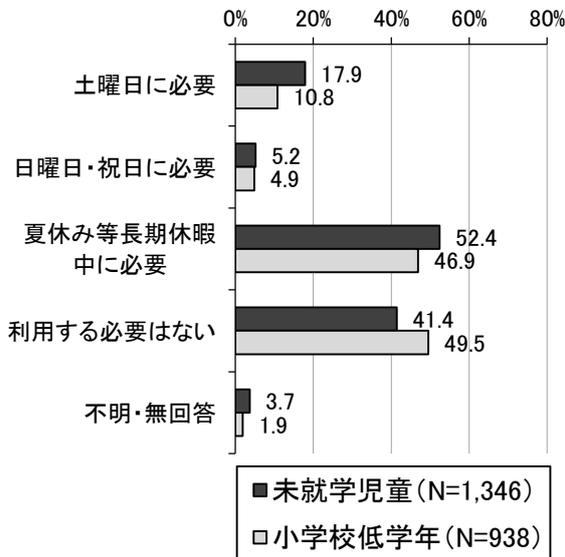
土曜日と日曜日・祝日、長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望についてみると、未就学児童で「夏休み等長期休暇中に必要」が52.4%、小学校低学年で「利用する必要はない」が49.5%と最も高く、次いで、未就学児童で「利用する必要はない」が41.4%、「土曜日に必要」が17.9%、小学校低学年で「夏休み等、長期休暇中に必要」が46.9%、「土曜日に必要」が10.8%となっています。

平日に放課後児童クラブの利用を希望しない人の回答状況についてみると、「夏休み等、長期休暇中に必要」が未就学児童で22.1%、小学校低学年で25.0%となっています。

〈①利用希望〉

個別集計

平日に放課後児童クラブの利用を希望しない人の状況



利用希望学年については、〈①土曜日〉〈②日曜日・祝日〉〈③夏休み等、長期休暇中〉すべてで、未就学児童、小学校低学年ともに「6年生」の割合が高くなっています。

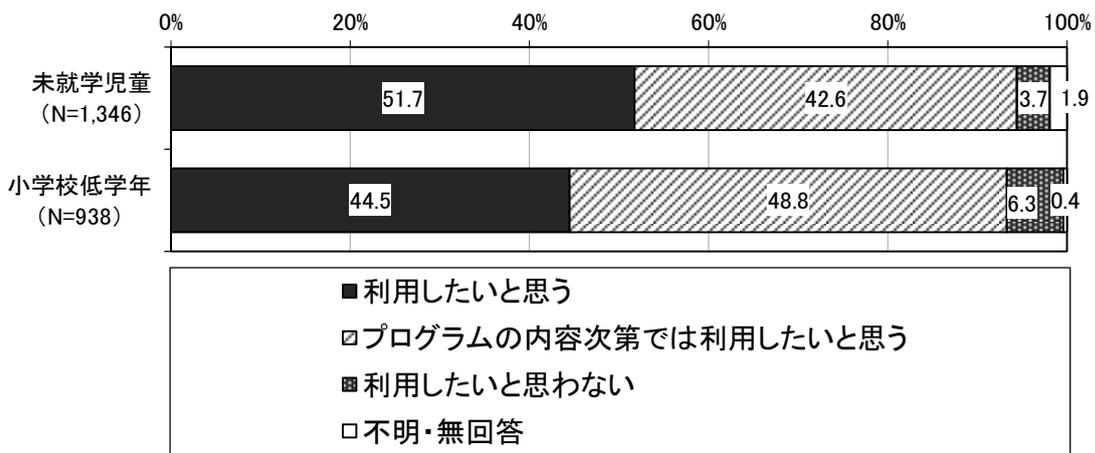
〈②利用時期〉 ※数量回答

【未就学児童】 利用希望学年	①土曜日 (N=241)		②日曜日・ 祝日 (N=70)		③夏休み等、 長期休暇中 (N=705)		【小学校低学年】 利用希望学年	①土曜日 (N=101)		②日曜日・ 祝日 (N=46)		③夏休み等、 長期休暇中 (N=440)	
	件数	%	件数	%	件数	%		件数	%	件数	%	件数	%
1年生	1	0.4	0	0.0	2	0.3	1年生	1	1.0	0	0.0	0	0.0
2年生	7	2.9	2	2.9	23	3.3	2年生	0	0.0	0	0.0	1	0.2
3年生	58	24.1	9	12.9	161	22.8	3年生	18	17.8	7	15.2	51	11.6
4年生	56	23.2	16	22.9	155	22.0	4年生	22	21.8	8	17.4	99	22.5
5年生	12	5.0	2	2.9	34	4.8	5年生	11	10.9	6	13.0	44	10.0
6年生	102	42.3	38	54.3	302	42.8	6年生	41	40.6	25	54.3	217	49.3
不明・無回答	5	2.1	3	4.3	28	4.0	不明・無回答	8	7.9	0	0.0	28	6.4

未就学児童用調査は、お子さんが3歳以上（平成 30 年 4 月 1 日時点）の方

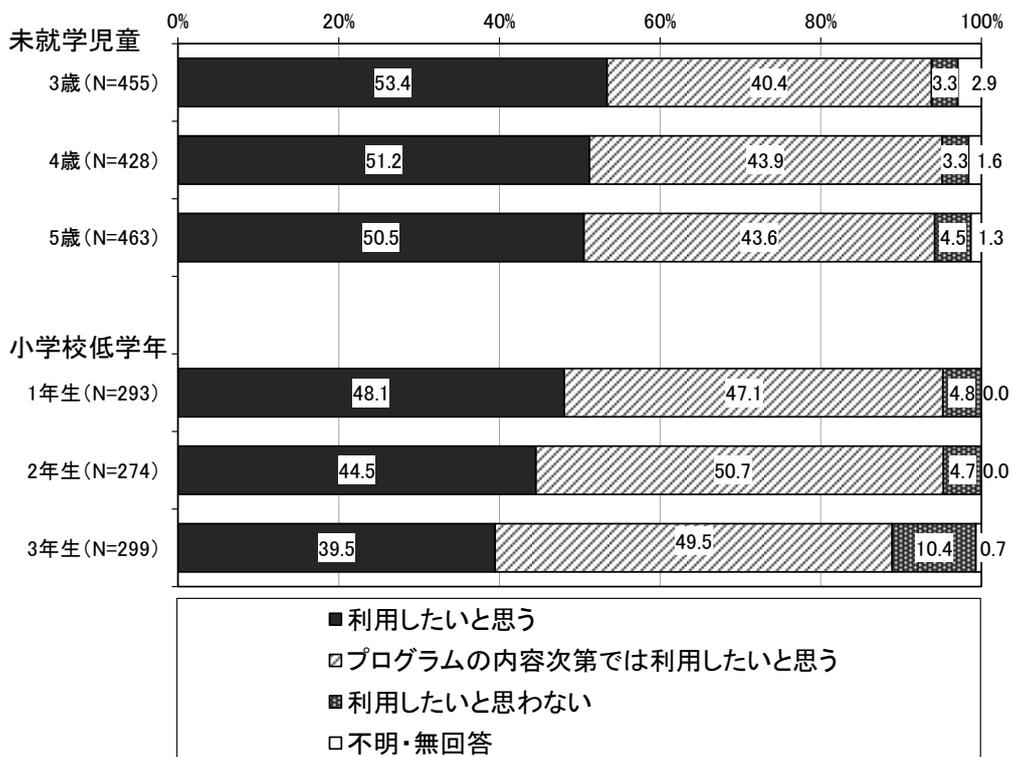
（6）保護者の就労の有無にかかわらず、放課後等にすべての子ども（小学生）が参加できる子どもの居場所（放課後子ども教室）があれば利用したいと思うか

居場所の利用希望についてみると、未就学児童で「利用したいと思う」が 51.7%、小学校低学年で「プログラムの内容次第では利用したいと思う」が 48.8%と最も高く、次いで、未就学児童で「プログラムの内容次第では利用したいと思う」が 42.6%、小学校低学年で「利用したいと思う」が 44.5%となっています。



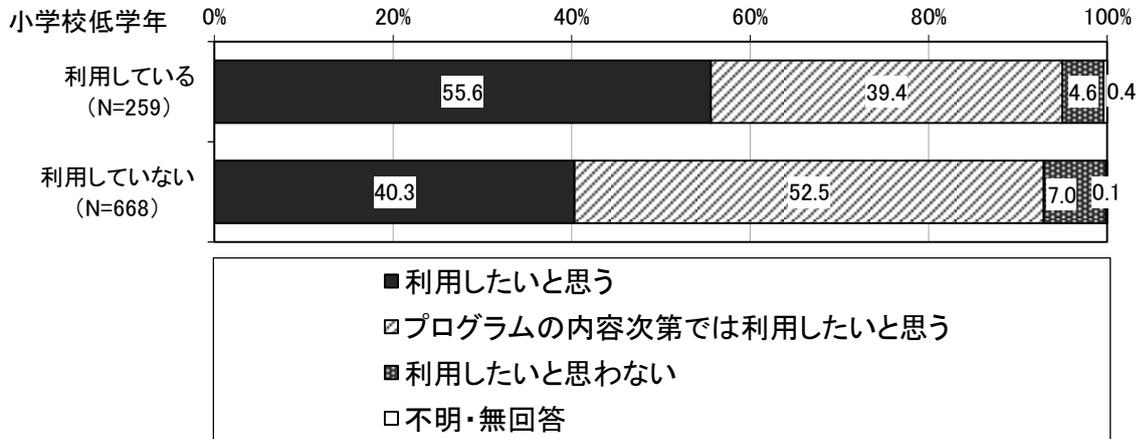
年齢別

年齢別についてみると、年齢が上がるにつれ「利用したいと思う」が低くなっています。



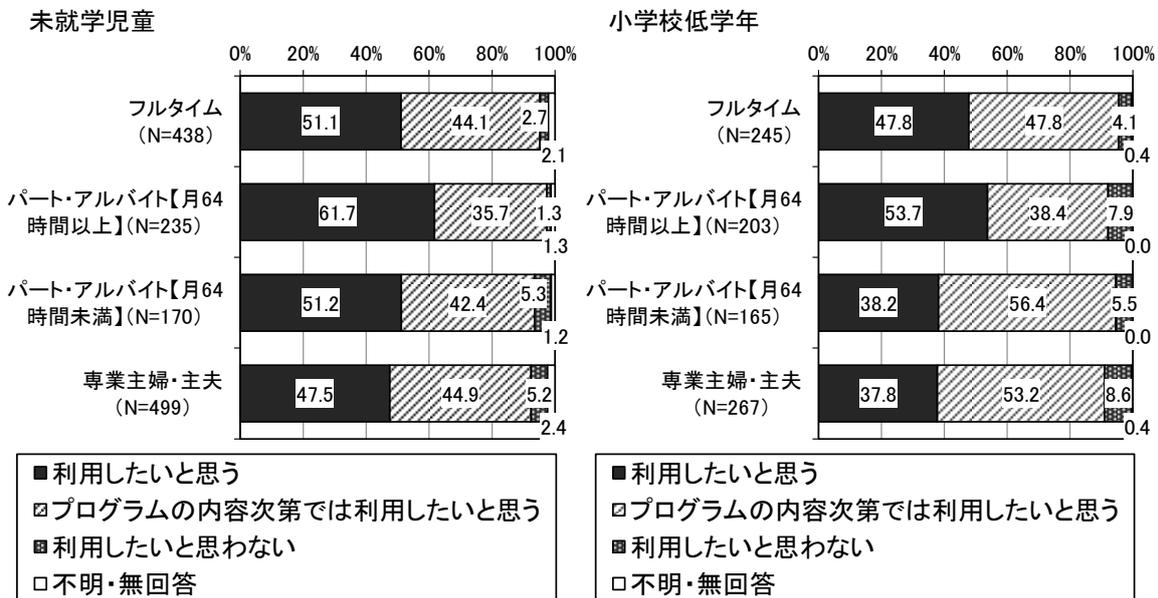
放課後預かりサービスの利用状況別

放課後預かりサービスの利用状況別についてみると、「利用したいと思う」は放課後預かりサービスを「利用していない」より「利用している」で高くなっています。



現在の就労状況別（母親のみ）

母親の現在の就労状況別についてみると、未就学児童では就労状況にかかわらず「利用したいと思う」が最も高くなっています。



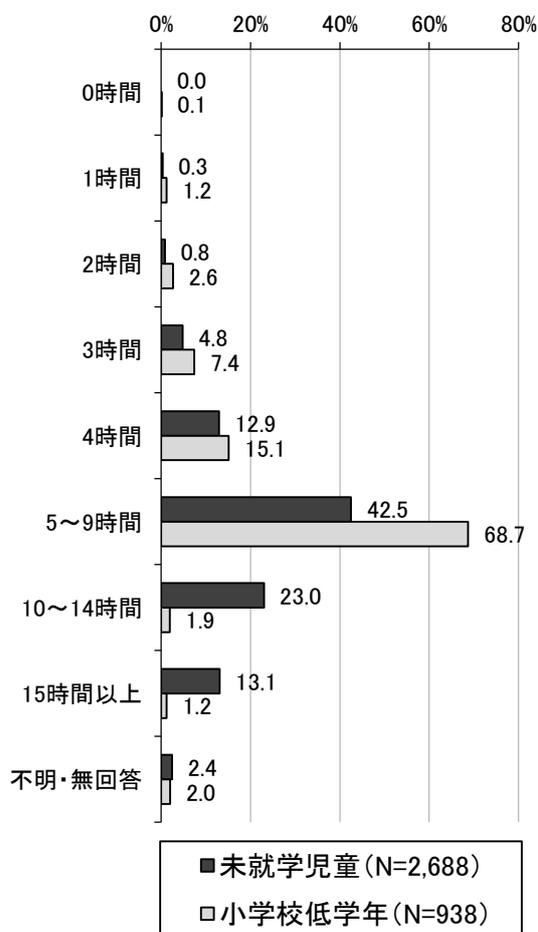
10. 育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度について

[未就学児童用調査／問 35、小学生用調査／問 25 数量回答]

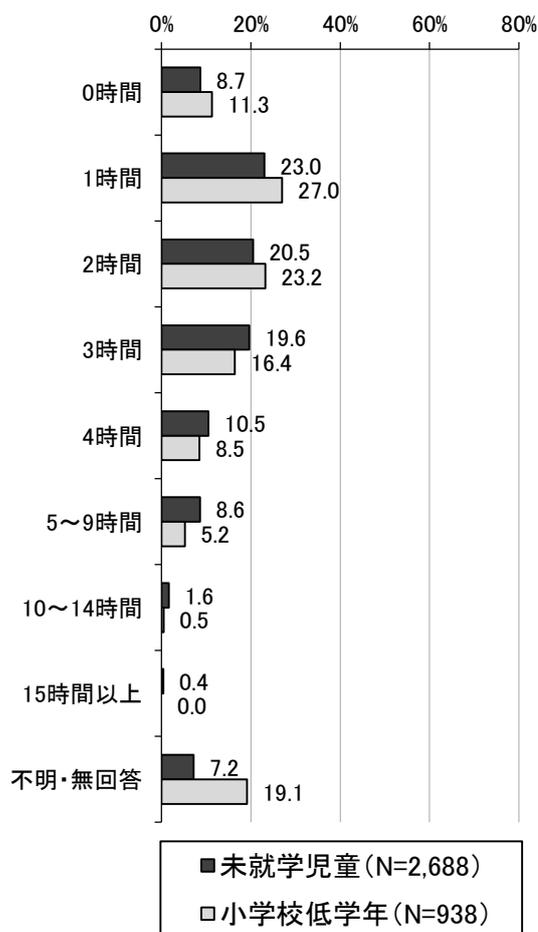
(1) 1日あたりの子どもと一緒に過ごす時間（就寝時を除く）

1日あたりの子どもと一緒に過ごす時間についてみると、母親では未就学児童、小学校低学年ともに「5～9時間」がそれぞれ42.5%、68.7%、父親では未就学児童、小学校低学年ともに「1時間」がそれぞれ23.0%、27.0%と最も高くなっています。

〈①母親〉



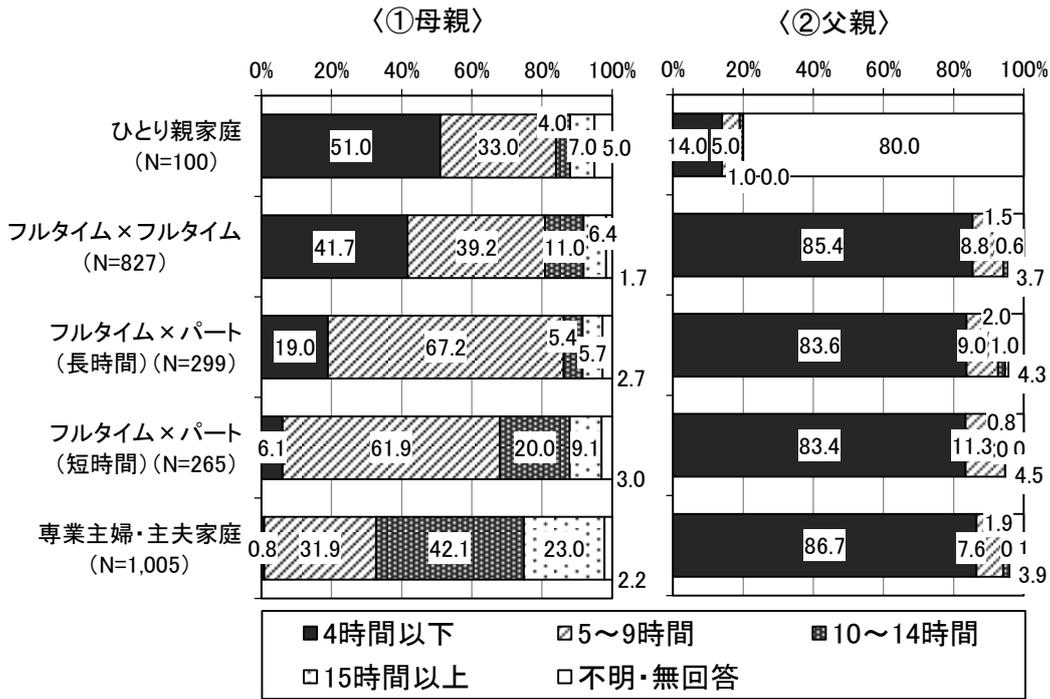
〈②父親〉



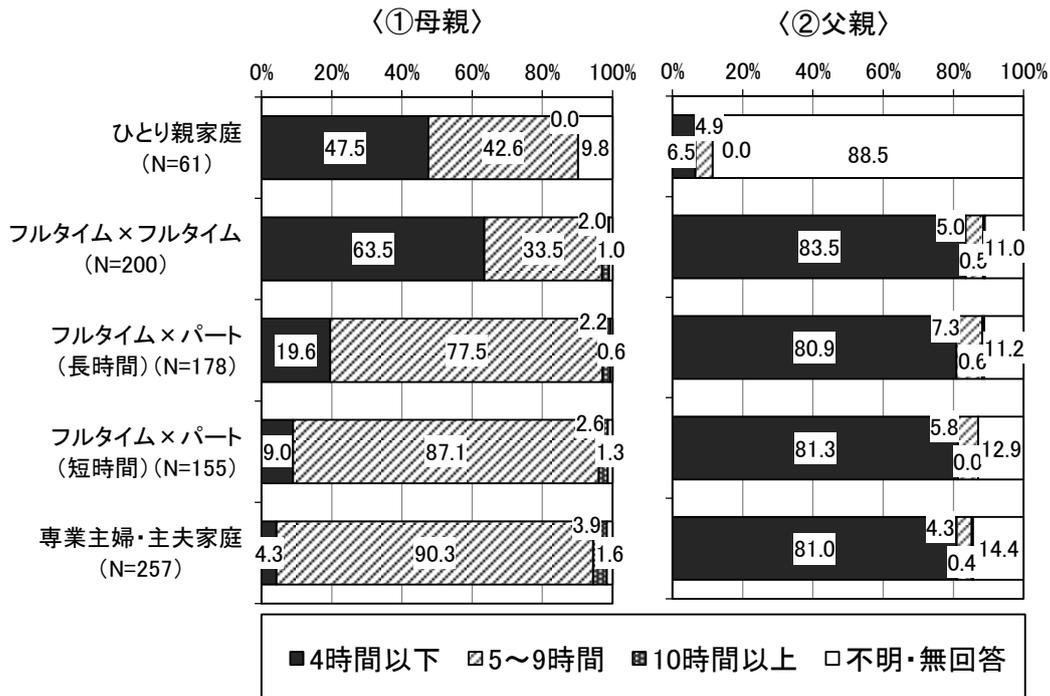
家庭類型別

家庭類型別についてみると、母親では未就学児童、小学校低学年ともに〔ひとり親家庭〕〔フルタイム×フルタイム〕では「4時間以下」が最も高く、就労時間が短くなる家庭類型であるほど時間が増加する傾向にあります。一方、父親では〔ひとり親家庭〕を除く、すべての保護者の就労形態で「4時間以下」が8割以上を占めています。

未就学児童



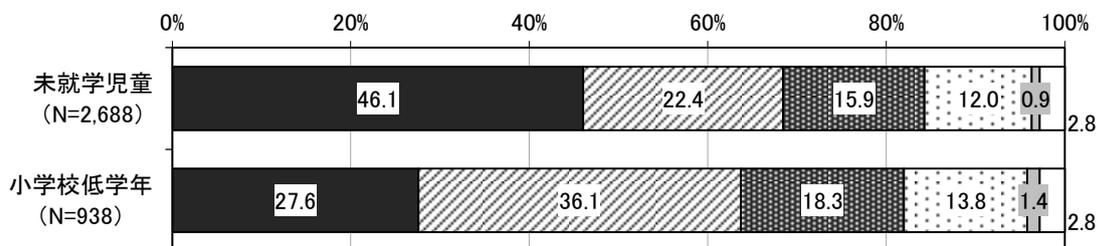
小学校低学年



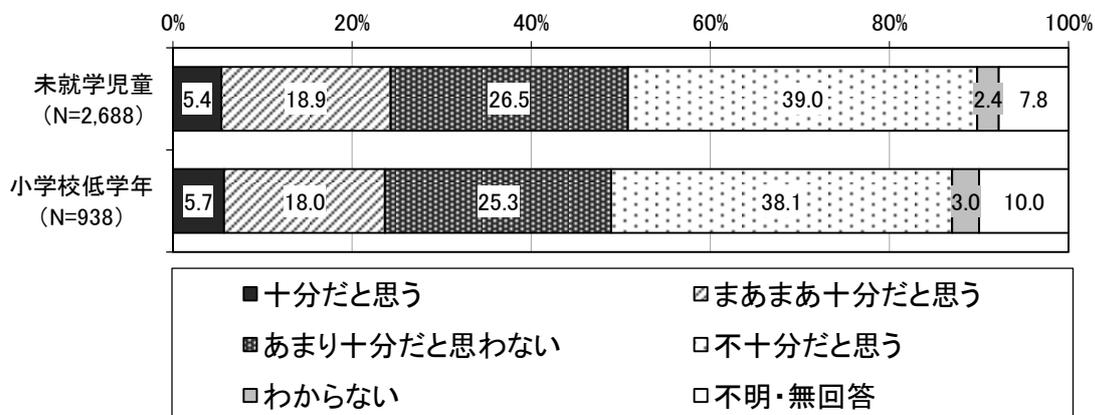
◎その時間は十分だと思うか

その時間は十分だと思うかについては、母親では未就学児童で「十分だと思う」が46.1%、小学校低学年で「まあまあ十分だと思う」が36.1%、父親では「不十分だと思う」が未就学児童で39.0%、小学校低学年で38.1%と最も高くなっています。

〈①母親〉 ※単数回答

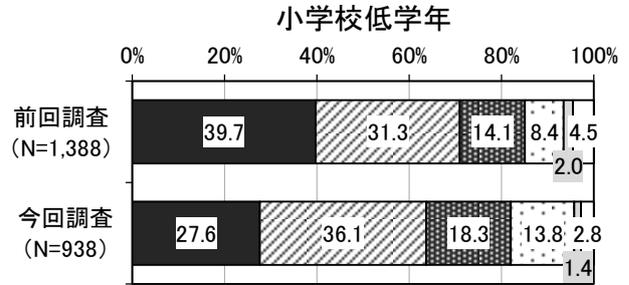
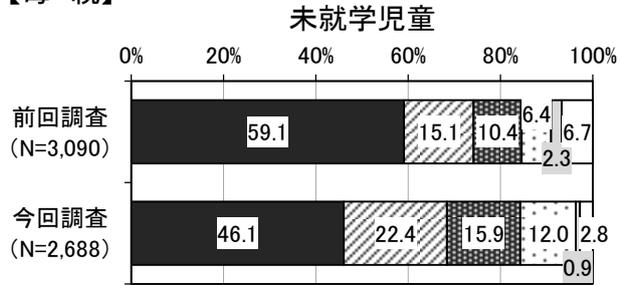


〈②父親〉 ※単数回答

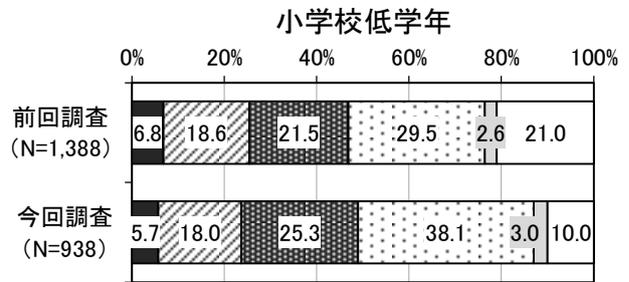
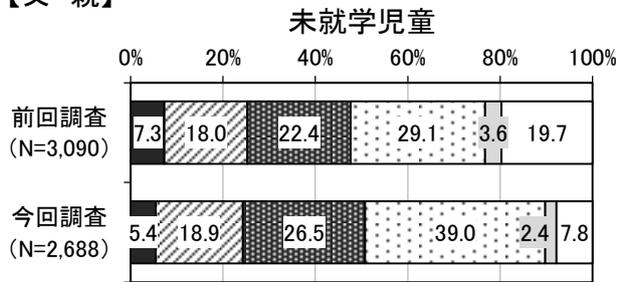


経年比較についてみると、母親では、未就学児童、小学校低学年で「十分だと思う」が前回調査と比べて10ポイント以上低くなっています。また、母親、父親ともに未就学児童、小学校低学年で「あまり十分だと思わない」「不十分だと思う」が前回調査と比べて高くなっています。

【母親】



【父親】



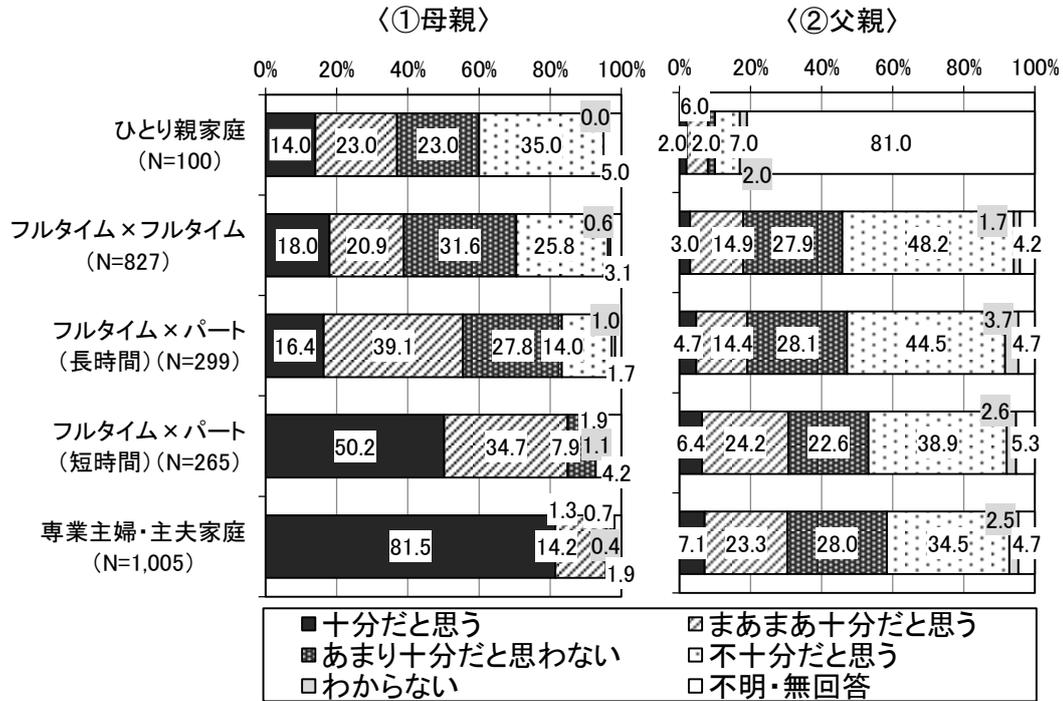
- 十分だと思う
- ▨ まあまあ十分だと思う
- ▩ あまり十分だと思わない
- 不十分だと思う
- わからない
- 不明・無回答

- 十分だと思う
- ▨ まあまあ十分だと思う
- ▩ あまり十分だと思わない
- 不十分だと思う
- わからない
- 不明・無回答

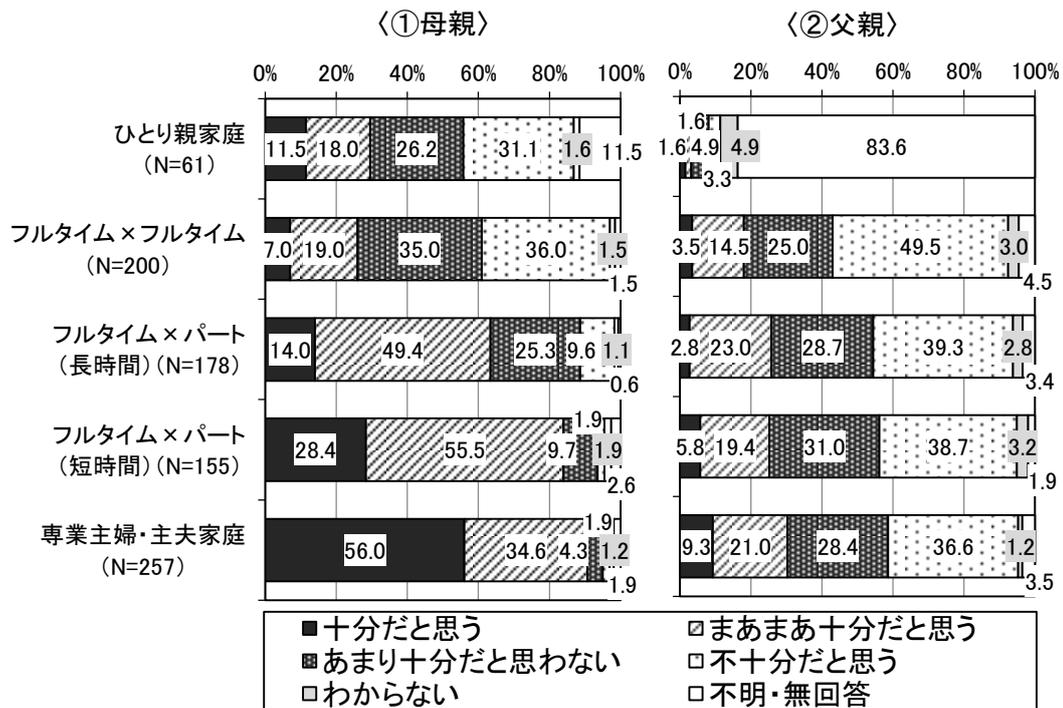
家庭類型別

家庭類型別についてみると、未就学児童、小学校低学年の母親、父親（[ひとり親家庭]を除く）ともに就労時間が短くなる家庭類型であるほど「あまり十分だと思わない」「不十分だと思う」が減少する傾向にあります。

未就学児童



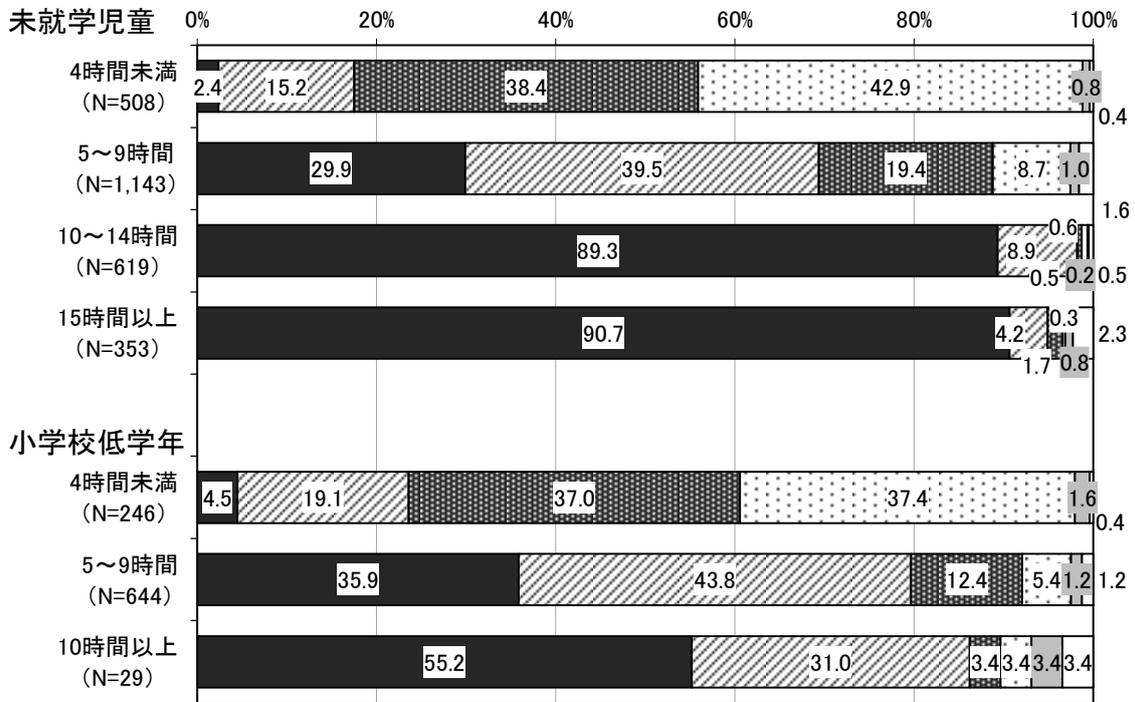
小学校低学年



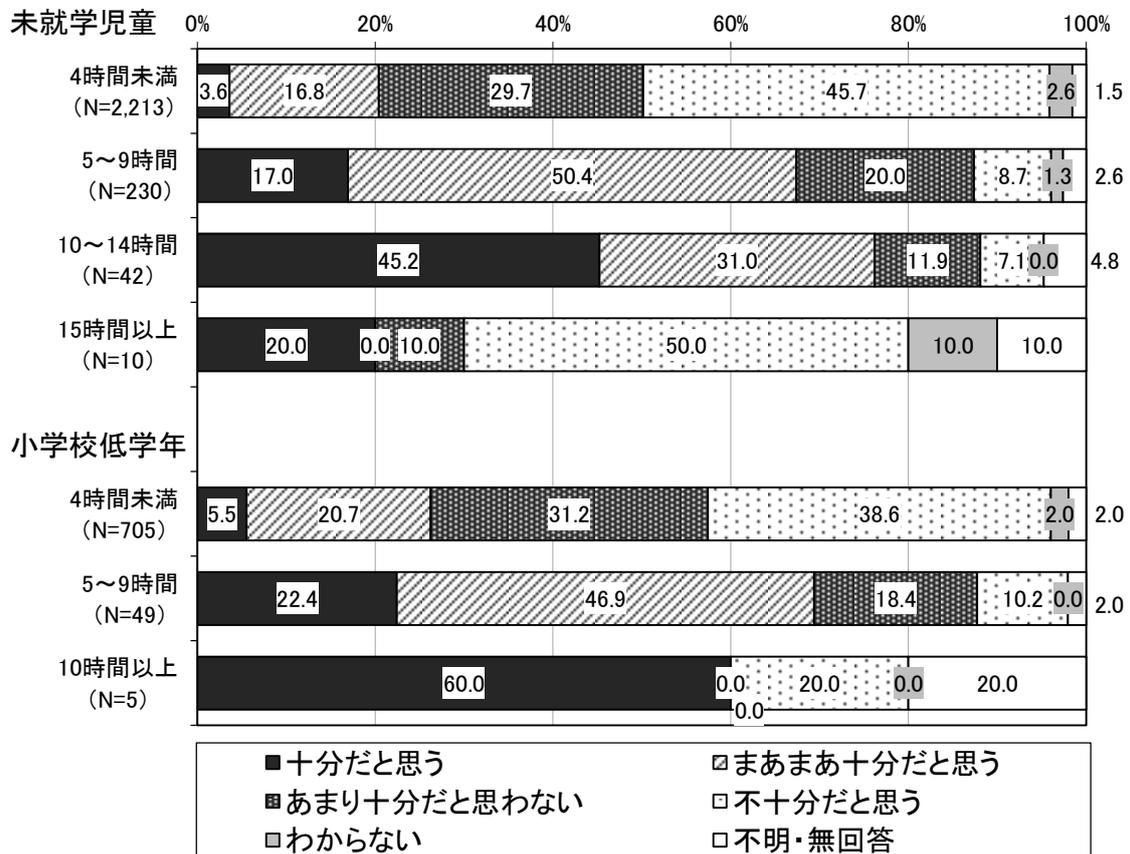
子どもと一緒に過ごす時間別

子どもと一緒に過ごす時間別にみると、母親は未就学児童、小学校低学年ともに過ごす時間が増えるほど、「十分だと思う」割合が高くなっています。

〈①母親〉 ※単数回答



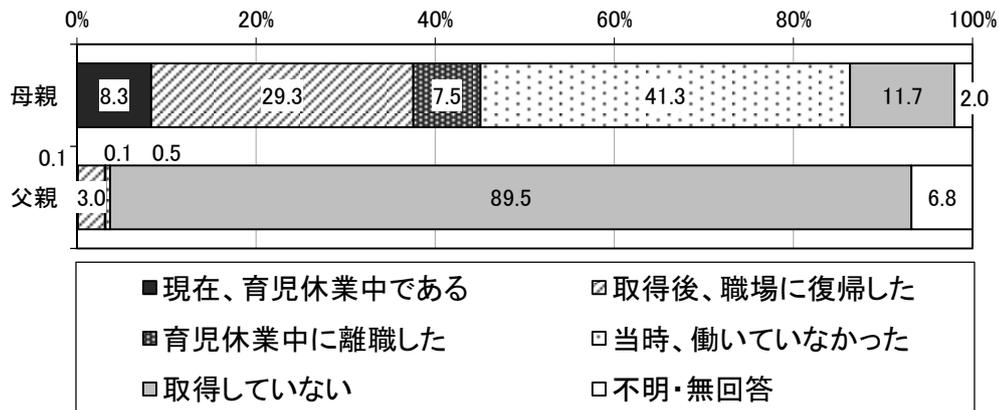
〈②父親〉 ※単数回答



(2) 出生時の育児休業取得状況

子どもが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得したかについてみると、母親では「当時、働いていなかった」が41.3%、父親では「取得していない」が89.5%と最も高くなっています。「取得後、職場に復帰した」は母親で29.3%、父親で3.0%となっています。

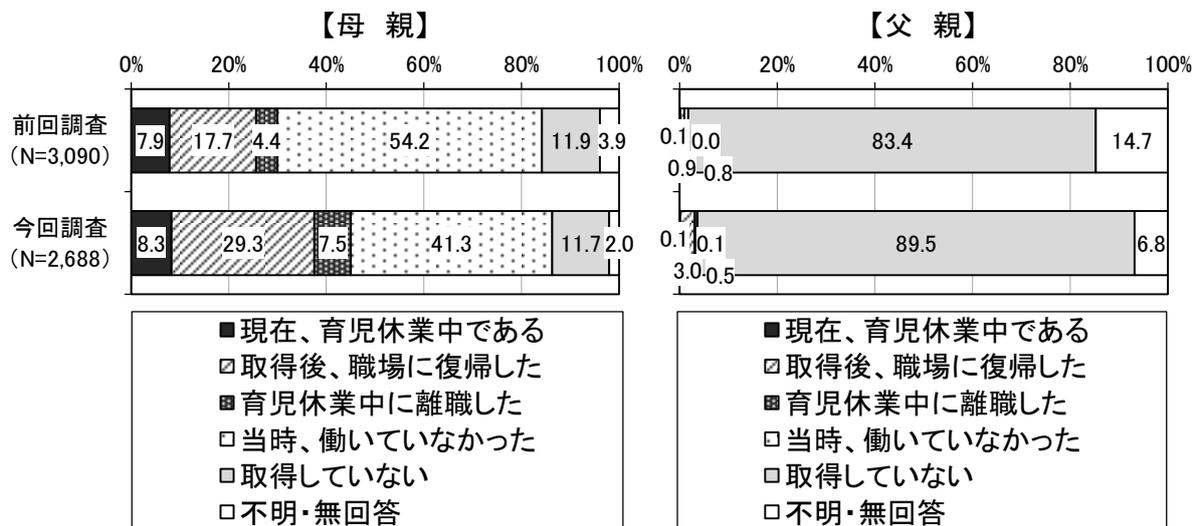
未就学児童 (N=2,688)



経年比較

[前回調査 未就学児童用調査／問 31、小学生用調査／問 21]

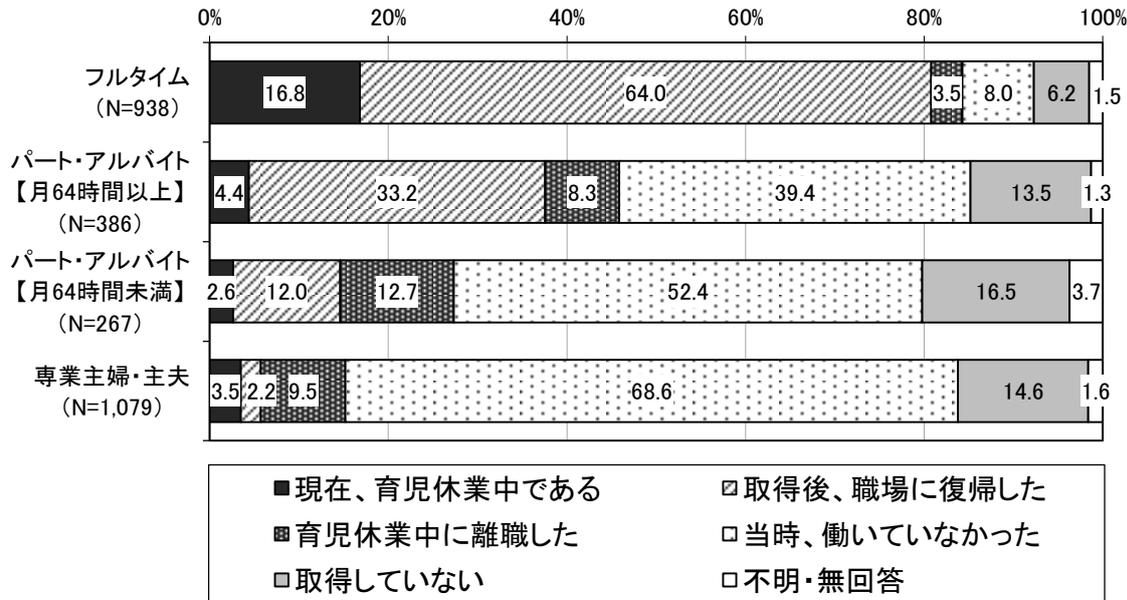
経年比較についてみると、「現在、育児休業中である」は母親で0.4ポイント高く、父親では0.1%で割合に変化はありませんでした。「取得後、職場に復帰した」は母親で10ポイント以上高く、父親でも2.1ポイント高くなっています。



現在の就労状況別（母親のみ）

母親の現在の就労状況別についてみると、[フルタイム]では「取得後、職場に復帰した」が、[パート・アルバイト【月64時間以上】][パート・アルバイト【月64時間未満】][専業主婦・主夫]では、「当時、働いていなかった」が最も高くなっています。また、「現在、育児休業中である」が[フルタイム]で16.8%と、他の就労状況と比較して高くなっています。

【母親】



(2)で「現在、育児休業中である」を選んだ方

(2) - 1 職場復帰の希望時期に必ずお子さんを預けることができれば、職場復帰を希望する時期はいつか

職場復帰の希望時期に必ず子どもを預けることができれば、職場復帰を希望する時期はいつかについてみると、「1歳～1歳6ヶ月未満」が母親で36.9%、父親で100.0%と最も高くなっています。

また、母親、父親ともに半数が年度当初（各年4月）の復帰を希望しています。

【未就学児童】 職場復帰の 希望時期の 子どもの年齢	①母親 (N=222)		②父親 (N=2)	
	件数	%	件数	%
6ヶ月未満	2	0.9	0	0.0
6ヶ月～1歳未満	12	5.4	0	0.0
1歳～1歳6ヶ月未満	82	36.9	2	100.0
1歳6ヶ月～2歳未満	38	17.1	0	0.0
2歳～2歳6ヶ月未満	30	13.5	0	0.0
2歳6ヶ月～3歳未満	16	7.2	0	0.0
3歳～3歳6ヶ月未満	17	7.7	0	0.0
3歳6ヶ月以上	20	9.0	0	0.0
不明・無回答	5	2.3	0	0.0

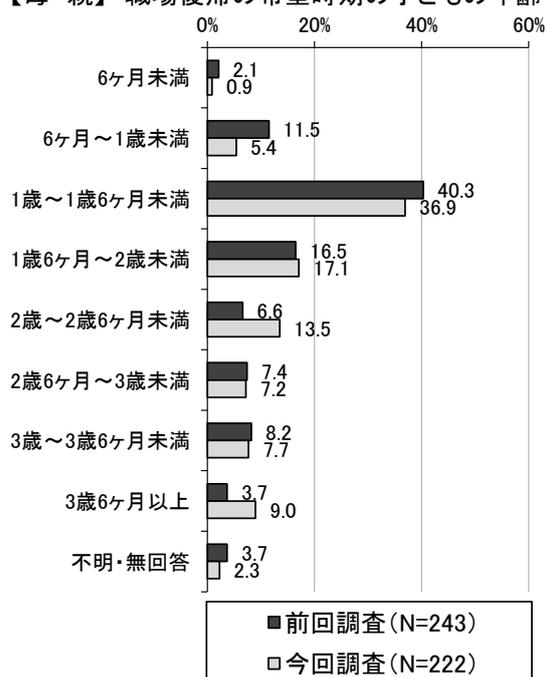
【未就学児童】 職場復帰の 希望時期	①母親 (N=222)		②父親 (N=2)	
	件数	%	件数	%
2019年3月以前	49	22.1	1	50.0
2019年4月	80	36.0	1	50.0
2019年5月～2020年3月	41	18.5	0	0.0
2020年4月	27	12.2	0	0.0
2020年5月～2021年3月	9	4.1	0	0.0
2021年4月	4	1.8	0	0.0
2021年5月以降	3	1.4	0	0.0
不明・無回答	9	4.1	0	0.0

経年比較

[前回調査 未就学児童用調査／問 31-1]

経年比較についてみると、『1歳未満』が前回調査と比べて低くなり、『2歳以上』が前回調査と比べて10ポイント以上高くなっています。

【母親】 職場復帰の希望時期の子どもの年齢

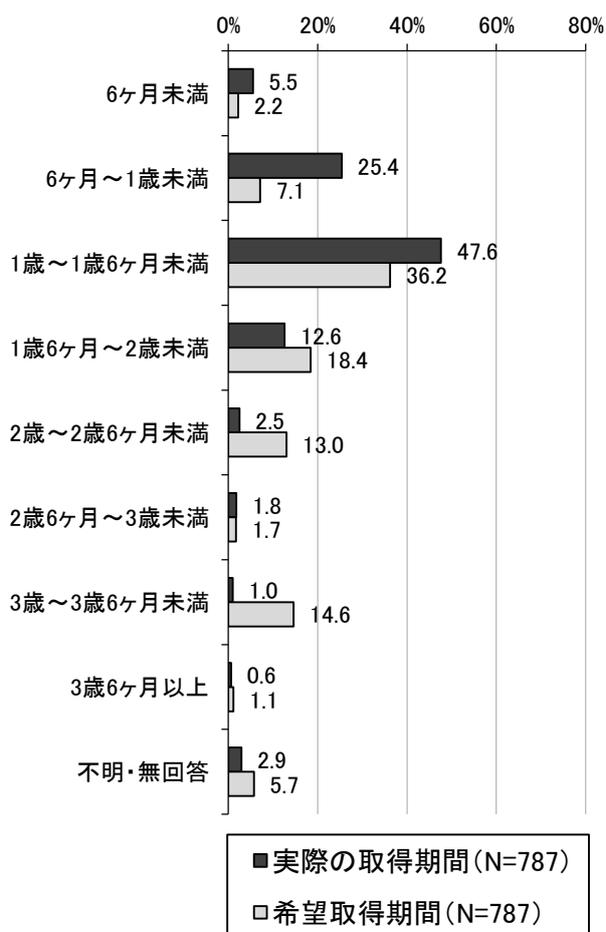


(2) で①母親、②父親どちらかもしくは両方で「2. 取得後、職場に復帰した」を選んだ方

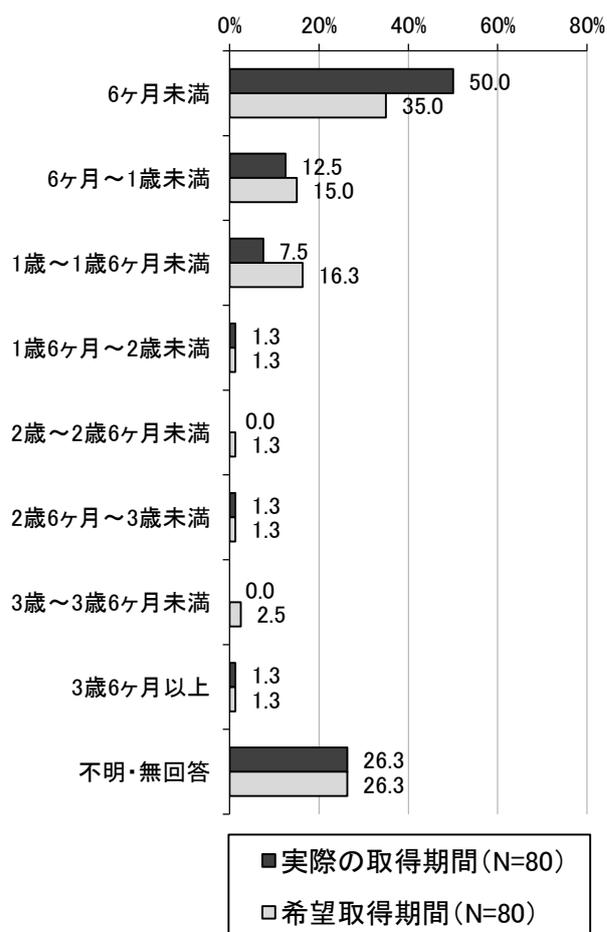
(2) - 2 育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間

育児休業の取得期間についてみると、母親では実際の取得期間、希望取得期間ともに「1歳～1歳6ヶ月未満」が最も高く、それぞれ47.6%、36.2%となっています。父親では実際の取得期間、希望取得期間ともに「6ヶ月未満」が最も高く、それぞれ50.0%、35.0%となっています。

【母親】



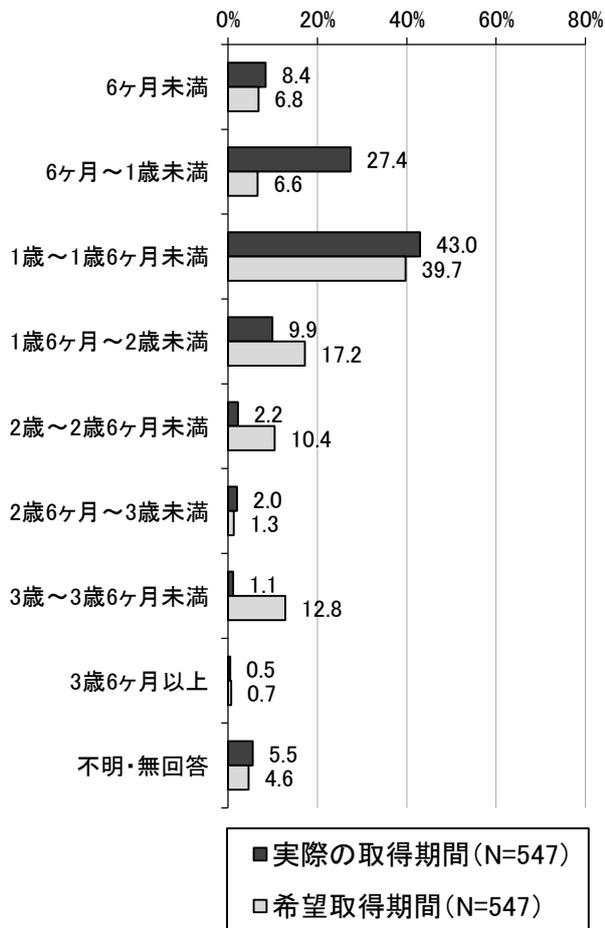
【父親】



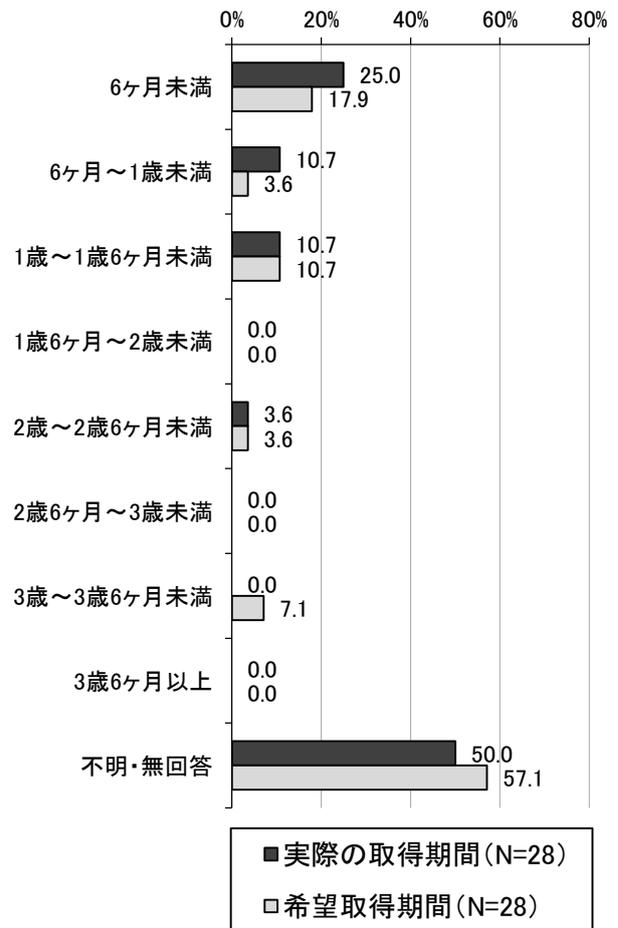
※選択肢が煩雑になるため、グラフは前回調査のみ

経年比較についてみると、母親、父親で前回調査、今回調査ともに、希望の取得期間より実際の取得期間の方が短い傾向にあります。

【母親】

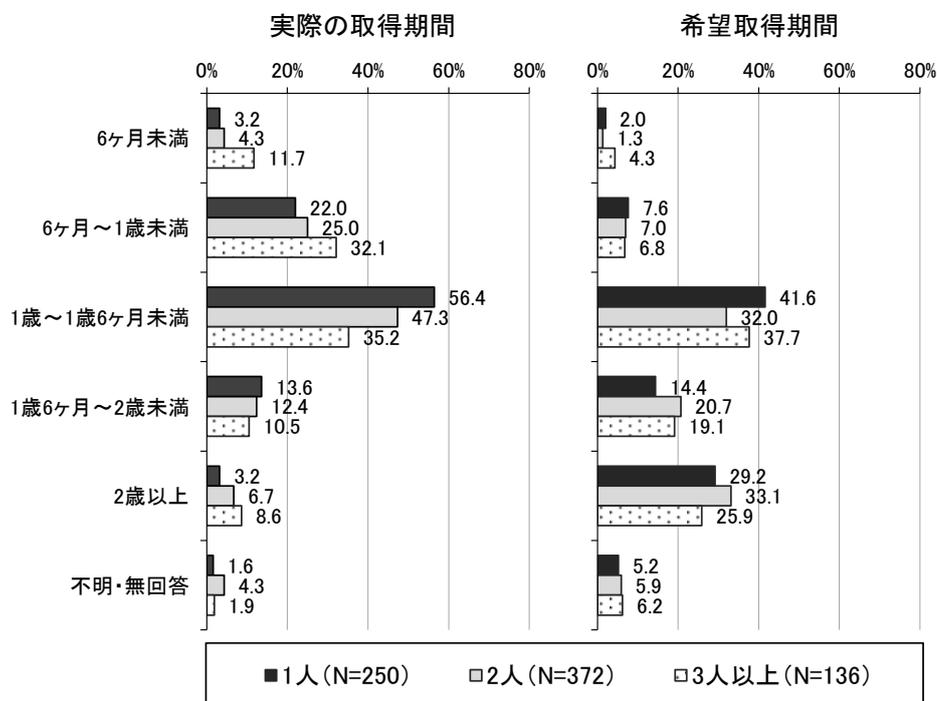


【父親】



きょうだいの人数別（母親のみ）

母親の育児休業の取得期間をきょうだいの人数別にみると、きょうだいの人数との相関関係は見られないものの、実際の取得期間は、きょうだいの人数が多いほど短い傾向にあります。

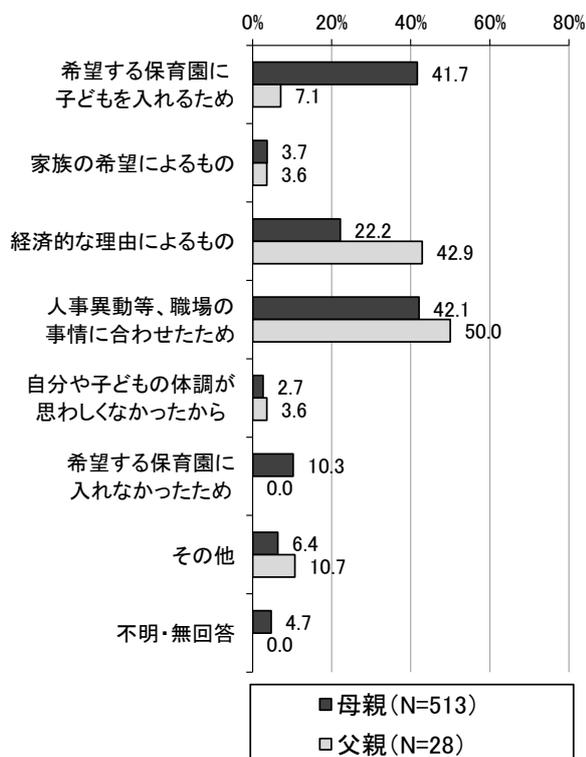


[未就学児童用調査／問36-3 複数回答]

(2) - 2で【1】実際に育児休業を取得した期間と【2】希望が異なる方

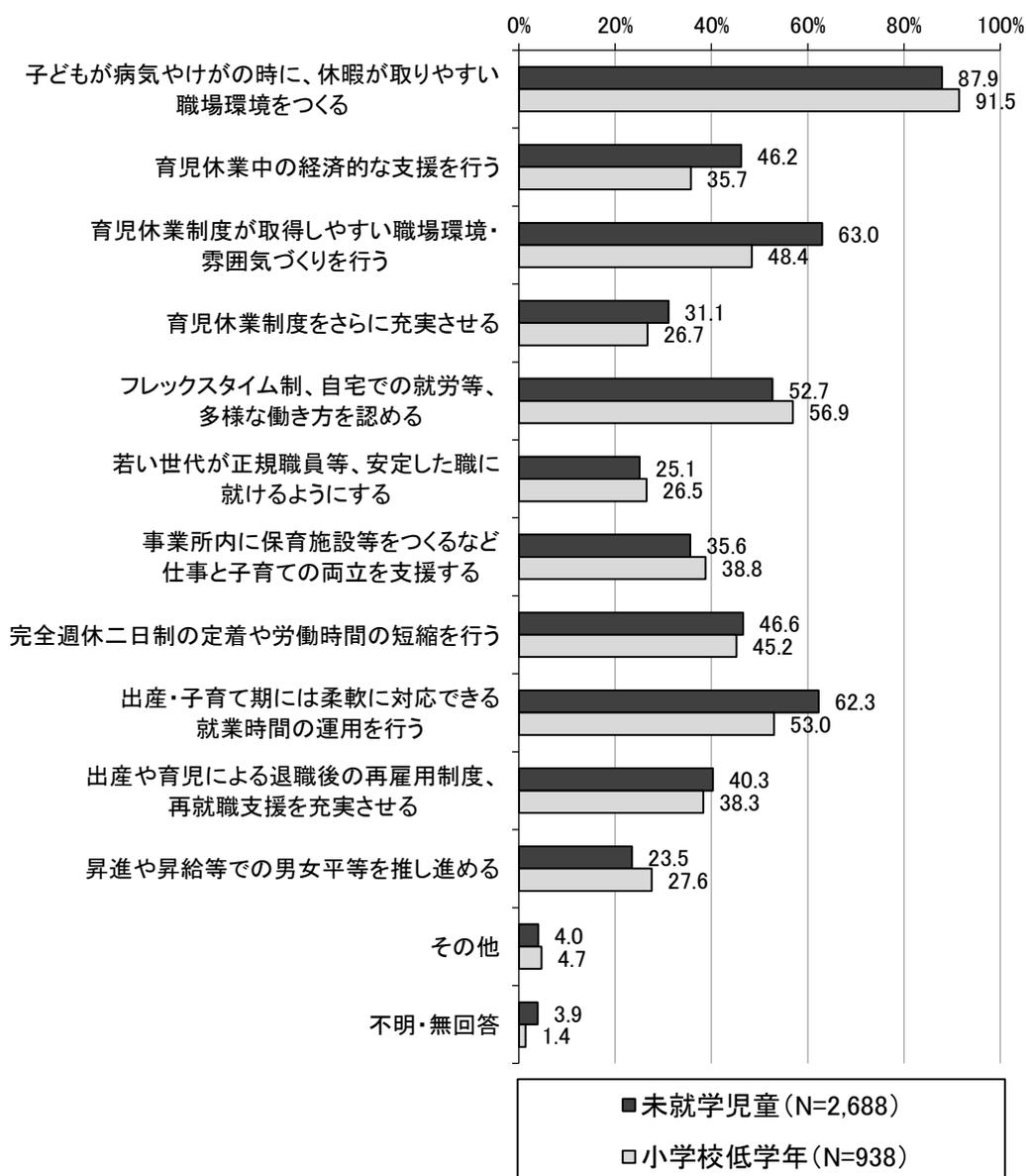
(2) - 3 実際の取得期間と希望が異なった理由

取得期間の希望と実際が異なった理由についてみると、母親、父親ともに「人事異動など、職場の事情に合わせたため」がそれぞれ42.1%、50.0%で最も高く、次いで母親では「希望する保育園に子どもを入れるため」が41.7%、父親では「経済的な理由によるもの」が42.9%となっています。



(3) 働く保護者が仕事と子育てを両立するために、あなたが企業に期待すること

仕事と子育てを両立するために企業に期待することについてみると、「子どもが病気やけがの時に、休暇が取りやすい職場環境をつくる」が未就学児童で87.9%、小学校低学年で91.5%と最も高く、上位5位までは、順位は異なるものの職場環境や労働時間に関する同様の項目が並んでいます。

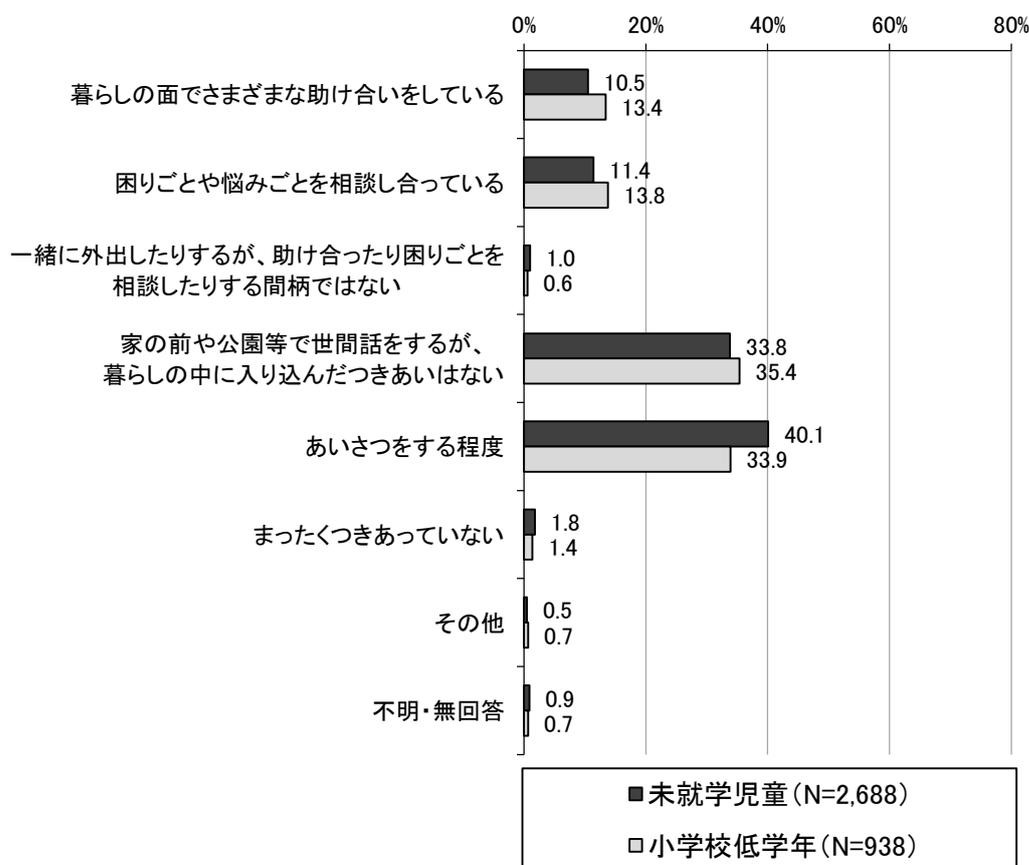


11. 地域の子育て支援や大津市の子育て支援サービスについて

〔未就学児童用調査／問 38、小学生用調査／問 27 単数回答〕

(1) 家庭の近所づきあいの状況

家庭の近所づきあいの状況についてみると、未就学児童で「あいさつをする程度」が 40.1%、小学校低学年で「家の前や公園等で世間話をするが、暮らしの中に入り込んだつきあいはない」が 35.4%と最も高くなっています。

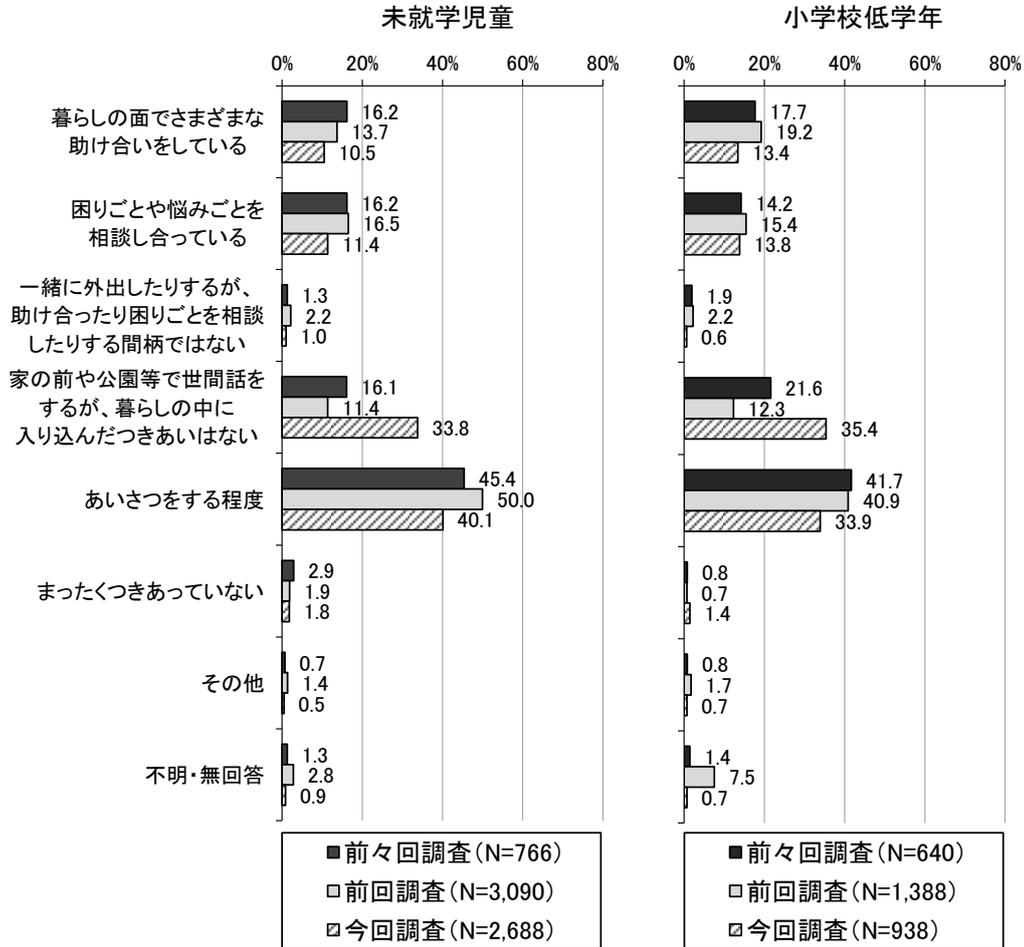


経年比較

〔前々回調査 未就学児童用調査／問 25、小学生児童調査／問 28〕

〔前回調査 未就学児童用調査／問 35、小学生児童調査／問 26〕

経年比較についてみると、前々回調査から今回調査にかけて、「暮らしの面でさまざまな助け合いをしている」「困りごとや悩みごとを相談し合っている」は低くなる傾向にあります。

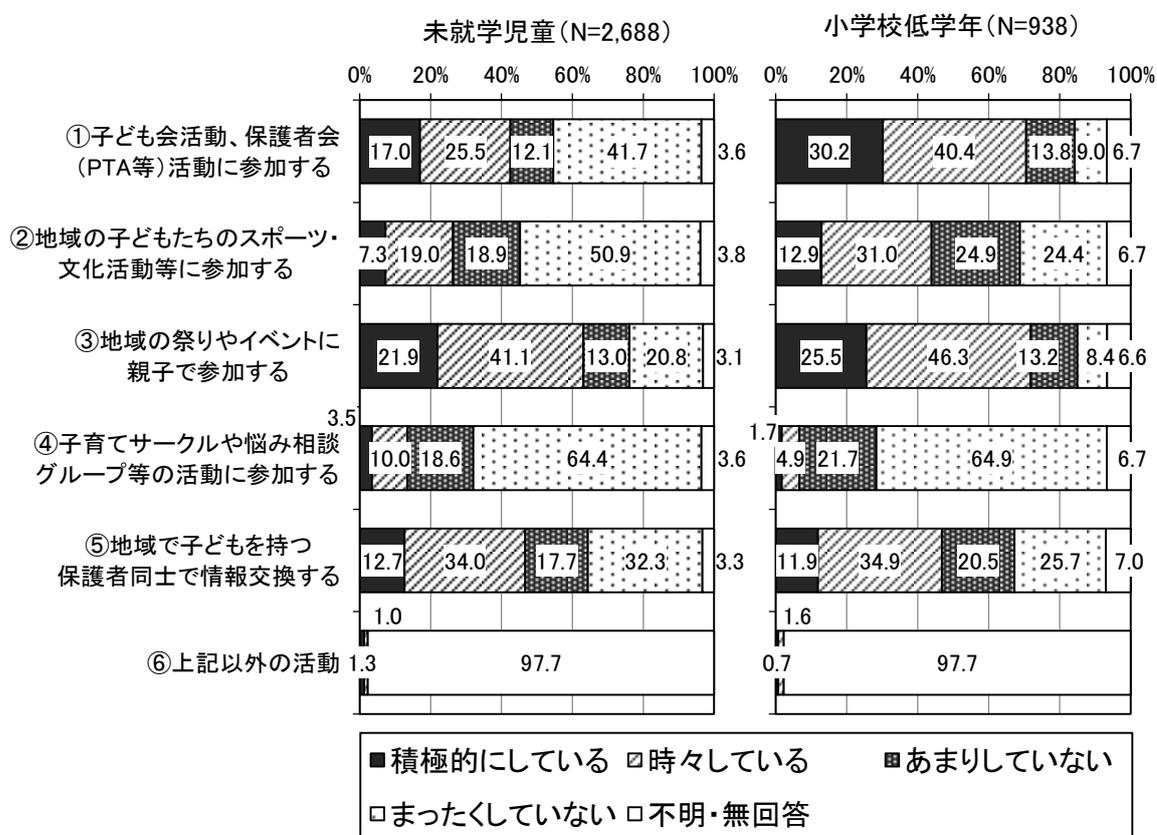


* 前々回調査、前回調査における「宅配便などを預かたりみやげものを分けたりするが、暮らしの中に入り込んだつきあいはない」の割合は、今回調査の「家の前や公園等で世間話をするが、暮らしの中に入り込んだつきあいはない」に掲載

(2) 地域の子どもたちとの交流や活動の参加の有無

地域の子どもたちとの交流や活動の参加の有無についてみると、未就学児童では〈③地域の祭りやイベントに親子で参加する〉で「積極的にしている」(21.9%)と「時々している」(41.1%)を合わせると63.0%となっています。

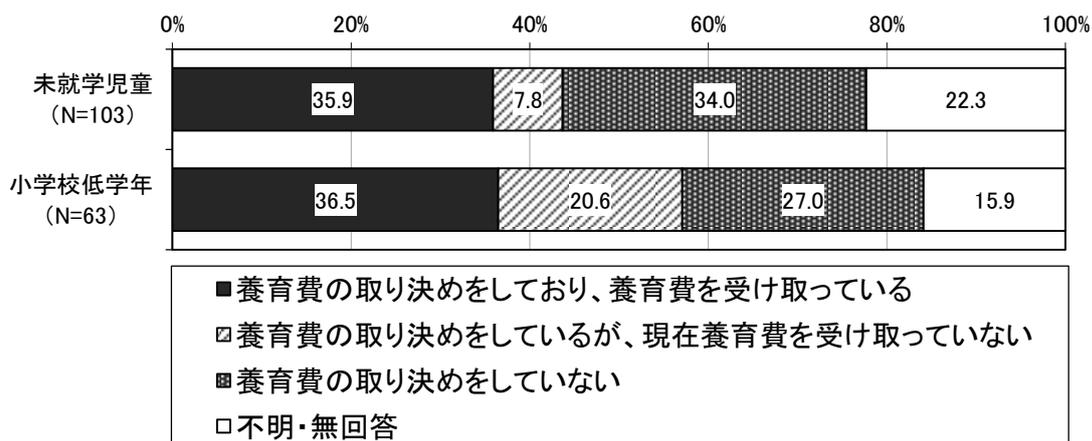
小学校低学年では〈③地域の祭りやイベントに親子で参加する〉で「積極的にしている」(25.5%)と「時々している」(46.3%)を合わせると71.8%、〈①子ども会活動、保護者会(PTAなど)活動に参加する〉で「積極的にしている」(30.2%)と「時々している」(40.4%)を合わせると70.6%と他の活動と比べて高くなっています。



ひとり親世帯の方

(3) 養育費に関する状況

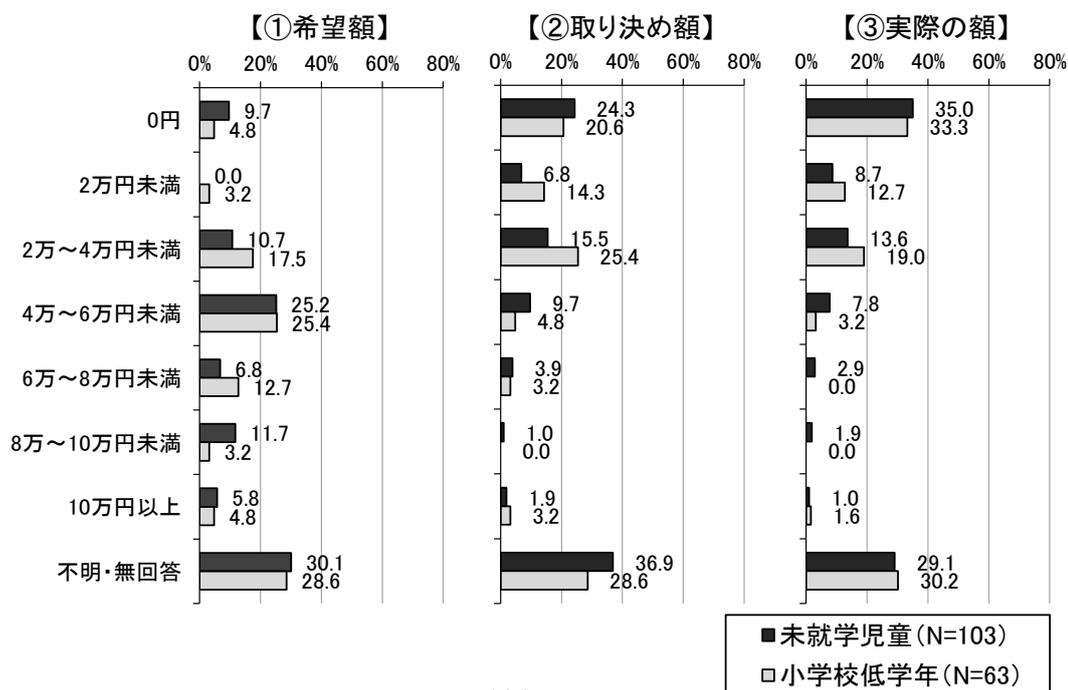
養育費についてみると、未就学児童、小学校低学年ともに「養育費の取り決めをしており、養育費を受け取っている」がそれぞれ 35.9%、36.5%と最も高くなっています。「養育費の取り決めをしているが、現在養育費を受け取っていない」は未就学児童で 7.8%、小学校低学年で 20.6%となっています。



ひとり親世帯の方

(3) - 1 養育費の金額

養育費の金額について、〈①希望額〉は未就学児童、小学校低学年ともに「4万～6万円未満」が、〈②取り決め額〉は未就学児童で「0円」、小学校低学年で「2万～4万円未満」が、〈③実際の額〉は未就学児童、小学校低学年ともに「0円」が最も高くなっています。

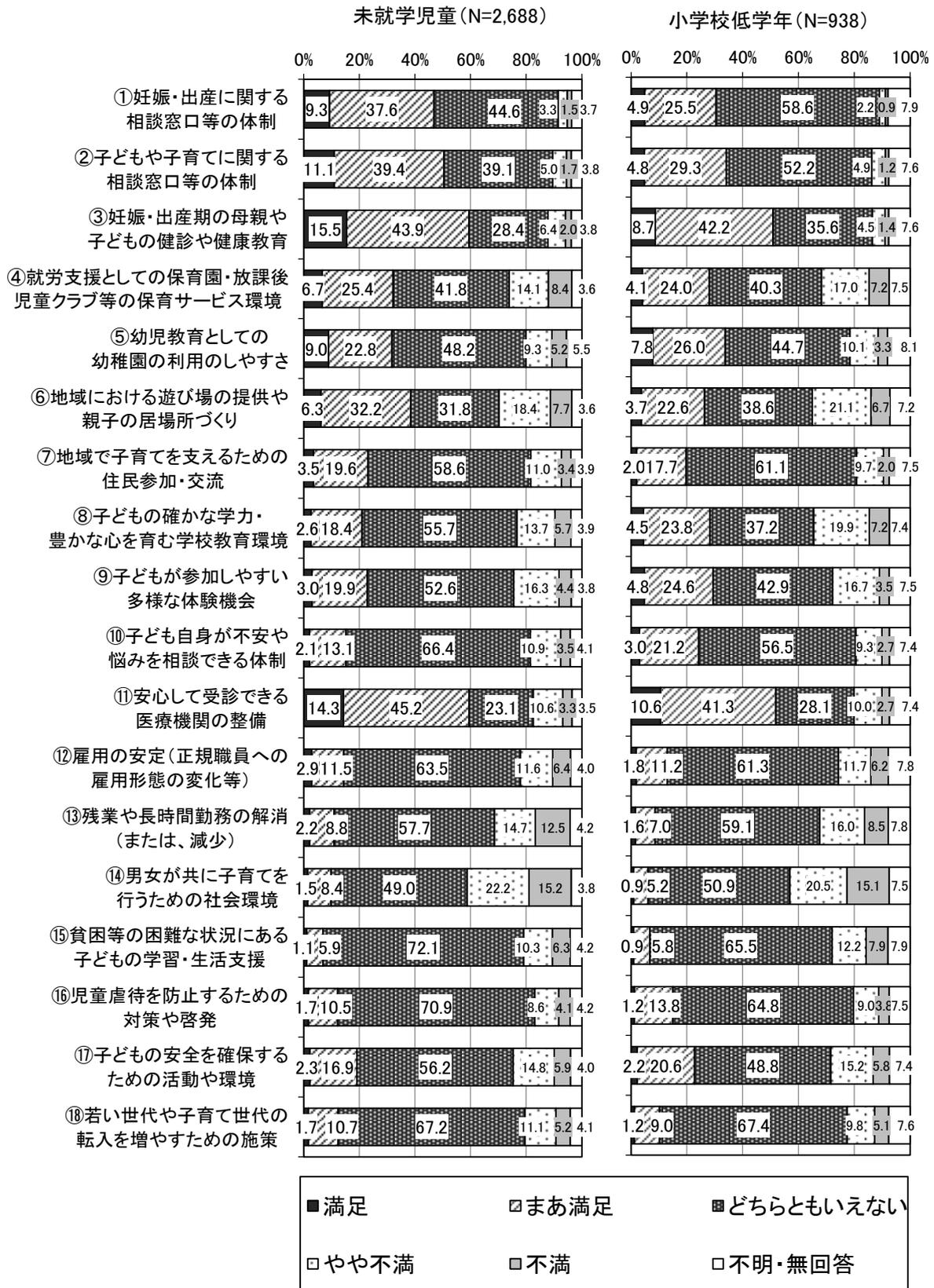


(4) 大津市の少子化対策や出産、子育てに関わる環境の満足度、重要度

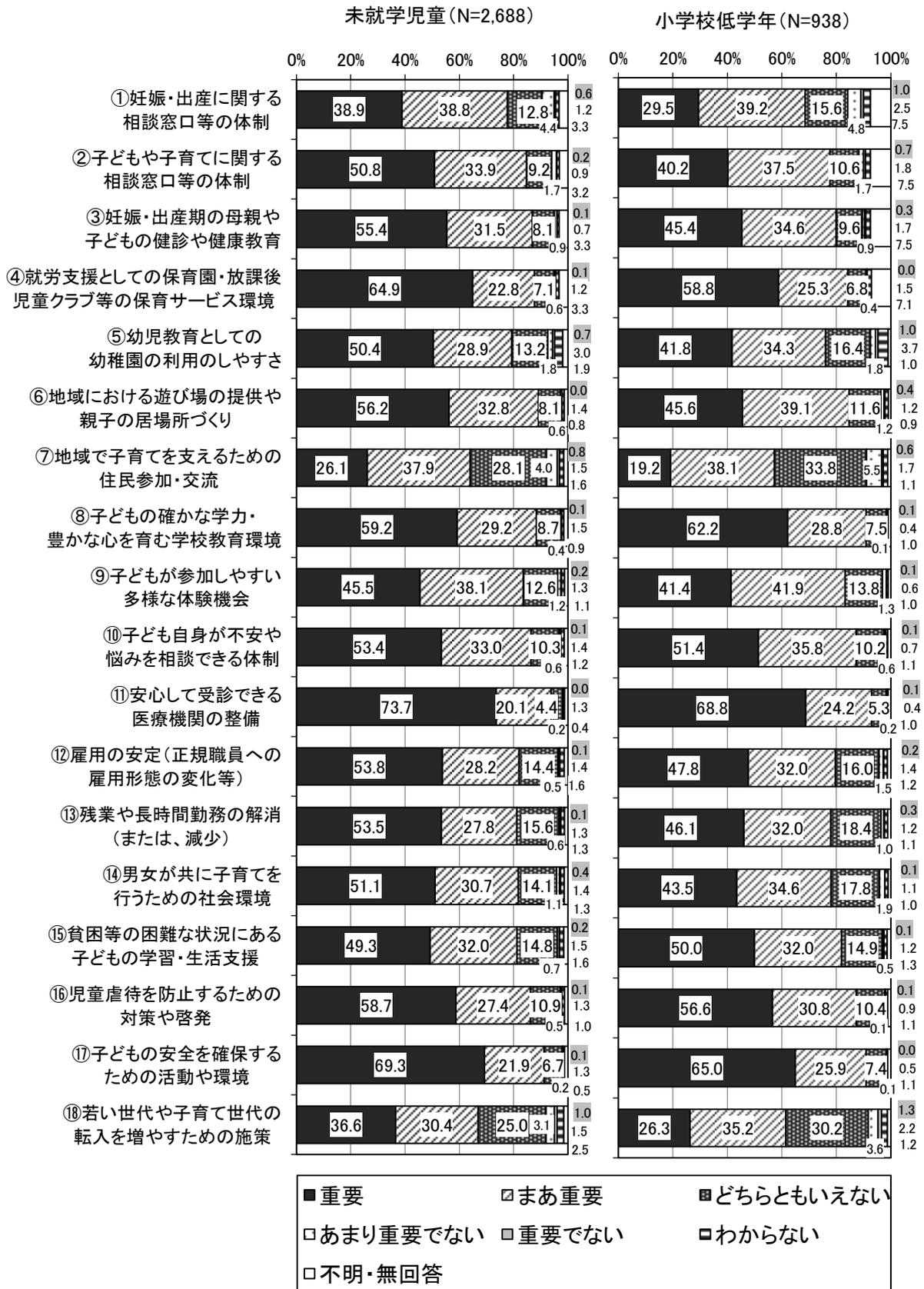
少子化対策等の満足度についてみると、未就学児童、小学校低学年ともに〈⑪安心して受診できる医療機関の整備〉〈③妊娠・出産期の母親や子どもの健診や健康教育〉で「満足」と「まあ満足」を合わせた割合が5割を超えて高くなっています。一方、〈⑭男女が共に子育てを行うための社会環境〉では「不満」と「やや不満」を合わせた割合が他の項目より高くなっています。

重要度についてみると、未就学児童では〈⑪安心して受診できる医療機関の整備〉〈⑰子どもの安全を確保するための活動や環境〉が、小学校低学年では〈⑪安心して受診できる医療機関の整備〉〈⑧子どもの確かな学力・豊かな心を育む学校教育環境〉〈⑰子どもの安全を確保するための活動や環境〉の「重要」と「まあ重要」を合わせた割合が9割を超えて高くなっています。

〈満足度〉



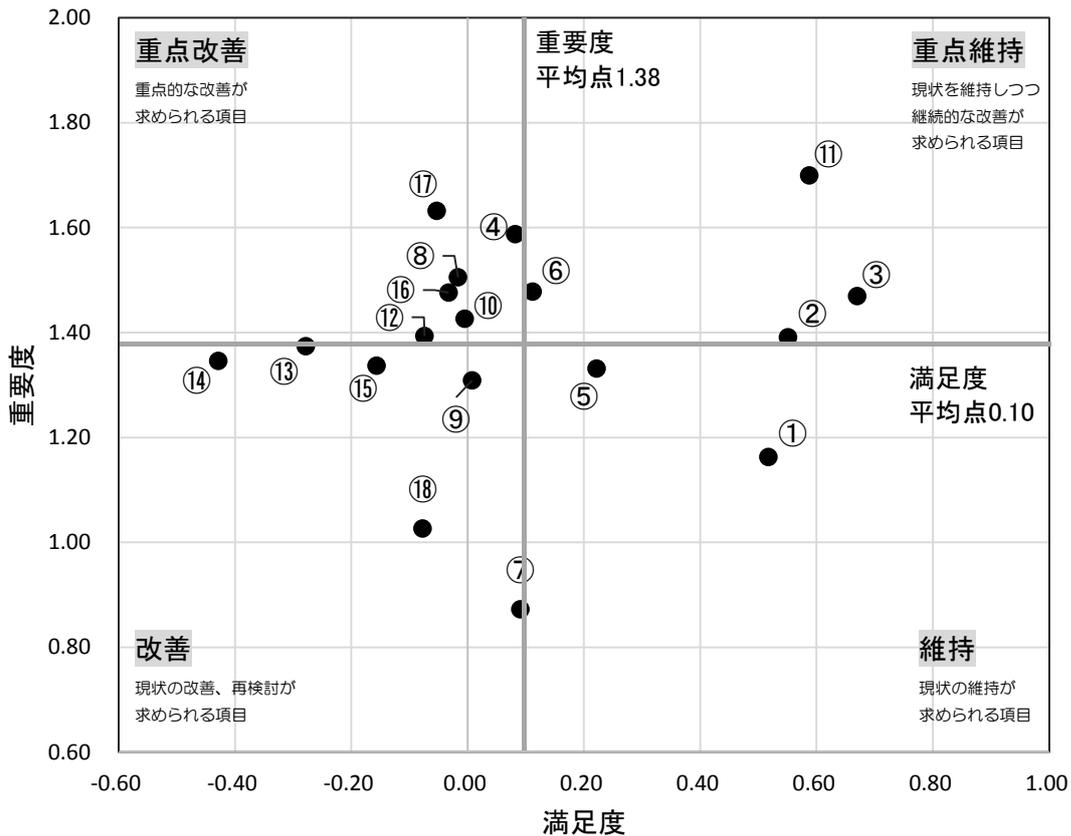
〈重要度〉



重要度・満足度の比較（点数化）

未就学児童の重要度と満足度を比較すると、重点的な改善が求められる項目は、〈④就労支援としての保育園・放課後児童クラブ等の保育サービス環境〉〈⑧子どもの確かな学力・豊かな心を育む学校教育環境〉〈⑩子ども自身が不安や悩みを相談できる体制〉〈⑫雇用の安定（正規職員への雇用形態の変化等）〉〈⑯児童虐待を防止するための対策や啓発〉〈⑰子どもの安全を確保するための活動や環境〉となっています。

【未就学児童】



■項目一覧

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| ①妊娠・出産に関する相談窓口等の体制 | ⑩子ども自身が不安や悩みを相談できる体制 |
| ②子どもや子育てに関する相談窓口等の体制 | ⑪安心して受診できる医療機関の整備 |
| ③妊娠・出産期の母親や子どもの健診や健康教育 | ⑫雇用の安定（正規職員への雇用形態の変化等） |
| ④就労支援としての保育園・放課後児童クラブ等の保育サービス環境 | ⑬残業や長時間勤務の解消（または、減少） |
| ⑤幼児教育としての幼稚園の利用のしやすさ | ⑭男女が共に子育てを行うための社会環境 |
| ⑥地域における遊び場の提供や親子の居場所づくり | ⑮貧困等の困難な状況にある子どもの学習・生活支援 |
| ⑦地域で子育てを支えるための住民参加・交流 | ⑯児童虐待を防止するための対策や啓発 |
| ⑧子どもの確かな学力・豊かな心を育む学校教育環境 | ⑰子どもの安全を確保するための活動や環境 |
| ⑨子どもが参加しやすい多様な体験機会 | ⑱若い世代や子育て世代の転入を増やすための施策 |

【点数化の説明】

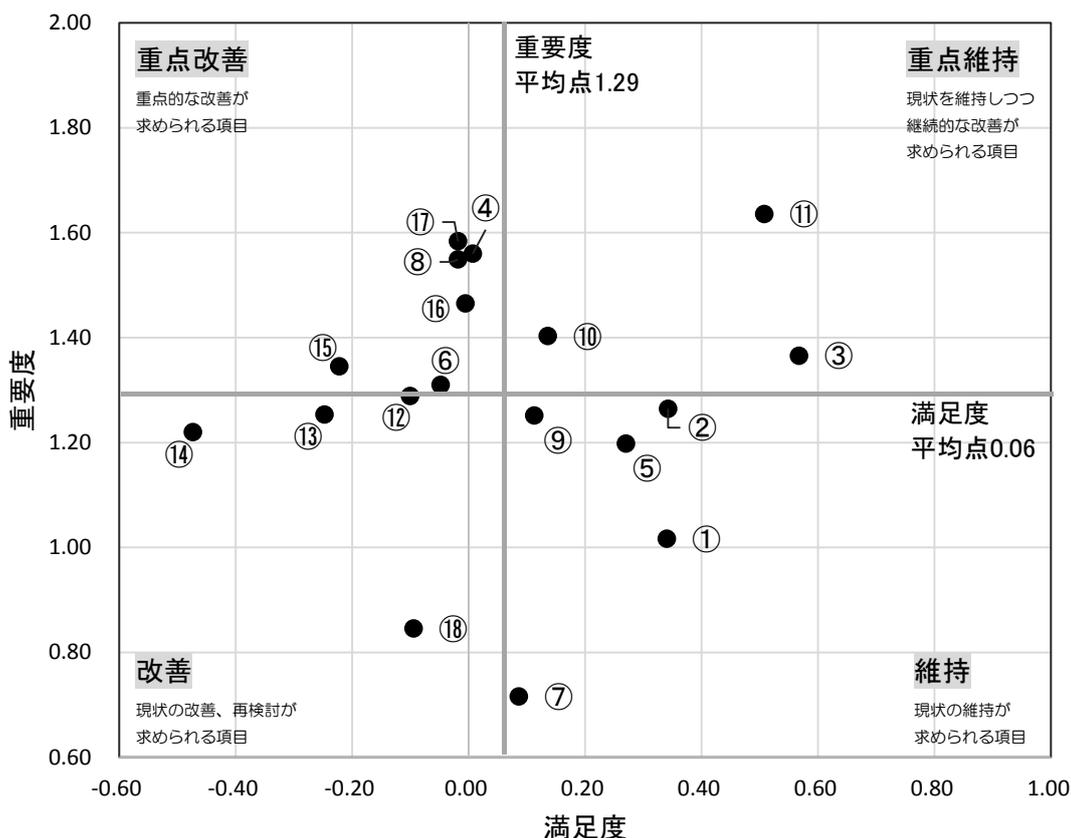
各施策に対する市民の評価を点数化し、満足度と重要度の2つの指標に集約することで、市民からみた施策の位置づけを示している。点数化の方法は以下の通り。

満足度：各項目について、「満足」を2点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点とした各回答の合計点を、不明・無回答を除いた回答者数で除し、平均点を算出

重要度：各項目について、「重要」を2点、「まあ重要」を1点、「どちらともいえない」を0点、「あまり重要でない」を-1点、「重要でない」を-2点、「わからない」を0点とした各回答の合計点を、不明・無回答を除いた回答者数で除し、平均点を算出

小学校低学年の重要度と満足度を比較すると、重点的な改善が求められる項目は、〈④就労支援としての保育園・放課後児童クラブ等の保育サービス環境〉〈⑥地域における遊び場の提供や親子の居場所づくり〉〈⑧子どもの確かな学力・豊かな心を育む学校教育環境〉〈⑮貧困等の困難な状況にある子どもの学習・生活支援〉〈⑯児童虐待を防止するための対策や啓発〉〈⑰子どもの安全を確保するための活動や環境〉となっています。

【小学校低学年】



■項目一覧

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| ①妊娠・出産に関する相談窓口等の体制 | ⑩子ども自身が不安や悩みを相談できる体制 |
| ②子どもや子育てに関する相談窓口等の体制 | ⑪安心して受診できる医療機関の整備 |
| ③妊娠・出産期の母親や子どもの健診や健康教育 | ⑫雇用の安定(正規職員への雇用形態の変化等) |
| ④就労支援としての保育園・放課後児童クラブ等の保育サービス環境 | ⑬残業や長時間勤務の解消(または、減少) |
| ⑤幼児教育としての幼稚園の利用のしやすさ | ⑭男女が共に子育てを行うための社会環境 |
| ⑥地域における遊び場の提供や親子の居場所づくり | ⑮貧困等の困難な状況にある子どもの学習・生活支援 |
| ⑦地域で子育てを支えるための住民参加・交流 | ⑯児童虐待を防止するための対策や啓発 |
| ⑧子どもの確かな学力・豊かな心を育む学校教育環境 | ⑰子どもの安全を確保するための活動や環境 |
| ⑨子どもが参加しやすい多様な体験機会 | ⑱若い世代や子育て世代の転入を増やすための施策 |

■ 点数表

施策項目 満足度:平均より低い値に網掛け 重要度:平均より高い値に網掛け	未就学児童		小学校低学年	
	満足度	重要度	満足度	重要度
①妊娠・出産に関する相談窓口等の体制	0.52	1.16	0.34	1.02
②子どもや子育てに関する相談窓口等の体制	0.55	1.39	0.34	1.26
③妊娠・出産期の母親や子どもの健診や健康教育	0.67	1.47	0.57	1.37
④就労支援としての保育園・放課後児童クラブ等の 保育サービス環境	0.08	1.59	0.01	1.56
⑤幼児教育としての幼稚園の利用のしやすさ	0.22	1.33	0.27	1.20
⑥地域における遊び場の提供や親子の居場所づくり	0.11	1.48	-0.05	1.31
⑦地域で子育てを支えるための住民参加・交流	0.09	0.87	0.09	0.72
⑧子どもの確かな学力・豊かな心を育む学校教育環境	-0.02	1.51	-0.02	1.55
⑨子どもが参加しやすい多様な体験機会	0.01	1.31	0.11	1.25
⑩子ども自身が不安や悩みを相談できる体制	-0.01	1.43	0.14	1.40
⑪安心して受診できる医療機関の整備	0.59	1.70	0.51	1.64
⑫雇用の安定(正規職員への雇用形態の変化等)	-0.07	1.39	-0.10	1.29
⑬残業や長時間勤務の解消(または、減少)	-0.28	1.37	-0.25	1.25
⑭男女が共に子育てを行うための社会環境	-0.43	1.35	-0.47	1.22
⑮貧困等の困難な状況にある子どもの学習・生活支援	-0.16	1.34	-0.22	1.35
⑯児童虐待を防止するための対策や啓発	-0.03	1.48	-0.01	1.47
⑰子どもの安全を確保するための活動や環境	-0.05	1.63	-0.02	1.58
⑱若い世代や子育て世代の転入を増やすための施策	-0.08	1.03	-0.09	0.85
平均点	0.10	1.38	0.06	1.29

12. 自由記述について

(1) 未就学児童

分類	主な意見・要望	件数
1. 教育・保育施設（保育園、認定こども園、幼稚園）		
保育園	入所・入園に関すること （希望園への入園の困難さ。「待機児童ゼロ」を掲げながらの年度途中入園の困難さ。在宅者や求職者等の入所基準の不平等感。入所基準の見直しの必要性。求職者の保育環境の充実。申込み時期や入所決定時期の検討。園の特色から希望を選択できるような保育・教育施設の情報提供の充実。待機児童の一時預かり等のフォロー体制の充実。入所手続きの簡素化。等）	149
	施設の新設・拡充 （学区による施設整備の偏り。老朽化対策。未来を見据えた施設整備、人材育成。市立園における質の高い教育の充実。等）	37
	施設・事業の運営内容の充実 （市立園民営化の反対意見。保育の数だけではない保育の質の向上。大津ならではの教育・保育の実践。日曜、祝日保育実施園の充実。産前産後保育の充実。有給取得日の保育許可。園庭の地域開放。等）	80
	保育費等の費用負担 （きょうだいが卒園した場合の保育料の軽減継続。年齢を問わない第三子保育料無料の実施。所得制限による受けられる助成の有無の不平等感。無償化の詳細についての情報提供。無償化によるニーズ増加の懸念。無償化対象でない家庭への支援。登園日数による保育料の調整。等）	45
	保育士や教諭の対応、研修、処遇 （保育士が働きやすい環境づくり。豊かな育ちを支える人材育成。保育園の増加による保育士の負担増。現場の声の施策活用。職員の労働環境・待遇改善。等）	53
認定こども園	入所・入園に関すること （希望園への入園の困難さ。入所世帯のライフスタイルの違いによるトラブルへの懸念。等）	4
	施設の新設・拡充 （市立園における幼保一体化の推進。等）	5
	施設・事業の運営内容の充実 （夏休みの延長保育希望。等）	2
	保育費等の費用負担 （保育部と幼稚部における異なる給食費の不平等感。等）	4

分類	主な意見・要望	件数
幼稚園	入所・入園に関すること (保育園との待遇の違い。無償化対象でない家庭への支援。親の就労・離職に関係なく預けられる施設の要望 等)	15
	施設の新設・拡充 (幼稚園での預かり保育拡充。遠距離送迎の負担。幼稚園の統合以外の魅力ある園づくり。 等)	17
	施設・事業の運営内容の充実 (3年保育の早期実現を希望。市立園における給食の実施。市立園の保育期間の延長。長期休暇中の預かりがなく就労が困難。 等)	65
	保育費等の費用負担 (保育料が高い。無償化対象でない家庭の不平等感。 等)	16
	保育士や教諭の対応、研修、処遇 (3年保育実施に向けた職員の充実。 等)	6
2. 子育て支援サービス		
各種子育て支援サービス	一時預かり利用の充実 (学区園等における一時預かりの充実。土曜日、休日預かりの利便性向上。短時間就労者や専業主婦世帯等の子どもの保育や一時預かりの充実。一時預かり保育料の軽減。リフレッシュや再就職のための利用による孤立の防止。実施場所の偏り。 等)	84
	病児・病後保育の充実 (安心して預けられる施設の充実。私立園への看護師配置の補助。利用料の負担軽減。病児・病後児保育のイメージからくる預けにくさの改善。 等)	24
	小規模保育や家庭的保育等、その他の事業の充実 (ファミリーサポートセンター事業の充実と普及。子育ての孤独を軽減する取り組み。小規模保育と保育園、幼稚園等の連携強化。第三者による教育・保育施設の利用者アンケートの実施。イベント等のネット予約の導入。 等)	27
	地域子育て支援拠点 (気軽に行ける相談窓口の充実。小学生になっても利用できる施設の充実。子ども服や育児用品の交換会の実施。 等)	88
放課後児童クラブ	入所に関すること (児童クラブへの入所は就学後の大きな不安。保育園より厳しい就労に関する入所条件の緩和。 等)	14
	施設の新設・拡充 (児童数に対して敷地面積が狭い。 等)	26
	施設・事業の運営内容の充実 (児童クラブの日曜祝日の開設。保育所と同等の預かり条件の検討。開所時間の延長。防犯面の強化。 等)	34
	費用負担 (他地域より高い保育料の軽減。 等)	2
	職員の対応、研修、処遇 (職員業務の重要性や責任の重さを評価した待遇改善。指導員の増員と質の向上。 等)	3

分類	主な意見・要望	件数
子育てに関する情報	(家庭に合わせた施策情報の提供。定期的な情報発信。SNS やアプリの利便性・わかりやすさの向上。教育・保育施設や保活に関する情報提供の充実。多言語に対応した子育て支援情報の提供。転入時の情報提供の充実。 等)	60
子育てに関する相談	(就労中でも利用しやすい相談の実施。妊娠中に子育てがイメージできるような講座の開催。気持ちを聞いてほしい程度の気軽な相談の実施。対象や相談内容がわかる相談窓口リストの公開。ダブルケアの相談窓口の充実。 等)	50
ひとり親家庭支援	(経済的な負担軽減。父子家庭が安心して子育てできる環境づくり。養育費不払い保障の実施。ひとり親やステップファミリー等、世帯の多様性への理解の促進。 等)	9
障害児支援	発達支援 (相談者の増加に合わせた体制整備。支援学級の先生不足。保護者やきょうだいを含めた家族支援の視点。発達に問題がある子に対するサポートが不十分。発達障害児の早期発見・早期対応の後のケア・フォローの充実。発達障害児の学習意欲に応じた教育システムの実施。職員の理解や専門性の向上 等)	9
	子育て支援サービス(児童クラブ、放課後デイ等) (障害に対する職員の理解や専門性の向上。幅広いメニュー(習い事のような)の提供。幼児期だけで学童期に入ると支援級も人手不足。就学期での夏休みの居場所と勉強面(支援環境)が不安 等)	7
	学校における支援、進学・進路相談 (発達障害のある子どもやグレーゾーンの子どもの進路支援。養護学校の増設。学校での障害児・障害者へのサポートの充実。特別支援学級に通う児童・生徒の進路相談。 等)	6
児童虐待	(通報や相談に対する早期対応・早期対面。 等)	5
子育てに関する経済的負担	(インフルエンザ予防接種の補助実施。医療費助成年齢の延長(中学卒業まで)。児童手当支給の収入基準の見直し。多子世帯への教育費負担の軽減。給食費の助成。習い事や学習塾等の費用補助の実施。認可外保育施設の保育料を一部補助する制度の導入。制服、教材費の教育費の費用助成。 等)	167
3. 学校・教育(小学校、中学校、高校等)		
学校施設・設備の充実	(不衛生なトイレ等の改修。校舎の施設整備。児童数に合った小学校の増設・分校。瀬田周辺の学校の新設もしくはスクールバス導入、学区の見直し。 等)	34
授業・指導内容	(生徒に目が行き届くクラス規模・教員配置。学校生活支援員の充実。子どもの就労体験、芸術文化に触れる機会の確保・充実。いじめを許さない学校づくり。高校での支援体制の充実。 等)	14
学力の向上	(学力低下への不安と対策。学力の向上への対策。経済格差による学習機会の差の改善。学習カリキュラムの充実。 等)	20
P T A 活動、保護者の関わり	(PTA 活動の負担軽減。働き方や生活の変化にあわせた PTA の運営方法・存在意義の検討。 等)	8

分類	主な意見・要望	件数
	教職員の対応、研修、処遇 (教員の質の改善。学校の先生の指導能力の向上。教員の適正な配置。 等)	13
	いじめ、不登校問題 (教員の多忙による、行き届かない心のケア。少人数クラスの導入や支援員等の設置。 等)	5
4. 子育て環境		
	子どもの遊び場、居場所 (公園環境整備。休日も児童館の利用を希望。子どもが歩いていける安心で自由な遊び場の充実。未就園児が毎日気軽に遊びに行けるような支援センターを身近に希望。屋内で遊べる施設の充実。遊具の充実、安全確保・定期点検の実施。撤去遊具の代替遊具の設置。犬の散歩等マナーの向上。休館日の曜日分散。 等)	89
	道路や交通の安全 (通学路の安全確保・定期点検の実施。通学路の歩道整備や街灯設置の推進。自転車道の整備や交通ルールの啓発などの対策を希望。側溝等の危ない箇所の見直し 等)	40
	公共施設整備 (施設の老朽化対策。公園の遊具の整備。公立の小学校・中学校のグラウンドの開放。児童館の整備。図書館の整備。 等)	106
	防犯・防災 (子ども達が多く集まる公園などに防犯カメラの設置。不審者情報発信時における集団下校等の対策、地域への周知。守衛の配置や警察の見回りの強化。街灯の増設。子ども・親の安心できる避難場所の検討。交通事故対策。 等)	21
	地域とのかかわり(地域福祉) (誰でも楽しく参加でき、自然な交流が生まれる場づくり。公民館等で地域の子と晩御飯を食べる地域の取り組みを希望。親同士が繋がれる小規模で交流できるイベント開催。安心して地域とつながれる施設の充実、制度の拡充。祖父母世代と、幼児親子が地域の文化や伝統を学ぶ交流機会。 等)	28
	医療体制 (乳幼児健診の受診場所の充実。小児科・内科・耳鼻科の増設。病児保育施設の増設。不妊・不育症等への支援の充実。各地域の休日夜間の小児医療体制の整備。産前産後のサービスの充実。妊婦健診の負担軽減。インフルエンザ予防接種費用の補助。 等)	79
5. 子育てと就労の両立		
	保護者の就労支援 (保育や子育て支援による復職支援。核家族子育て世帯が正社員で働き続けられる環境づくり。 等)	70
	多様な働き方の推進 (多様な働き方、柔軟な働き方の理解促進と働く機会の充実。 等)	18
	職場環境の改善 (育児休暇や育児休業が取得しやすい環境整備。働く場に託児所等を希望。子どもと過ごす時間の確保。妊娠中の期間に職場や社会が応援できる雰囲気づくり。 等)	39
	男女共同参画の推進 (父親達の妊娠・出産・子育てについての現状理解や学習機会を希望。父親と母親がともに育児を担うことの重要性。就労状況にかかわらず心にゆとりを持って子育てできる環境づくり。父親も育児休暇や育児休業が取得しやすい環境整備。 等)	21

分類	主な意見・要望	件数
6. まちづくり全体		
	相談窓口、広報等の諸業務 (各家庭に寄り添った相談対応の強化。制度や事業のわかりやすく、入手しやすい情報提供の実施。市役所や支所における土日午前中の窓口開設。 等)	20
	都市計画等の整備 (大津市民として誇りのもてる環境を整備。道路や河川の整備。琵琶湖周辺のロケーションを活かした子どもが利用できる施設の建設。 等)	13
	政策へのご意見 (幼稚園の統廃合をする前に園の保育の内容充実。幼稚園の統廃合時のきめ細かな状況把握の実施。地域に出向き市民に意見を聞く機会の充実。山間地域の居住を希望する人が移転しやすい政策や情報提供。 等)	68
	職員の対応 (健診や相談情報の内部での引き継ぎ徹底。相談しやすい対応を希望。児童館の親の交流の場としての活用。 等)	33
7. アンケートの感想		
	(結果が施策に活かされることを希望。質問が多くわかりにくい。 等)	35
8. その他		
	(親子で楽しめる魅力的な行事やイベントの充実。子どもの体験機会の充実。就労している親同士の交流の場の創出。相談会や体験会の休日開催。共働き家庭が子育てしやすい環境づくり。マイナンバー等の活用による各種手続き・書類作成の簡素化 等)	80

(2) 小学校低学年

分類	主な意見・要望	件数
1. 教育・保育施設（保育園、認定こども園、幼稚園）		
保育園	入所・入園に関すること （希望園への入園の困難さ。在宅者や求職者等の入所基準の不平等感。求職者の保育条件の配慮。年度当初入所の申込み時期の検討。等）	10
	施設の新設・拡充 （潜在的な待機児童の増加。未来を見据えた施設整備、人材育成。小規模園における子どもの育ちへの不安。市立園における質の高い教育の充実。等）	5
	施設・事業の運営内容の充実 （親同士の交流等、息抜きの機会づくり。等）	2
	保育費等の費用負担 （無償化によるニーズ増加の懸念。無償化対象でない家庭への支援。等）	5
	保育士や教諭の対応、研修、処遇 （保育園の増加による保育士の負担増。現場の声の施策活用。職員の労働環境改善。等）	4
認定こども園	施設の新設・拡充 （市立園における幼保一体化の推進。等）	1
幼稚園	入所・入園に関すること （園に関する情報提供の充実。等）	1
	施設の新設・拡充 （遠方園の送迎が負担。児童数に対して敷地面積が狭い。等）	3
	施設・事業の運営内容の充実 （3年保育の早期実現の希望。市立園における給食の実施。子どもに寄り添った教育の実施。長期休暇中の預かりがなく就労が困難。等）	9
	保育費等の費用負担 （無償化対象でない家庭の不平等感。等）	1
	保育士や教諭の対応、研修、処遇 （3年保育実施に向けた職員の充実。園・地域・保護者の距離感の拡がり。等）	4
2. 子育て支援サービス		
各種子育て支援サービス	一時預かり利用の充実 （土曜日預かりの利便性向上。短時間就労者の子どもの保育や一時預かりの充実。預け先との信頼関係づくり。実施場所の地域的な偏り。等）	7
	病児・病後保育の充実 （安心して預けられる施設の充実。等）	4
	小規模保育や家庭的保育等、その他の事業の充実 （長期休暇中の預かりがなく就労が困難。等）	4
	地域子育て支援拠点 （気軽に行ける相談窓口の充実。小学生になっても利用できる施設の充実。子ども服や育児用品の交換会の実施。等）	5

分類	主な意見・要望	件数
放課後児童 クラブ	入所に関すること (短時間就労者や、長期休暇のみの利用拡大。低学年利用における就 労条件緩和の検討。 等)	9
	施設の新設・拡充 (児童数に対する敷地面積の狭さ。定員を超えた受け入れによる子ど もへのストレス。 等)	20
	施設・事業の運営内容の充実 (長期休暇のみの利用者の終了時間の延長。開所時間の延長。防犯面 の強化。行事の負担軽減。 等)	26
	費用負担 (利用日数に応じた料金設定。民間利用の際の補助。 等)	11
	職員の対応、研修、処遇 (職員業務の重要性や責任の重さを評価した待遇改善。指導員の増員 と質の向上。 等)	15
子育てに関する情報 (家庭に合わせた施策情報の提供。学校を通じた情報提供の充実。 等)	5	
子育てに関する相談 (学校以外の身近な教育・発達相談窓口の設置。産後すぐの訪問相談の実施。子ども自 身が相談できるハガキの継続希望。 等)	9	
ひとり親家庭支援 (ひとり親支援の収入基準の見直し(基準を上回ると手当が無くなる不平等感)。養育 費不払い保障の実施。きょうだい数に応じた手当の増額。離婚による子どものメンタ ルケアの必要性。 等)	11	
障害児支援	発達支援 (相談者の増加に合わせた体制整備。相談担当者の継続や丁寧な引き 継ぎの希望。検査や療育にかかる費用負担の増加。保護者やきょう だいを含めた家族支援の視点が必要。 等)	8
	子育て支援サービス(児童クラブ、デイ等) (施設整備の充実。利用日の拡大。障害に対する職員の理解や専門性 の向上。幅広いメニュー(習い事のような)の提供。 等)	5
	学校における支援、進学・進路相談 (転入にともなう支援の変化への対応。インクルーシブ教育の促進。 発達障害のある子どもやグレーゾーンの子どもの進路支援。合理的 配慮の推進。 等)	7
児童虐待 (通報や相談に対する早期対応・早期対面。 等)	3	
子育てに関する経済的負担 (インフルエンザ予防接種の補助実施。医療費助成年齢の延長(中学卒業まで)。児童 手当支給の収入基準の見直し。多子世帯への教育費負担の軽減。広域学区通学者への 支援。経済的負担の大きい小学生以降の支援拡大。収入基準による給食費の設定。習 い事や学習塾等の費用補助の実施。校外イベント費用の下方設定。子ども食堂の拡大。 等)	59	

分類	主な意見・要望	件数
3. 学校・教育（小学校、中学校、高校等）		
学校施設・設備の充実 （不衛生なトイレ等の改修。タブレット学習等 IT 教育の推進。子どもの荷物の軽量化。休日や長期休暇中の校内運動設備の開放。児童数に合った小学校の増設・分校検討。等）		14
授業・指導内容 （生徒に目が行き届くクラス規模・教員配置。学校生活支援員の充実。教育予算の増加。子どもの多様性に合わせた教育の実施。等）		19
学力の向上 （学力低下への不安と対策。統一模試の実施や宿題等による学力の向上。休日削減、授業時間の増加。学力に合わせた学習支援の充実。経済格差による学習機会の差の改善。等）		23
P T A 活動、保護者の関わり （PTA 活動の負担軽減。働き方や生活の変化にあわせた PTA の運営方法・存在意義の検討。等）		15
教職員の対応、研修、処遇 （子どもや家族に寄り添った相談の実施。クラブ・部活動支援への外部人材の活用。学区外通学者の負担軽減。等）		9
いじめ、不登校問題 （いのちの大切さ、思いやりの心を育む教育の推進。問題発生時の早急で真剣な対応。等）		6
4. 子育て環境		
子どもの遊び場、居場所 （公園環境の整備。子どもが歩いていける安心で自由な遊び場の充実。放課後子供教室の実施。屋内で遊べる施設の充実。遊具の充実、安全確保・定期点検の実施。撤去遊具の代替遊具の設置。犬の散歩等マナーの向上。等）		62
道路や交通の安全 （通学路の安全確保・定期点検の実施。通学路の歩道整備や街灯設置の推進。等）		18
公共施設整備 （図書館の活用（小学生向けの放課後の企画、相談室の設置等）。等）		12
防犯・防災 （みんなで子どもを守る意識・環境づくりの推進。不審者情報発信時における集団下校等の対策、地域への周知。等）		6
地域とのかかわり（地域福祉） （転入者向けの交流機会の提供。誰でも楽しく参加でき、自然な交流が生まれる場づくり。等）		5
医療体制 （乳幼児健診の受診場所の充実。不妊・不育症等への支援の充実。湖西地域の休日夜間の小児医療体制の整備。等）		3

分類	主な意見・要望	件数
5. 子育てと就労の両立		
	保護者の就労支援 (保育や子育て支援による復職支援。核家族子育て世帯が正社員で働き続けられる環境づくり。 等)	11
	多様な働き方の推進 (多様な働き方、柔軟な働き方の理解促進と働く機会の充実。 等)	4
	職場環境の改善 (育児休暇や育児休業が取得しやすい環境整備。子どもと過ごす時間の確保。 等)	7
	男女共同参画の推進 (父親と母親がともに育児を担うことの重要性。就労状況にかかわらず心にゆとりを持って子育てできる環境づくりの必要性。 等)	4
6. まちづくり全体		
	相談窓口、広報等の諸業務 (各家庭に寄り添った相談対応の強化。制度や事業のわかりやすく、入手しやすい情報提供の実施。 等)	10
	都市計画等の整備 (市内の人口構造の変化に合わせたバランスのよいまちづくり。多様性のあるサービスや施策の推進。 等)	2
	政策へのご意見 (地域に出向き市民に意見を聞く機会の充実。中心部以外でのイベントの実施。交通の利便性向上。大学の多い地域性を活かした教育の推進。 等)	13
	職員の対応 (健診や相談情報の内部での引き継ぎ徹底。 等)	4
7. アンケートの感想		
	(結果が施策に活かされることを希望。 等)	10
8. その他		
	(市民の声に耳を傾けた施策の充実。ダブルケア世帯への相談や支援。 等)	9

13. 調査結果のまとめ

(1) お子さんご家族の状況について

- きょうだいの人数については、「2人」が未就学児童で49.1%、小学校低学年で50.6%となっており、前回調査に比べて『3人以上』の割合が高くなっています。
- 調査票の回答者については、「母親」が未就学児童で92.6%、小学校低学年で86.5%となっています。
- 回答者の配偶関係の有無については、「配偶者がいる」が未就学児童で95.8%、小学校低学年で88.1%となっています。
- 保護者の就労状況については、未就学児童、小学校低学年ともに、母親では「専業主婦・主夫」、父親では「フルタイム」の割合が最も高くなっています。特に、母親の就労状況を前回調査と比べると、「フルタイム」「パート・アルバイト」の合計は未就学児童で16.4ポイント、小学校低学年で8.3ポイント増加しており、働く母親が増加しています。
- 保護者の1年後の就労希望については、母親では、未就学児童、小学校低学年ともに「フルタイム」の割合が最も高くなっています。現在の状況と比べると、未就学児童、小学校低学年ともに「パート・アルバイト【月64時間未満】」が増加して、「専業主婦・主夫」が減少していることから、子育てをしながら一定の時間内での就労を希望している母親が多いことがうかがえます。

家庭類型別にみると、未就学児童、小学校低学年ともに「専業主婦・主夫家庭」が最も高く、次いで「フルタイム×フルタイム」となっています。また、未就学児童に比べて小学校低学年では『フルタイム×パート』が14.5ポイント高くなっています。今後、教育・保育サービスの充実を図る際には、特に母親において、パートタイム・アルバイトを希望している割合が多いことから、一定の時間、就労しながら子育てができる預かり保育や一時預かり等の充実が必要と考えられます。
- 世帯の年間総収入については、未就学児童、小学校低学年ともに「500～700万円未満」が最も高く、《大津市子どもの健康・生活実態調査（結果報告書）》の分布と同水準となっていますが、やや「300万円未満」「900万円以上」の割合が低く、中間層が多いことがわかります。[ひとり親]では未就学児童、小学校低学年ともに「300万円未満」の世帯が4割を占めており、経済的に困難な状況がうかがえます。
- 世帯の経済的な暮らし向きについては、「普通」が未就学児童で51.2%、小学校低学年で44.5%と最も高くなっている一方で、「大変苦しい」「やや苦しい」の合計は未就学児童で37.9%、小学校低学年で39.0%と、約4割が『苦しい』と回答しています。さらに、きょうだいが[4人以上]になると、『苦しい』の回答割合は増加しています。世帯の年間総収入別にみると、500万円を境に暮らし向きの回答に差が表れており、[500万円未満]では『苦しい』の回答割合が高くなっています。

- 小学校低学年において、経済的な暮らし向きと比例して、経済的に断念した各選択肢の割合が高くなる傾向にあり、経済的な困窮が子どもの学習・生活面にまで広く影響を及ぼしていることがうかがえます。

(2) 育ちをめぐる環境について

- 子育てで感じることについては、①子どもと過ごす楽しさや幸福感を「いつも感じる」「ときどき感じる」が未就学児童、小学校低学年ともに大半を占めています。一方で、きょうだいの人数別では、未就学児童、小学校低学年ともにきょうだいの人数が多くなるにつれ点数が低く（幸福感が低く）なっています。また、⑤経済的な負担感はきょうだいの人数が多くなるにつれ点数が高く（不安感、負担感が高く）、家庭類型別では、未就学児童、小学校低学年ともに〔ひとり親家庭〕で⑤経済的な負担感の点数が高くなっています。子育て環境は、経済的な問題や共働きの増加に伴う子育てと仕事の両立が課題となっており、家庭環境に応じた支援をしていく必要があります。
- 普段の食事や睡眠等の生活習慣については、未就学児童、小学校低学年ともに「好き嫌いが多い」「長時間テレビを見たりゲーム等をしている」が上位2項目となっています。また、「運動が不足している」が未就学児童に比べて小学校低学年で10ポイント以上高く、本報告書内の《子ども・若者に関する調査結果（若者用調査）》の結果をみても、年齢に伴い運動量の減少がうかがえます。さらに、未就学児童の〔3歳〕では「あてはまるものは特にない」が最も高くなっているものの、「就寝が22時を過ぎている」「栄養バランスが偏っている」「歯みがきをしない日がある」等、〔4歳〕〔5歳〕と比べて高い項目が多く、発達過程にある子どもの保護者の不安や悩みが表れているとともに、睡眠や食事等に関する指導や支援の機会が重要な時期であるといえます。
- 気軽に相談できる人や場所については、未就学児童では96.2%、小学校低学年では91.4%が「いる／ある」と回答しており、相談先として「配偶者（夫または妻）」「自分または配偶者の両親、兄弟姉妹」「友人や知人」等の割合が上位を占めています。また、教育・保育に携わる先生を相談先としている割合は、未就学児童の「保育園や幼稚園等の先生」が44.2%であるのに対し、小学校低学年の「小学校の先生」が21.4%と減少しています。さらに、小学校低学年の「小学校の先生」は前回調査と比べると10ポイント以上低くなっており、保護者と小学校の先生の関係性の変化がうかがえます。
一方、気軽に相談できる人や場所が「ない」人は未就学児童で3.3%、小学校低学年で4.5%おり、その理由として、未就学児童、小学校低学年ともに「誰に相談していいのかわからない」「人づきあいが苦手だから」が上位2項目となっています。気軽な相談先等がない人は、相談先がある人に比べて、相談先に匿名性を求める傾向があるとともに、「家庭に訪問して行う相談」のニーズも高く、電話相談やメール相談等の周知・利用促進、家庭の状況に合わせた相談方法の検討が必要です。

(3) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（未就学児童）

- 未就学児童で平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」割合は71.3%と、前回調査に比べ10ポイント以上高くなっています。子どもの年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて利用率は高くなり、[0歳]から[1歳]にかけて29.2ポイント、[2歳]から[3歳]にかけて24.6ポイント増加しています。利用している教育・保育事業として「認可保育園」が45.6%、「市立幼稚園」が18.2%、「認定こども園」が15.2%となっており、前回調査と比べると、「市立幼稚園」「私立幼稚園」の利用は減少しつつも「幼稚園の預かり保育」を併用する人が増加するとともに、「認定こども園」の整備に伴い利用が増加しています。学区別にみると、教育・保育施設の整備状況を反映した結果が表れています。
- 利用していない理由については、[1歳][2歳][3歳]では「子どもが3～4歳になれば幼稚園の利用を考えている」が6～7割と最も高く、幼稚園の利用を希望する方も多いことがうかがえます。その一方で、現在教育・保育事業を利用していない人の保育園の利用希望は55.1%で、利用を希望していない人でも、保育園の定員や保育料、利用時間等の条件が改善されたいとの回答が39.9%となっています。今後の保育園の整備によっては幼稚園から利用意向が変化することも推測されます。
- 平日の定期的な教育・保育事業の待機期間を17.6%が「ある」と回答しており、そのうち14.8%が『1年以上』待機期間があったとしています。入園できなかった期間の対処方法は、待機期間が1年以上の場合、「仕事をやめた」が25.7%と、待機期間があった全体と比べて16.6ポイント高く、父母のどちらかが離職を余儀なくされています。また、「他の教育・保育施設に預けた」「一時預かりを利用した」の対処方法の割合も比較的高くなっていることから、待機となった世帯に対する、他の子育て支援サービスの情報提供などが求められます。
- 教育・保育施設の入園・入所において、大変だと感じたことについては、「申込書類の準備および提出」「園の情報収集」が高くなっており、特に[認可保育園][認定こども園][企業主導型保育]では「申込書類の準備および提出」が最も高く、煩雑な書類作成・提出の負担感が高くなっています。

(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望について（未就学児童）

- 平日に利用したい、利用を継続したい保育園や幼稚園等については、「認可保育園（公立、民間含む）」が54.5%、「市立幼稚園」が29.9%、「認定こども園」が25.3%となっています。平日に「利用している教育・保育事業」と比べると、「認可保育園」（「現在」：45.6%・「希望」：54.5%で+8.9ポイントの差）、「市立幼稚園」（「現在」：18.2%・「希望」：29.9%で+11.7ポイントの差）、「市立幼稚園の預かり保育」（「現在」：8.3%・「希望」：22.8%で+14.5ポイントの差）、「認定こども園」（「現在」：15.2%・「希望」：25.3%で+10.1ポイントの差）と、いずれの事業も利用ニーズが高いものの、順位は「現在」と「希望」で変わりません。

- 定期的に利用したい事業を選択する際に、重視する点についてみると、「自宅の近くにある」「園長・スタッフの対応や印象がよい」「教育・保育の内容がよい」が上位となっており、「市立幼稚園」「市立幼稚園の預かり保育」の利用を希望している方では、地域や小学校区を意識する傾向が強く表れています。一方、前回調査と比べて「費用負担が少ない（保育料が安い）」が10ポイント以上減少しているのは、幼児教育無償化による費用負担の軽減が影響しているものと考えられます。
- 平日に利用したい、利用を継続したい保育園や幼稚園等において、「企業主導型保育施設」は3.6%とわずかでしたが、個別に利用ニーズを聞くと56.1%が「利用したい」と回答しています。希望理由として、子どもと過ごす時間の増加や子どもが近くにいる安心感を得たいとの割合が高くなっています。

(5) 土曜や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（未就学児童）

- 土曜日と日曜日・祝日における、保育園、幼稚園、認定こども園等の利用希望については、『利用したい』割合が土曜日で41.1%、日曜日・祝日で20.5%に対し、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の場合（幼稚園を利用している方）では67.1%と半数を超えています。
- たまに利用したい方の理由としては、土曜日と日曜日・祝日では「月に数回仕事が入るため」（67.8%）の割合が最も高いのに対し、長期休暇期間中では「息抜きのため」（55.4%）の割合が最も高く、子どもの長期休暇中による教育・保育事業の利用については、就労以外の要因も含まれていることがうかがえます。

(6) 病気の際の対応について

- お子さんの病気やけがで通常の利用（または登校）ができなくなったことが「あった」割合が未就学児童で74.6%、小学校低学年で58.8%となっており、その対処方法として「母親が休んだ」等、配偶者や親族で対応した割合が上位を占める一方で、「病児・病後児の保育を利用した」「ベビーシッターを利用した」「ファミリーサポートセンターを利用した」割合の合計（未就学児童で5.2%、小学校低学年で1.1%）は低い結果となっています。
- 未就学児童において保護者のどちらかが休んで対応した方のなかで、病児・病後児のための保育施設を「利用したいとは思わない」割合は71.2%であり、前回調査と比べて10ポイント以上増加しています。利用したいと思わない理由としては、病気の際の対応として親が対応すべきと考えている保護者が多いこと、質や利便性、料金負担への懸念がうかがえます。

(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について（未就学児童）

- 不定期に利用している事業については、「幼稚園の預かり保育」が 9.3%、「一時預かり」が 6.1%となっています。また、「利用していない」が 78.3%となっています。
- 私用や親の通院、不定期の就労等で一時預かり事業を利用したい割合は 50.0%であり、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」での利用希望割合が高くなっています。
- この1年間に子どもを泊りがけで預けなければならなかったことが「あった」割合は 15.9%で、対処方法として「親族・知人に預けた」が 74.0%となっています。また、泊りがけで預けた経験のある方のうち、その他以外の項目を選択した方における、対処の困難度は、「非常に困難」「どちらかというと困難」の合計が 60.5%となっています。日頃、子どもをみてもらえる親戚（同居人を含む）や知人の協力等により、事業の利用には至らないことが考えられる一方で、協力を得ることの困難さもうかがえます。

(8) 地域子育て支援拠点事業等の利用状況について

- 地域の子育て支援事業の利用状況については、「地域子育て支援拠点事業（つどいの広場）」が 24.9%、「その他、大津市で実施している類似の事業」が 4.8%となっています。教育・保育施設を普段利用していない未就学児童が利用対象者であることから「利用していない」が 67.4%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 59.9%と高くなっています。また、「利用していないが、今後利用したい」が 18.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 13.9%と、利用意向を示しており、一定のニーズがあることから、今後もより一層事業内容の充実を図っていく必要があります。
- 子育て支援サービス事業については、〈③大津市子ども家庭相談室〉〈⑦おおつげんきっこハンドブック〉〈⑩おもちゃライブラリー〉で、未就学児童、小学校低学年ともに利用度より利用意向が 30 ポイント以上高く、認知度が比較的低いことから、事業内容の周知とともに、利便性の向上を図る必要があります。

(9) 放課後や休日等の過ごし方や就学後について

- 小学校低学年の休日に好きでよくしている遊びについては、〈④親やきょうだいと室内遊びをする〉〈⑥一人で読書やゲーム等の室内遊びをする〉の割合が高くなっています。本報告書内の《子ども・若者に関する調査結果（若者用調査）》の結果と「好きでよくしている」「よくしている」の合計を比べると、〈⑥一人で読書やゲーム等の室内遊びをする〉のみ上回っており、全体的に遊びが少なくなっていることがうかがえます。
- 就学時の不安については、小学校低学年に比べて未就学児童ではすべての項目の割合が上回っており、未就学児が就学する際の不安が多岐に渡っていることが推測できます。特に「登下校の安全」「学校の防犯・防災対策」等の安全面、「放課後の居場所の確保」の割合は未就学児童に比べて小学校低学年では20～30ポイント程度低くなっており、実際の対策・対応を周知していくことで不安軽減につなげていくことが必要です。一方、未就学児童と小学校低学年の回答割合に差が少なく、小学校低学年でも高くなっている「勉強」については、幼児期の教育と小学校の教育が連続性を踏まえて進められるよう、各保育・教育施設の連携を強化するとともに、保護者や子どもたちへの説明や体験の機会を充実することが重要です。また、「長期休暇中の過ごし方」「保護者の就労時間・働き方の調整」については、多様な働き方のニーズに応える子育て支援サービスを充実することが必要です。
- 小学校低学年の預かりサービスの利用状況については、現在「利用している」が27.6%であるのに対し、今後（継続）「利用したい」は36.9%と、利用ニーズが高くなっているとともに、未就学児童では52.6%が「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望しています。また、[放課後児童クラブ（学童保育）]の利用を「6年生」まで希望する割合は、未就学児童で31.8%、小学校低学年で32.3%と、最高学年までの利用ニーズが高くなっています。ほとんどの保護者が就労を利用希望理由としていることや、未就学児童の就労意向が高いことから、ニーズの増大が見込まれます。
長期休暇中の放課後児童クラブの利用を、小学校低学年の46.9%が希望しており、平日に放課後児童クラブの利用を希望していない人でも25.0%の利用希望があることから、長期休暇中の受け入れ体制を充実するなどの対応が求められます。
- 放課後子ども教室の利用意向について、「利用したい」との回答は、未就学児童で51.7%、小学校低学年で44.5%であり、放課後児童クラブの利用意向と同水準もしくはやや高くなっており、関心の高さがうかがえ、就学以降の放課後における放課後児童クラブ以外の子どもの居場所が求められています。一方、小学校低学年では「プログラムの内容次第では利用したいと思う」が「利用したいと思う」をわずかに上回っており、実施にあたっては、前出の課題である運動不足の解消や勉強面の不安、また最終質問である施策の満足度・重要度において、遊び場の提供や学校教育環境の充実等が求められていることを踏まえたプログラムの検討が必要です。

(10) 育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度について

- 1日あたりの子どもと一緒に過ごす時間については、母親では未就学児童、小学校低学年ともに「5～9時間」がそれぞれ42.5%、68.7%であり、父親では未就学児童、小学校低学年ともに「1時間」がそれぞれ23.0%、27.0%と最も高くなっています。その時間が十分だと思うかでは、未就学児童、小学生児童ともに、母親が『十分』（「十分だと思う」「まあまあ十分だと思う」の合計）、父親が『不十分』（「あまり十分だと思わない」「不十分だと思う」の合計）としている割合が高くなっています。また、家庭類型別についてみると、母親では未就学児童、小学校低学年ともに〔ひとり親家庭〕〔フルタイム×フルタイム〕で『不十分』が『十分』を上回っており、就労時間が長くなる家庭類型であるほど不十分と感じている傾向にあります。さらに、前回調査と比べると、未就学児童、小学校低学年の母親、父親ともに『不十分』と感じる割合が高くなっており、今後、子どもと保護者の充実した関わりの時間を確保していく取り組みが必要です。
- 子どもが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得したかについては、母親では「当時、働いていなかった」が41.3%、父親では「取得していない」が89.5%と最も高くなっています。「取得後、職場に復帰した」は母親で29.3%、父親で3.0%であり、前回調査と比べると、母親で11.6ポイント、父親で2.1ポイント増加していることから、育児休業の取得率が増加しているものの、依然、父親における育児休業の未取得の割合が高い状況となっています。
- 育児休業の実際と希望の取得期間が異なった方は、母親で65.1%（育児休業取得者787人中513人）、父親で35.0%（育児休業取得者80人中28人）となっており、その理由として、母親、父親ともに「人事異動など、職場の事情に合わせたため」がそれぞれ42.1%、50.0%で最も高く、次いで母親では「希望する保育園に子どもを入れるため」が41.7%、父親では「経済的な理由によるもの」が42.9%となっています。
- 仕事と子育てを両立するために企業に期待することについては、「子どもが病気やけがの時に、休暇が取りやすい職場環境をつくる」が未就学児童で87.9%、小学校低学年で91.5%と最も高くなっています。上位5項目までは、順位は異なるものの職場環境や労働時間に関する同様の項目が並んでいることから、企業等に向け、雇用者の子育て等の状況を受け入れる職場環境づくりや、柔軟な働き方を導入したワーク・ライフ・バランスの推進を促す必要があります。

(11) 地域の子育て支援や大津市の子育て支援サービスについて

- 家庭の近所づきあいの状況については、「家の前や公園等で世間話をするが、暮らしの中に入り込んだつきあいはない」「あいさつをする程度」が未就学児童、小学校低学年ともに高くなっています。前々回調査、前回調査から、助け合いや相談をしている割合は減少しており、近所づきあいが希薄で地域とのつながりが持ちにくい傾向が高まりつつあります。
- 地域の子どもたちとの交流や活動に参加している内容として、未就学児童、小学校低学年ともに、〈③地域の祭りやイベントに親子で参加する〉〈①子ども会活動、保護者会（PTA など）活動に参加する〉〈⑤地域で子どもを持つ保護者同士で情報交換をする〉が高くなっています。
- 養育費については、「養育費の取り決めをしているが、現在養育費を受け取っていない」は未就学児童で7.8%、小学校低学年で20.6%となっています。また、養育費の金額について、〈①希望額〉は未就学児童、小学校低学年ともに「4万～6万円未満」が最も高くなっていますが、〈②取り決め額〉はそれ以下の割合が高く、〈③実際の額〉では養育費をもらえていない方が未就学児童で35.0%、小学校低学年で33.3%となっています。養育費の希望額と、養育費に関する取り決め額および、実際の額には大きな差があり、ひとり親家庭の経済的負担が顕著に表れていることから、養育費の支払い促進策を検討するとともに、負担軽減策の充実も進める必要があります。
- 子育てにかかわる環境の満足度については、未就学児童、小学校低学年ともに、〈⑪安心して受診できる医療機関の整備〉〈③妊娠・出産期の母親や子どもの健診や健康教育〉で「満足」と「まあ満足」を合わせた割合が5割を超えて高くなっています。一方、〈⑭男女が共に子育てを行うための社会環境〉では「不満」と「やや不満」を合わせた割合が他の項目より高くなっています。また、重要度についてみると、未就学児童では、〈⑪安心して受診できる医療機関の整備〉〈⑰子どもの安全を確保するための活動や環境〉が、小学校低学年では、〈⑪安心して受診できる医療機関の整備〉〈⑧子どもの確かな学力・豊かな心を育む学校教育環境〉〈⑰子どもの安全を確保するための活動や環境〉の「重要」と「まあ重要」を合わせた割合が9割を超えて高くなっています。
重要度と満足度を比較すると、重点的な維持が求められる項目として、保健や医療分野が、重点的な改善が求められる項目として、子どもの権利と安全を守る対策や保育サービス環境の充実が求められています。

